

設計情報属性ファイル交換標準（案）

第1編 主構造鈑桁編

Ver2.0

令和7年5月

令和7年5月31日版

一般社団法人 日本橋梁建設協会

目次

1. はじめに.....	8
1.1 目的と対応範囲.....	8
1.2 ファイル名・ファイル形式.....	11
1.3 その他特記事項.....	11
2. 解説.....	12
2.1 全体構成の解説.....	12
2.2 表記方法の例.....	15
3. 要素.....	16
3.1 プロジェクト情報.....	16
3.2 主構造設計情報.....	17
3.3 更新履歴情報.....	17
3.3.1 更新情報.....	18
3.4 骨組定義.....	19
3.4.1 主桁線定義.....	20
3.4.2 格点定義.....	20
3.4.3 座標定義.....	21
3.4.4 端ブラケット設置のための床版外側線定義.....	22
3.4.5 格点定義.....	22
3.4.6 座標定義.....	23
3.4.7 横断線定義.....	24
3.4.8 主桁・格点並びの定義.....	24
3.4.9 主桁毎の死荷重キャンバーの定義.....	25
3.4.10 キャンバーの定義.....	25
3.4.11 垂直補剛材位置定義.....	25
3.4.12 分割数定義.....	26
3.4.13 垂直補剛材間隔定義.....	26
3.4.14 主桁毎のジョイント位置定義.....	27
3.4.15 ブロック長定義.....	27
3.4.16 主桁毎のウェブ高定義.....	28
3.4.17 ウェブ高定義.....	28
3.4.18 水平補剛材高さ定義.....	29
3.4.19 水平補剛材配置定義.....	29
3.4.20 水平補剛材比率定義.....	29
3.5 主桁情報.....	30
3.5.1 主桁共通詳細情報.....	31
3.5.2 板厚逃げ方向定義.....	31
3.5.3 ジョイントクリアランス定義.....	32
3.5.4 板継ズレ量定義.....	32
3.5.5 フランジ材端形状定義.....	33
3.5.6 水平補剛材空き量.....	33
3.5.7 垂直補剛材部空き量.....	34
3.5.8 添接部空き量.....	34
3.5.9 横桁フランジ部空き量.....	35
3.5.10 垂直補剛材切欠き.....	36
3.5.11 支点上垂直補剛材切欠き.....	37
3.5.12 格点上垂直補剛材切欠き.....	38
3.5.13 中間垂直補剛材切欠き.....	39
3.5.14 支点上補剛材付きフランジ空き量・切欠き形状.....	40

3. 5. 15	添接板材端形状.....	41
3. 5. 16	上フランジ添接板材端形状.....	42
3. 5. 17	ウェブ添接板材端形状.....	43
3. 5. 18	下フランジ添接板材端形状.....	44
3. 5. 19	支点上補強リブ切欠き情報.....	45
3. 5. 20	支点上補強リブ切欠き定義.....	45
3. 5. 21	支点上補強リブ付きフランジ空き量・切欠き形状.....	46
3. 5. 22	ジャッキアップ補剛材切欠き情報.....	47
3. 5. 23	ジャッキアップ補剛材切欠き定義.....	47
3. 5. 24	ジャッキアップ補剛材付きフランジ空き量・切欠き形状.....	48
3. 5. 25	ウェブ貫通孔共通詳細.....	49
3. 5. 26	ウェブ貫通孔形状.....	49
3. 5. 27	貫通孔形状.....	49
3. 5. 28	補剛材形状.....	51
3. 5. 29	垂直補剛材形状.....	51
3. 5. 30	水平補剛材形状.....	53
3. 5. 31	支点上補強リブ形状定義.....	54
3. 5. 32	ジャッキアップ補剛材形状定義.....	58
3. 5. 33	添接形状定義.....	60
3. 5. 34	フランジ添接形状定義.....	61
3. 5. 35	ウェブ添接形状定義.....	63
3. 5. 36	ソールプレート形状情報.....	64
3. 5. 37	ソールプレート形状定義.....	64
3. 5. 38	ソールプレート孔配置.....	65
3. 5. 39	ずれ止め形状定義.....	67
3. 5. 40	スタット橋直方向ピッチ.....	68
3. 5. 41	足場用吊り金具形状情報.....	69
3. 5. 42	足場用吊り金具形状定義.....	69
3. 5. 43	主桁形状.....	72
3. 5. 44	主桁断面形状.....	74
3. 5. 45	上フランジ部材形状.....	74
3. 5. 46	下フランジ部材形状.....	75
3. 5. 47	ウェブ部材形状.....	75
3. 5. 48	補剛材配置.....	75
3. 5. 49	垂直補剛材配置.....	77
3. 5. 50	水平補剛材配置.....	77
3. 5. 51	支点上補強リブ配置.....	78
3. 5. 52	支点上補強リブ位置定義.....	78
3. 5. 53	ジャッキアップ補剛材配置.....	79
3. 5. 54	ジャッキアップ補剛材位置定義.....	79
3. 5. 55	添接配置.....	80
3. 5. 56	添接形状配置.....	80
3. 5. 57	下フランジ拡幅形状.....	81
3. 5. 58	桁端マンホール形状.....	82
3. 5. 59	ずれ止め配置定義.....	83
3. 5. 60	ずれ止め形状配置定義.....	83
3. 5. 61	ずれ止め位置定義.....	83
3. 5. 62	足場用吊り金具配置定義.....	85
3. 5. 63	足場用吊り金具形状配置定義.....	86
3. 5. 64	足場用吊り金具位置定義.....	87

3.5.65	ウェブ貫通孔配置定義	88
3.5.66	ウェブ貫通孔情報	88
3.6	横桁情報	90
3.6.1	横桁共通詳細情報	91
3.6.2	ジョイントクリアランス定義	92
3.6.3	コネクションプレート材端形状	93
3.6.4	横桁垂直補剛材切欠き定義	94
3.6.5	横桁水平補剛材切欠き定義	95
3.6.6	垂直部材側空き量・切欠き定義	95
3.6.7	添接側空き量・切欠き定義	96
3.6.8	主桁ウェブ部空き量・切欠き定義	97
3.6.9	横桁添接板材端形状	97
3.6.10	上フランジ添接板材端形状	98
3.6.11	ウェブ添接板材端形状	99
3.6.12	下フランジ添接板材端形状	100
3.6.13	横桁重ね継手部詳細情報	101
3.6.14	ウェブ材端形状	102
3.6.15	ウェブ切欠形状	103
3.6.16	支点合わせ位置	104
3.6.17	格点合わせ位置	105
3.6.18	主桁上フランジコバ合わせ時引付点位置	105
3.6.19	仕口部形状	106
3.6.20	支点部切欠形状	106
3.6.21	格点部切欠形状	107
3.6.22	マンホール詳細	108
3.6.23	水平カラープレート左右切欠形状	108
3.6.24	垂直カラープレート上下切欠形状	109
3.6.25	横桁ウェブ開口詳細	110
3.6.26	横桁断面情報	111
3.6.27	横桁断面形状	112
3.6.28	上フランジ部材形状	112
3.6.29	ウェブ部材形状	112
3.6.30	下フランジ部材形状	113
3.6.31	横桁 H 鋼断面形状	114
3.6.32	横桁添接形状定義	115
3.6.33	横桁フランジボルト配置	116
3.6.34	コネクションボルト配置	118
3.6.35	ガセット孔配置	120
3.6.36	横桁ウェブボルト配置	121
3.6.37	横桁ウェブ孔配置（重ね継手）	122
3.6.38	横桁補剛材形状	123
3.6.39	横桁垂直補剛材形状	123
3.6.40	横桁水平補剛材形状	124
3.6.41	横桁ウェブマンホール形状	125
3.6.42	マンホール形状	126
3.6.43	横桁ウェブ開口部形状	128
3.6.44	横桁ウェブ開口部形状設定	128
3.6.45	横桁配置	130
3.6.46	横桁形状	131
3.6.47	横桁引付位置	132

3. 6. 48	横桁添接情報配置.....	134
3. 6. 49	横桁垂直補剛材情報.....	135
3. 6. 50	横桁水平補剛材情報.....	136
3. 6. 51	横桁マンホール情報.....	137
3. 6. 52	横桁ウェブ開口部配置.....	138
3. 7	対傾構情報.....	139
3. 7. 1	対傾構共通詳細情報.....	140
3. 7. 2	弦材詳細.....	140
3. 7. 3	上下弦材切口離れ量基準位置.....	141
3. 7. 4	上下弦材ウェブ切口形状.....	142
3. 7. 5	上下弦材フランジ切口形状.....	142
3. 7. 6	下弦材フランジ孔材端.....	143
3. 7. 7	斜材詳細.....	143
3. 7. 8	斜材と上下弦材との離れ量.....	144
3. 7. 9	ガセット詳細.....	145
3. 7. 10	ガセット材端形状.....	146
3. 7. 11	ガセット外形形状タイプ.....	147
3. 7. 12	中央ガセットの離れ量.....	148
3. 7. 13	上弦材・下弦材形状.....	148
3. 7. 14	フランジ形状.....	149
3. 7. 15	ウェブ形状.....	149
3. 7. 16	下弦材孔形状.....	150
3. 7. 17	斜材形状.....	151
3. 7. 18	フランジ形状.....	151
3. 7. 19	ウェブ形状.....	152
3. 7. 20	対傾構ガセット形状.....	153
3. 7. 21	ガセットサイズ.....	153
3. 7. 22	弦材・斜材との溶接長.....	154
3. 7. 23	対傾構ガセット孔形状.....	156
3. 7. 24	対傾構配置.....	157
3. 7. 25	対傾構形状.....	158
3. 7. 26	対傾構引付位置.....	159
3. 7. 27	対傾構ガセットプレート配置.....	160
3. 7. 28	対傾構側ガセット孔配置.....	161
3. 7. 29	対傾構斜材空き寸法.....	162
3. 8	横構情報.....	163
3. 8. 1	横構共通詳細情報.....	164
3. 8. 2	横構ガセット詳細.....	164
3. 8. 3	横構ガセット取付高さ.....	165
3. 8. 4	横構ガセット材端形状.....	166
3. 8. 5	スカラップ形状.....	166
3. 8. 6	横構弦材詳細.....	167
3. 8. 7	横構弦材の離れ量.....	167
3. 8. 8	横構ガセット形状.....	168
3. 8. 9	ガセットサイズ.....	168
3. 8. 10	横構弦材形状.....	169
3. 8. 11	フランジ形状.....	170
3. 8. 12	ウェブ形状.....	170
3. 8. 13	横構弦材孔形状.....	171
3. 8. 14	横構配置.....	172

3.8.15	横構形状	173
3.8.16	横構弦材	175
3.8.17	横構ガセット配置	175
3.8.18	横構ガセット形状	176
3.9	ブラケット情報	177
3.9.1	ブラケット共通詳細定義	177
3.9.2	ブラケットジョイントクリアランス定義	177
3.9.3	ブラケット板逃げ方向定義	178
3.9.4	ブラケット添接板材端形状定義	178
3.9.5	上フランジ添接板材端形状定義	178
3.9.6	ウェブ添接板材端形状定義	179
3.9.7	下フランジ添接板材端形状定義	180
3.9.8	ブラケット仕口形状定義	181
3.9.9	支点部切欠き形状定義	181
3.9.10	ブラケット形状定義	182
3.9.11	ブラケット上フランジ形状定義	182
3.9.12	ブラケット下フランジ形状定義	182
3.9.13	ブラケットコネクションプレート材端形状	183
3.9.14	ブラケット断面形状定義	184
3.9.15	I断面上フランジ部材形状定義	184
3.9.16	I断面ウェブ部材形状定義	184
3.9.17	I断面上フランジ部材形状定義	185
3.9.18	ブラケット補剛材形状定義	187
3.9.19	垂直補剛材形状定義	187
3.9.20	ブラケット補剛材形状定義	188
3.9.21	フランジ添接形状定義	188
3.9.22	ウェブ添接形状定義	190
3.9.23	ブラケット配置定義	191
3.9.24	ブラケット形状定義	191
3.9.25	ブラケット本体仕口配置定義	192
3.9.26	ブラケット引付位置配置定義	193
3.9.27	ブラケット添接配置定義	194
3.9.28	ブラケット添接板配置定義	194
3.9.29	ブラケット補剛材配置定義	194
3.9.30	ブラケット添接板配置定義	195
3.10	線形情報	196
3.10.1	線形ライン定義	196
3.10.2	線形ライン座標定義	197
3.11	付属物情報	198
3.11.1	付属物ライン定義	200
3.11.2	検査路ライン定義	201
3.11.3	検査路中心ライン定義	201
3.11.4	検査路中心ライン位置設定	202
3.11.5	排水管ライン定義	203
3.11.6	横引き管定義	203
3.11.7	横引き排水管ライン定義	204
3.11.8	横引き管区間定義	204
3.11.9	誘導管ライン配置定義	206
3.11.10	誘導管ライン定義	206
3.11.11	垂れ流し管定義	208

3. 11. 12	垂れ流し管ライン定義	208
3. 11. 13	検査路受け台情報	209
3. 11. 14	検査路受け台共通詳細	214
3. 11. 15	検査路受け台フランジ共通詳細	215
3. 11. 16	検査路受け台ウェブ共通詳細	216
3. 11. 17	検査路受け台リブ共通詳細	216
3. 11. 18	検査路受け台形状定義	217
3. 11. 19	検査路受け台形状	217
3. 11. 20	検査路受け台の検査路幅	219
3. 11. 21	検査路受け台形状：検査路掛かり長	219
3. 11. 22	検査路受け台形状：受け台フランジ形状	219
3. 11. 23	検査路受け台形状：受け台ウェブ形状	221
3. 11. 24	検査路受け台形状：受け台リブ形状	222
3. 11. 25	検査路受け台配置設定	224
3. 11. 26	検査路受け台配置	224
3. 11. 27	架設用吊り金具情報	225
3. 11. 28	架設用吊り金具の形状情報	225
3. 11. 29	架設用吊り金具の形状定義	226
3. 11. 30	架設用吊り金具の配置設定	227
3. 11. 31	架設用吊り金具の配置	227
3. 11. 32	排水管コネクション定義	229
3. 11. 33	排水管コネクション形状定義	230
3. 11. 34	排水管コネクション配置定義	232
3. 11. 35	横引き管コネクション形状配置定義	233
3. 11. 36	誘導管コネクション形状配置定義	234
3. 11. 37	垂れ流し管コネクション配置定義	236
3. 11. 38	垂れ流し管コネクション形状配置定義	236
3. 12	拡張情報	238
4.	サンプルデータ	239

改訂履歴

バージョン	改定日	内容	項番
Ver 1.2	令和5年4月3日	初版	
Ver 1.3	令和6年11月21日	Ver 1.2 部材データスキーマの一部修正 (*1) ・横桁フランジボルト配置：属性追加（千鳥3） ・横桁引付け位置：属性追加 ・下弦材フランジ孔材端：出現回数変更 ・対傾構形状：属性追加 ・横構弦材形状：属性追加 ・横構形状：属性追加	3.6.33 3.6.47 3.7.6 3.7.25 3.8.10 3.8.15
Ver 2.0	令和7年5月31日	部材データスキーマを新規追加 (*2) ・支点補強リブ ・ジャッキアップ補剛材 ・ソールプレート ・端ブラケット ・横桁ウェブ開口・ダブリング ・主桁ずれ止め（スタッドジベル・スラブアンカー） ・主桁排水管取付けピース ・主桁ウェブ貫通孔（排水管貫通孔、ダブリング） ・架設用吊り金具本体付きピース ・足場用吊り金具本体付きピース ・検査路受け台 ・主桁垂直補剛材：補剛材タイプ（TYPE4、TYPE5）追加、垂直補剛材切欠き形状追加	3.5.19～3.5.21 3.5.31 3.5.51, 3.5.52 3.5.22～3.5.24 3.5.32 3.5.53, 3.5.54 3.5.36～3.5.38 3.5.57 3.4.4～3.4.6 3.9 3.6.25 3.6.43, 3.6.44 3.6.52 3.5.39, 3.5.40 3.5.59～3.5.61 3.11.1～3.11.12 3.11.32～3.11.38 3.5.25～3.5.27 3.5.65, 3.5.66 3.11.27～3.11.31 3.5.41, 3.5.42 3.5.62～3.5.64 3.11.1～3.11.4 3.11.13～3.11.26 3.5.10, 3.5.14, 3.5.29 3.5.48

*1：令和7年6月1日時点で、設計者側の「自動設計システム」から施工者側の「自動原寸システム」へのデータ連携は“Ver 1.2 部材データスキーマの一部修正”の範囲のみが可能です。

*2：本定義書の更新は、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期「スマートインフラマネジメントシステムの構築」JPJ012187（研究推進法人：土木研究所）によって、JIPテクノサイエンス株式会社、株式会社 IHI インフラシステムの取り組みのもと実施されました。取り組みに際しては、株式会社横河技術情報、カナデビア株式会社にご協力いただきました。

1. はじめに

1.1 目的と対応範囲

「設計情報属性ファイル交換標準（案）」（以下、本案）は、鋼橋の設計システムから各種システムへのデータ連携を目的とした XML 形式データである。

本案は下記の各編で構成している。

第1編 主構造鈹桁編（本編）

第2編 主構造箱桁編

第3編 数量編

”第1編 主構造鈹桁編”、”第2編 主構造箱桁編”は設計システムから製作情報システムへのデータ連携を目的としている。

”第3編 数量編”は、鋼橋の製造、施工など各種フェースでのデータ活用を想定した数量、塗装、溶接、輸送の情報を XML 形式で表記したデータとしている。

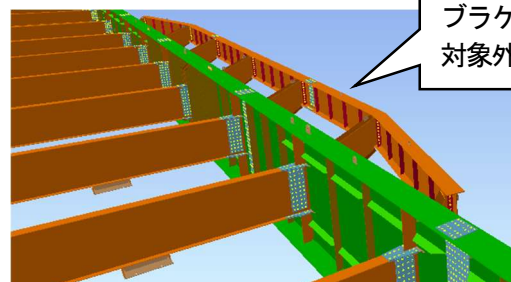
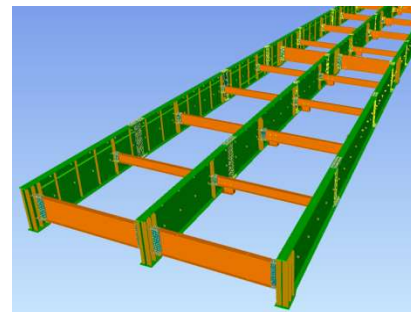
第1編の対応範囲を下記に示す。

第1編 主構造鈹桁編：鈹桁橋

※第2編、第3編の対応範囲は各編を参照

対象部位：

	少数鈹桁 (合成桁・非合成桁)
主桁	○
横桁	○
縦桁	×
ブラケット	△ ※端ブラケットは 対応可能
対傾構	○
横構	○



縦桁・
ブラケットは
対象外

対応範囲

内容	対応可否	備考
基本形状		
格点座標	○	
カンバー	○	・ Zカンバーのみ指定可能。
主桁垂直補剛材位置	○	・ 不等間隔の場合は、格間10本までとする。
主桁ジョイント位置	○	
主桁ウェブ下端形状	○	
主桁水平補剛材高さ	○	・ 最大段数は6段とする。
中間格点位置	○	
検査路ライン	○	
主桁		
フランジ・ウェブ	○	・ ウェブの桁端マンホールは対象外。
フランジ継手	○	・ 現場溶接は対象外。

		・ ボルト孔は等間隔のみ指定可能。
ウェブ継手	○	- 現場溶接は対象外。 - 添接板3枚分割タイプは対象外。 - ボルト孔は等間隔のみ指定可能。
支点上補剛材	○	- タイプに制限あり。 - 切欠形状は全箇所共通とする。
格点補剛材	○	
中間垂直補剛材	○	
水平補剛材	○	・ 切欠形状は全箇所共通とする。
支点補強リブ	○	
伸縮装置取り合い孔	×	
スラブアンカー	○	
上フランジスタッド	○	
巻き立てコンクリート部ウェブスタッド	×	
ソールプレート	○	
落橋防止装置関連部材	×	
足場用吊金具	○	
架設用吊金具	○	
排水コネクション・貫通孔・ダブリング	○	・ 付属物情報で対応
その他付属物関連部材	△	・ 下記の部材は付属物情報で対応
		検査路受け台
		架設用吊り金具
横桁		
中間横桁 BH	○	
中間横桁 B 鋼	○	
横桁フランジ・ウェブ（両側払込タイプ）	○	
横桁フランジ・ウェブ（両側仕口タイプ）	○	
横桁フランジ・ウェブ（払込・仕口混在タイプ）	○	
フランジ継手	○	
コネクション・フランジ継手	○	
ウェブ継手	○	
ウェブ継手（重ね継手）	○	
垂直補剛材	○	
水平補剛材	○	
横桁ウェブマンホール・カラープレート	○	

巻き立てコンクリート部ウェブスタッド	×	
検査路受け台	○	・ 付属物情報で対応
排水コネクション	×	
排水貫通孔・ダブリング	○	
その他付属物関連部材	×	
ブラケット（端ブラケット）		
フランジ・ウェブ	○	
フランジ継手	○	
ウェブ継手	○	
垂直補剛材	○	
その他部材	×	
対傾構		
端対傾構上弦材	○	
端対傾構下弦材	○	
端対傾構斜材	○	
端対傾構側ガセット（上側）	○	
端対傾構側ガセット（下側）	○	
端対傾構側中間ガセット	○	
中間対傾構上弦材	○	
中間対傾構下弦材	○	
中間対傾構斜材	○	
中間対傾構側ガセット（上側）	○	
中間対傾構側ガセット（下側）	○	
中間対傾構側中間ガセット	○	
検査路受け台	○	・ 付属物情報で対応
その他付属関連部材	×	
横構		
下横構弦材	○	
下横構ガセット	○	
上横構弦材	×	
上横構ガセット	×	
その他付属関連部材	×	

1.2 ファイル名・ファイル形式

ファイル名：任意

ファイル形式：xml

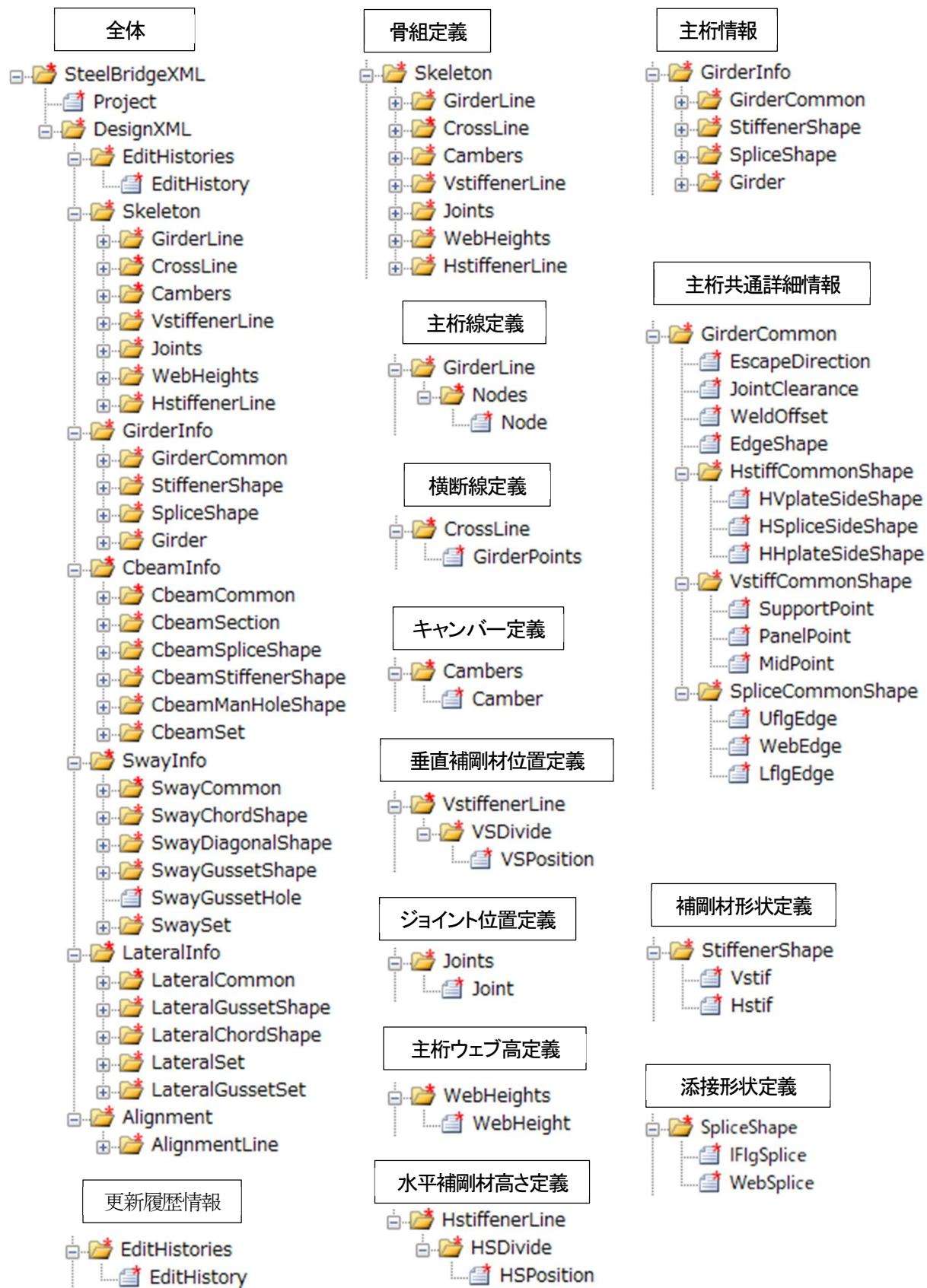
1.3 その他特記事項

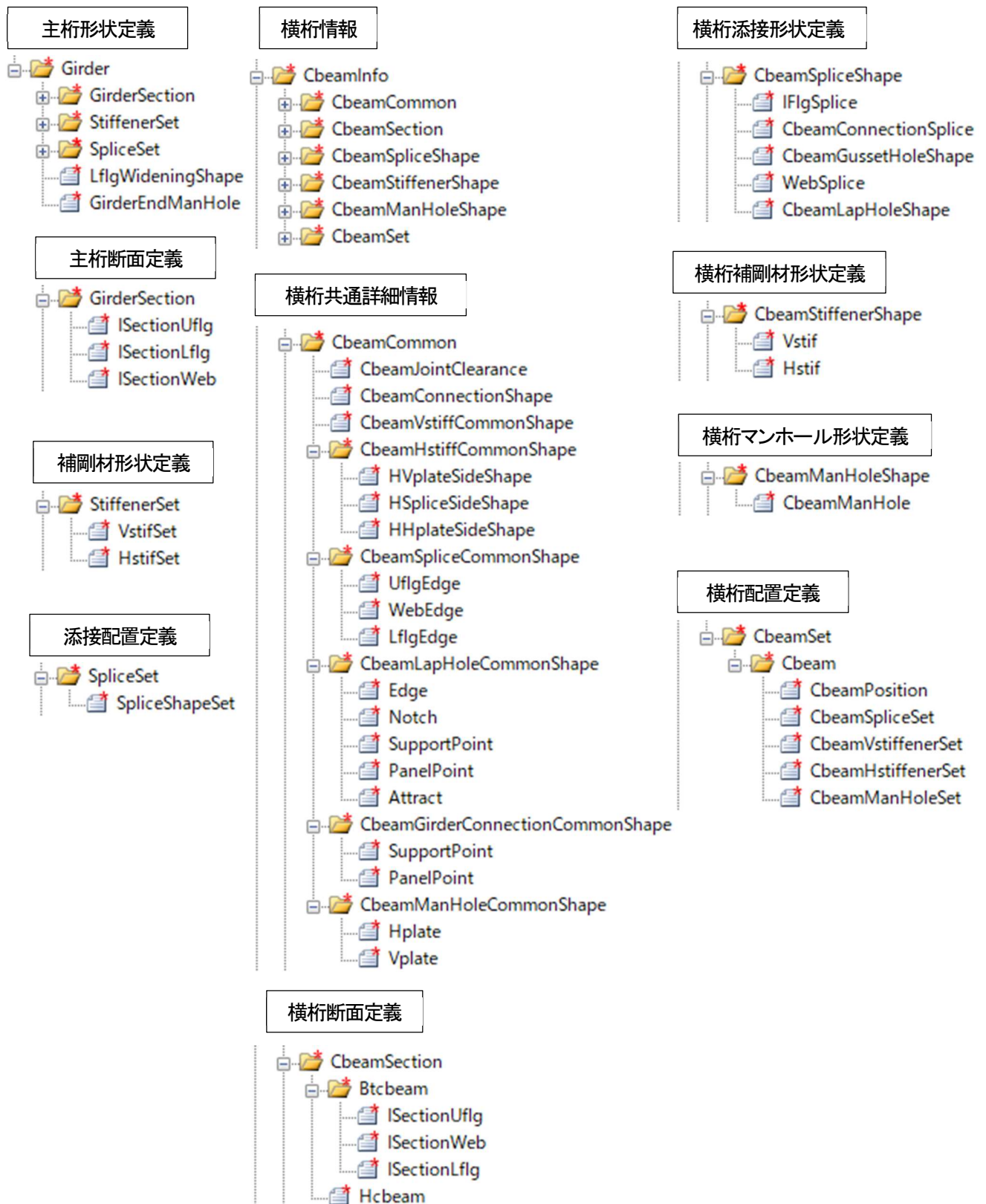
- ・ コメントについて
"

2. 解説

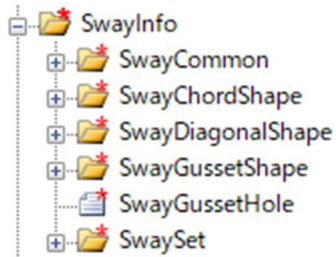
2.1 全体構成の解説

本書で定義する基本要素、構成を以下に示す。(Ver1.3 の基本要素、構成)

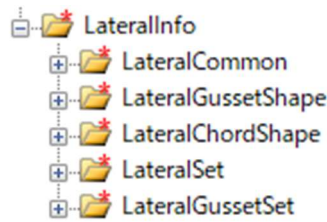




対傾構情報



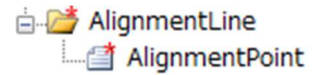
横構情報



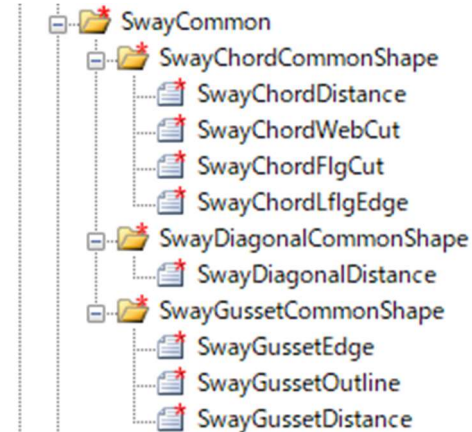
線形情報



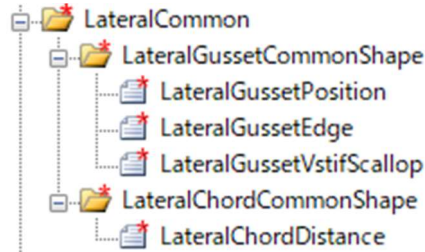
線形ライン定義



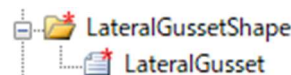
対傾構共通詳細情報



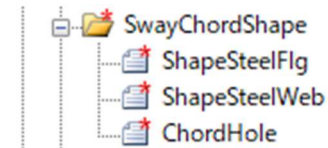
横構共通詳細情報



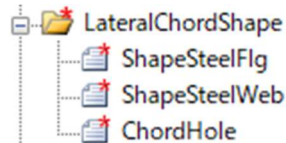
ガセット形状定義



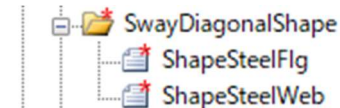
上弦材・下弦材形状定義



形鋼形状定義



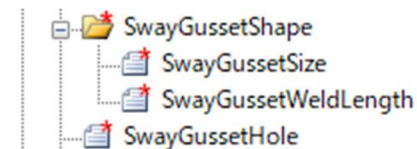
斜材形状定義



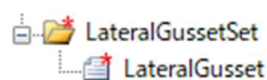
横構配置定義



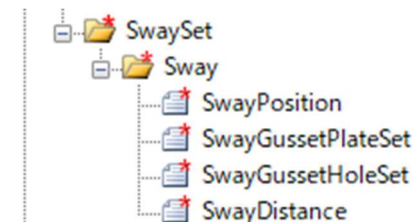
ガセット形状定義



ガセット配置定義



対傾構配置定義



2.2 表記方法の例

①要素名	Skeleton	②論理名	骨組定義
③パス	/Skeleton		
④子要素	<u>GirderLine</u> <u>CrossLine</u> <u>Cambers</u> <u>VstiffenerLine</u> <u>Joints</u> <u>WebHeights</u> <u>HstiffenerLine</u>		
⑤型	—		
⑥出現回数			
⑦属性			
⑧内容			
記入例	<pre> <Skeleton> <GirderLine name="G1"> <Nodes> <Node no="1" x="0.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="2" x="1.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="3" x="2.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> . . . </Nodes> <CrossLine name="GE1" attribute="EGIRDER"> <GirderPoints name="G1" point="1"/> <GirderPoints name="G2" point="1"/> </CrossLine> . . . </GirderLine> . . . </Skeleton> </pre>		

①要素名・・・要素の名称

②論理名・・・要素名の日本語注記

③パス・・・スキーマ内におけるパス

④子要素・・・要素に含まれる他の要素

⑤型・・・要素のデータ型

⑥出現回数・・・要素を使用できる回数を定義したもの

⑦属性・・・属性は要素の開始タグの中に指定することができ、その要素が表すデータ構造についての説明をさらに加えることができる。この欄には、属性名とそれらの型、必須記入か否か、記入方法や例を表記

⑧内容・・・要素の内容を説明

3. 要素

要素名	SteelBridgeXML		論理名		
パス	/				
子要素	<u>Project</u> <u>DesignXML</u> <u>MaterialsXML</u> <u>BlockXML</u> <u>AccessoryXML</u>				
型	－				
出現回数	1				
内容	ルート要素				
属性	date	日付	xs:date	必須	データ作成日
	time	時間	xs:time	必須	データ作成時間
内容	<SteelBridgeXML date="2023-04-03" time="14:30:00"> </SteelBridgeXML>				

3.1 プロジェクト情報

要素名	Project		論理名	プロジェクト情報	
パス	/Project				
子要素	－				
型	－				
出現回数	0 又は 1				
内容	プロジェクト情報を定義する				
属性	name	名称	xs:string	任意	工事名称
記入例	<Project name="〇〇橋梁"/>				

3.2 主構造設計情報

要素名	DesignXML		論理名	主構造設計情報	
パス	/				
子要素	<u>EditHistories</u> <u>Skeleton</u> <u>GirderInfo</u> <u>CbeamInfo</u> <u>SwayInfo</u> <u>LateralInfo</u> <u>BracketInfo</u> <u>Alignment</u>				
型	—				
出現回数	1				
内容	ルート要素				
属性	type	橋種	xs:string	必須	桁桁版：I 箱桁版：BOX
	version	バージョン	xs:string	必須	DesignXML のバージョン
記入例	<DesignXML type="I" version="1.2"> </DesignXML>				

3.3 更新履歴情報

要素名	EditHistories	論理名	更新履歴情報
パス	/EditHistories		
子要素	<u>EditHistory</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	更新履歴情報を子要素で定義する		
記入例	<EditHistories> <EditHistory id="1" state="CREATED" editor="橋建一郎" company="鋼橋ファブリーケータ A" application="アプリケーション A" applicationVersion="1.0" date="2023-04-03" time="12:34:56"/> <EditHistory id="2" state="MODIFIED" editor="橋建次郎" company="鋼橋ファブリーケータ B" application="アプリケーション B" applicationVersion="1.0" date="2023-04-03" time="15:34:56"/> </EditHistories>		

3.3.1 更新情報

要素名	EditHistory		論理名	更新情報	
パス	/EditHistories/EditHistory				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	更新情報を定義する				
属性	id	ID	xs:string	必須	
	state	状態	xs:string	必須	以下から選択 "CREATED" : 新規作成 "MODIFIED" : 更新
	editor	作成者名	xs:string	必須	
	company	会社名	xs:string	必須	
	application	アプリケーション名	xs:string	必須	
	applicationVersion	アプリケーションのバージョン	xs:string	必須	
	date	日付	xs:string	必須	
	time	時間	xs:string	必須	
記入例	<EditHistory id="1" state="CREATED" editor="橋建一郎" company="鋼橋ファブリケータ A" application="アプリケーション A" applicationVersion="1.0" date="2023-04-03" time="12:34:56"/>				

3.4 骨組定義

要素名	Skeleton	論理名	骨組定義
パス	/Skeleton		
子要素	<u>GirderLine</u> <u>OutSlabLine</u> <u>CrossLine</u> <u>Gambers</u> <u>VstiffenerLine</u> <u>Joints</u> <u>WebHeights</u> <u>HstiffenerLine</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	骨組形状を定義する		
記入例	<pre> <Skeleton> <GirderLine name="G1"> <Nodes> <Node no="1" x="0.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="2" x="1.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="3" x="2.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> . . . </Nodes> </GirderLine> <OutSlabLine name="L1"> <Nodes> <Node no="1" x="0.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> <Node no="2" x="1.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> <Node no="3" x="2.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> . . . </Nodes> </OutSlabLine> <OutSlabLine name="R1"> <Nodes> <Node no="1" x="0.0000" y="-2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> <Node no="2" x="1.0000" y="-2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> <Node no="3" x="2.0000" y="-2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> . . . </Nodes> </OutSlabLine> <CrossLine name="GE1" attribute="EGIRDER"> <GirderPoints name="G1" point="1"/> <GirderPoints name="G2" point="1"/> </CrossLine> . . . </Skeleton> </pre>		

3.4.1 主桁線定義

要素名	GirderLine		論理名	主桁線定義	
パス	/Skeleton/GirderLine				
子要素	<u>Nodes</u>				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	主桁の格点座標を定義する				
属性	name	主桁名称	xs:string	必須	
記入例	<pre><GirderLine name="G1"> <Nodes> <Node no="1" x="0.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="2" x="1.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="3" x="2.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="4" x="3.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="5" x="4.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="6" x="5.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> </Nodes> </GirderLine></pre>				

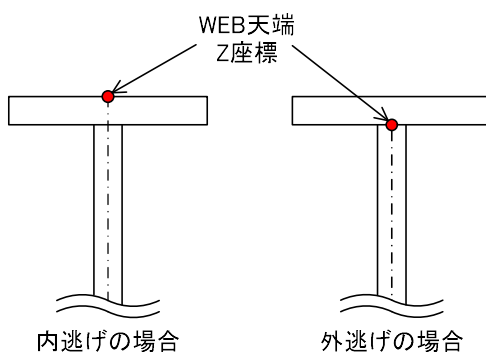
3.4.2 格点定義

要素名	Nodes	論理名	格点定義
パス	/Skeleton/GirderLine/Nodes		
子要素	<u>Node</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	格点の並びを定義する		
記入例	<pre> <Nodes> <Node no="1" x="0.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="2" x="1.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="3" x="2.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="4" x="3.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="5" x="4.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="6" x="5.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> </Nodes> </pre>		

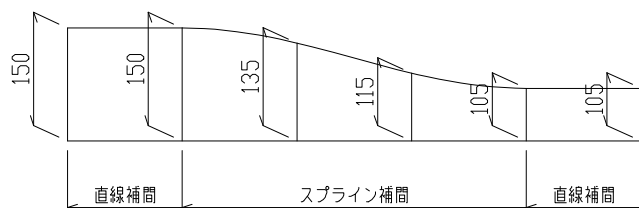
3.4.3 座標定義

要素名	Node		論理名	座標定義	
パス	/Skeleton/GirderLine/Nodes/Node				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	X 座標,Y 座標,WEB 天端 Z 座標,平面,側面の補間方法を定義する				
属性	no	格点番号	xs:int	必須	
	x	X 座標	xs:double	必須	単位は m(メートル)とし、小数点以下第 4 位まで指定
	y	Y 座標	xs:double	必須	単位は m(メートル)とし、小数点以下第 4 位まで指定
	z	WEB 天端 Z 座標	xs:double	必須	単位は m(メートル)とし、小数点以下第 4 位まで指定
	plane	平面補間方法	xs:string	必須	以下より選択 直線 : S 3 次曲線 : A
	side	側面補間方法	xs:string	必須	以下より選択 直線 : S 3 次曲線 : A
記入例	<Nodes> <Node no="1" x="0.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="2" x="1.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="3" x="2.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="4" x="3.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="5" x="4.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> <Node no="6" x="5.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/> </Nodes>				

WEB天端Z座標の位置



平面・側面の補間は、次の点との間の補間方法を以下より選択するため、最後の桁端はblankとする。
S : 直線 A : 3次曲線(スプライン)



3.4.4 端ブラケット設置のための床版外側線定義

要素名	OutSlabLine		論理名	端ブラケット設置のための床版外側線定義	
パス	/Skeleton/OutSlabLine				
子要素	<u>Nodes</u>				
型	—				
出現回数	2				
内容	左右の床版外側線（床版下面）の格点座標を定義する				
属性	name	主桁名称	xs:string	必須	
記入例	<pre><OutSlabLine name="L1"> <Nodes> <Node no="1" x="0.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> <Node no="2" x="1.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> <Node no="3" x="2.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> . . . </Nodes> </OutSlabLine name="R1"> <Nodes> <Node no="1" x="0.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> <Node no="2" x="1.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> <Node no="3" x="2.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> . . . </Nodes> </OutSlabLine></pre>				

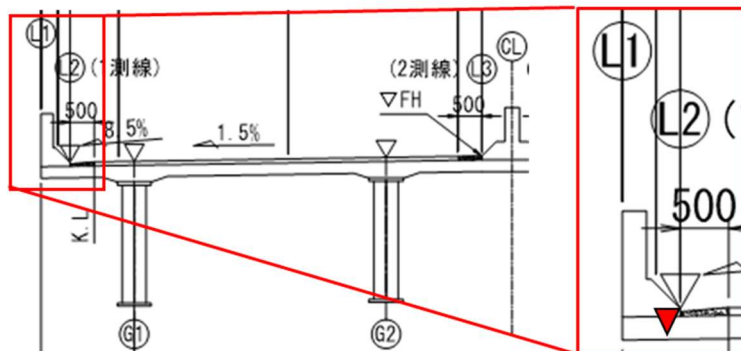
3.4.5 格点定義

要素名	Nodes	論理名	格点定義
パス	/Skeleton/OutSlabLine/Nodes		
子要素	<u>Node</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	格点の並びを定義する		
記入例	<pre> <Nodes> <Node no="1" x="0.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> <Node no="2" x="1.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> <Node no="3" x="2.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> . . . </Nodes> </pre>		

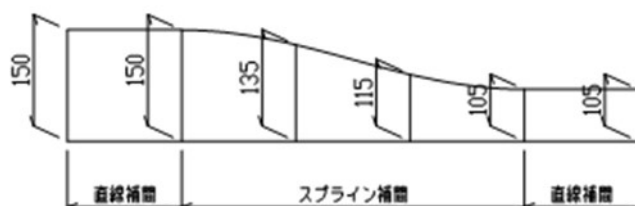
3.4.6 座標定義

要素名	Node		論理名	座標定義	
パス	/Skeleton/OutSlabLine/Nodes/Node				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	X 座標,Y 座標,床版下縁 Z 座標,平面,側面の補間方法を定義する				
属性	no	格点番号	xs:int	必須	
	x	X 座標	xs:double	必須	単位は m(メートル)とし、小数点以下第 4 位まで指定
	y	Y 座標	xs:double	必須	単位は m(メートル)とし、小数点以下第 4 位まで指定
	z	床版下縁 Z 座標	xs:double	必須	単位は m(メートル)とし、小数点以下第 4 位まで指定
	plane	平面補間方法	xs:string	必須	以下より選択 直線 : S 3 次曲線 : A
	side	側面補間方法	xs:string	必須	以下より選択 直線 : S 3 次曲線 : A
記入例	<Node no="1" x="0.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> <Node no="2" x="1.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> <Node no="3" x="2.0000" y="2.0000" z="9.68000" plane="S" side="S"/> ...				

床版下縁Z座標の位置



平面・側面の補間は、次の点との間の補間方法を
以下より選択するため、最後の桁端はblankとする。
S：直線 A：3次曲線(スプライン)



3.4.7 横断線定義

要素名	CrossLine		論理名	横断線定義	
パス	/Skeleton/CrossLine				
子要素	GirderPoints				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	横断線名称、横断線種類を定義する				
属性	name	横断線名称	xs:string	必須	以下より選択 桁端：EGIRDER 端支点：ESUPPORT 中間支点：MSUPPORT 格点：POINT
	attribute	横断線種類	xs:string	必須	
記入例	<CrossLine name="GE1" attribute="EGIRDER"> <GirderPoints name="G1" point="1"/> <GirderPoints name="G2" point="1"/> </CrossLine>				

3.4.8 主桁・格点並びの定義

要素名	GirderPoints		論理名	主桁・格点並びの定義	
パス	/Skeleton/CrossLine/GirderPoints				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	主桁・格点並びを定義する				
属性	name	主桁名称	xs:string	必須	
	point	格点番号	xs:int	必須	
記入例	<GirderPoints name="G1" point="1"/> <GirderPoints name="G2" point="1"/>				

3.4.9 主桁毎の死荷重キャンバーの定義

要素名	Cambers		論理名	主桁毎のキャンバー定義	
パス	/Skeleton/Cambers				
子要素	<u>Camber</u>				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	主桁毎のキャンバーを定義する				
属性	name	主桁名称	xs:string	必須	
記入例	<Cambers name="G1"> <Camber name="S1" zcamber="0.0"/> <Camber name="C1" zcamber="42.0"/> <Camber name="C2" zcamber="76.4"/> <Camber name="C3" zcamber="120.6"/> <Camber name="C4" zcamber="78.8"/> <Camber name="C5" zcamber="10.0"/> <Camber name="S2" zcamber="0.0"/> </Cambers>				

3.4.10 キャンバーの定義

要素名	Camber		論理名	キャンバー定義	
パス	/Skeleton/Cambers/Camber				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	横断線名称、Z キャンバー値を定義する				
属性	name	横断線名称	xs:string	必須	
	zcamber	Z キャンバー値	xs:double	必須	
記入例	<Camber name="S1" zcamber="0.0"/> <Camber name="C1" zcamber="42.0"/> <Camber name="C2" zcamber="76.4"/>				

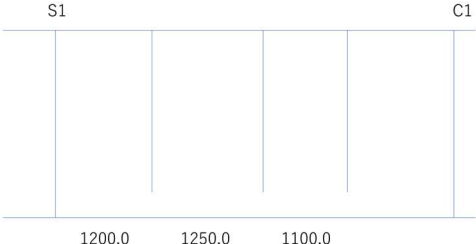
3.4.11 垂直補剛材位置定義

要素名	VstiffenerLine		論理名	垂直補剛材位置定義	
パス	/Skeleton/VstiffenerLine				
子要素	<u>VSDivide</u>				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	主桁毎の垂直補剛材配置位置を定義する				
属性	name	主桁名称	xs:string	必須	
記入例	<VstiffenerLine name="G1"> <VSDivide start="S1" end="C1" num="4"/> <VSDivide start="C1" end="C2" num="-1"> <VSPosition distance="1200.0"/> <VSPosition distance="1250.0"/> <VSPosition distance="1100.0"/> </VSDivide> </VstiffenerLine>				

3. 4. 12 分割数定義

要素名	VSDivide		論理名	分割数定義	
パス	/Skeleton/VstiffenerLine/VSDivide				
子要素	VSPosition				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	垂直補剛材の分割数を定義する				
属性	start	始点側格点名	xs:string	必須	横断名称
	end	終点側格点名	xs:string	必須	横断名称
	num	分割数	xs:int	必須	等分割の場合は 1 以上の整数を指定。 不等分割の場合は-1 を指定。
記入例	<VSDivide start=S1 end=C1 num=4/> <VSDivide start=S1 end=C1 num="-1"> <VSPosition distance="1200.0"/> <VSPosition distance="1250.0"/> <VSPosition distance="1100.0"/> </VSDivide>				

3. 4. 13 垂直補剛材間隔定義

要素名	VSPosition		論理名	垂直補剛材間隔定義	
パス	/Skeleton/VstiffenerLine/VSDivide/VSPosition				
子要素	—				
型	—				
出現回数	等分割の場合は 0、不等分割の場合は 1 以上				
内容	垂直補剛材間隔を定義する				
属性	distance	垂直補剛材間隔	xs:double	必須	
記入例	<VSDivide start=S1 end=C1 num="-1"> <VSPosition distance="1200.0"/> <VSPosition distance="1250.0"/> <VSPosition distance="1100.0"/> </VSDivide> 				

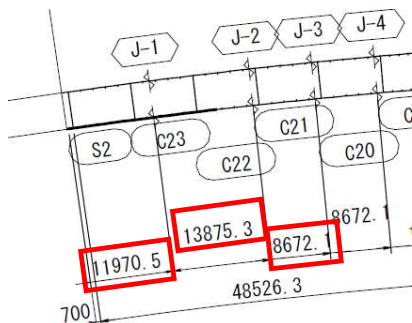
3. 4. 14 主桁毎のジョイント位置定義

要素名	Joints		論理名	主桁毎のジョイント位置定義	
パス	/Skeleton/Joints				
子要素	Joint				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	主桁毎のジョイント位置を定義する				
属性	name	主桁名称	xs:string	必須	
記入例	<Joints name="G1"> <Joint name="J1" length="9856.4"/> <Joint name="J2" length="9856.4"/> <Joint name="J3" length="9856.4"/> <Joint name="J4" length="9856.4"/> <Joint name="J5" length="9856.4"/> <Joint name="J6" length="9856.4"/> <Joint name="J7" length="9856.4"/> <Joint name="J8" length="9856.4"/> </Joints>				

3. 4. 15 ブロック長定義

要素名	Joint		論理名	ブロック長定義	
パス	/Skeleton/Joints/Joint				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	JOINT 名称、ブロック長を定義する				
属性	name	JOINT 名称	xs:string	必須	“J”+ジョイント番号
	length	ブロック長	xs:double	必須	
記入例	<Joint name="J1" length="9856.4"/> <Joint name="J2" length="9856.4"/> <Joint name="J3" length="9856.4"/> <Joint name="J4" length="9856.4"/>				

ブロック長は桁なりの平面投影長を指定する。



3.4.16 主桁毎のウェブ高定義

要素名	WebHeights		論理名	主桁毎のウェブ高定義	
パス	/Skeleton/WebHeights				
子要素	<u>WebHeight</u>				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	主桁毎のウェブ高を定義する				
属性	name	主桁名称	xs:string	必須	
記入例	<WebHeights name="G1"> <WebHeight name="GE1" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/> <WebHeight name="S1" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/> <WebHeight name="C1" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/> <WebHeight name="C2" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/> </WebHeights>				

3.4.17 ウェブ高定義

要素名	WebHeight		論理名	ウェブ高定義	
パス	/Skeleton/WebHeights/WebHeight				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	横断線名称、横断からの距離、ウェブ高さ、側面補間方法を定義する				
属性	name	横断線名称	xs:string	必須	
	length	距離	xs:double	必須	ウェブ高を指定する位置の横断からの距離
	webh	ウェブ高	xs:double	必須	
	side	側面補間方法	xs:string	必須	以下より選択 直線：S 3 次曲線：A 最終区間は、ブランクとする
記入例	<WebHeight name="GE1" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/> <WebHeight name="S1" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/> <WebHeight name="C1" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/> <WebHeight name="C2" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>				

3. 4. 18 水平補剛材高さ定義

要素名	HstiffenerLine		論理名	水平補剛材高さ定義	
パス	/Skeleton/HstiffenerLine				
子要素	<u>HSDivide</u>				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	主桁毎の水平補剛材位置を定義する				
属性	name	主桁名称	xs:string	必須	
記入例	<pre><HstiffenerLine name="G1"> <HSDivide> <HSPosition ratio="0.2" base="U"/> <HSPosition ratio="0.2" base="L"/> </HSDivide> </HstiffenerLine></pre>				

3. 4. 19 水平補剛材配置定義

要素名	HSDivide	論理名	水平補剛材配置定義
パス	/Skeleton/HstiffenerLine/HSDivide		
子要素	<u>HSPosition</u>		
型	—		
出現回数	1 以上		
内容	水平補剛材配置を定義する。		
記入例	<HSDivide> <HSPosition ratio="0.2" base="U"/> <HSPosition ratio="0.2" base="L"/> </HSDivide>		

3. 4. 20 水平補剛材比率定義

要素名	HSPosition		論理名	水平補剛材比率定義	
パス	/Skeleton/HstiffenerLine/HSDivide/HSPosition				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	水平補剛材位置のウェブ高に対する比率を定義する。最大段数は6 段とする。				
属性	ratio	水平補剛材位置のウェブ高に対する比率	xs:double	必須	
	base	ウェブの基準端	xs:string	必須	以下より選択 上端側 : U 下端側 : L
記入例	<HSPosition ratio="0.2" base="U"/> <HSPosition ratio="0.2" base="L"/>				

3.5 主桁情報

要素名	GirderInfo	論理名	主桁情報
パス	/GirderInfo		
子要素	<u>GirderCommon</u> <u>StiffenerShape</u> <u>SpliceShape</u> <u>SolePlateShape</u> <u>SlabStopperShape</u> <u>ScaffoldLugShape</u> <u>WebHoleShape</u> <u>Girder</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	主桁情報を定義する		
記入例	<pre> <GirderInfo> <GirderCommon> <EscapeDirection uflg="OUTSIDE" lflg="INSIDE"/> . . . </GirderCommon> <StiffenerShape> . . . </StiffenerShape> <SpliceShape> . . . </SpliceShape> <SolePlateShape> . . . </SolePlateShape> <SlabStopperShape> . . . </SlabStopperShape> <ScaffoldLugShape> . . . </ScaffoldLugShape> <WebHoleShape> . . . </WebHoleShape> <Girder Name="G1"> <GirderSection no="1" length="11970.5"> <ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/> <ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/> <ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/> </GirderSection> . . . <LflgWideningShape position="S1" width="" length="" slope="5" tr="15.0" lg="20.0" angle="0° 0' 0" " id="SP1"/> . . . </Girder> </GirderInfo> </pre>		

3.5.1 主桁共通詳細情報

要素名	GirderCommon	論理名	主桁共通詳細情報
パス	/GirderInfo/GirderCommon		
子要素	<u>EscapeDirection</u> <u>JointClearance</u> <u>WeldOffset</u> <u>EdgeShape</u> <u>HstiffCommonShape</u> <u>VstiffCommonShape</u> <u>SpliceCommonShape</u> <u>SRVstiffCommonShape</u> <u>JUstiffCommonShape</u> <u>WebHoleCommonShape</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	主桁共通詳細情報を定義する		
記入例	<pre> <GirderCommon> <EscapeDirection uflg="OUTSIDE" lflg="INSIDE"/> <JointClearance uflg="0.0" web="0.0" lflg="0.0"/> <WeldOffset web="100.0"/> <EdgeShape uflg="TYPE1" lflg="TYPE1" length="0.0"/> <HstiffCommonShape> <HVplateSideShape space="35.0" length="10.0" angle="45"/> <HSpliceSideShape space="20.0" length="10.0" angle="45"/> <HHplateSideShape space="20.0" limit="100.0" length="10.0" angle="45"/> </HstiffCommonShape> <VstiffCommonShape> <SupportPoint weldu="15C" weldl="15C" length="10.0" angle="45"/> <PanelPoint weldu="35R" weldl="35R" length="10.0" angle="45"/> <MidPoint weldu="35R" weldl="35R" clearance="35.0"/> </VstiffCommonShape> <SpliceCommonShape> <UflgEdge lg="40.0" tr_outside="40.0" tr_inside="40.0"/> <WebEdge lg="40.0" hg="40.0" slope="3.0"/> <LflgEdge lg="40.0" tr="40.0"/> </SpliceCommonShape> <SRVstiffCommonShape> <SRVstiffPoint weldu="15C" weldl="15C" length="15.0" angle="45"/> <SRVstiffFlangeNotchShape spaceu="0.0" width="54.0" length="54.0"/> </SRVstiffCommonShape> <JUstiffCommonShape> <JUstiffPoint weldu="15C" weldl="15C" length="15.0" angle="45"/> <JUstiffFlangeNotchShape spaceu="0.0" width="54.0" length="54.0"/> </JUstiffCommonShape> <WebHoleCommonShape space="15.0"/> </GirderCommon> </pre>		

3.5.2 板厚逃げ方向定義

要素名	EscapeDirection		論理名	板厚逃げ方向定義	
パス	/GirderInfo/GirderCommon/EscapeDirection				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	板厚逃げ方向を定義する				
属性	uflg	上フランジ	xs:string	必須	以下より選択 外逃げ：OUTSIDE 内逃げ：INSIDE
	lflg	下フランジ	xs:string	必須	以下より選択 外逃げ：OUTSIDE

					内逃げ : INSIDE
記入例	<EscapeDirection uflg="OUTSIDE" lflg="INSIDE"/>				

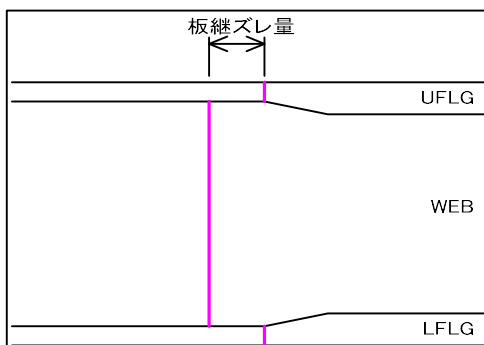
3.5.3 ジョイントクリアランス定義

要素名	JointClearance		論理名		ジョイントクリアランス定義
パス	/GirderInfo/GirderCommon/JointClearance				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1				
内容	上フランジ、ウェブ、下フランジのクリアランスを定義する				
属性	uflg	上フランジ	xs:double	必須	※「0.0」を初期値とする
	web	ウェブ	xs:double	必須	※「0.0」を初期値とする
	lflg	下フランジ	xs:double	必須	※「0.0」を初期値とする
記入例	<JointClearance uflg="0.0" web="0.0" lflg="0.0"/>				

3.5.4 板継ズレ量定義

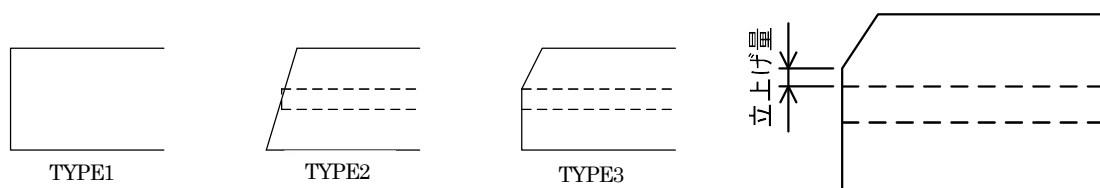
要素名	WeldOffset		論理名		板継ズレ量定義
パス	/GirderInfo/GirderCommon/WeldOffset				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	上下フランジとウェブの板継位置のズレ量を定義する				
属性	web	上下フランジとウェブのズレ量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「100.0」とする
記入例	<WeldOffset web="100.0"/>				

板継のズレ方向は低材質・低板厚側とする



3.5.5 フランジ材端形状定義

要素名	EdgeShape			論理名	フランジ材端形状定義
パス	/GirderInfo/GirderCommon/EdgeShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	上下フランジの材端形状を定義する				
属性	uflg	上フランジ	xs:string	必須	以下より選択 直角：TYPE1 横断なり全幅：TYPE2 横断なり半幅：TYPE3 ※「TYPE1」を初期値とする
	lflg	下フランジ	xs:string	必須	以下より選択 直角：TYPE1 横断なり全幅：TYPE2 横断なり半幅：TYPE3 ※「TYPE1」を初期値とする
	length	立上げ量	xs:double	必須	TYPE3 の場合、定義 ※「0.0」を初期値とする
記入例	<EdgeShape uflg="TYPE1" lflg="TYPE1" length="0.0"/>				

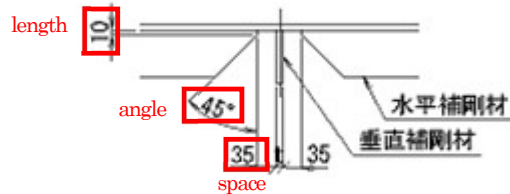


3.5.6 水平補剛材空き量

要素名	HstiffCommonShape	論理名	水平補剛材空き量
パス	/GirderInfo/GirderCommon/HstiffCommonShape		
子要素	<u>HVplateSideShape</u> <u>HSspliceSideShape</u> <u>HHplateSideShape</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	水平補剛材と垂直補剛材部、添接板部、横桁フランジ部の空き量を定義する		
記入例	<pre> <HstiffCommonShape> <HVplateSideShape space="35.0" length="10.0" angle="45"/> <HSspliceSideShape space="20.0" length="10.0" angle="45"/> <HHplateSideShape space="20.0" limit="100.0" length="10.0" angle="45"/> </HstiffCommonShape> </pre>		

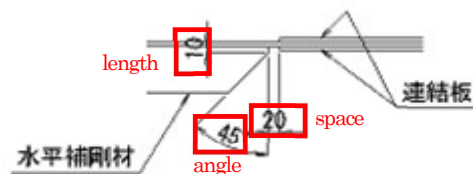
3.5.7 垂直補剛材部空き量

要素名	HVplateSideShape			論理名	垂直補剛材部空き量
パス	/GirderInfo/GirderCommon/HstiffCommonShape/HVplateSideShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	垂直補剛材部の空き量を定義する				
属性	space	空き量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「35.0」とする
	length	残し量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「10.0」とする
	angle	角度	xs:int	必須	※設計システムの標準値は「45」とする
記入例	<HVplateSideShape space="35.0" length="10.0" angle="45"/>				



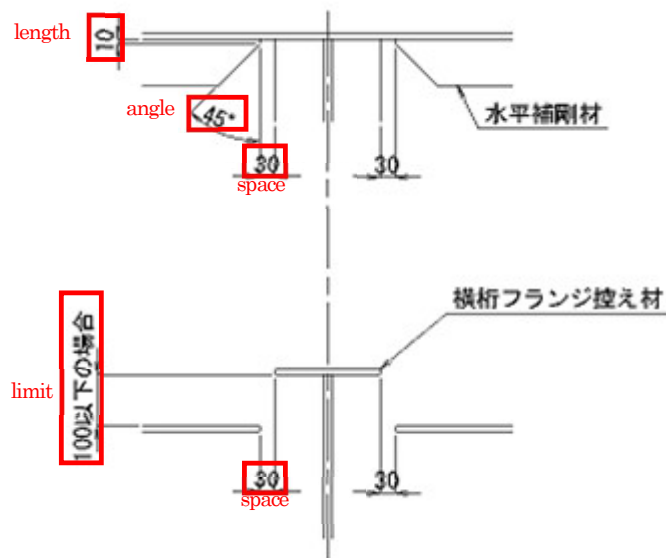
3.5.8 添接部空き量

要素名	HSpliceSideShape			論理名	添接部空き量
パス	/GirderInfo/GirderCommon/HstiffCommonShape/HSpliceSideShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	添接部の空き量を定義する				
属性	space	空き量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする
	length	残し量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「0.0」とする
	angle	角度	xs:int	必須	※設計システムの標準値は「0」とする
記入例	<HSpliceSideShape space="20.0" length="0.0" angle="0"/>				



3.5.9 横桁フランジ部空き量

要素名	HHplateSideShape		論理名	横桁フランジ部空き量	
パス	/GirderInfo/GirderCommon/HstiffCommonShape/HHplateSideShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	横桁フランジ部の空き量を定義する				
属性	space	空き量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする
	limit	横桁フランジからの高さ寸法上限値	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「100.0」とする
	length	残し量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「10.0」とする
	angle	角度	xs:int	必須	※設計システムの標準値は「45」とする
記入例	<HHplateSideShape space="20.0" limit="100.0" length="10.0" angle="45"/>				

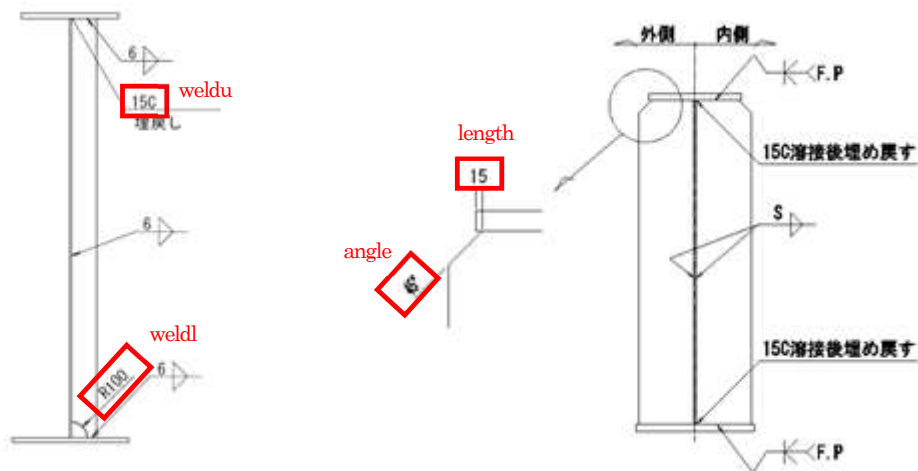


3. 5. 10 垂直補剛材切欠き

要素名	VstiffCommonShape	論理名	垂直補剛材切欠き
パス	/GirderInfo/GirderCommon/VstiffCommonShape		
子要素	SupportPoint PanelPoint MidPoint SVstiffFlangeNotchShape		
型	—		
出現回数	1		
内容	支点上垂直補剛材、格点上垂直補剛材、中間垂直補剛材の切欠きを定義する		
記入例	<pre> <VstiffCommonShape> <SupportPoint weldu="15C" weldl="15C" length="10.0" angle="45"/> <PanelPoint weldu="35R" weldl="35R" length="10.0" angle="45"/> <MidPoint weldu="35R" weldl="35R" clearance="35.0"/> <SVstiffFlangeNotchShape spaceu="0.0" width="54.0" length="54.0"/> </VstiffCommonShape> </pre>		

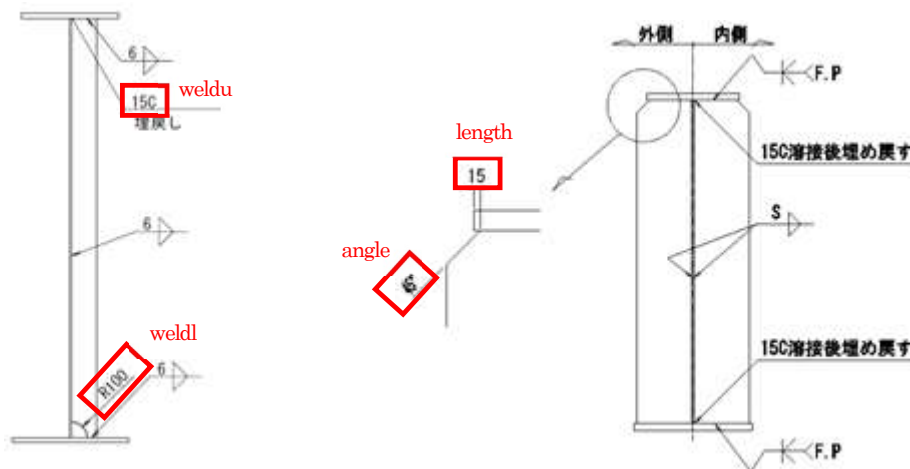
3. 5. 11 支点上垂直補剛材切欠き

要素名	SupportPoint		論理名	支点上垂直補剛材切欠き	
パス	/GirderInfo/GirderCommon/VstiffCommonShape/SupportPoint				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	支点上垂直補剛材の切欠きを定義する				
属性	weldu	溶接辺側上側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「15C」とする
	weldl	溶接辺側下側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「15C」とする
	length	上側切欠き残し量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「10.0」とする
	angle	上側切欠き角度	xs:int	必須	※設計システムの標準値は「45」とする
記入例	<SupportPoint weldu="15C" weldl="15C" length="10.0" angle="45"/>				



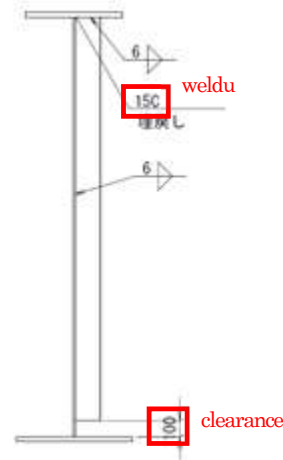
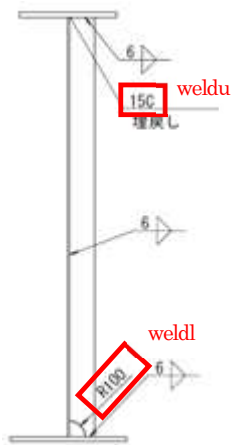
3. 5. 12 格点上垂直補剛材切欠き

要素名	PanelPoint		論理名	格点上垂直補剛材切欠き	
パス	/GirderInfo/GirderCommon/VstiffCommonShape/PanelPoint				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	格点上垂直補剛材の切欠きを定義する				
属性	weldu	溶接辺側上側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合： 「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「35R」とする
	weldl	溶接辺側下側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合： 「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「35R」とする
	length	上側切欠き残し量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「10.0」とする
	angle	上側切欠き角度	xs:int	必須	※設計システムの標準値は「45」とする
記入例	<PanelPoint weldu="35R" weldl="35R" length="10.0" angle="45"/>				



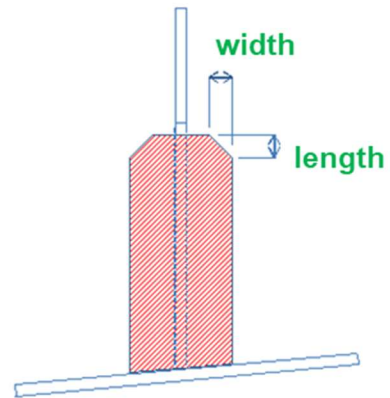
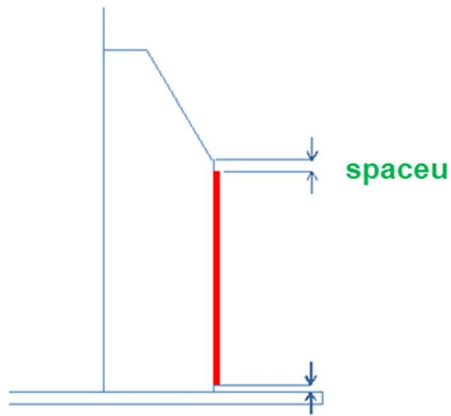
3.5.13 中間垂直補剛材切欠き

要素名	MidPoint		論理名	中間垂直補剛材切欠き	
パス	/GirderInfo/GirderCommon/VstiffCommonShape/MidPoint				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	中間垂直補剛材の切欠きを定義する				
属性	weldu	溶接辺側上側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「35R」とする
	weldl	溶接辺側下側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「35R」とする
	clearance	下側空き量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「35.0」とする
記入例	<MidPoint weldu="35R" weldl="35R" clearance="35.0"/>				



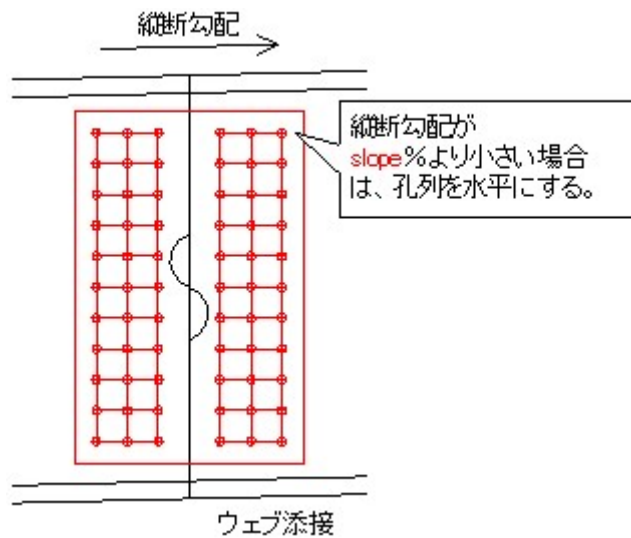
3.5.14 支点上補剛材付きフランジ空き量・切欠き形状

要素名	SVstiffFlangeNotchShape		論理名	支点上補剛材付きフランジ空き量・切欠き形状	
パス	/GirderInfo/GirderCommon/VstiffCommonShape/SVstiffFlangeNotchShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	0 か 1				
内容	支点上補剛材付きフランジ空き量・切欠き形状を定義する 垂直補剛材形状定義（GirderInfo/StiffenerShape/Vstif）に適用する				
属性	spaceu	上側空き量	xs:double	必須	取付位置はフランジ幅中心とする
	width	上側切欠き幅	xs:double	必須	
	length	上側切欠き長さ	xs:double	必須	
記入例	<SVstiffFlangeNotchShape spaceu="0.0" width="54.0" length="54.0"/>				



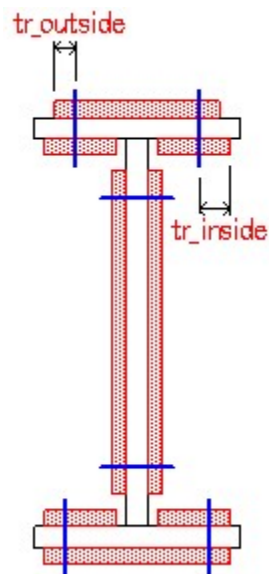
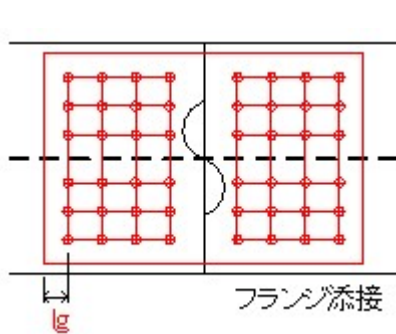
3. 5. 15 添接板材端形状

要素名	SpliceCommonShape	論理名	添接板材端形状
パス	/GirderInfo/GirderCommon/SpliceCommonShape		
子要素	UflgEdge WebEdge LflgEdge		
型	—		
出現回数	1 以上		
内容	上フランジ、ウェブ、下フランジ添接板材端形状を定義する		
記入例	<pre> <SpliceCommonShape> <UflgEdge lg="40.0" tr_outside="40.0" tr_inside="40.0"/> <WebEdge lg="40.0" hg="40.0" slope="3.0"/> <LflgEdge lg="40.0" tr="40.0"/> </SpliceCommonShape> </pre>		



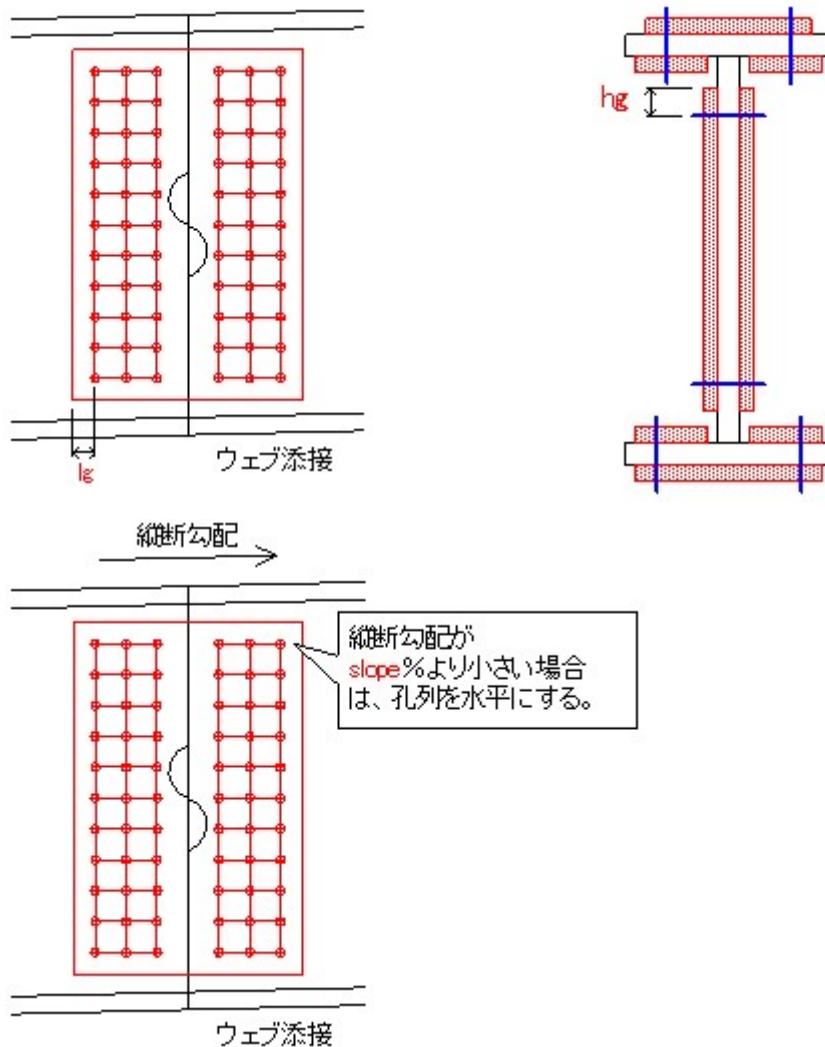
3.5.16 上フランジ添接板材端形状

要素名	Uf lgEdge		論理名	上フランジ添接板材端形状	
パス	/GirderInfo/GirderCommon/SpliceCommonShape/Uf lgEdge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	上フランジ添接板材端形状を定義する				
属性	lg	橋軸方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	tr_outside	外側添接の橋直方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	tr_inside	内側添接の橋直方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
記入例	<Uf lgEdge lg="40.0" tr_outside="40.0" tr_inside="40.0"/>				



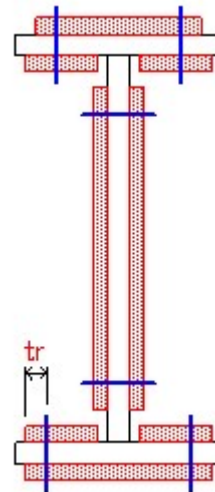
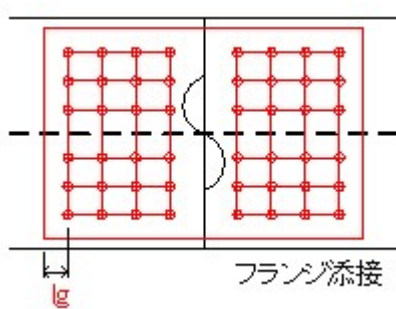
3. 5. 17 ウェブ添接板材端形状

要素名	WebEdge		論理名	ウェブ添接板材端形状	
パス	/GirderInfo/GirderCommon/SpliceCommonShape/WebEdge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ウェブ添接板材端形状を定義する				
属性	lg	橋軸方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	hg	高さ方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	slope	孔勾配下限値	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「3.0」とする
記入例	<WebEdge lg="40.0" hg="40.0" slope="3.0"/>				



3.5.18 下フランジ添接板材端形状

要素名	LfIgEdge		論理名	下フランジ添接板材端形状	
パス	/GirderInfo/GirderCommon/SpliceCommonShape/LfIgEdge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	下フランジ添接板材端形状を定義する				
属性	lg	橋軸方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	tr	橋直方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
記入例	<LfIgEdge lg="40.0" tr="40.0"/>				

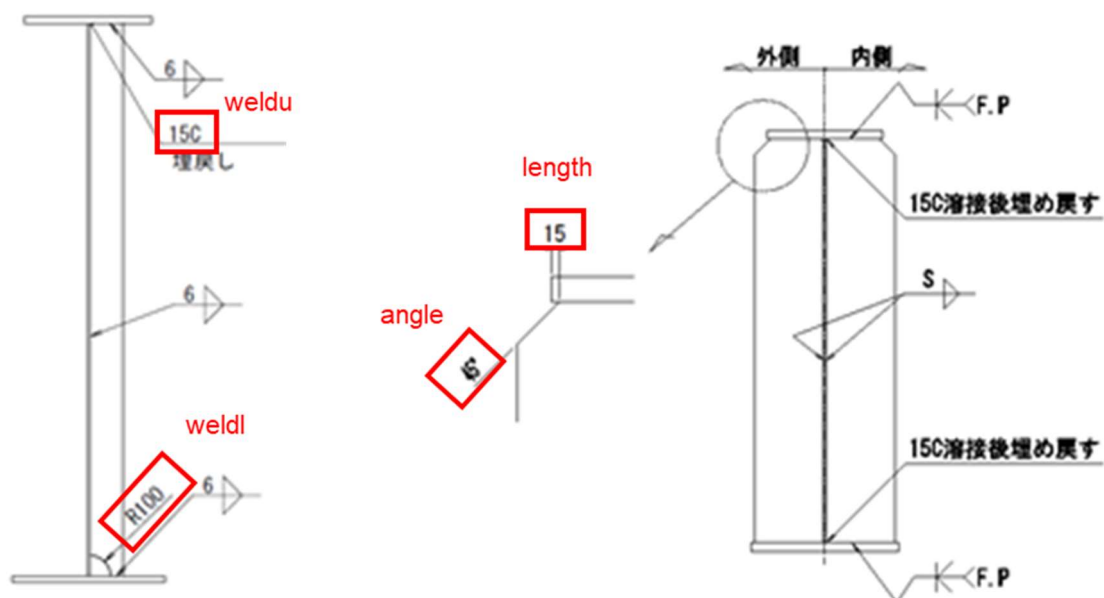


3.5.19 支点上補強リブ切欠き情報

要素名	SRVstiffCommonShape	論理名	支点上補強リブ切欠き情報
パス	/GirderInfo/GirderCommon/SRVstiffCommonShape		
子要素	—		
型	—		
出現回数	1		
内容	支点上補強リブの切欠き情報を定義する		
記入例	<pre><SRVstiffCommonShape> <SRVstiffPoint weldu="" weldl="15C" width="270.0" length="270.0" angle="45"/> <SRVstiffFlangeNotchShape spaceu="0.0" width="270.0" length="270.0"/> </SRVstiffCommonShape></pre>		

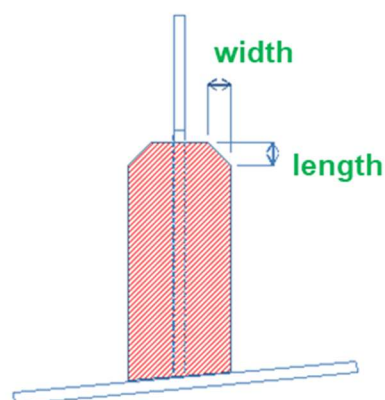
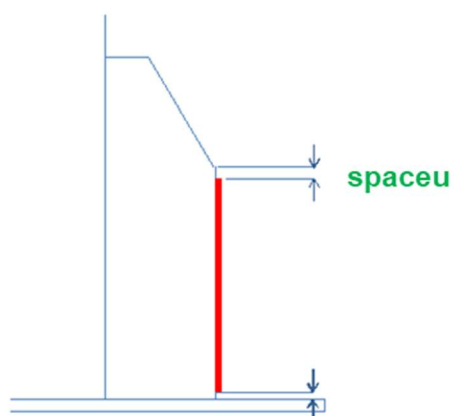
3.5.20 支点上補強リブ切欠き定義

要素名	SRVstiffPoint		論理名		支点上補強リブ切欠き定義	
パス	/GirderInfo/GirderCommon/SRVstiffCommonShape/SRVstiffPoint					
子要素	—					
型	—					
出現回数	1					
内容	支点上補強リブの切欠きを定義する					
属性	weldu	溶接辺側上側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「15C」とする	
	weldl	溶接辺側下側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「15C」とする	
	length	上側切欠き残し量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「10.0」とする	
	angle	上側切欠き角度	xs:int	必須	※設計システムの標準値は「45」とする	
記入例	<SRVstiffPoint weldu="15C" weldl="15C" length="15.0" angle="45"/>					



3.5.21 支点上補強リブ付きフランジ空き量・切欠き形状

要素名	SRVstiffFlangeNotchShape		論理名		支点上補強リブ付きフランジ空き量・切欠き形状
パス	/GirderInfo/GirderCommon/JUstiffCommonShape/SRVstiffFlangeNotchShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	0 か 1				
内容	支点上補強リブ付きフランジ空き量・切欠き形状を定義する 支点上補強リブ形状定義（/GirderInfo/StiffenerShape/SRVstif）に適用する				
属性	spaceu	上側空き量	xs:double	必須	取付位置はフランジ幅中心とする
	width	上側切欠き幅	xs:double	必須	
	length	上側切欠き長さ	xs:double	必須	
記入例	<SRVstiffFlangeNotchShape spaceu="0.0" width="54.0" length="54.0"/>				

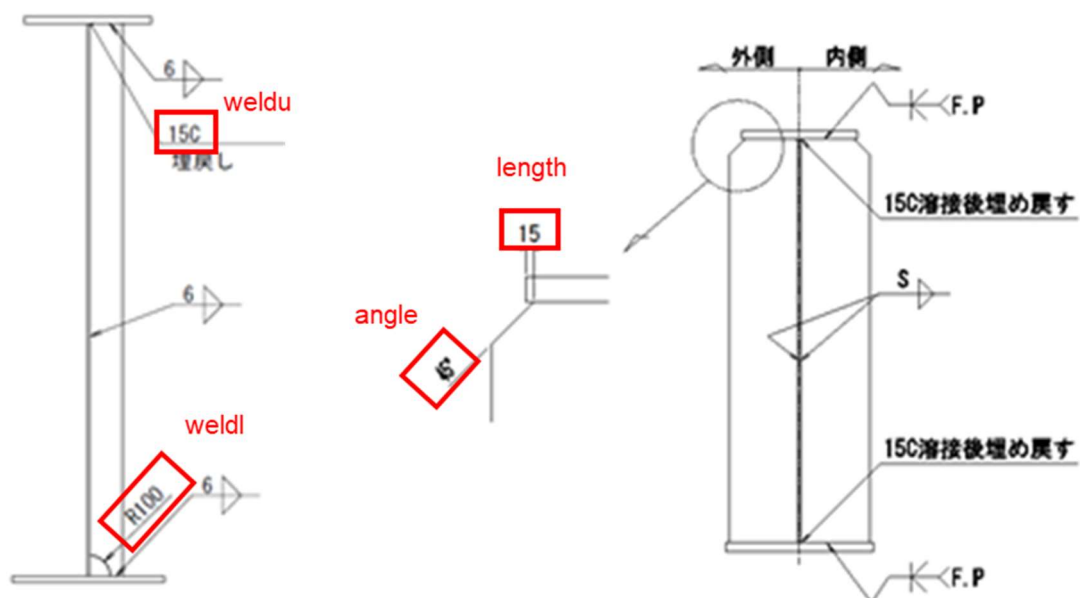


3.5.22 ジャッキアップ補剛材切欠き情報

要素名	JUstiffCommonShape	論理名	ジャッキアップ補剛材切欠き情報
パス	/GirderInfo/GirderCommon/JUstiffCommonShape		
子要素	—		
型	—		
出現回数	1		
内容	ジャッキアップ補剛材切欠き情報を定義する		
記入例	<pre><JUstiffCommonShape> <JUstiffPoint weldu="15C" weldl="15C" length="15.0" angle="45"/> <JUstiffFlangeNotchShape spaceu="0.0" width="54.0" length="54.0"/> </JUstiffCommonShape></pre>		

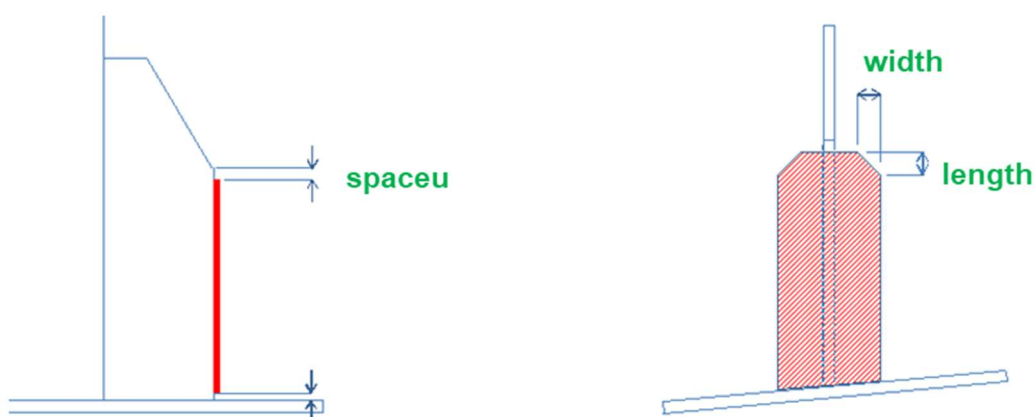
3.5.23 ジャッキアップ補剛材切欠き定義

要素名	JUstiffPoint		論理名	ジャッキアップ補剛材切欠き定義	
パス	/GirderInfo/GirderCommon/JUstiffCommonShape/JUstiffPoint				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ジャッキアップ補剛材切欠きを定義する				
属性	weldu	溶接辺側上側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「15C」とする
	weldl	溶接辺側下側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「15C」とする
	length	上側切欠き残し量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「10.0」とする
	angle	上側切欠き角度	xs:int	必須	※設計システムの標準値は「45」とする
記入例	<JUstiffPoint weldu="15C" weldl="15C" length="15.0" angle="45"/>				



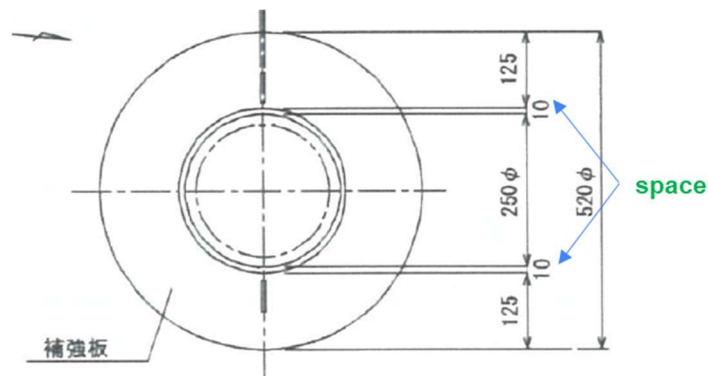
3.5.24 ジャッキアップ補剛材付きフランジ空き量・切欠き形状

要素名	JUstiffFlangeNotchShape		論理名	ジャッキアップ補剛材付きフランジ空き量・切欠き形状	
パス	/GirderInfo/GirderCommon/JUstiffCommonShape/JUstiffFlangeNotchShape				
子要素	－				
型	－				
出現回数	0 か 1				
内容	ジャッキアップ補剛材付きフランジ空き量・切欠き形状を定義する ジャッキアップ補剛材形状定義（/GirderInfo/StiffenerShape/JUstif）に適用する				
属性	spaceu	上側空き量	xs:double	必須	取付位置はフランジ幅中心とする
	width	上側切欠き幅	xs:double	必須	
	length	上側切欠き長さ	xs:double	必須	
記入例	<JUstiffFlangeNotchShape spaceu="0.0" width="54.0" length="54.0"/>				



3.5.25 ウェブ貫通孔共通詳細

要素名	WebHoleCommonShape	論理名	ウェブ貫通孔共通詳細		
パス	/GirderInfo/GirderCommon/WebHoleCommonShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ウェブ貫通孔共通詳細を定義するを定義する				
属性	space	ウェブ貫通孔とダブリングの間隔	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「15.0」とする
記入例	<WebHoleCommonShape space="15.0"/>				



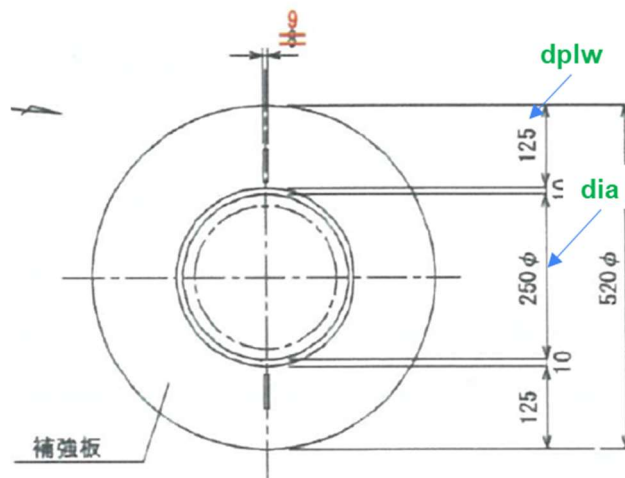
3.5.26 ウェブ貫通孔形状

要素名	WebHoleShape	論理名	ウェブ貫通孔形状
パス	/GirderInfo/WebHoleShape		
子要素	—		
型	—		
出現回数	0 以上		
内容	ウェブ貫通孔形状を定義する		
記入例	<pre><WebHoleShape> <WebHole id="WH1" attribute="DRAIN" dia="250.0" dface="FS" dplw="125.0" dplt="10.0" dplm="SM400A"/> </WebHoleShape></pre>		

3.5.27 貫通孔形狀

要素名	WebHole		論理名	貫通孔形状	
パス	/GirderInfo/WebHoleShape/WebHole				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	貫通孔形状を定義する ※ダブリング付きのコネクションプレートは対象外とする				
属性	id	貫通孔識別 ID	xs:string	必須	
	attribute	孔種類	xs:string	必須	以下より選択

					DRAIN : 排水管貫通孔 OTHER : その他
	dia	貫通孔径	xs:double	必須	
	dface	ダブリング取付面	xs:string	必須	表面(起点から見える面) : NS 裏面 : FS 両面 : WS
	dplw	ダブリング幅	xs:double	必須	
	dplt	ダブリング厚	xs:double	必須	ブランクの場合、母材厚とする
	dplm	材質	xs:string	必須	ブランクの場合、母材と同材質とする
記入例	<WebHole id="WH1" attribute="DRAIN" dia="250.0" dface="FS" dplw="125.0" dplt="10.0" dplm="SM400A"/>				



3.5.28 補剛材形状

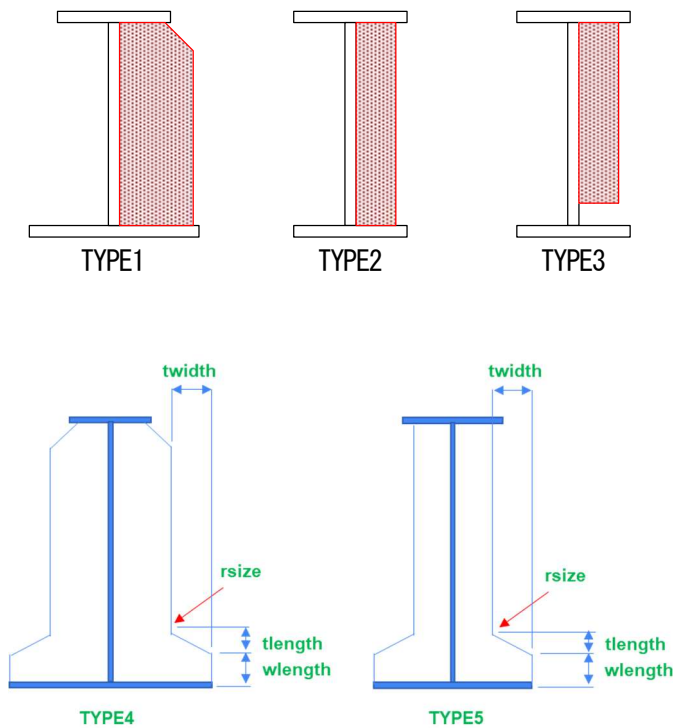
要素名	StiffenerShape	論理名	補剛材形状
パス	/GirderInfo/StiffenerShape		
子要素	Vstif Hstif SRVstif JUstif		
型	—		
出現回数	1		
内容	垂直補剛材、水平補剛材の形状を定義する		
記入例	<pre> <StiffenerShape> <Vstif id="VS1" type="TYPE1" width="200.0" thickness="24.0" material="SM490YA" fwidth="Non" fthickness="Non" fmaterial="Non" twidth="" tlength="" wlength="" rsize=""/> <Vstif id="VS2" type="TYPE2" width="100.0" thickness="9.0" material="SM400A" fwidth="Non" fthickness="Non" fmaterial="Non" twidth="" tlength="" wlength="" rsize=""/> <Vstif id="VS3" type="TYPE3" width="100.0" thickness="9.0" material="SM400A" fwidth="Non" fthickness="Non" fmaterial="Non" twidth="" tlength="" wlength="" rsize=""/> <Hstif id="HS1" width="100.0" thickness="9.0" material="SM400A"/> <Hstif id="HS2" width="100.0" thickness="9.0" material="SM400A"/> <SRVstif id="SRV1" type="TYPE1" width="360.0" thickness="35.0" material="SM490YB" length="" nwidth="" nlength="" fwidth="Non" fthickness="Non" fmaterial="Non" twidth="" tlength="" wlength="" rsize=""/> <SRVstif id="SRV2" type="TYPE6" width="125.0" thickness="23.0" material="SM490YB" length="1200.0" nwidth="100.0" nlength="100.0" fwidth="Non" fthickness="Non" fmaterial="Non" twidth="115.0" tlength="115.0" wlength="150.0" rsize="100R"/> <JUstif id="JU1" type="TYPE1" width="180.0" thickness="18.0" material="SM490YB" length="" nwidth="" nlength="" fwidth="Non" fthickness="Non" fmaterial="Non"/> </StiffenerShape> </pre>		

3.5.29 垂直補剛材形状

要素名	Vstif		論理名	垂直補剛材形状	
パス	/GirderInfo/StiffenerShape/Vstif				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	垂直補剛材形状を定義する。主桁共通詳細情報以外の切欠は指定できない。 ・ TYPE1、TYPE4 の場合、SupportPoint の支点上垂直補剛材切欠き形状を適用する ・ 補強材付きフランジがある場合、SVstiffFlangeNotchShape の支点上補剛材付きフランジ 空き量・切欠き形状を適用する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	type	垂直補剛材タイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1 TYPE2 TYPE3 TYPE4 TYPE5
	width	板幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
	fwidth	補強材付きフ	xs:double	必須	ない場合は Non

		ランジ板幅			
	fthickness	補強材付きフ ランジ板厚	xs:double	必須	ない場合は Non
	fmaterial	補強材付きフ ランジ材質	xs:string	必須	ない場合は Non
	twidth	テーパ部幅	xs:double	必須	TYPE4、TYPE5 の場合、定義 TYPE1、TYPE2、TYPE3 の場合、 ブランク
	tlength	テーパ部長さ	xs:double	必須	TYPE4、TYPE5 の場合、定義 TYPE1、TYPE2、TYPE3 の場合、 ブランク
	wlength	拡幅部長さ	xs:double	必須	TYPE4、TYPE5 の場合、定義 TYPE1、TYPE2、TYPE3 の場合、 ブランク
	rsize	テーパ部 R サイズ	xs:string	必須	TYPE4、TYPE5 の場合、定義 TYPE1、TYPE2、TYPE3 の場合、 ブランク ※設計システムの標準値は「100R」 とする ※R が無い場合はブランク
記入例	<Vstif id="VS1" type="TYPE1" width="200.0" thickness="24.0" material="SM490YA" fwidth="Non" fthickness="Non" fmaterial="Non" twidth="" tlength="" wlength="" rsize="" />				

垂直補剛材のタイプは、以下の 5 タイプのみとする。



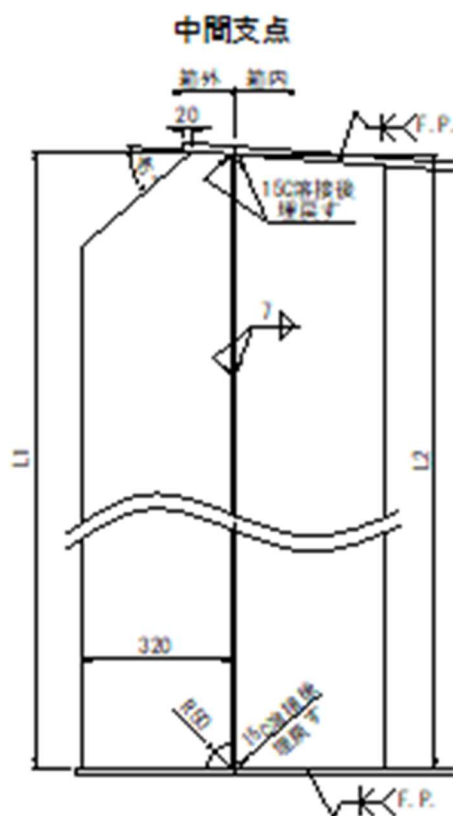
3. 5. 30 水平補剛材形状

要素名	Hstif		論理名	水平補剛材形状	
パス	/GirderInfo/StiffenerShape/Hstif				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	水平補剛材形状を定義する。主桁共通詳細情報以外の切欠は指定できない。				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	width	板幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<Hstif id="HS1" width="100.0" thickness="9.0" material="SM400A"/>				

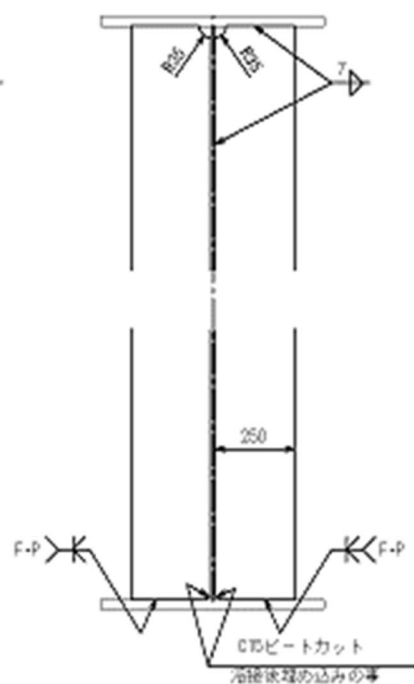
3.5.31 支点上補強リブ形状定義

要素名	SRVstif		論理名		支点上補強リブ形状定義
パス	/GirderInfo/StiffenerShape/SRVstif				
子要素	－				
型	－				
出現回数	0 以上				
内容	支点上補強リブ形状を定義する ・ TYPE1、TYPE4 の場合、SRVstiffPoint の支点上補強リブ切欠き形状を適用する ・ 補強材付きフランジがある場合、SRVstiffFlangeNotchShape の支点上補強リブ付きフランジ空き量、切欠き形状を適用する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	type	垂直補剛材タイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1、TYPE2。TYPE3、TYPE4 TYPE5、TYPE6
	width	板幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
	length	部材長	xs:double	必須	TYPE3、TYPE6 の場合、定義 TYPE1、TYPE2、TYPE4、TYPE5 の場合、ブランク
	nwidth	切欠き部幅	xs:double	必須	TYPE3、TYPE6 の場合、定義 TYPE3、TYPE6 の場合で切欠きがない場合はブランク TYPE1、TYPE2、TYPE4、TYPE5 の場合、ブランク
	nlength	切欠き部長さ	xs:double	必須	TYPE3、TYPE6 の場合、定義 TYPE3、TYPE6 の場合で切欠きがない場合はブランク TYPE1、TYPE2、TYPE4、TYPE5 の場合、ブランク
	fwidth	補強材付きフランジ 板幅	xs:double	必須	ない場合は Non
	fthickness	補強材付きフランジ 板厚	xs:double	必須	ない場合は Non
	fmaterial	補強材付きフランジ 材質	xs:string	必須	ない場合は Non
	twidht	テーパ部幅	xs:double	必須	TYPE4、TYPE5、TYPE6 の場合、 定義 TYPE1、TYPE2、TYPE3 の場合、 ブランク
	tlenght	テーパ部長さ	xs:double	必須	TYPE4、TYPE5、TYPE6 の場合、 定義 TYPE1、TYPE2、TYPE3 の場合、 ブランク
	wlength	拡幅部長さ	xs:double	必須	TYPE4、TYPE5、TYPE6 の場合、 定義

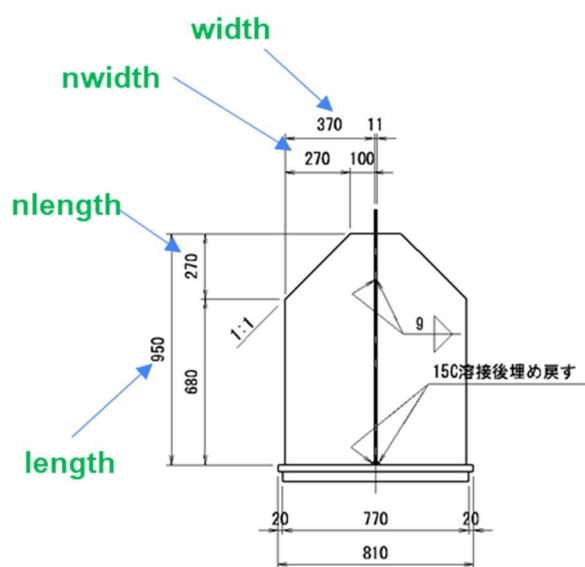
					TYPE1、TYPE2、TYPE3 の場合、 ブランク
	rsize	テーパ部 R サイズ	xs:string	必須	TYPE4、TYPE5、TYPE6 の場合、 定義 TYPE1、TYPE2、TYPE3 の場合、 ブランク ※設計システムの標準値は 「100R」とする ※R が無い場合はブランク
記入例	<SRVstif id="SRV1" type="TYPE1" width="360.0" thickness="35.0" material="SM490YB" length="" nwidth="" nlength="" fwidth="Non" fthickness="Non" fmaterial="Non" twidth="" tlength="" wlength="" rsize=""/> <SRVstif id="SRV2" type="TYPE6" width="125.0" thickness="23.0" material="SM490YB" length="1200.0" nwidth="100.0" nlength="100.0" fwidth="Non" fthickness="Non" fmaterial="Non" twidth="115.0" tlength="115.0" wlength="150.0" rsize="100R"/>				



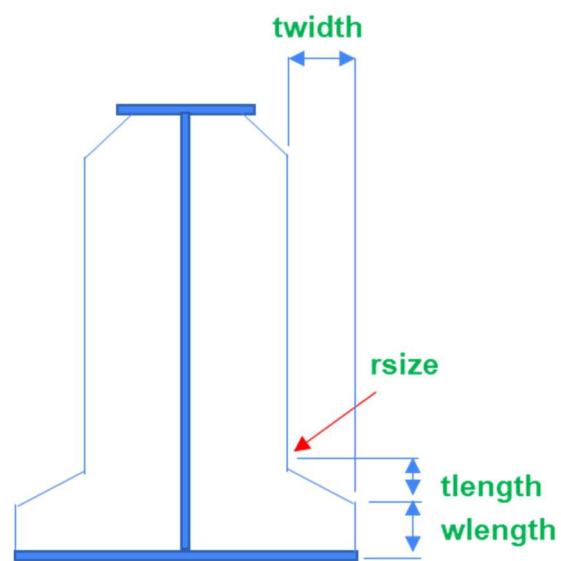
TYPE1



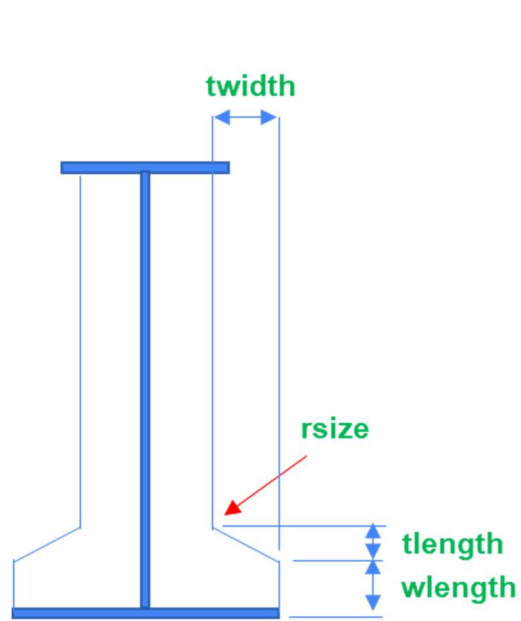
TYPE2



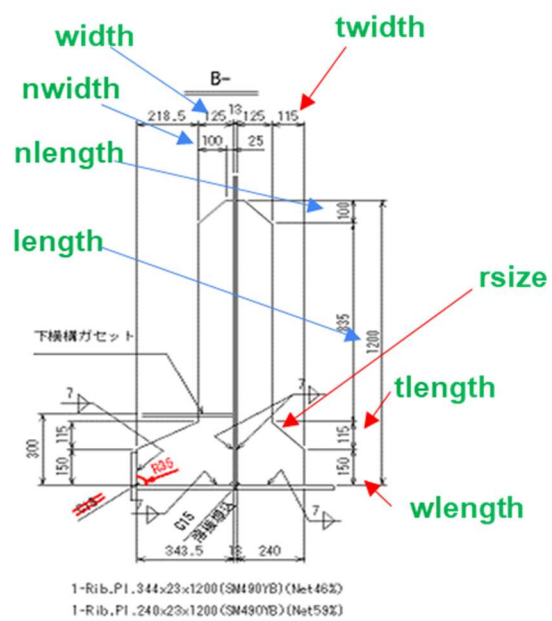
TYPE3



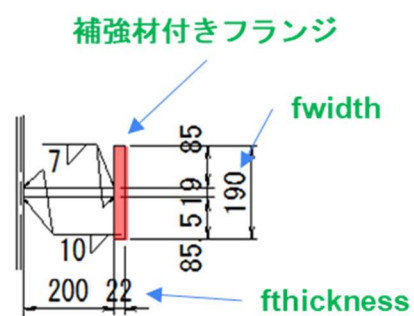
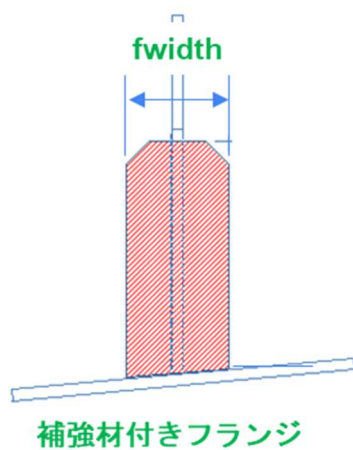
TYPE4



TYPE5

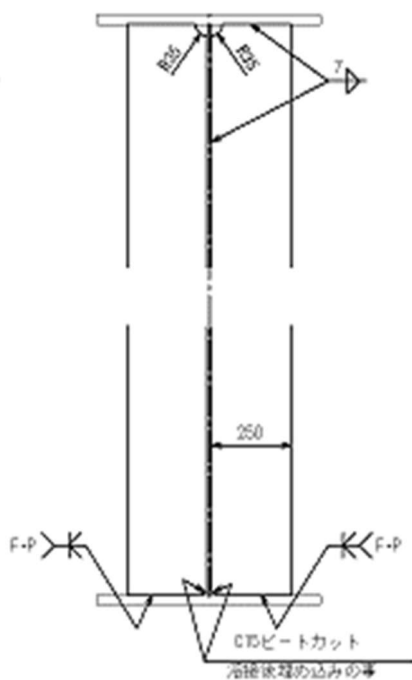


TYPE6

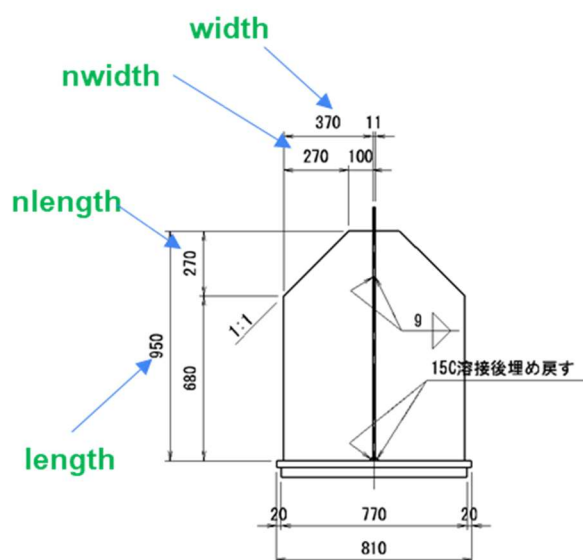


3.5.32 ジャッキアップ補剛材形状定義

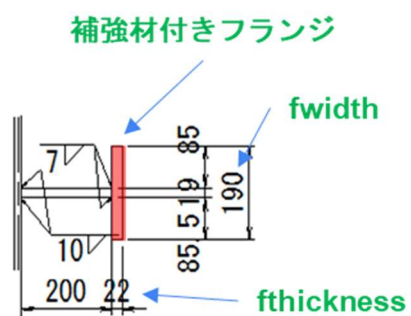
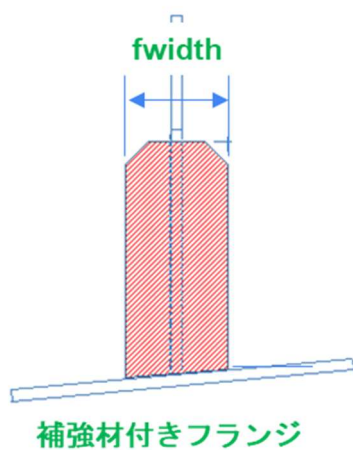
要素名	JUstif		論理名		ジャッキアップ補剛材形状定義
パス	/GirderInfo/StiffenerShape/JUstif				
子要素	－				
型	－				
出現回数	0 以上				
内容	ジャッキアップ補剛材形状を定義する ・補強材付きフランジがある場合、JUstiffFlangeNotchShapepeNotchShape のジャッキアップ補剛材付きフランジ空き量、切欠き形状を適用する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	type	垂直補剛材タイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1 TYPE2
	width	板幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
	length	部材長	xs:double	必須	TYPE2 の場合、定義 TYPE1 の場合、ブランク
	nwidth	切欠き部幅	xs:double	必須	TYPE2 の場合、定義 TYPE2 の場合で切欠きがない場合はブランク TYPE1 の場合、ブランク
	nlength	切欠き部長さ	xs:double	必須	TYPE2 の場合、定義 TYPE2 の場合で切欠きがない場合はブランク TYPE1 の場合、ブランク
	fwidth	補強材付きフランジ 板幅	xs:double	必須	ない場合は Non
	fthickness	補強材付きフランジ 板厚	xs:double	必須	ない場合は Non
	fmaterial	補強材付きフランジ 材質	xs:string	必須	ない場合は Non
記入例	<JUstif id="JU1" type="TYPE1" width="180.0" thickness="18.0" material="SM490YB" length="" nwidth="" nlength="" fwidth="Non" fthickness="Non" fmaterial="Non"/>				



TYPE1



TYPE2



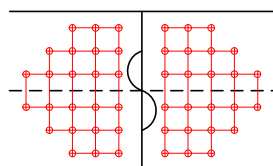
3. 5. 33 添接形状定義

要素名	SpliceShape	論理名	添接形状定義
パス	/GirderInfo/SpliceShape		
子要素	<u>I</u> FlgSplice <u>W</u> ebSplice		
型	—		
出現回数	1		
内容	添接形状を定義する		
記入例	<pre> <SpliceShape> <IFlgSplice id="GFS1" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0" nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/> <IFlgSplice id="GFS2" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0" nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/> <IFlgSplice id="GFS3" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0" nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/> <IFlgSplice id="GFS4" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0" nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/> <WebSplice id="GWS1" dia="24.5" cp="100.0" p="3@75.0" gu=" " gc="20@105.0" gl=" " du="120.0" dl="150.0" splt="9.0" splm="SS400" fillt="2.3" fillm="SS400"/> </SpliceShape> </pre>		

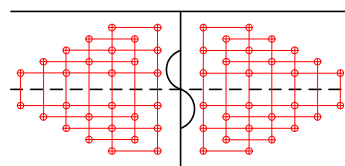
3. 5. 34 フランジ添接形状定義

要素名	IFlgSplice		論理名	フランジ添接形状定義	
パス	/GirderInfo/SpliceShape/IFlgSplice				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	フランジ添接形状を定義する。				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	pattern	孔タイプ	xs:string	必須	孔タイプを以下より指定する 格子 : K1 千鳥 1 : C1 千鳥 2 : C2 千鳥 3 : C3
	dia	孔径	xs:double	必須	
	cp	センターピッチ	xs:double	必須	
	p1	ピッチ 1	xs:string	必須	四角形部のピッチ n@p で指定
	p2	ピッチ 2	xs:string	必須	三角形部のピッチ n@p で指定 三角形部がないときはブランク
	cg	センターゲージ	xs:double	必須	
	g	ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定
	spltype	添接板タイプ	xs:string	必須	添接板タイプを以下より指定する 外側親・内側子 : TYPE1 両側子 : TYPE2
	nssplt	表側添接板厚	xs:double	必須	
	nssplm	表側添接板材質	xs:string	必須	
	fssplt	裏側添接板厚	xs:double	必須	
	fssplm	裏側添接板材質	xs:string	必須	
	fillt	フィラー板厚	xs:double	必須	ない場合は Non
	fillm	フィラー材質	xs:string	必須	ない場合は Non
記入例	<IFlgSplice id="GFS1" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0" nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/>				

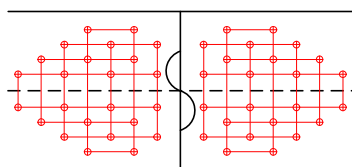
ボルト孔タイプは以下より指定する。



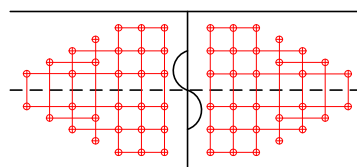
格子



千鳥1

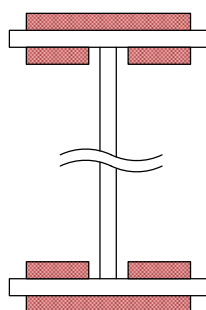


千鳥2

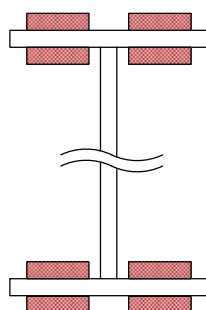


千鳥3

添接板タイプは以下より指定する。

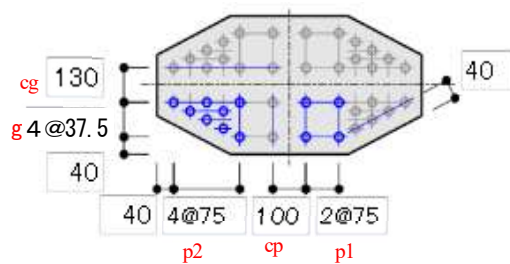
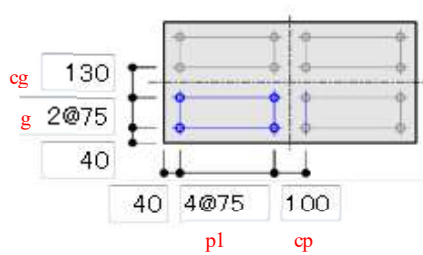


TYPE1



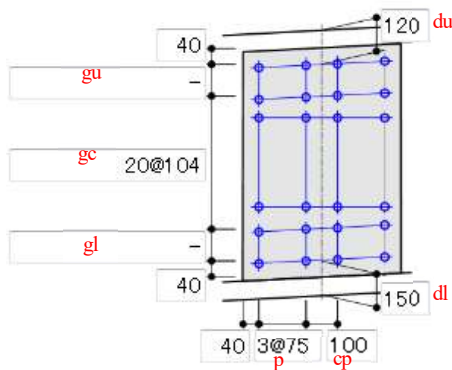
TYPE2

ボルトのピッチ、ゲージ



3.5.35 ウェブ添接形状定義

要素名	WebSplice		論理名	ウェブ添接形状定義	
パス	/GirderInfo/SpliceShape/WebSplice				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	ウェブ添接形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	dia	孔径	xs:double	必須	
	cp	センターピッチ	xs:double	必須	
	p	ピッチ	xs:string	必須	n@p で指定
	gu	上側ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定。 ない場合はブランク。
	gc	中央ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定
	gl	下側ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定。 ない場合はブランク。
	du	上側第 1 ボルト 距離	xs:double	必須	
	dl	下側第 1 ボルト 距離	xs:double	必須	
	splt	添接板厚	xs:double	必須	
	splm	添接板材質	xs:string	必須	
	fillt	フィラー板厚	xs:double	必須	ない場合は Non
fillm	フィラー材質	xs:string	必須	ない場合は Non	
記入例	<WebSplice id="GWS1" dia="24.5" cp="100.0" p="3@75.0" gu=" " gc="20@105.0" gl=" " du="120.0" dl="150.0" splt="9.0" splm="SS400" fillt="2.3" fillm="SS400"/>				



3.5.36 ソールプレート形状情報

要素名	SolePlateShape	論理名	ソールプレート形状情報
パス	/GirderInfo/SolePlateShape		
子要素	SolePlate		
型	—		
出現回数	1 以上		
内容	ソールプレート形状情報を定義する		
記入例	<pre><SolePlateShape> <SolePlate id="SP1" type="TYPE1" width="970.0" length="1050.0" thickness="50.0" material="SM490C" bossdia="252.0" shavethickness="2.0" slength="" sthickness="" elength="" ethickness=""> <SolePlateHole dia="25.0" sp="1@110.0" cp="7@107.1" ep="1@110.0" gl="5@75.0" cg="1@140.0" gr="5@75.0"/> <SolePlateHole dia="51.0" sp="" cp="3@220.0" ep="" gl="" gc="1@330.0" gr=""/> </SolePlate> </SolePlateShape></pre>		

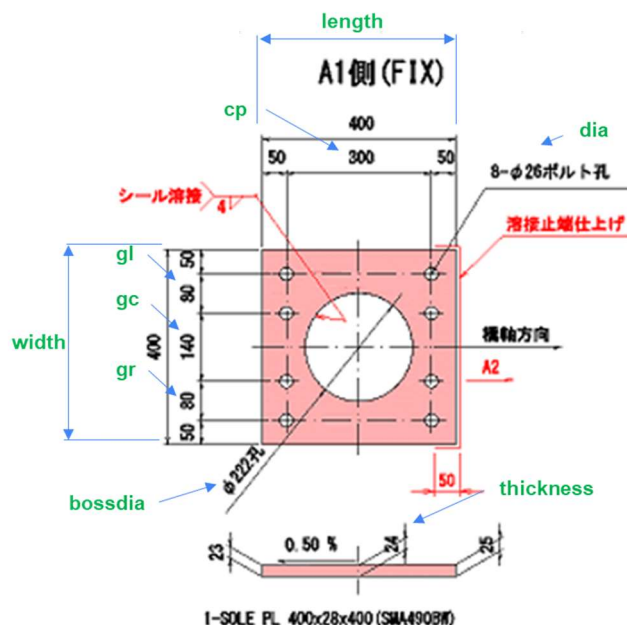
3.5.37 ソールプレート形状定義

要素名	SolePlate		論理名		ソールプレート形状定義
パス	/GirderInfo/SolePlateShape/SolePlate				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	ソールプレート形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	type	板厚タイプ	xs:string	必須	TYPE1：中心板厚 TYPE2：最小板厚
	width	幅	xs:double	必須	
	length	長さ	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	※設計システムの標準値は 22mm とする
	material	材質	xs:string	必須	
	bossdia	ボス孔径	xs:double	必須	
	shavethickness	削り代	xs:double	必須	別途に発注用板厚の計算が必要な場合に用いる ※設計システムの標準値は「0.0」とする
	slength	始点側テーパ長さ	xs:double	必須	ない場合はブランク。
	sthickness	始点側最低板厚	xs:double	必須	ない場合はブランク。 ※設計システムの標準値は「12.0」とする
	elength	終点側テーパ長さ	xs:double	必須	ない場合はブランク。
	ethickness	終点側最低板厚	xs:double	必須	ない場合はブランク。 ※設計システムの標準値は「12.0」とする
記入例	<SolePlate id="SP1" type="TYPE1" width="970.0" length="1050.0" thickness="50.0" material="SM490C" bossdia="252.0" shavethickness="2.0" slength="" sthickness="" elength="" ethickness="">				

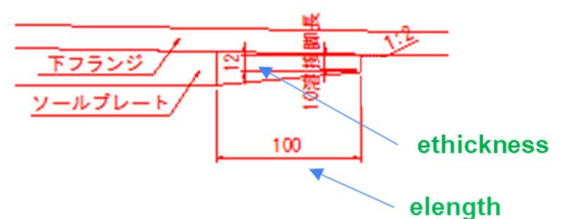
	<pre> <SolePlateHole dia="25.0" sp="1@110.0" cp="7@107.1" ep="1@110.0" gl="5@75.0" gc="1@140.0" gr="5@75.0"/> <SolePlateHole dia="51.0" sp="" cp="3@220.0" ep="" gl="" gc="1@330.0" gr=""/> </SolePlate> </pre>
--	---

3.5.38 ソールプレート孔配置

要素名	SolePlateHole		論理名	ソールプレート孔配置	
パス	/GirderInfo/SolePlateShape/SolePlate/SolePlateHole				
子要素	—				
型	—				
出現回数	2 以下 ※セットボルトが二重の場合は2 回定義する				
内容	ソールプレート孔配置を定義する				
属性	dia	孔径	xs:double	必須	
	sp	始点側ピッチ	xs:string	必須	n@p で指定。ない場合はブランク。
	cp	センターピッチ	xs:string	必須	n@p で指定。
	ep	終点側ピッチ	xs:string	必須	n@p で指定。ない場合はブランク。
	gl	主桁左側のゲージ	xs:string	必須	n@p で指定。ない場合はブランク。
	gc	中央ゲージ	xs:string	必須	n@p で指定。
	gr	主桁右側のゲージ	xs:string	必須	n@p で指定。ない場合はブランク。
記入例	<SolePlateHole dia="25.0" sp="1@110.0" cp="7@107.1" ep="1@110.0" gl="5@75.0" gc="1@140.0" gr="5@75.0"/>				



ソールプレート止端仕上げ部置詳細 S = 1 : 3



○ソールプレート外側のセットボルト配置

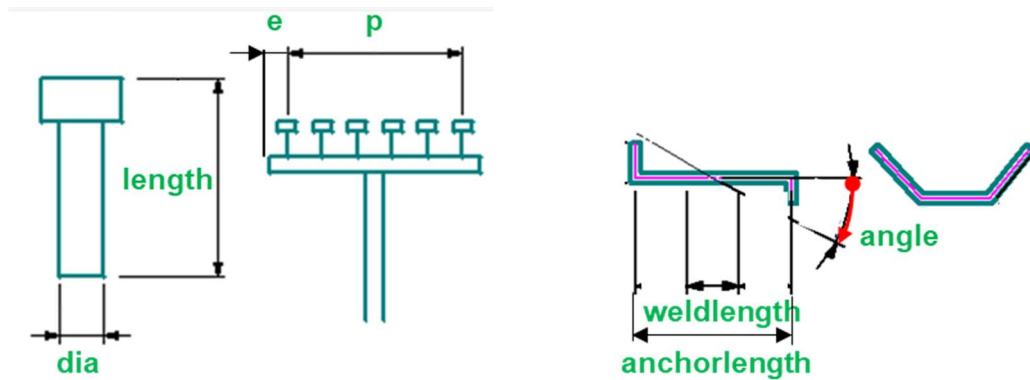


3.5.39 ずれ止め形状定義

要素名	SlabStopperShape		論理名	ずれ止め形状定義	
パス	/GirderInfo/SlabStopperShape				
子要素	StudCrossPitch				
型	—				
出現回数	1				
内容	ずれ止め形状を定義する ※スラブアンカーの曲げの向きは設計システムの標準の向きとする				
属性	attribute	ずれ止め種類	xs:string	必須	以下より選択 スタッド：STUD スラブアンカー：ANCHOR
	dia	呼び径	xs:double	必須	
	length	長さ	xs:double	必須	
	weldlength	溶接長さ	xs:double	必須	attribute が ANCHOR の場合、指定する
	anchorlength	全体長さ	xs:double	必須	attribute が ANCHOR の場合、指定する
	material	材質	xs:double	必須	
	angle	スラブアンカーの角度	xs:string	必須	attribute が ANCHOR の場合、指定する
記入例	■例1：スタッドの場合 <SlabStopperShape attribute="STUD" dia="35.0" length="150.0" weldlength="" anchorlength="" material="SS400" angle=""> <StudCrossPitch id="SH1" e="40.0" p="2@100.0"/> <StudCrossPitch id="SH2" e="40.0" p="5@50.0"/> </SlabStopperShape> ■例2：スラブアンカーの場合 <SlabStopperShape attribute="ANCHOR" dia="16.0" length="600.0" weldlength="100.0" anchorlength="500.0" material="SS400" angle="45°00'00"/>				

3.5.40 スタッド橋直方向ピッチ

要素名	StudCrossPitch		論理名	スタッド橋直方向ピッチ	
パス	/GirderInfo/SlabStopperShape/StudCrossPitch				
子要素	—				
型	—				
出現回数	0 以上				
内容	スタッドの橋直方向ピッチを定義する ※StudShape の attribute が STUD の場合、指定する				
属性	id	スタッド橋直方向 ピッチ識別 ID	xs:string	必須	
	e	スタッド縁端距離	xs:double	必須	※設計システムの標準値はブランクとする ※ブランクの場合は縁端距離は左右均等配置とする
	p	橋直方向ピッチ	xs:double	必須	n@p で指定
記入例	<StudCrossPitch id="SCP1" e="" p="2@100.0"/> <StudCrossPitch id="SCP2" e="" p="5@50.0"/>				



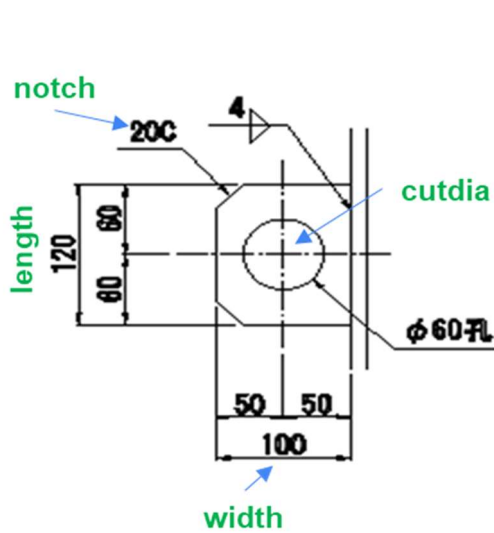
3.5.41 足場用吊り金具形状情報

要素名	ScaffoldLugShape	論理名	足場用吊り金具形状情報
パス	/GirderInfo/ScaffoldLugShape		
子要素	—		
型	—		
出現回数	0 以上		
内容	足場用吊り金具形状情報を定義する		
記入例	<pre><ScaffoldLugShape> <ScaffoldLug id="SLS1" attribute="TYPE1" width="100.0" length="120.0" thickness="9.0" material="SM400A"dia="" cutdia="60.0" longdiawidth="" longdialength="" g="" gl="" p1="" p2="" p3="" notch="20C"/> <ScaffoldLug id="SLS2" attribute="TYPE2" width="90.0" length="300.0" thickness="9.0" material="SM400A"dia="24.5" cutdia="" longdiawidth="30.0" longdialength="65.0" g="40.0" gl="" p1="90.0" p2="75.0" p3="75.0" notch="20C"/></ScaffoldLugShape></pre>		

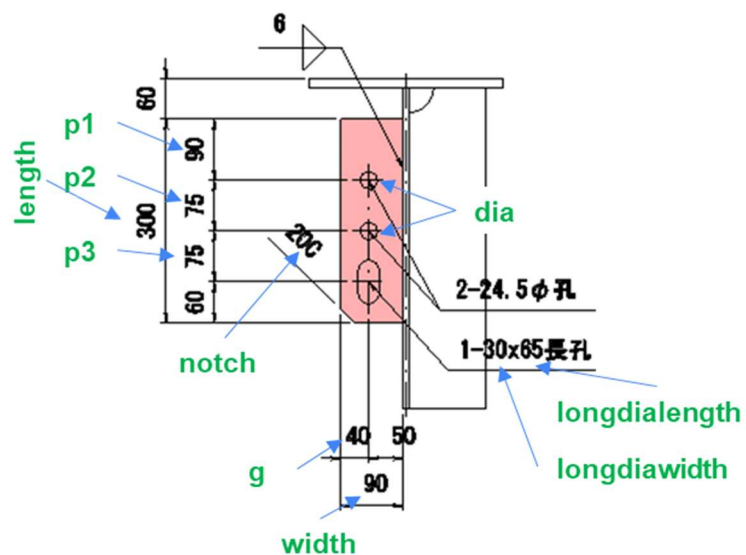
3.5.42 足場用吊り金具形状定義

要素名	ScaffoldLug		論理名		足場用吊り金具形状定義
パス	/GirderInfo/ScaffoldLug				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	足場用吊り金具形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	足場用吊り金具
	attribute	足場用吊り金具種類	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1 TYPE2 TYPE3 TYPE4
	width	幅	xs:double	必須	
	length	長さ	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
	dia	孔径	xs:double	必須	TYPE2、TYPE3 の場合、定義 TYPE1、TYPE4 の場合、ブランク ※設計システムの標準値は「24.5」とする
	cutdia	切り抜き径	xs:double	必須	TYPE1、TYPE3、TYPE4 の場合、定義 TYPE2 の場合、ブランク ※設計システムの標準値は「60.0」とする
	longdiawidth	長孔幅	xs:double	必須	TYPE2 の場合、定義 TYPE1、TYPE3、TYPE4 の場合、ブランク ※設計システムの標準値は「30.0」とする

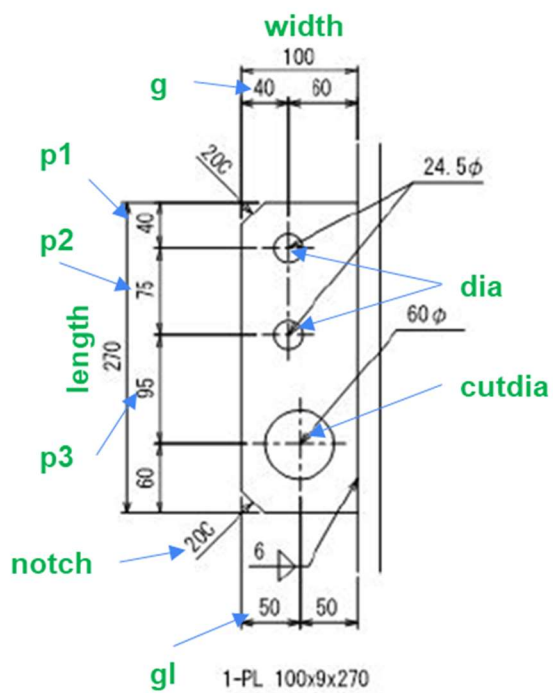
	longdiallength	長孔長さ	xs:double	必須	TYPE2 の場合、定義 TYPE1、TYPE3、TYPE4 の場合、 ブランク ※設計システムの標準値は 「65.0」とする
	g	ゲージ	xs:double	必須	TYPE2、TYPE3、TYPE4 の場合、 定義 TYPE1 の場合、ブランク ※設計システムの標準値は以下 の値とする TYPE2、TYPE3 : 「40.0」 TYPE4 : 「50.0」
	gl	下側ゲージ	xs:double	必須	TYPE3 の場合、定義 TYPE1、TYPE 2、TYPE 4 の場合、 ブランク ※設計システムの標準値は 「50.0」とする
	p1	孔間隔 1	xs:double	必須	TYPE2、TYPE3、TYPE4 の場合、 定義 TYPE1 の場合、ブランク ※設計システムの標準値は以下 の値とする TYPE2 : 「90.0」 TYPE3 : 「40.0」 TYPE4 : 「60.0」
	p2	孔間隔 2	xs:double	必須	TYPE2、TYPE3、TYPE4 の場合、 定義 TYPE1 の場合、ブランク ※設計システムの標準値は以下 の値とする TYPE2、TYPE3 : 「75.0」 TYPE4 : 「90.0」
	p3	孔間隔 3	xs:double	必須	TYPE2、3 の場合、定義 TYPE1、4 の場合、ブランク TYPE2 : 「75.0」 TYPE3 : 「95.0」
	notch	切欠き寸法	xs:string	必須	※ブランクを初期値とする。 ビードカットの場合：数値+C 例) 20C 切欠きなしの場合：ブランク
記入例	<pre><ScaffoldLug id="SLS1" attribute="TYPE1" width="100.0" length="120.0" thickness="9.0" material="SM400A" dia="" cutdia="60.0" longdiawidth="" longdiallength="" g="" gl="" p1="" p2="" p3="" notch="20C"/> <ScaffoldLug id="SLS2" attribute="TYPE2" width="90.0" length="300.0" thickness="9.0" material="SM400A" dia="24.5" cutdia="" longdiawidth="30.0" longdiallength="65.0" g="40.0" gl="" p1="90.0" p2="75.0" p3="75.0" notch="20C"/></pre>				



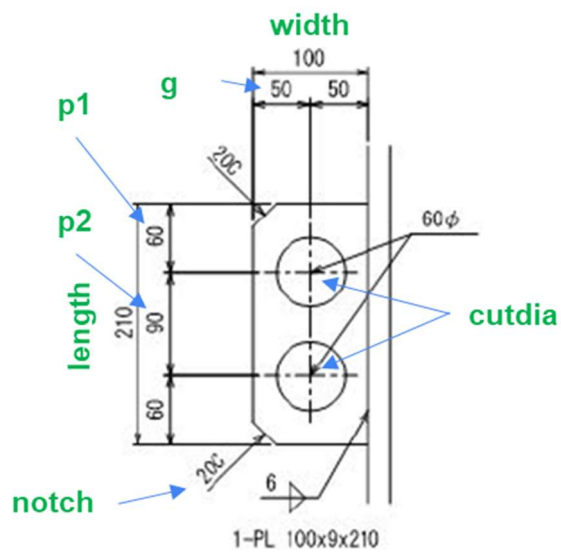
TYPE1



TYPE2



TYPE3



TYPE4

3.5.43 主桁形状

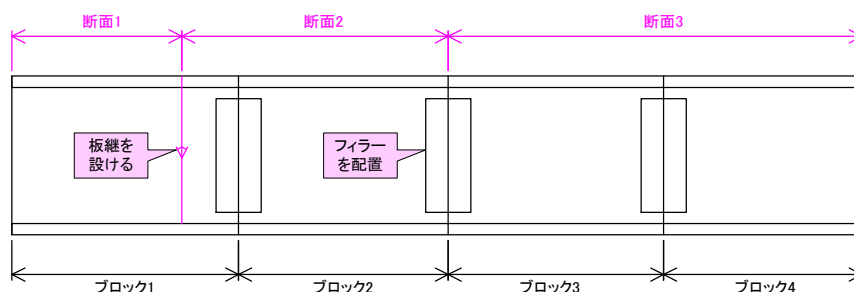
要素名	Girder		論理名	主桁形状	
パス	/GirderInfo/Girder				
子要素	GirderSection StiffenerSet SpliceSet LflgWideningShape GirderEndManHole SlabStopperSet ScaffoldLugSet WebHoleSet				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	主桁形状を定義する				
属性	name	主桁名称	xs:string	必須	
記入例	<pre><Girder name="G1"> <GirderSection no="1" length="11970.5"> <ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/> <ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/> <ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/> </GirderSection> <StiffenerSet type="SC"> <VstifSet position="S1" face="NS" id="VS1"/> <VstifSet position="S1" face="FS" id="VS1"/> <VstifSet position="S1" face="FS" id="VS1"/> </StiffenerSet> <StiffenerSet type="V"> <VstifSet start="S1" end="C1" no="" face="NS" id="VS1"/> <VstifSet start="C1" end="C2" no="1" face="NS" id="VS1"/> <VstifSet start="C1" end="C2" no="2" face="NS" id="VS1"/> <VstifSet start="C1" end="C2" no="3" face="NS" id="VS1"/> </StiffenerSet> <StiffenerSet type="H"> <HstifSet start="S1" end="C1" no="" step="1" face="NS" id="HS1"/> <HstifSet start="C1" end="C2" no="1" step="1" face="NS" id="HS1"/> <HstifSet start="C1" end="C2" no="2" step="1" face="NS" id="HS1"/> <HstifSet start="C1" end="C2" no="3" step="1" face="NS" id="HS1"/> </StiffenerSet> <SpliceSet> <SpliceShapeSet position="J1" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/> <SpliceShapeSet position="J2" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/> <SpliceShapeSet position="J3" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/> <SpliceShapeSet position="J4" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/> <SpliceShapeSet position="J5" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/> </SpliceSet> <LflgWideningShape position="S1" width="" length="" slope="5" tr="15.0" lg="20.0" angle="0° 0' 0" id="SP1"/> <GirderEndManHole position="SSIDE" length="400.0" height="800.0" width="100.0" rsize="100.0"/> <SlabStopperSet> <SlabStopperShapeSet start="GE1" end="J1" rjoint="EXIST"> <SlabStopperPosition type="WEB" p="1@800.0" id="SH1"/> <SlabStopperPosition type="WEB" p="58@100.0" id="SH1"/> <SlabStopperPosition type="WEB" p="13@250.0" id="SH1"/> <SlabStopperPosition type="WEB" p="X" id="SH1"/> </SlabStopperShapeSet> . . . </SlabStopperSet> <ScaffoldLugSet uflgsideid="SLS1" centerid="" lflgsideid="SLS2" uspace="100.0" cspace="" lspace="30.0" face="WS"> <ScaffoldLugShapeSet start="GE1" end="J1"> <ScaffoldLugPosition p="1@800.0"/></pre>				

	<pre> <ScaffoldLugPosition p="1@400.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@434.9"/> . . . <ScaffoldLugPosition p="1@660.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@580.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@500.0"/> </ScaffoldLugShapeSet> . . . </ScaffoldLugSet> <WebHoleSet> <WebHoleShapeSet point="C1" distance="500.0" height="1200.0" id="WH1"/> . . . </WebHoleSet> </Girder> </pre>
--	---

3. 5. 44 主桁断面形状

要素名	GirderSection		論理名	主桁断面形状	
パス	/GirderInfo/Girder/GirderSection				
子要素	<u>ISectionUflg</u> <u>ISectionLflg</u> <u>ISectionWeb</u>				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	断面番号、断面長を定義する				
属性	no	断面番号	xs:int	必須	
	length	断面長	xs:double	必須	
記入例	<GirderSection no="1" length="11970.5"> <ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/> <ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/> <ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/> </GirderSection>				

定義する断面の断面長を指定する。



3. 5. 45 上フランジ部材形状

要素名	ISectionUflg		論理名	上フランジ部材形状	
パス	/GirderInfo/Girder/GirderSection/ISectionUflg				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	上フランジ部材断面を定義する				
属性	width	フランジ幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/>				

3.5.46 下フランジ部材形状

要素名	ISectionLflg		論理名	下フランジ部材形状	
パス	/GirderInfo/Girder/GirderSection/ISectionLflg				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1				
内容	下フランジ部材断面を定義する				
属性	width	フランジ幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/>				

3.5.47 ウェブ部材形状

要素名	ISectionWeb		論理名	ウェブ部材形状	
パス	/GirderInfo/Girder/GirderSection/ISectionWeb				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ウェブ部材断面を定義する				
属性	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/>				

3.5.48 補剛材配置

要素名	StiffenerSet		論理名	補剛材配置	
パス	/GirderInfo/Girder/StiffenerSet				
子要素	VstifSet HstifSet SRVstifSet JUstifSet				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	補剛材配置を定義する				
属性	type	補剛材タイプ	xs:string	必須	格点垂直補剛材：SC 中間垂直補剛材：V 水平補剛材：H 支点上補強リブ：SR ジャッキアップ補剛材：JU
記入例	<StiffenerSet type="SC"> <VstifSet position="S1" face="NS" id="VS1"/> <VstifSet position="S1" face="FS" id="VS1"/> </StiffenerSet> <StiffenerSet type="H"> <HstifSet start="S1" end="C1" no="" step="1" face="NS" id="HS1"/> <HstifSet start="C1" end="C2" no="1" step="1" face="NS" id="HS1"/> <HstifSet start="C1" end="C2" no="3" step="1" face="NS" id="HS1"/> <StiffenerSet type="SR"> <SRVstifSet type="SOLE" point="S1" face="FS" id="SRV1"> <SRVSPosition distance="-425.0"/> </SRVstifSet> </StiffenerSet>				

	<pre> <SRVSPosition distance="425.0"/> </SRVstifSet> </StiffenerSet> <StiffenerSet type="JU"> <JUstifSet point="S1" face="FS" id="JU1"> <JUPosition distance="1112.0"/> <JUPosition distance="1312.0"/> </JUstifSet> <JUstifSet point="S1" face="FS" id="JU2"> <JUPosition distance="4736.0"/> <JUPosition distance="5216.0"/> </JUstifSet> </StiffenerSet> </pre>
--	--

3.5.49 垂直補剛材配置

要素名	VstifSet		論理名	垂直補剛材配置
パス	/GirderInfo/Girder/StiffenerSet/VstifSet			
子要素	—			
型	—			
出現回数	1 以上			
内容	垂直補剛材の配置を定義する			
属性	position	格点名称	xs:string	格点垂直補剛材のとき必要
	start	始側格点名称	xs:string	中間垂直補剛材のとき必要
	end	終側格点名称	xs:string	中間垂直補剛材のとき必要
	no	中間点番号	xs:int	中間垂直補剛材のとき必要。全て同じ補剛材を配置する場合は、ブランク。
	face	補剛材取付面	xs:string	必須 表面(起点右側から見える面) : NS 裏面 : FS
	id	登録 ID	xs:string	必須
記入例	<pre> <StiffenerSet type="SC"> <VstifSet position="S1" face="NS" id="VS1"/> <VstifSet position="S1" face="FS" id="VS1"/> </StiffenerSet> <StiffenerSet type="V"> <VstifSet start="S1" end="C1" no="" face="NS" id="VS1"/> <VstifSet start="C1" end="C2" no="1" face="NS" id="VS1"/> <VstifSet start="C1" end="C2" no="2" face="NS" id="VS1"/> </StiffenerSet> </pre>			

3.5.50 水平補剛材配置

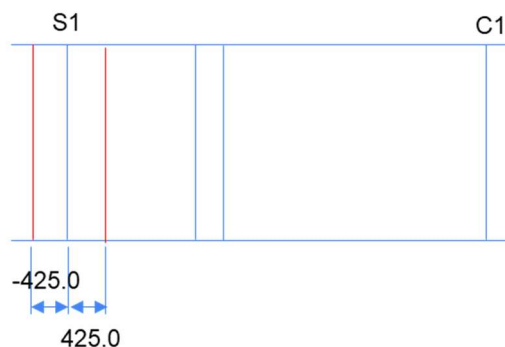
要素名	HstifSet		論理名	水平補剛材配置
パス	/GirderInfo/Girder/StiffenerSet/HstifSet			
子要素	—			
型	—			
出現回数	1 以上			
内容	水平補剛材の配置を定義する			
属性	start	始側格点名称	xs:string	必須
	end	終側格点名称	xs:string	必須
	no	格点間番号	xs:int	必須 全て同じ補剛材を配置する場合は、ブランク。
	step	配置段数	xs:int	必須
	face	補剛材取付面	xs:string	必須 表面(起点右側から見える面) : NS 裏面 : FS
	id	登録 ID	xs:string	必須
記入例	<pre> <HstifSet start="S1" end="C1" no="" step="1" face="NS" id="HS1"/> <HstifSet start="C1" end="C2" no="1" step="1" face="NS" id="HS1"/> <HstifSet start="C1" end="C2" no="2" step="1" face="NS" id="HS1"/> <HstifSet start="C1" end="C2" no="3" step="1" face="NS" id="HS1"/> </pre>			

3.5.51 支点上補強リブ配置

要素名	SRVstiffPoint		論理名	支点上補強リブ配置	
パス	/GirderInfo/Girder/StiffenerSet/SRVstifSet				
子要素	SRVSPosition				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	支点上補強リブ配置を定義する				
属性	type	補強リブ取付タイプ	xs:string	必須	以下より選択 SOLE：ソールプレートセット直角方向 WEB：ウェブ直角方向 SKEW：横断スキュー方向
	point	格点名称	xs:string	必須	
	face	補剛材取付面	xs:string	必須	表面(起点右側から見える面)：NS 裏面：FS
	id	識別 ID	xs:string	必須	補強垂直補剛材
記入例	<SRVstifSet type="SOLE" point="S1" face="FS" id="SRV1"> <SRVSPosition distance="-425.0"/> <SRVSPosition distance="425.0"/> </SRVstifSet>				

3.5.52 支点上補強リブ位置定義

要素名	SRVSPosition		論理名		支点上補強リブ位置定義
パス	/GirderInfo/Girder/StiffenerSet/RVstifSet/SRVSPosition				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	支点上補強リブ位置を定義する				
属性	distance	補強リブ位置の寸法	xs:double	必須	小数点以下第 1 位まで指定。 最寄りの格点からの距離を指定する 垂直補剛材間隔は、位置に応じて 符号をつける (橋軸進行方向：正/ 橋軸進行逆 方向：負)
記入例	<SRVSPosition distance="-425.0"/>				

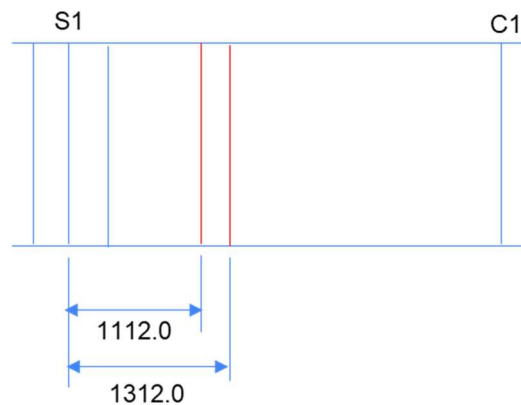


3.5.53 ジャッキアップ補剛材配置

要素名	SRVSPosition		論理名	ジャッキアップ補剛材配置	
パス	/GirderInfo/Girder/StiffenerSet/JUstifSet				
子要素	JUPosition				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	ジャッキアップ補剛材配置を定義する				
属性	point	格点名称	xs:string	必須	
	face	補剛材取付面	xs:string	必須	表面(起点右側から見える面) : NS 裏面 : FS
	id	識別 ID	xs:string	必須	補強垂直補剛材
記入例	<JUstifSet point="S1" face="FS" id="JU1"> <JUPosition distance="1112.0"/> <JUPosition distance="1312.0"/> </JUstifSet>				

3.5.54 ジャッキアップ補剛材位置定義

要素名	SRVSPosition		論理名	ジャッキアップ補剛材位置定義	
パス	/GirderInfo/Girder/StiffenerSet/JUstifSet/JUPosition				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	ジャッキアップ補剛材位置を定義する				
属性	distance	補剛材位置の寸法	xs:double	必須	小数点以下第 1 位まで指定。 ※最寄りの格点を基準として距離を指定する 垂直補剛材間隔は、位置に応じて符号をつける (橋軸進行方向：正/ 橋軸進行逆方向：負)
記入例	<JUPosition distance="1112.0"/> <JUPosition distance="1312.0"/>				



3.5.55 添接配置

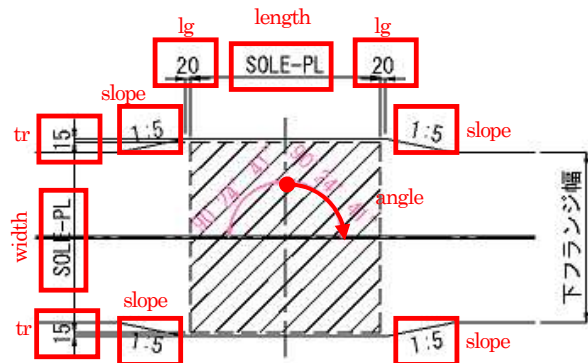
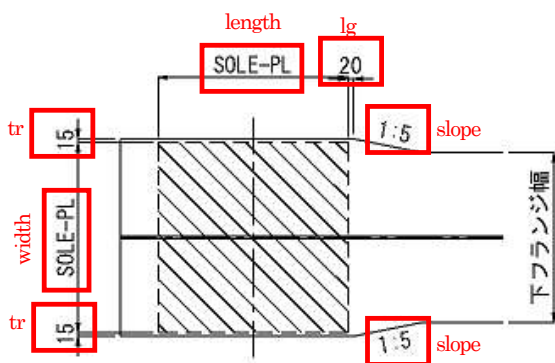
要素名	SpliceSet	論理名	添接配置
パス	/GirderInfo/Girder/SpliceSet		
子要素	<u>SpliceShapeSet</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	主桁毎のジョイント位置に配置する添接形状を定義する		
記入例	<pre><SpliceSet> <SpliceShapeSet position="J1" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/> <SpliceShapeSet position="J2" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/> <SpliceShapeSet position="J3" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/> <SpliceShapeSet position="J4" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/> <SpliceShapeSet position="J5" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/> </SpliceSet></pre>		

3.5.56 添接形状配置

要素名	SpliceShapeSet		論理名	添接形状配置	
パス	/GirderInfo/Girder/SpliceSet/SpliceShapeSet				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	上フランジ・ウェブ・下フランジに配置する添接形状を定義する				
属性	position	添接名称	xs:string	必須	
	uflg	登録 ID	xs:string	必須	
	web	登録 ID	xs:string	必須	
	lflg	登録 ID	xs:string	必須	
記入例	<SpliceShapeSet position="J1" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/> <SpliceShapeSet position="J2" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/>				

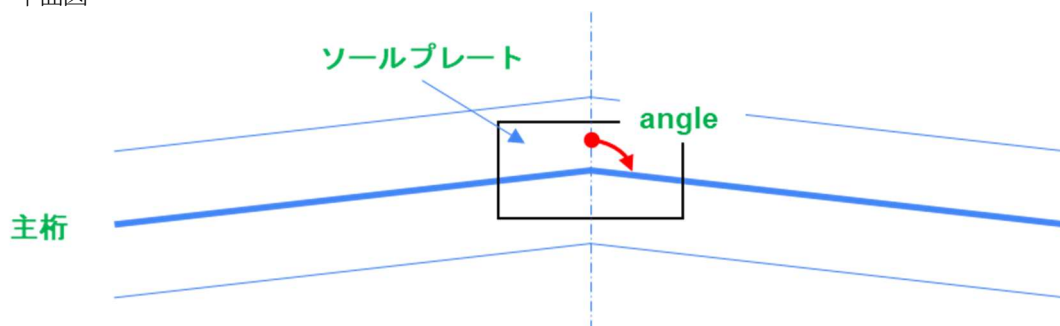
3. 5. 57 下フランジ拡幅形状

要素名	LflgWideningShape		論理名	下フランジ拡幅形状	
パス	/GirderInfo/Girder/LflgWideningShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	下フランジの拡幅部の形状を定義する ・ 属性 id と属性 width ・ length は、どちらか一方のみ定義する ・ 属性 id があれば id を使用し、属性 width、length は使用しない ・ 属性 id がなければ属性 width、length を使用する				
属性	position	支点名称	xs:string	必須	
	width	幅	xs:double	必須	
	length	長さ	xs:double	必須	
	slope	テーパ勾配	xs:int	必須	※設計システムの標準値は「5」とする
	tr	橋直方向	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「15.0」とする
	lg	橋軸方向	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする
	angle	主桁方向のずれ角度	xs:string	必須	※設計システムの標準値は「0° 0′ 0″」とする ※時計回りを正とする 角度の入力は、度分秒で指定する (例 : 12° 34′ 56.7″) ※支点折れ桁の場合は、終点側の主桁方向のずれ角度とする
	id	識別 ID	xs:string	必須	ソールプレート
記入例	■属性 id がない場合 <LflgWideningShape position="S1" width="500.0" length="500.0" slope="5" tr="15.0" lg="20.0" angle="0° 0′ 0″ " id="" /> ■属性 id がある場合 <LflgWideningShape position="S1" width="" length="" slope="5" tr="15.0" lg="20.0" angle="0° 0′ 0″ " id="SP1"/>				



■ 支点折れ桁の場合

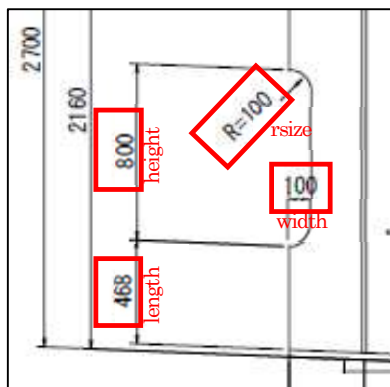
平面図



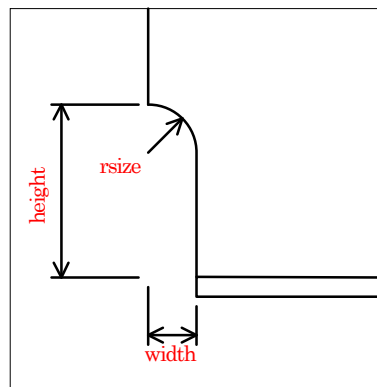
3.5.58 桁端マンホール形状

要素名	GirderEndManHole		論理名	桁端マンホール形状	
パス	/GirderInfo/Girder/GirderEndManHole				
子要素	—				
型	—				
出現回数	0 以上				
内容	桁端マンホール形状を定義する				
属性	position	配置位置	xs:string	必須	配置側を以下より指定する ・ 始側：SSIDE ・ 終側：ESIDE
	length	ウェブ下端からの寸法	xs:double	必須	「400.0」を初期値とする
	height	マンホール高さ	xs:double	必須	「800.0」を初期値とする
	width	マンホール幅	xs:double	必須	「100.0」を初期値とする
	rsize	マンホール R サイズ	xs:double	必須	「100.0」を初期値とする
記入例	<GirderEndManHole position="SSIDE" length="400.0" height="800.0" width="100.0" rsize="100.0"/>				

length が 0.0 より大きい場合



length が 0.0 の場合



3.5.59 ずれ止め配置定義

要素名	SlabStopperSet	論理名	ずれ止め配置定義
パス	/GirderInfo/Girder/SlabStopperSet		
子要素	SlabStopperShapeSet		
型	—		
出現回数	1		
内容	ずれ止め配置を定義する		
記入例	<pre> <SlabStopperSet> <SlabStopperShapeSet start="GE1" end="J1" rjoint="EXIST"> <SlabStopperPosition type="WEB" p="1@800.0" id="SH1"/> <SlabStopperPosition type="WEB" p="58@100.0" id="SH1"/> <SlabStopperPosition type="WEB" p="13@250.0" id="SH1"/> <SlabStopperPosition type="WEB" p="X" id="SH1"/> </SlabStopperShapeSet> . . . </SlabStopperSet> </pre>		

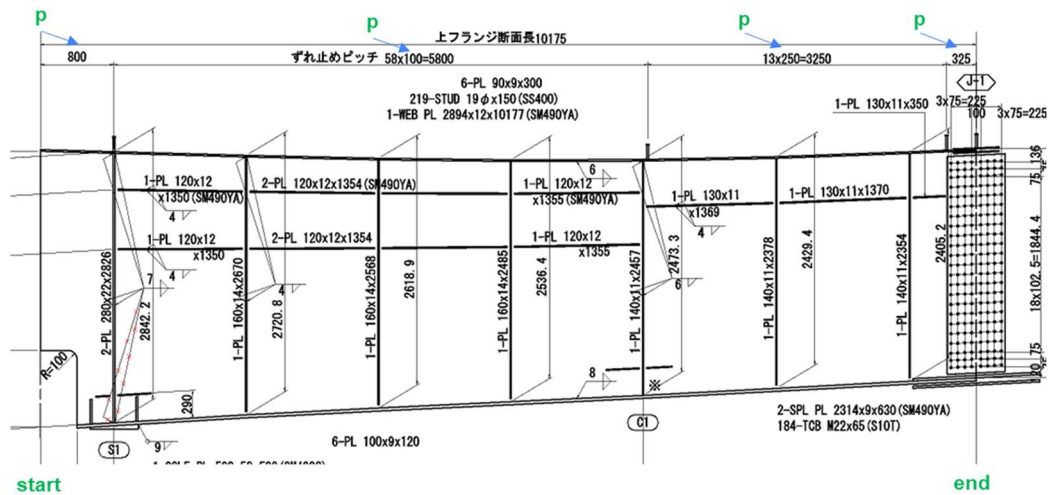
3.5.60 ずれ止め形状配置定義

要素名	SlabStopperShapeSet		論理名	ずれ止め形状配置定義	
パス	/GirderInfo/Girder/SlabStopperSet/SlabStopperShapeSet				
子要素	SlabStopperPosition				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	ずれ止め形状配置を定義する				
属性	start	始点側桁端名称・ジョイント名称	xs:string	必須	桁端名称もしくはジョイント名称を指定する
	end	終点側桁端名称・ジョイント名称	xs:string	必須	桁端名称もしくはジョイント名称を指定する
	rjoint	ブロックの右端のジョイント直上にずれ止めが存在するか	xs:string	必須	n@p で指定
記入例	<SlabStopperShapeSet start="GE1" end="J1" rjoint="EXIST"> <SlabStopperPosition type="WEB" p="1@800.0" id="SH1"/> <SlabStopperPosition type="WEB" p="58@100.0" id="SH1"/> <SlabStopperPosition type="WEB" p="13@250.0" id="SH1"/> <SlabStopperPosition type="WEB" p="X" id="SH1"/> </SlabStopperShapeSet>				

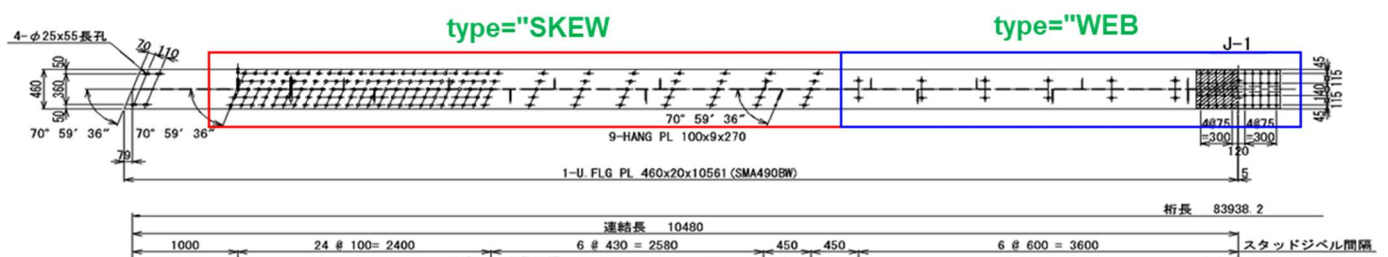
3.5.61 ずれ止め位置定義

要素名	SlabStopperPosition		論理名	ずれ止め位置定義	
パス	/GirderInfo/Girder/SlabStopperSet/SlabStopperShapeSet/SlabStopperPosition				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	ずれ止め位置を定義する				
属性	type	スタッド取付方	xs:string	必須	以下より選択

		向タイプ			WEB：ウェブ直角方向 SKEW：横断スキュー方向 RADIAL：放射状方向 ※RADIAL はスタッド取付方向が斜 から直角に変化、もしくは直角から 斜に変化する緩和区間に指定する ※SKEW は桁端部のみ、適用可能
	p	橋軸方向ピッチ	xs:string	必須	n@p で指定 始点位置から順に指定する ※終点側の最後の橋軸方向ピッチは 調整代とし、X で指定する
	id	識別 ID	xs:string	必須	スタッド橋直方向ピッチ 3.5.38 で定義した ID を指定 ※ SlabStopperShape の attribute が ANCHOR の場合、ブランク rjoint が EXIST の場合、終点側の最後 のピッチの ID を指定する rjoint が NOT の場合、終点側の最後 のピッチの ID はブランク
記入例	<SlabStopperShapeSet start="GE1" end="J1" rjoint="EXIST"> <SlabStopperPosition type="WEB" p="1@800.0" id="SH1"/> <SlabStopperPosition type="WEB" p="58@100.0" id="SH1"/> <SlabStopperPosition type="WEB" p="13@250.0" id="SH1"/> <SlabStopperPosition type="WEB" p="X" id="SH1"/> </SlabStopperShapeSet>				



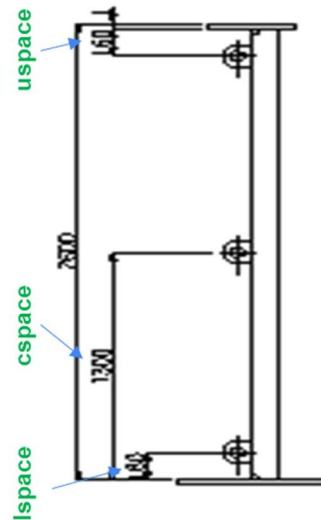
■ スキューがある場合
平面図



3.5.62 足場用吊り金具配置定義

要素名	ScaffoldLugSet		論理名		足場用吊り金具配置定義
パス	/GirderInfo/Girder/ScaffoldLugSet				
子要素	ScaffoldLugShapeSet				
型	—				
出現回数	1				
内容	足場用吊り金具配置を定義する				
属性	uflgsideid	識別 ID	xs:string	必須	上フランジ側足場用吊り金具 3.5.40 で定義した ID を指定 ※ない場合はブランクとする
	centerid	識別 ID	xs:string	必須	ウェブ中央側足場用吊り金具 3.5.40 で定義した ID を指定 ※ない場合はブランクとする
	lflgsideid	識別 ID	xs:string	必須	下フランジ側足場用吊り金具 3.5.40 で定義した ID を指定 ※ない場合はブランクとする
	uspace	ウェブ天端-上側 足場用吊り金具 間の空き量 (モールド位置 からの距離	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「35.0」と する ※ない場合はブランクとする ※TYPE1 の場合は孔中心位置までの 距離 ※TYPE2～4 の場合はモールド上縁- 吊金具上端までの距離
	cspace	ウェブ下端-ウェブ中央側足場用 吊り金具間の空 き量 (モールド位置 からの距離)	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「35.0」と する ※ない場合はブランクとする ※TYPE1 の場合は孔中心位置までの 距離 ※TYPE2～4 の場合はモールド下縁- 吊金具下端までの距離
	lspace	ウェブ下端-下側 足場用吊り金具 間の空き量 (モールド位置 からの距離)	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「35.0」と する ※ない場合はブランクとする ※TYPE1 の場合は孔中心位置までの 距離 ※TYPE2～4 の場合はモールド下縁- 吊金具下端までの距離
	face	足場用吊り金具 取付面	xs:double	必須	表面(起点右側から見える面) : NS 裏面 : FS 両面 : WS
記入例	<ScaffoldLugSet uflgsideid="SLS1" centerid="" lflgsideid="SLS2" uspace="100.0" cspace="" lspace="30.0" face=WS"> <ScaffoldLugShapeSet start="GE1" end="J1"> <ScaffoldLugPosition p="1@800.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@400.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@434.9"/> . . . <ScaffoldLugPosition p="1@660.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@580.0"/>				

	<pre> <ScaffoldLugPosition p="1@500.0"/> </ScaffoldLugShapeSet> . . . </ScaffoldLugSet> </pre>
--	--

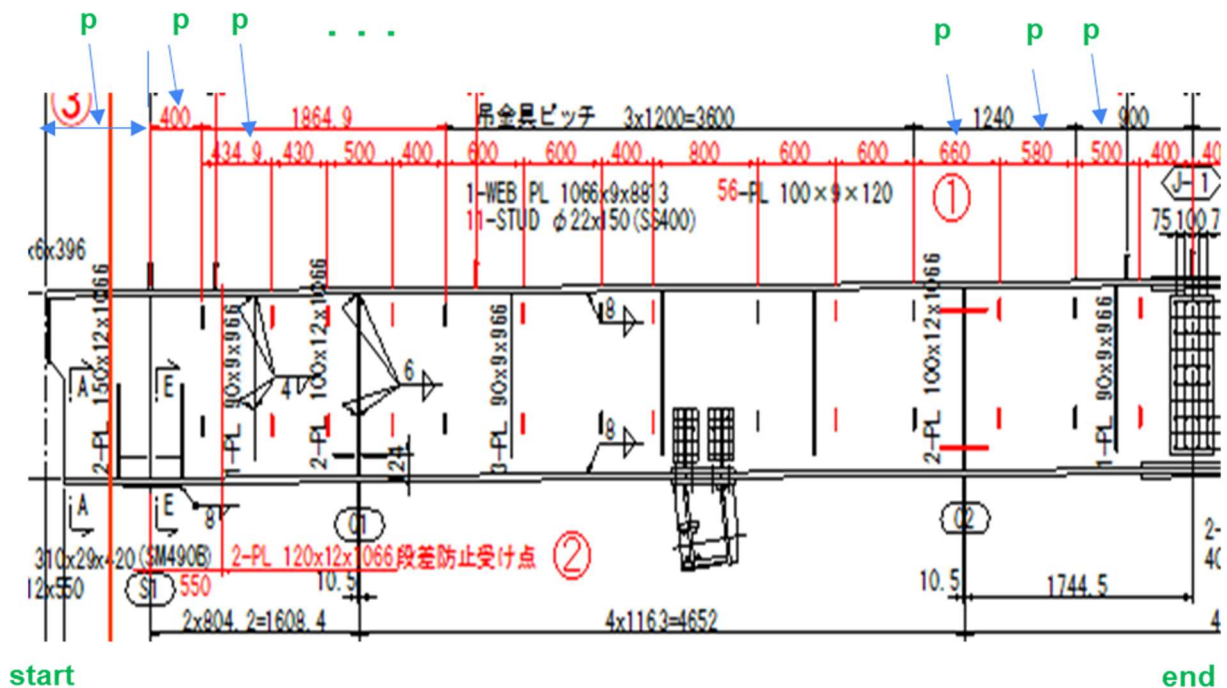


3.5.63 足場用吊り金具形状配置定義

要素名	ScaffoldLugShapeSet		論理名	足場用吊り金具形状配置定義	
パス	/GirderInfo/Girder/ScaffoldLugSet/ScaffoldLugShapeSet				
子要素	ScaffoldLugPosition				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	足場用吊り金具形状配置を定義する				
属性	start	始点側桁端名称・ジョイント名称	xs:string	必須	桁端名称もしくはジョイント名称を指定する
	end	終点側桁端名称・ジョイント名称	xs:string	必須	桁端名称もしくはジョイント名称を指定する
記入例	<ScaffoldLugShapeSet start="GE1" end="J1"/> <ScaffoldLugPosition p="1@800.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@400.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@434.9"/> . . . <ScaffoldLugPosition p="1@660.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@580.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@500.0"/> </ScaffoldLugShapeSet> . . .				

3.5.64 足場用吊り金具位置定義

要素名	ScaffoldLugPosition		論理名	足場用吊り金具位置定義
パス	/GirderInfo/Girder/ScaffoldLugSet/ScaffoldLugShapeSet/ScaffoldLugPosition			
子要素	—			
型	—			
出現回数	1 以上			
内容	足場用吊り金具位置を定義する			
属性	p	橋軸方向ピッチ	xs:string	必須 n@p で指定 始点位置から順に指定する ※終点側の最後の足場用吊り金具の 吊り金具ピッチは含めない
記入例	<ScaffoldLugPosition p="1@800.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@400.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@434.9"/> . . . <ScaffoldLugPosition p="1@660.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@580.0"/> <ScaffoldLugPosition p="1@500.0"/>			

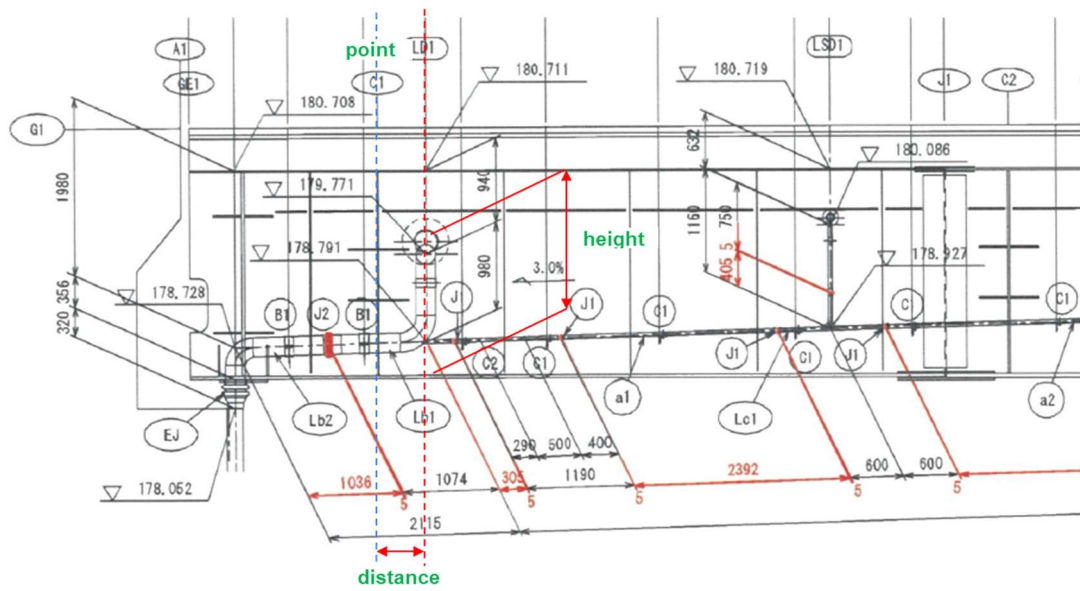


3.5.65 ウェブ貫通孔配置定義

要素名	WebHoleSet	論理名	ウェブ貫通孔配置定義
パス	/GirderInfo/Girder/WebHoleSet		
子要素	WebHoleShapeSet		
型	—		
出現回数	0 以上		
内容	ウェブ貫通孔配置を定義する		
記入例	<pre><WebHoleSet> <WebHoleShapeSet point="C1" distance="500.0" height="1200.0" id="WH1"/> . . . </WebHoleSet></pre>		

3.5.66 ウェブ貫通孔情報

要素名	WebHoleShapeSet		論理名	ウェブ貫通孔情報	
パス	/GirderInfo/Girder/WebHoleSet/WebHoleShapeSet				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	ウェブ貫通孔配置を定義する				
属性	point	横断線名称	xs:string	必須	
	distance	ウェブ貫通孔位置橋軸方向寸法	xs:double	必須	※最寄りの横断線(桁端、支点、格点)を基準として主桁線上の距離を指定する ウェブ貫通孔位置は、位置に応じて符号をつける ＋値：橋軸進行方向 －値：橋軸進行逆方向
	height	ウェブ貫通孔位置 Z 方向寸法 (モールド位置からの距離)	xs:double	必須	モールド位置からウェブ貫通孔までの寸法 ※上フランジ内逃げの場合は上フランジ上面からの離れ ＋値：モールド上縁から －値：モールド下縁から
	id	識別 ID	xs:string	必須	ウェブ貫通孔 3.5.27 で定義した ID を指定
記入例	<WebHoleShapeSet point="C1" distance="500.0" height="1200.0" id="WH1"/>				



3.6 横桁情報

要素名	CbeamInfo	論理名	横桁情報
パス	/CbeamInfo		
子要素	<u>CbeamCommon</u> <u>CbeamSection</u> <u>CbeamSpliceShape</u> <u>CbeamStiffenerShape</u> <u>CbeamManHoleShape</u> <u>CbeamSet</u>		
型	—		
出現回数	0 か 1		
内容	横桁情報を定義する		
記入例	<pre> <CbeamInfo> <CbeamCommon> <CbeamJointClearance type="CBM" uflg="10.0" web="10.0" lflg="10.0"/> . . . </CbeamCommon> <CbeamSection> . . . </CbeamSection> <CbeamSpliceShape> . . . </CbeamSpliceShape> <CbeamStiffenerShape> . . . </CbeamStiffenerShape> <CbeamManHoleShape> . . . </CbeamManHoleShape> <CbeamSet> <Cbeam leftgirder="G1" rightgirder="G2" position="S1" type="TYPE1" cid="CB1" lid="CB1" rid="CB1" shift="+X"> <CbeamPosition lu="100.0" ld="100.0" ru="100.0" rd="100.0" lc="" rc=""/> <CbeamSpliceSet lj="500.0" rj="500.0" lufg="CFS1" rufg="CFS1" rweb="CWS1" lweb="CWS1" llfg="CFS1" rlfg="CFS1"/> <CbeamVstiffenerSet ldistance="1250" cdistance="" rdistance="" face="NS" id="CVS1"/> <CbeamHstiffenerSet uratio="0.2" lratio="0.2" start="1" end="7" face="NS" id="CHS1"/> <CbeamManHoleSet ldistance="1129.0" height="800.0" id="CMH1"/> </Cbeam> . . . </CbeamSet> </CbeamInfo> </pre>		

3. 6. 1 横桁共通詳細情報

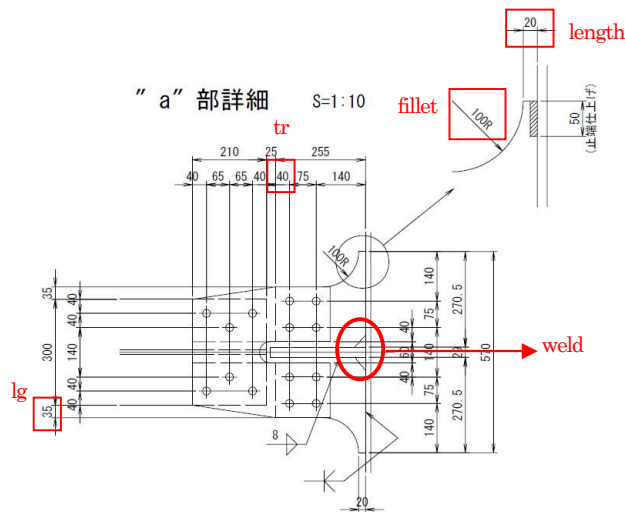
要素名	CbeamCommon	論理名	横桁共通詳細情報
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon		
子要素	<u>CbeamJointClearance</u> <u>CbeamConnectionShape</u> <u>CbeamVstiffCommonShape</u> <u>CbeamHstiffCommonShape</u> <u>CbeamSpliceCommonShape</u> <u>CbeamLapHoleCommonShape</u> <u>CbeamGirderConnectionCommonShape</u> <u>CbeamManHoleCommonShape</u> <u>CbeamManHoleCommonShape</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	横桁共通詳細情報を定義する		
記入例	<pre> <CbeamCommon> <CbeamJointClearance type="CBM" uflg="10.0" web="10.0" lflg="10.0"/> <CbeamConnectionShape type="CBM" cut="15C" fillet="100" length="20" lg="40.0" tr="40.0"/> <CbeamVstiffCommonShape weldu="15C" weldl="15C" length="10.0" angle="45"/> <CbeamHstiffCommonShape> <HVplateSideShape space="35.0" length="10.0" angle="45"/> <HSpliceSideShape space="20.0" length="0.0" angle="0"/> <HHplateSideShape space="20.0" length="10.0" angle="45"/> </CbeamHstiffCommonShape> <CbeamSpliceCommonShape type="CBM" flgcut="TYPE1"> <UflgEdge lg="40.0" tr_outside="40.0" tr_inside="40.0"/> <WebEdge tr="40.0" hg="40.0" slope="3.0"/> <LflgEdge lg="40.0" tr="40.0"/> </CbeamSpliceCommonShape> <CbeamLapHoleCommonShape> <Edge hgu="40.0" hgl="40.0" wtr="40.0" vtr="40.0"/> <Notch type="LEVEL" rsize="20.0" backlg="20.0" uspace="20.0" lspace="20.0" hrsize="20.0"/> <SupportPoint type="TYPE1"/> <PanelPoint type="TYPE2"/> <Attract method="TYPE1"/> </CbeamLapHoleCommonShape> <CbeamGirderConnectionCommonShape> <SupportPoint weldu="15C" weldl="15C"/> <PanelPoint weldu="35R" weldl="35R"/> </CbeamGirderConnectionCommonShape> <CbeamManHoleCommonShape margin="20.0" length="20.0"> <Hplate cut=""/> <Vplate cut=""/> </CbeamManHoleCommonShape> <CbeamWebHoleCommonShape space="20.0"/> </CbeamCommon> </pre>		

3.6.2 ジョイントクリアランス定義

要素名	CbeamJointClearance		論理名	ジョイントクリアランス定義	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamJointClearance				
子要素	－				
型	－				
出現回数	0 以上				
内容	上フランジ、ウェブ、下フランジのクリアランスを定義する				
属性	type	横桁タイプ	xs:string	必須	一般横桁：CBM H 鋼横桁：HCBM
	uflg	上フランジ	xs:double	必須	※「10.0」を初期値とする
	web	ウェブ	xs:double	必須	※「10.0」を初期値とする
	lflg	下フランジ	xs:double	必須	※「10.0」を初期値とする
記入例	<CbeamJointClearance type="CBM" uflg="10.0" web="10.0" lflg="10.0"/> <CbeamJointClearance type="HCBM" uflg="10.0" web="10.0" lflg="10.0"/>				

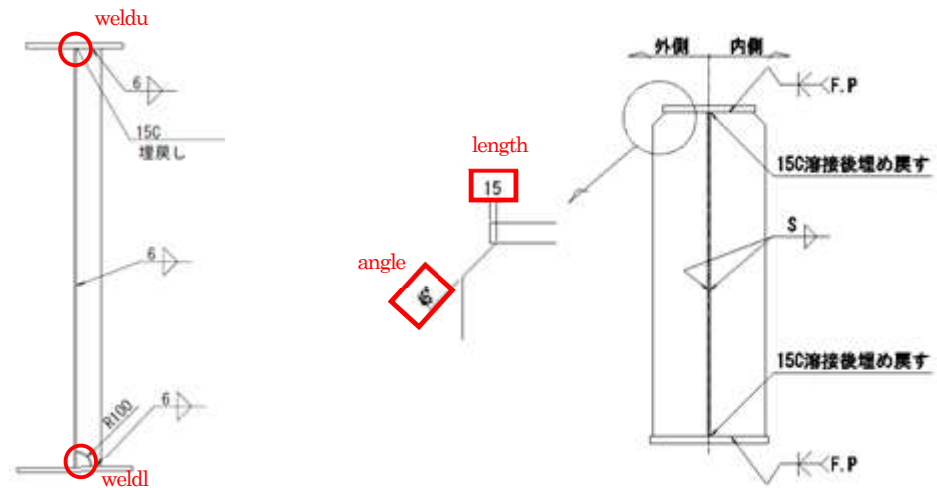
3.6.3 コネクションプレート材端形状

要素名	CbeamConnectionShape		論理名	コネクションプレート材端形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamConnectionShape				
子要素	－				
型	－				
出現回数	0 以上				
内容	コネクションプレート形状を定義する				
属性	type	横桁タイプ	xs:string	必須	一般横桁：CBM H 鋼横桁：HCBM
	weld	溶接辺側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「15C」とする
	fillet	フィレットサイズ	xs:double	必須	※「100.0」を初期値とする
	length	立上げ量	xs:double	必須	※「20.0」を初期値とする
	lg	橋軸方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	tr	橋直方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
記入例	<CbeamConnectionShape type="CBM" weld="15C" fillet="100.0" length="20.0" lg="40.0" tr="40.0"/> <CbeamConnectionShape type="HCBM" weld="15C" fillet="100.0" length="20.0" lg="40.0" tr="40.0"/>				



3. 6. 4 横桁垂直補剛材切欠き定義

要素名	CbeamVstiffCommonShape		論理名	横桁垂直補剛材切欠き定義	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamVstiffCommonShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	横桁付き垂直補剛材の切欠きを定義する				
属性	weldu	溶接辺側上側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合： 「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「35R」とする
	weldl	溶接辺側下側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合： 「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「35R」とする
	length	上側切欠き残し量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「10.0」とする
	angle	上側切欠き角度	xs:int	必須	※設計システムの標準値は「45」とする
記入例	<CbeamVstiffCommonShape weldu="35R" weldl="35R" length="10.0" angle="45"/>				

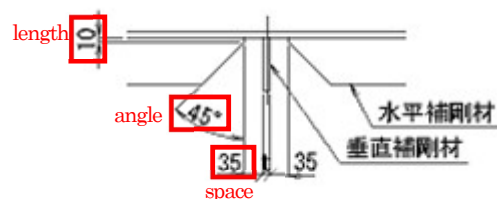


3. 6. 5 横桁水平補剛材切欠き定義

要素名	CbeamHstiffCommonShape	論理名	横桁水平補剛材切欠き定義
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamHstiffCommonShape		
子要素	HVplateSideShape HSpliceSideShape HHplateSideShape		
型	—		
出現回数	1		
内容	横桁付き水平補剛材詳細の切欠きを定義する		
記入例	<pre><CbeamHstiffCommonShape> <HVplateSideShape space="35.0" length="10.0" angle="45"/> <HSpliceSideShape space="20.0" length="0.0" angle="0"/> <HHplateSideShape space="20.0" length="10.0" angle="45"/> </CbeamHstiffCommonShape></pre>		

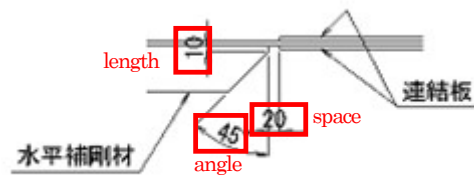
3. 6. 6 垂直部材側空き量・切欠き定義

要素名	HVplateSideShape			論理名	垂直部材側空き量・切欠き定義
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamHstiffCommonShape/HVplateSideShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	垂直補剛材部の空き量を定義する				
属性	space	空き量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「35.0」とする
	length	残し量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「10.0」とする
	angle	角度	xs:int	必須	※設計システムの標準値は「45」とする
記入例	<HVplateSideShape space="35.0" length="10.0" angle="45"/>				



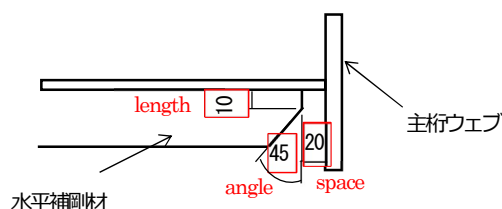
3.6.7 添接側空き量・切欠き定義

要素名	HSpliceSideShape			論理名	添接側空き量・切欠き定義
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamHstiffCommonShape/HSpliceSideShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	添接部の空き量を定義する				
属性	space	空き量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする
	length	残し量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「0.0」とする
	angle	角度	xs:int	必須	※設計システムの標準値は「0」とする
記入例	<HSpliceSideShape space="20.0" length="0.0" angle="0"/>				



3.6.8 主桁ウェブ部空き量・切欠き定義

要素名	HHplateSideShape		論理名	主桁ウェブ部空き量・切欠き定義	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamHstiffCommonShape/HHplateSideShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	主桁ウェブ部の空き量を定義する				
属性	space	空き量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする
	length	残し量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「0.0」とする
	angle	角度	xs:int	必須	※設計システムの標準値は「45」とする
記入例	<HHplateSideShape space="20.0" length="10.0" angle="45"/>				

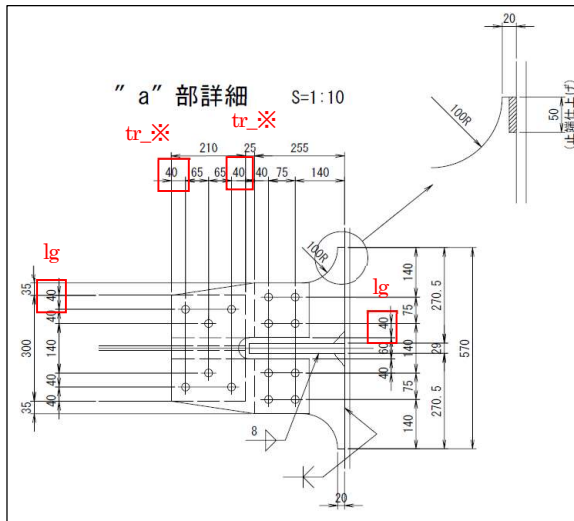


3.6.9 横桁添接板材端形状

要素名	CbeamSpliceCommonShape		論理名	横桁添接板材端形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamSpliceCommonShape				
子要素	UflgEdge WebEdge LflgEdge				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	上フランジ、ウェブ、下フランジ添接板材端形状を定義する				
属性	type	横桁タイプ	xs:string	必須	一般横桁：CBM H 鋼横桁：HCBM
	flgcut	フランジ切ロタイプ	xs:string	必須	横断線直角：TYPE1 主桁ウェブに平行：TYPE2
記入例	<CbeamSpliceCommonShape type="CBM" flgcut="TYPE1"> <UflgEdge lg="40.0" tr_outside="40.0" tr_inside="40.0"/> <WebEdge tr="40.0" hg="40.0" slope="3.0"/> <LflgEdge lg="40.0" tr="40.0"/> </CbeamSpliceCommonShape>				

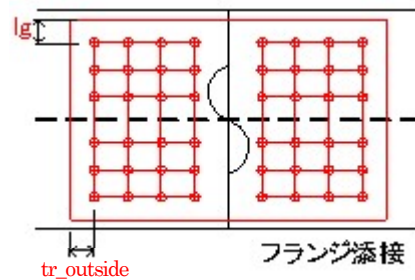
3. 6. 10 上フランジ添接板材端形状

要素名	UflgEdge		論理名	上フランジ添接板材端形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamSpliceCommonShape/UflgEdge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	上フランジ添接板材端形状を定義する				
属性	lg	橋軸方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	tr_outside	外側添接の橋直方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	tr_inside	内側添接の橋直方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
記入例	<UflgEdge lg="40.0" tr_outside="40.0" tr_inside="40.0"/>				

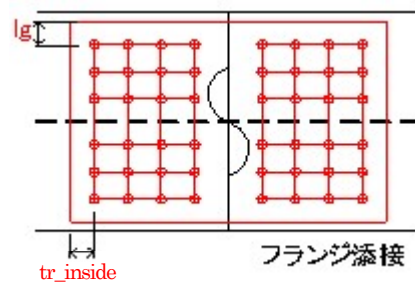


上図の tr_※は、tr_outside もしくは tr_inside を示す。

外側添接の場合

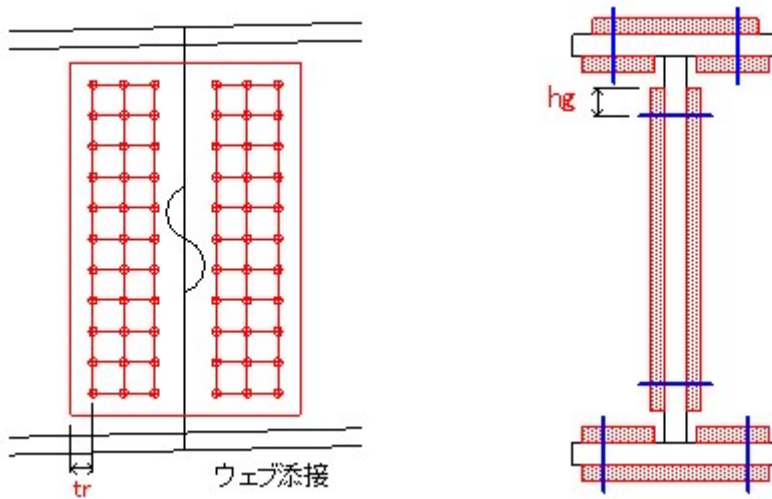


内側添接の場合



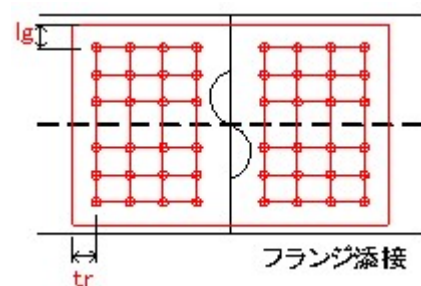
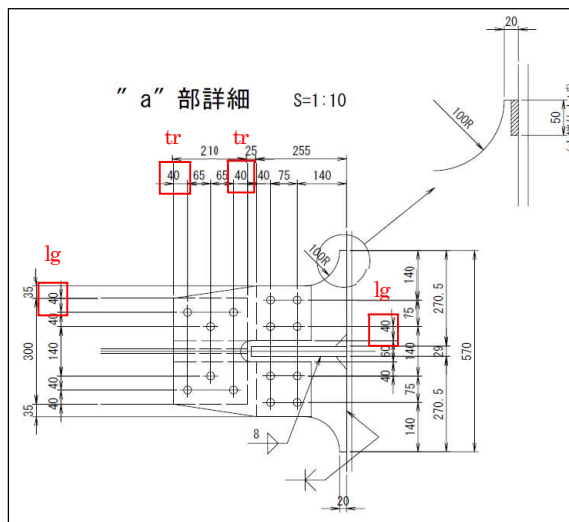
3. 6. 11 ウェブ添接板材端形状

要素名	WebEdge		論理名	ウェブ添接板材端形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamSpliceCommonShape/WebEdge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ウェブ添接板材端形状を定義する				
属性	tr	橋直方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	hg	高さ方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	slope	孔勾配下限値	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「3.0」とする
記入例	<WebEdge tr="40.0" hg="40.0" slope="3.0"/>				



3. 6. 12 下フランジ添接板材端形状

要素名	LfIgEdge		論理名	下フランジ添接板材端形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamSpliceCommonShape/LfIgEdge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	下フランジ添接板材端形状を定義する				
属性	lg	橋軸方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	tr	橋直方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
記入例	<LfIgEdge lg="40.0" tr="40.0"/>				

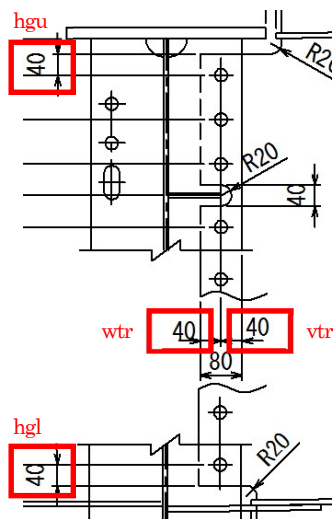


3. 6. 13 横桁重ね継手部詳細情報

要素名	CbeamLapHoleCommonShape	論理名	横桁重ね継手部詳細情報
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamLapHoleCommonShape		
子要素	<u>Edge</u> <u>Notch</u> <u>SupportPoint</u> <u>PanelPoint</u> <u>Attract</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	横桁重ね継手部詳細情報を定義する		
記入例	<pre> <CbeamLapHoleCommonShape> <Edge hgu="40.0" hgl="40.0" wtr="40.0" vtr="40.0"/> <Notch type="LEVEL" rsize="20.0" backlg="20.0" uspace="20.0" lspace="20.0" hsize="20.0"/> <SupportPoint type="TYPE1"/> <PanelPoint type="TYPE2"/> <Attract method="TYPE1"/> </CbeamLapHoleCommonShape> </pre>		

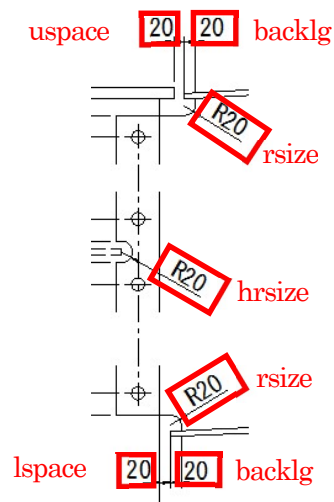
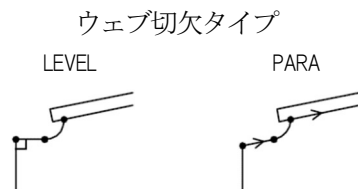
3. 6. 14 ウェブ材端形状

要素名	Edge		論理名	ウェブ材端形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamLapHoleCommonShape/Edge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ウェブ材端形状を定義する				
属性	hgu	ウェブ上側材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	hgl	ウェブ下側材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	wtr	ウェブ外側材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	vtr	主桁 VSTF 材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
記入例	<Edge hgu="40.0" hgl="40.0" wtr="40.0" vtr="40.0"/>				



3. 6. 15 ウェブ切欠形状

要素名	Notch		論理名		ウェブ切欠形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamLapHoleCommonShape/Notch					
子要素	—					
型	—					
出現回数	1					
内容	ウェブ切欠形状を定義する					
属性	type	ウェブ切欠タイプ	xs:string	必須	※設設計システムの標準値は「LEVEL」とする レベル：LEVEL 平行：PARA	
	rsiz	切欠 R サイズ	xs:double	必須	※設設計システムの標準値は「20.0」とする	
	backlg	切欠空き量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする	
	uspace	上フランジ空量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする	
	lspace	下フランジ空量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする	
	hrsize	払込用切欠 R サイズ	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする	
記入例	<Notch type="LEVEL" rsiz="20.0" backlg="20.0" uspace="20.0" lspace="20.0" hrsize="20.0"/>					



3. 6. 16 支点合わせ位置

要素名	SupportPoint		論理名	支点合わせ位置	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamLapHoleCommonShape/SupportPoint				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	支点合わせ位置を定義する				
属性	type	支点部合わせタイプ	xs:string	必須	※設計システムの標準値は「TYPE1」とする 補剛材位置：TYPE1 横桁位置：TYPE2
記入例	<SupportPoint type="TYPE1"/>				



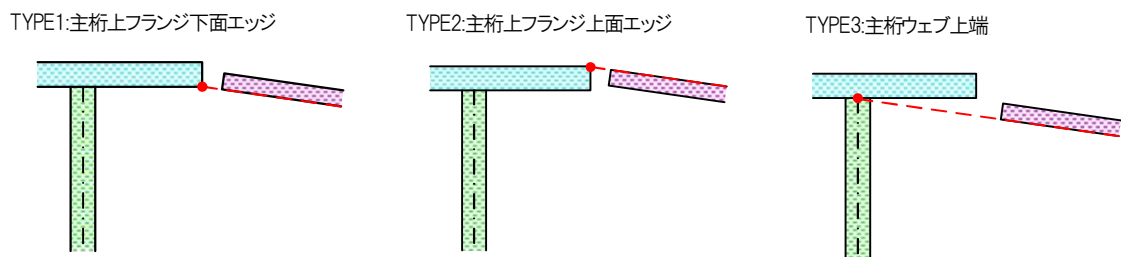
3. 6. 17 格点合わせ位置

要素名	PanelPoint		論理名	格点合わせ位置	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamLapHoleCommonShape/PanelPoint				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	格点合わせ位置を定義する				
属性	type	格点部合わせタイプ	xs:string	必須	※設計システムの標準値は「TYPE2」とする 補剛材位置：TYPE1 横桁位置：TYPE2
記入例	<PanelPoint type="TYPE2"/>				



3. 6. 18 主桁上フランジコバ合わせ時引付点位置

要素名	Attract		論理名	引付点位置	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamLapHoleCommonShape/Attract				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	主桁上フランジコバ合わせ時引付点位置を定義する				
属性	method	引付点位置 タイプ	xs:string	必須	※設計システムの標準値は「TYPE1」とする TYPE1：主桁上フランジ下面エッジ TYPE2：主桁上フランジ上面エッジ TYPE3：主桁ウェブ上端
記入例	<Attract method="TYPE1"/>				

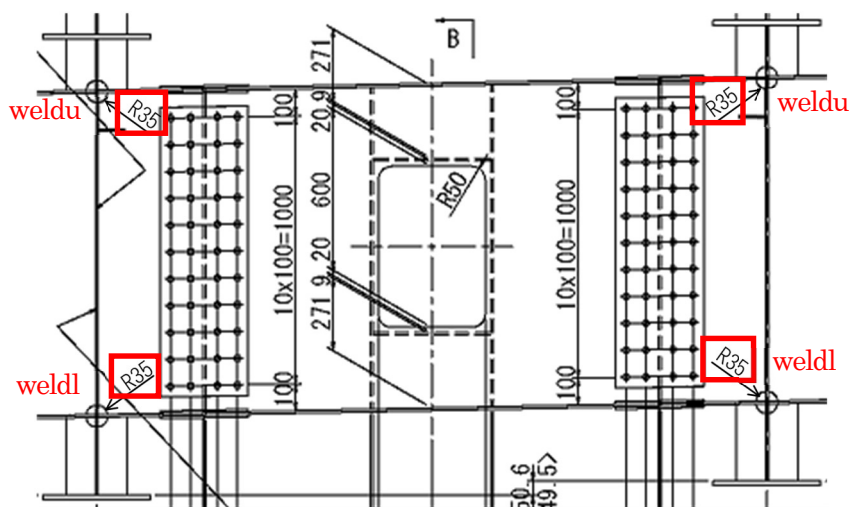


3. 6. 19 仕口部形状

要素名	CbeamGirderConnectionCommonShape	論理名	仕口部形状
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamGirderConnectionCommonShape		
子要素	SupportPoint PanelPoint		
型	—		
出現回数	1		
内容	仕口部形状を定義する		
記入例	<CbeamGirderConnectionCommonShape> <SupportPoint weldu="15C" weldl="15C"/> <PanelPoint weldu="35R" weldl="35R"/> </CbeamGirderConnectionCommonShape>		

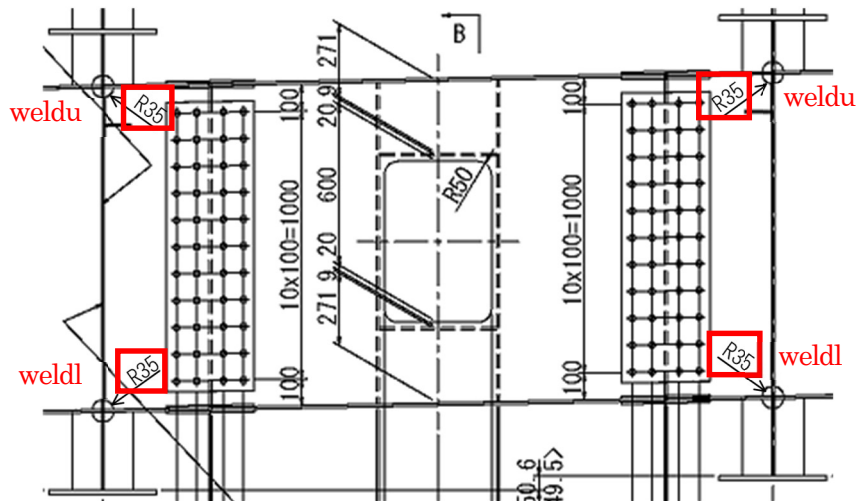
3. 6. 20 支点部切欠形状

要素名	SupportPoint		論理名	支点部切欠形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamGirderConnectionCommonShape /SupportPoint				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	支点部切欠形状を定義する				
属性	weldu	溶接辺側上側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「15C」とする
	weldl	溶接辺側上側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「15C」とする
記入例	<SupportPoint weldu="15C" weldl="15C"/>				



3. 6. 21 格点部切欠形状

要素名	PanelPoint		論理名	格点部切欠形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamGirderConnectionCommonShape/PanelPoint				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	格点部切欠形状を定義する				
属性	weldu	溶接辺側上側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「35R」とする
	weldl	溶接辺側上側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「35R」とする
記入例	<PanelPoint weldu="35R" weldl="35R"/>				



3. 6. 22 マンホール詳細

要素名	CbeamManHoleCommonShape		論理名	マンホール詳細	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamManHoleCommonShape				
子要素	Hplate Vplate				
型	—				
出現回数	1				
内容	マンホール詳細を定義する				
属性	margin	カラープレートからの空き量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする
	length	水平カラープレート突出量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする
記入例	<CbeamManHoleCommonShape margin="20.0" length="20.0"> <Hplate cut=""/> <Vplate cut=""/> </CbeamManHoleCommonShape>				

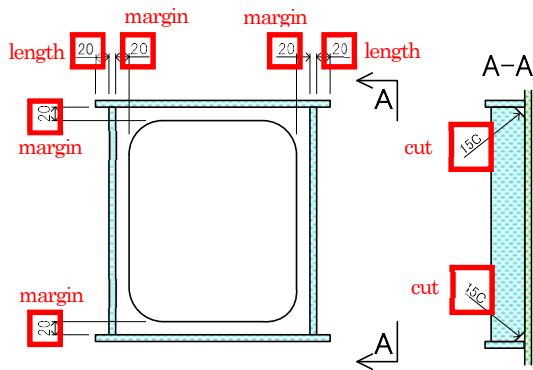
3. 6. 23 水平カラープレート左右切欠形状

要素名	Hplate		論理名	水平カラープレート左右切欠形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamManHoleCommonShape/Hplate				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	水平カラープレート左右切欠形状を定義する				
属性	cut	水平カラープレートの左右切欠	xs:string	必須	ビードカットの場合：「10C」 スカラップの場合：「35R」 切欠が不要の場合：「Non」 ※設計システムの標準値は「Non」とする
記入例	<Hplate cut="Non"/>				

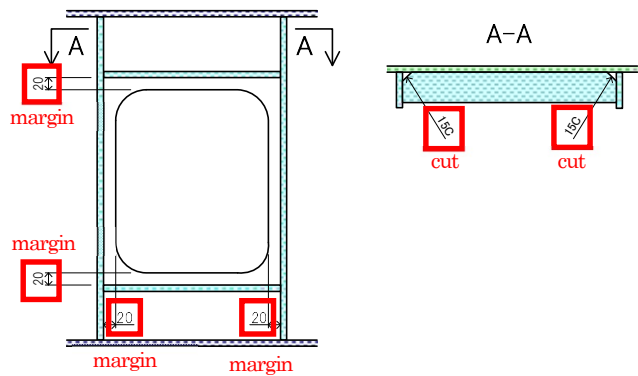
3. 6. 24 垂直カラークラッププレート上下切欠形状

要素名	Vplate		論理名	垂直カラークラッププレート上下切欠形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamManHoleCommonShape/Vplate				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	垂直カラークラッププレート上下切欠形状を定義する				
属性	cut	垂直カラークラッププレートの上下切欠	xs:string	必須	ビードカットの場合：「10C」 スカラップの場合：「35R」 切欠が不要の場合：「Non」 ※設計システムの標準値は「Non」とする
記入例	<Vplate cut=""/>				

TYPE1:カラークラッププレートの場合



TYPE2:垂直カラークラッププレートが垂直補剛材兼用となっている場合



3. 6. 25 横桁ウェブ開口詳細

要素名	CbeamWebHoleCommonShape		論理名	横桁ウェブ開口詳細	
パス	/CbeamInfo/CbeamCommon/CbeamWebHoleCommonShape				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1				
内容	横桁ウェブ開口詳細を定義する				
	space	ウェブ開口部とダブリングの間隔	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「15.0」とする
記入例	<CbeamWebHoleCommonShape space="15.0" />				

3. 6. 26 横桁断面情報

要素名	CbeamSection	論理名	横桁断面情報
パス	/CbeamInfo/CbeamSection		
子要素	<u>Btcbeam</u> <u>Hcbeam</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	横桁断面情報を定義する		
記入例	<pre> <CbeamSection> <Btcbeam id="CB1"> <ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/> <ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/> <ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/> </Btcbeam> <Hcbeam id="HCB1" height="700.0" width="300.0" webthickness="13.0" flgthickness="24.0" material="SM490YB"/> </CbeamSection> </pre>		

3. 6. 27 横桁断面形状

要素名	Btcbeam		論理名	横桁断面形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamSection/Btcbeam				
子要素	ISectionUflg ISectionWeb ISectionLflg				
型	—				
出現回数	0 以上				
内容	横桁断面形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
記入例	<Btcbeam id="CB1"> <ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/> <ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/> <ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/> </Btcbeam>				

3. 6. 28 上フランジ部材形状

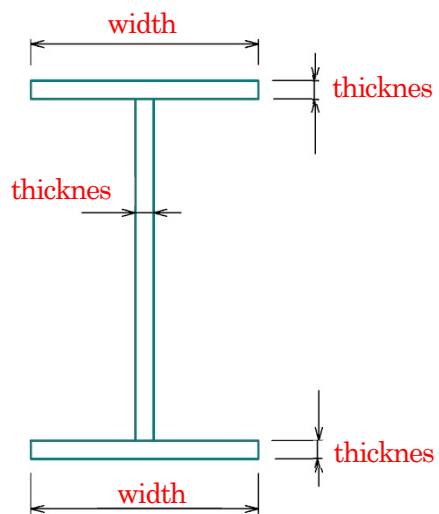
要素名	ISectionUflg		論理名	上フランジ部材形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamSection/Btcbeam/ISectionUflg				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	上フランジ部材断面を定義する				
属性	width	フランジ幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/>				

3. 6. 29 ウェブ部材形状

要素名	ISectionWeb		論理名	ウェブ部材形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamSection/Btcbeam/ISectionWeb				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ウェブ部材断面を定義する				
属性	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/>				

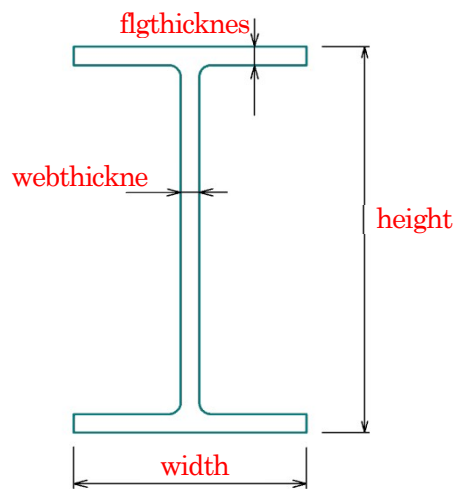
3. 6. 30 下フランジ部材形状

要素名	ISectionLflg		論理名	下フランジ部材形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamSection/Btcbeam/ISectionLflg				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	下フランジ部材断面を定義する				
属性	width	フランジ幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/>				



3. 6. 31 横桁 H 鋼断面形状

要素名	Hcbeam		論理名	横桁 H 鋼断面形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamSection/Hcbeam				
子要素	—				
型	—				
出現回数	0 以上				
内容	横桁 H 鋼断面形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	height	H 鋼ウェブ高	xs:double	必須	
	width	H 鋼フランジ幅	xs:double	必須	
	webthickness	H 鋼ウェブ板厚	xs:double	必須	
	flgthickness	H 鋼フランジ板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<Hcbeam id="HCB1" height="700.0" width="300.0" webthickness="13.0" flgthickness="24.0" material="SM490YB"/>				



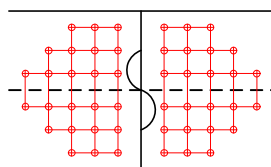
3. 6. 32 横桁添接形状定義

要素名	CbeamSpliceShape	論理名	横桁添接形状定義
パス	/CbeamInfo/CbeamSpliceShape		
子要素	IFlgSplice CbeamConnectionSplice CbeamGussetHoleShape WebSplice CbeamLapHoleShape		
型	—		
出現回数	1		
内容	横桁フランジ添接形状を定義する		
記入例	<pre> <CbeamSpliceShape> <IFlgSplice id="CFS1" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0" nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/> <CbeamConnectionSplice id="CCS1" width="120.0" thickness="9.0" material="SMA400A" pattern="K1" dia="24.5" p1="2@65.0" p2="75.0" cg="140.0" g1="40.0" g2="75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0" nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/> <CbeamGussetHoleShape id="CFG1" pattern="K1" dia="24.5" c="45.0" p="3@45.0" cg="140.0" g="1@75.0"/> <WebSplice id="CWS1" dia="24.5" cp="100.0" p="3@75.0" gu="" gc="20@105.0" gl="" du="120.0" dl="150.0" splt="9.0" splm="SS400" fillt="2.3" fillm="SS400"/> <CbeamLapHoleShape id="CLS1" dia="24.5" du="240.0" dl="340.0" g1="1@120.0" g2="8@100.0" g3="" g4=""/> </CbeamSpliceShape> </pre>		

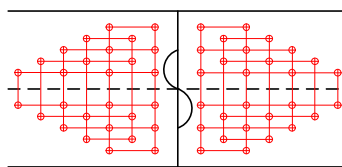
3. 6. 33 横桁フランジボルト配置

要素名	IFlgSplice		論理名	横桁フランジボルト配置	
パス	/CbeamInfo/CbeamSpliceShape/IFlgSplice				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	横桁フランジボルト配置を定義する。				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	pattern	孔タイプ	xs:string	必須	孔タイプを以下より指定する 格子 : K1 千鳥 1 : C1 千鳥 2 : C2 千鳥 3 : C3
	dia	孔径	xs:double	必須	
	cp	センターピッチ	xs:double	必須	
	p1	ピッチ 1	xs:string	必須	四角形部のピッチ n@p で指定
	p2	ピッチ 2	xs:string	必須	三角形部のピッチ n@p で指定 三角形部がないときはブランク
	cg	センターゲージ	xs:double	必須	
	g	ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定
	spltype	添接板タイプ	xs:string	必須	添接板タイプを以下より指定する 外側親・内側子 : TYPE1 両側子 : TYPE2
	nssplt	表側添接板厚	xs:double	必須	
	nssplm	表側添接板材質	xs:string	必須	
	fssplt	裏側添接板厚	xs:double	必須	
	fssplm	裏側添接板材質	xs:string	必須	
	fillt	フィラー板厚	xs:double	必須	ない場合は Non
fillm	フィラー材質	xs:string	必須	ない場合は Non	
記入例	<IFlgSplice id="CFS1" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0" nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/>				

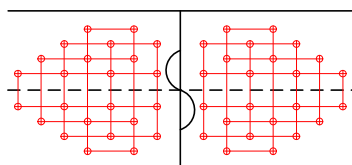
ボルト孔タイプは以下より指定する。



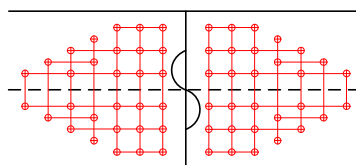
格子



千鳥 1

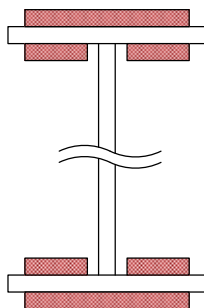


千鳥 2

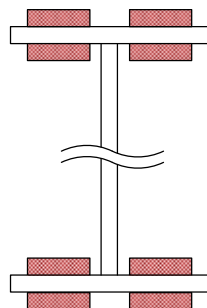


千鳥 3

添接板タイプは以下より指定する。

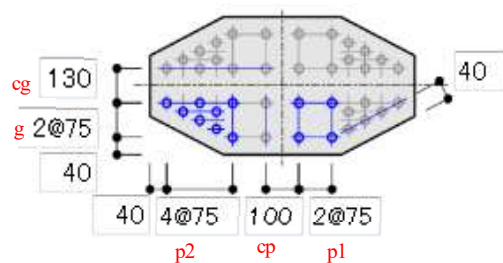
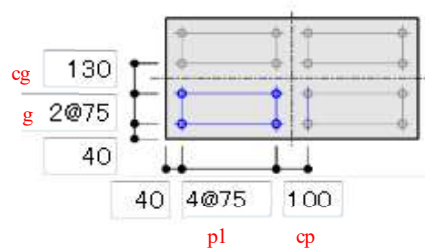


TYPE1



TYPE2

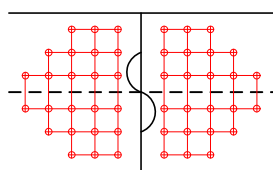
ボルトのピッチ、ゲージ



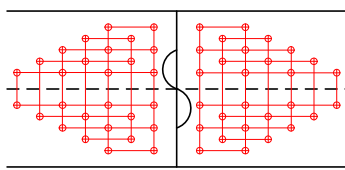
3. 6. 34 コネクションボルト配置

要素名	CbeamConnectionSplice		論理名	コネクションボルト配置	
パス	/CbeamInfo/CbeamSpliceShape/CbeamConnectionSplice				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	コネクションボルト配置を定義する。				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	width	コネクション幅	xs:double	必須	
	thickness	コネクション板厚	xs:double	必須	
	material	コネクション材質	xs:string	必須	
	pattern	孔タイプ	xs:string	必須	横桁側孔タイプを以下より指定する 格子：K1 千鳥1：C1 千鳥2：C2 ※主桁側は格子
	dia	孔径	xs:double	必須	
	p1	フランジ孔のピッチ (Y 方向)	xs:string	必須	n@p で指定
	p2	コネクション孔の寸法 (Y 方向)	xs:string	必須	n@p で指定
	cg	センターゲージ	xs:double	必須	
	g1	フランジ孔のゲージ (X 方向)	xs:string	必須	n@g で指定
	g2	コネクション孔の寸法 (X 方向)	xs:string	必須	n@g で指定
	spltype	添接板タイプ	xs:string	必須	添接板タイプを以下より指定する 外側親・内側子：TYPE1 両側子：TYPE2
	nssplt	表側添接板厚	xs:double	必須	
	nssplm	表側添接板材質	xs:string	必須	
	fssplt	裏側添接板厚	xs:double	必須	
	fssplm	裏側添接板材質	xs:string	必須	
fillt	フィラー板厚	xs:double	必須	ない場合は Non	
fillm	フィラー材質	xs:string	必須	ない場合は Non	
記入例	<CbeamConnectionSplice id="CCS1" width="120.0" thickness="9.0" material="SMA400A" pattern="K1" dia="24.5" p1="2@65.0" p2="75.0" cg="140.0" g1="40.0" g2="75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0" nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/>				

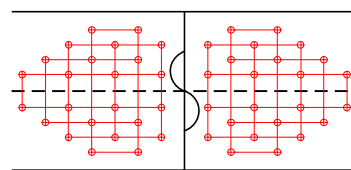
ボルト孔タイプは以下より指定する。



格子

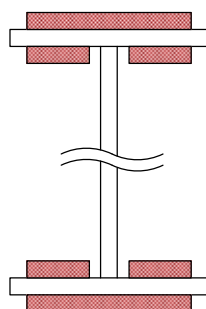


千鳥 1

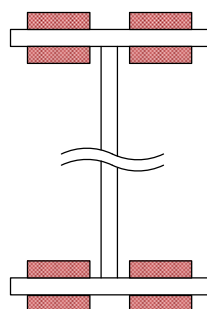


千鳥 2

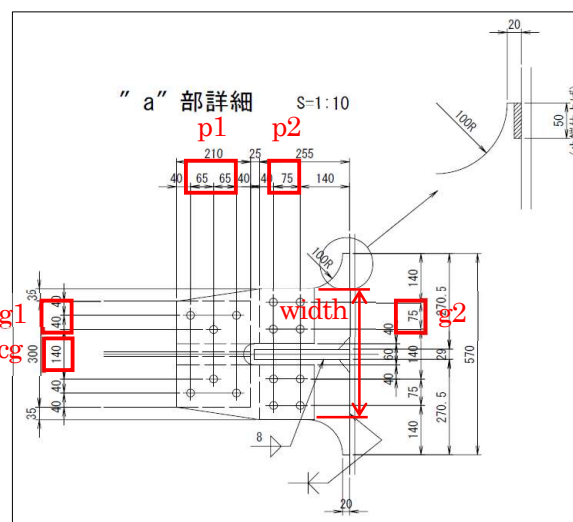
添接板タイプは以下より指定する。



TYPE1



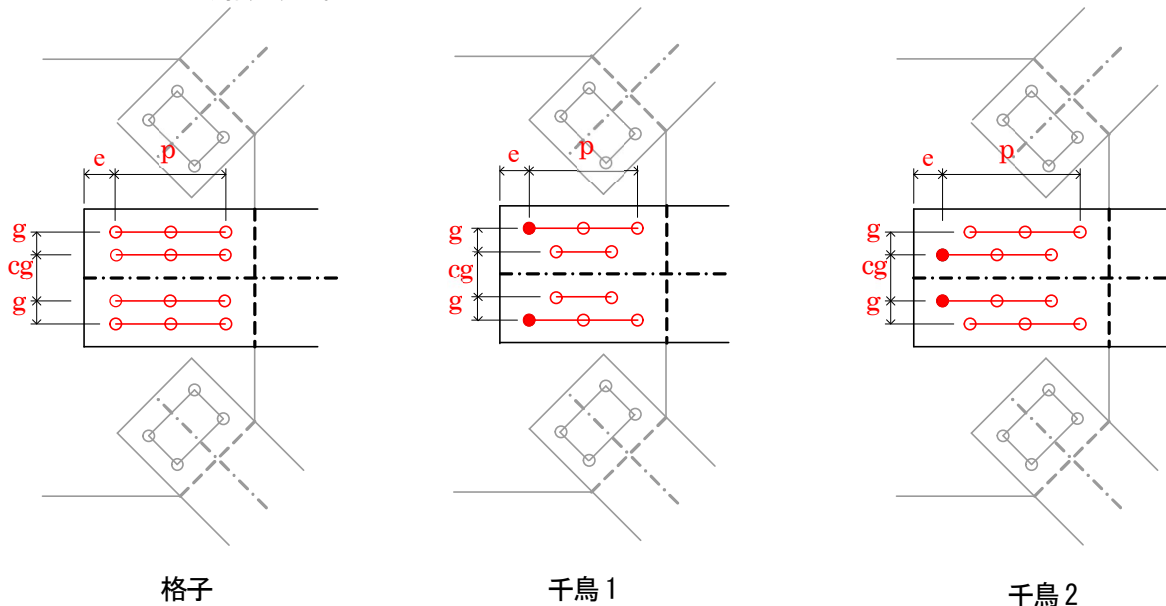
TYPE2



3. 6. 35 ガセット孔配置

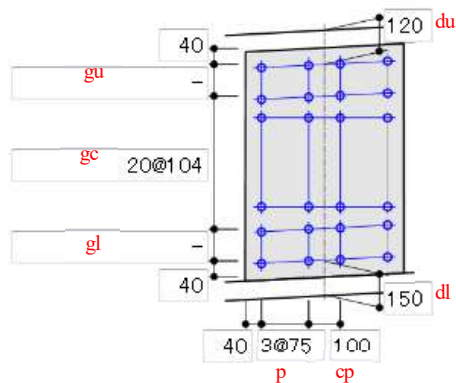
要素名	CbeamGussetHoleShape		論理名	ガセット孔配置	
パス	/CbeamInfo/CbeamSpliceShape/CbeamGussetHoleShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	ガセット孔配置を定義する。				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	pattern	孔タイプ	xs:string	必須	孔タイプを以下より指定する 格子 : K1 千鳥 1 : C1 千鳥 2 : C2
	dia	孔径	xs:double	必須	
	e	ジョイント側材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	p	ピッチ	xs:string	必須	n@p で指定
	cg	センターゲージ	xs:double	必須	
	g	ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定
	記入例	<CbeamGussetHoleShape id="CFG1" pattern="K1" dia="24.5" e="45.0" p="3@45.0" cg="140.0" g="1@75.0"/>			

ボルト孔タイプは以下より指定する。



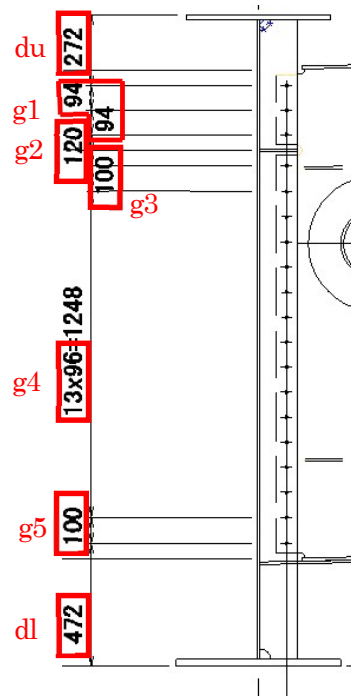
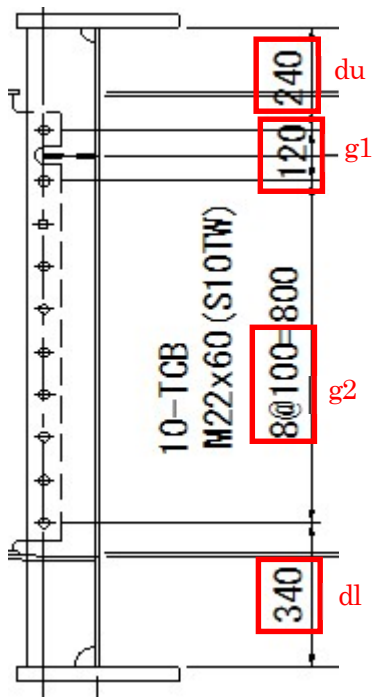
3. 6. 36 横桁ウェブボルト配置

要素名	WebSplice		論理名	横桁ウェブボルト配置	
パス	/CbeamInfo/CbeamSpliceShape/WebSplice				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	横桁ウェブボルト配置を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	dia	孔径	xs:double	必須	
	cp	センターピッチ	xs:double	必須	
	p	ピッチ	xs:string	必須	n@p で指定
	gu	上側ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定。ない場合はブランク。
	gc	中央ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定
	gl	下側ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定。ない場合はブランク。
	du	上側第 1 ボルト距離	xs:double	必須	
	dl	下側第 1 ボルト距離	xs:double	必須	
	splt	添接板厚	xs:double	必須	
	splm	添接板材質	xs:string	必須	
	fillt	フィラー板厚	xs:double	必須	ない場合は Non
	fillm	フィラー材質	xs:string	必須	ない場合は Non
記入例	<WebSplice id="CWS1" dia="24.5" cp="100.0" p="3@75.0" gu="" gc="20@105.0" gl="" du="120.0" dl="150.0" splt="9.0" splm="SS400" fillt="2.3" fillm="SS400"/>				



3. 6. 37 横桁ウェブ孔配置（重ね継手）

要素名	CbeamLapHoleShape		論理名	横桁ウェブ孔配置（重ね継手）	
パス	/CbeamInfo/CbeamSpliceShape/CbeamLapHoleShape				
子要素	－				
型	－				
出現回数	0 以上				
内容	横桁ウェブ孔配置（重ね継手）を定義する。				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	dia	孔径	xs:double	必須	
	du	上側第 1 ボルト距離	xs:double	必須	
	dl	下側第 1 ボルト距離	xs:double	必須	
	g1	ゲージ 1	xs:string	必須	n@g で指定
	g2	ゲージ 2	xs:string	必須	n@g で指定
	g3	ゲージ 3	xs:string	必須	n@g で指定
	g4	ゲージ 4	xs:string	必須	n@g で指定
	g5	ゲージ 5	xs:string	必須	n@g で指定
記入例	<CbeamLapHoleShape id="CLS1" dia="24.5" du="240.0" dl="340.0" g1="1@120.0" g2="8@100.0" g3="" g4="" g5="" />				



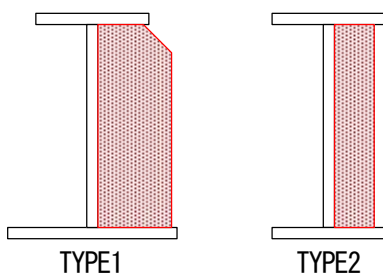
3. 6. 38 横桁補剛材形状

要素名	CbeamStiffenerShape	論理名	横桁補剛材形状
パス	/CbeamInfo/CbeamStiffenerShape		
子要素	Vstif Hstif		
型	—		
出現回数	1		
内容	垂直補剛材、水平補剛材の形状を定義する		
記入例	<pre><CbeamStiffenerShape> <Vstif id="CVS1" type="TYPE1" width="200.0" thickness="24.0" material="SM490YA"/> <Hstif id="CHS1" width="100.0" thickness="9.0" material="SM400A"/> </CbeamStiffenerShape></pre>		

3. 6. 39 横桁垂直補剛材形状

要素名	Vstif		論理名	横桁垂直補剛材形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamStiffenerShape/Vstif				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	垂直補剛材形状を定義する。				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	type	垂直補剛材タイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1 TYPE2
	width	板幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<Vstif id="CVS1" type="TYPE1" width="200.0" thickness="24.0" material="SM490YA"/>				

垂直補剛材のタイプは、以下の 2 タイプのみとする。



3. 6. 40 横桁水平補剛材形状

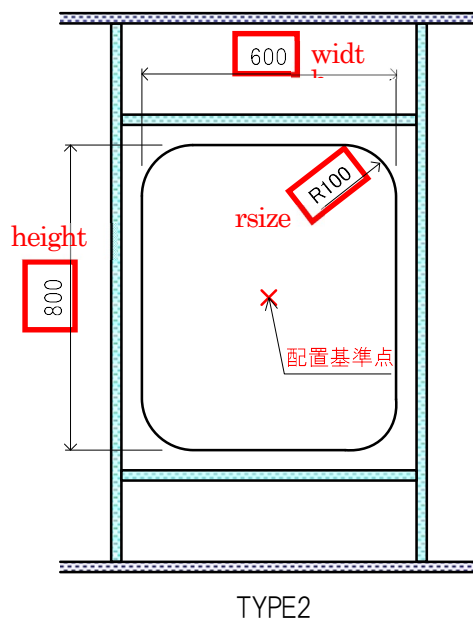
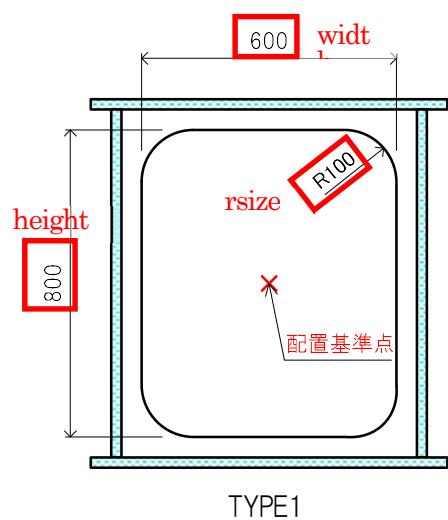
要素名	Hstif		論理名	横桁水平補剛材形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamStiffenerShape/Hstif				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	水平補剛材形状を定義する。				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	width	板幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<Hstif id="CHS1" width="100.0" thickness="9.0" material="SM400A"/>				

3. 6. 41 横桁ウェブマンホール形状

要素名	CbeamManHoleShape	論理名	横桁ウェブマンホール形状
パス	/CbeamInfo/CbeamManHoleShape		
子要素	<u>CbeamManHole</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	横桁ウェブマンホール形状を定義する		
記入例	<pre><CbeamManHoleShape> <CbeamManHole id="CMH1" type="TYPE1" width="600.0" height="800.0" rsize="100.0" face="NS" hplw="110.0" hplt="9.0" hplm="SM400A" vplw="100.0" vplt="9.0" vplm="SM400A"/> </CbeamManHoleShape></pre>		

3. 6. 42 マンホール形状

要素名	CbeamManHole		論理名	マンホール形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamManHoleShape/CbeamManHole				
子要素	－				
型	－				
出現回数	0 以上				
内容	マンホール形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	type	マンホールタイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1 TYPE2
	width	マンホール幅	xs:double	必須	
	height	マンホール高さ	xs:double	必須	
	rsize	マンホール R サイズ	xs:double	必須	
	face	カラープレート取付面	xs:string	必須	"TYPE1、TYPE2 の場合、 定義 表面(起点から見える面) : NS 裏面 : FS 両面 : WS"
	hplw	水平カラープレート幅	xs:double	必須	TYPE1、TYPE2 の場合、定義
	hplt	水平カラープレート厚	xs:double	必須	TYPE1、TYPE2 の場合、定義
	hplm	水平カラープレート材質	xs:string	必須	TYPE1、TYPE2 の場合、定義
	vplw	垂直カラープレート幅	xs:double	必須	TYPE1 の場合、定義 TYPE2 の場合、Non
vplt	垂直カラープレート厚	xs:double	必須	TYPE1 の場合、定義 TYPE2 の場合、Non	
vplm	垂直カラープレート材質	xs:string	必須	TYPE1 の場合、定義 TYPE2 の場合、Non	
記入例	<CbeamManHole id="CMH1" type="TYPE1" width="600.0" height="800.0" rsize="100.0" face="NS" hplw="110.0" hplt="9.0" hplm="SM400A" vplw="100.0" vplt="9.0" vplm="SM400A"/>				



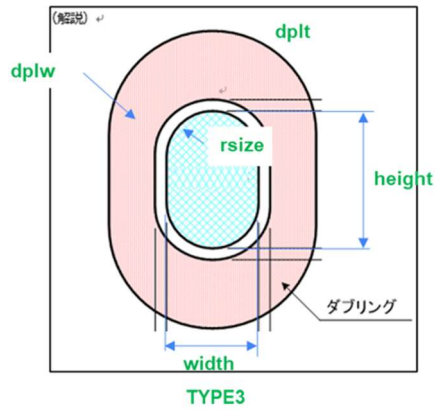
3. 6. 43 横桁ウェブ開口部形状

要素名	CbeamWebHoleShape	論理名	横桁ウェブウェブ開口部形状
パス	/CbeamInfo/CbeamWebHoleShape		
子要素	CbeamWebHole		
型	—		
出現回数	1		
内容	横桁ウェブ開口部形状を定義する		
記入例	<pre> <CbeamWebHoleShape> <!-- 横桁ウェブ貫通孔・補強材の設定 --> <CbeamWebHole id="CDH1" type="TYPE3" width="300.0" height="300.0" rsize="100.0" dface="NS" dplw="100.0" dplt="9.0" dplm="SM490YA" rplw="" rplt="" rplm=""/> <CbeamWebHole id="CDH2" type="TYPE4" width="300.0" height="300.0" rsize="100.0" dface="" dplw="" dplt="" dplm="M490YA" rplw="90.0" rplt="9.0" rplm="SM400A"/> </CbeamWebHoleShape> </pre>		

3. 6. 44 横桁ウェブ開口部形状設定

要素名	CbeamWebHole		論理名	横桁ウェブ開口部形状設定	
パス	/CbeamInfo/CbeamWebHoleShape/CbeamWebHole				
子要素	－				
型	－				
出現回数	0 以上				
内容	横桁ウェブ開口部形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	kind	ウェブ開口部種類	xs:string	必須	以下から選択 DRAIN：排水管貫通孔 MANHOLE：マンホール ACCESSORY：付属貫通孔 ※マンホールのダブリング補強はこの定義使用
	type	ウェブ開口部タイプ	xs:string	必須	TYPE3：ダブリング補強 ※リングプレート補強は対象外
	width	ウェブ開口部幅	xs:double	必須	ブランクのときウェブ開口部半径Rサイズで指定する円形とする
	height	ウェブ開口部高さ	xs:double	必須	ブランクのときウェブ開口部半径Rサイズで指定する円形とする
	rsize	ウェブ開口部半径 R サイズ	xs:double	必須	width と rsize が指定の場合は、楕円形状 rsize=width/2=height/2 または、 rsize のみ指定 (width,height はブランク) のとき円形 rsize<width/2, rsize< height/2

					のとき、矩形コーナ R
	dface	ダブリング取付面	xs:string	必須	表面(起点から見える面) : NS 裏面 : FS 両面 : WS
	dplw	ダブリング幅	xs:double	必須	
	dplt	ダブリング厚	xs:double	必須	
	dplm	ダブリング材質	xs:string	必須	
記入例	<pre> <CbeamWebHoleShape> <CbeamWebHole id="CWH1" kind="Drain" type="TYPE3" width="" height="" rsize="150.0" dface="NS" dplw="100.0" dplt="9.0" dplm="SM490YA" /> <CbeamWebHole id="CWH2" kind="Manhole" type="TYPE3" width="300.0" height="500.0" rsize="50.0" dface="NS" dplw="100.0" dplt="9.0" dplm="SM490YA" /> <CbeamWebHole id="CWH3" kind="Accessory" type="TYPE3" width="100.0" height="100.0" rsize="50.0" dface="NS" dplw="100.0" dplt="9.0" dplm="SM490YA" /> </CbeamWebHoleShape> </pre>				



3. 6. 45 横桁配置

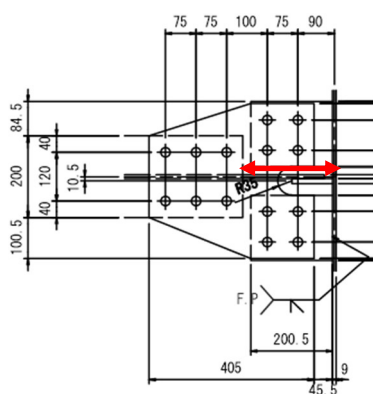
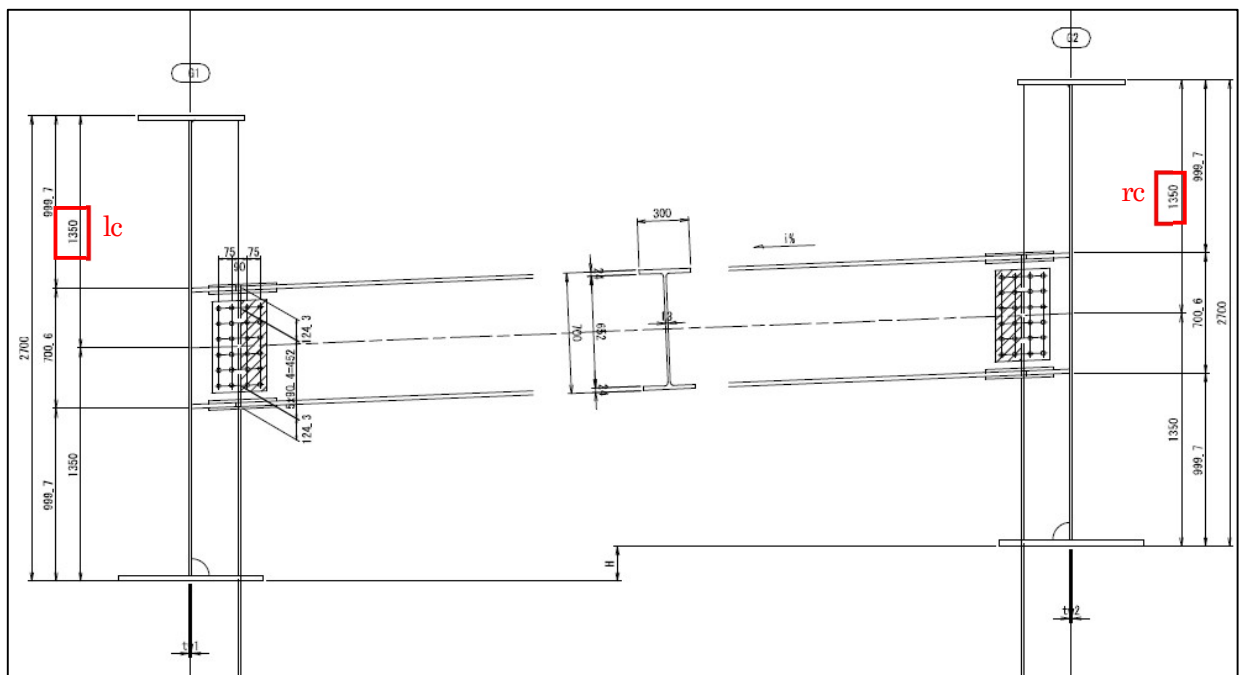
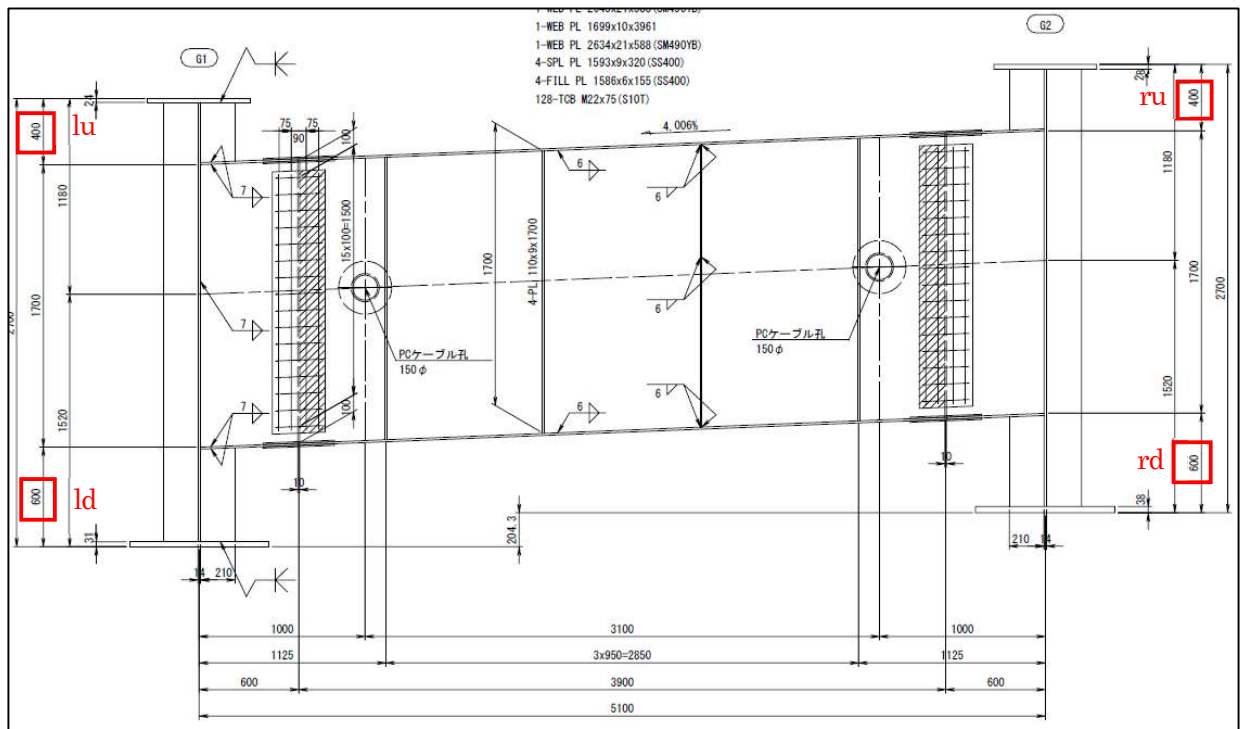
要素名	CbeamSet	論理名	横桁配置
パス	/CbeamInfo/CbeamSet		
子要素	<u>Cbeam</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	横桁配置を定義する		
記入例	<pre> <CbeamSet> <Cbeam leftgirder="G1" rightgirder="G2" position="S1" type="TYPE1" cid="CB1" lid="CB1" rid="CB1" shift="+X"> <CbeamPosition lu="100.0" ld="100.0" ru="100.0" rd="100.0" lc="" rc="" lufedg="" rufedg=""> <CbeamSpliceSet lj="500.0" rj="500.0" lufg="CFS1" rufg="CFS1" rweb="CWS1" lweb="CWS1" llfg="CFS1" rlfg="CFS1"/> <CbeamVstiffenerSet ldistance="1250" cdistance="" rdistance="" face="NS" id="CVS1"/> <CbeamHstiffenerSet uratio="0.2" lratio="0.2" start="1" end="7" face="NS" id="CHS1"/> <CbeamWebHoleSet ldistance="1000.0" height="500.0" id="CWH1"/> <CbeamWebHoleSet ldistance="1500.0" height="800.0" id="CWH2"/> <CbeamWebHoleSet ldistance="500.0" height="300.0" id="CWH3"/> </Cbeam> </CbeamSet> </pre>		

3. 6. 46 横桁形状

要素名	Cbeam		論理名	横桁形状	
パス	/CbeamInfo/CbeamSet/Cbeam				
子要素	<u>CbeamPosition</u> <u>CbeamSpliceSet</u> <u>CbeamVstiffenerSet</u> <u>CbeamHstiffenerSet</u> <u>CbeamManHoleSet</u> <u>CbeamDainHoleSet</u>				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	横桁形状を定義する				
属性	leftgirder	左側主桁名	xs:string	必須	
	rightgirder	右側主桁名	xs:string	必須	
	position	横断名称	xs:string	必須	
	type	横桁タイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1 : BH タイプ (少数鈑桁用) ※主桁補剛材優先 TYPE2 : H 鋼タイプ (少数鈑桁用) TYPE3 : 両側払込タイプ TYPE4 : 両側払込タイプ (主桁上フランジコバ合わせ) TYPE5 : 両側仕口タイプ※主桁補剛材分割 TYPE6 : 左側払込・右側仕口タイプ TYPE7 : 左側仕口・右側払込タイプ
	cid	識別 ID	xs:string	必須	横桁本体
	lid	識別 ID	xs:string	必須	左側仕口 ※TYPE5,TYPE7 以外ブランク
	rid	識別 ID	xs:string	必須	右側仕口 ※TYPE5,TYPE6 以外ブランク
	shift	払込方向	xs:string	必須	橋軸進行方向 : 「+X」 橋軸進行方向 : 「-X」 ※TYPE1,TYPE2,TYPE5 のときブランク
	+X:橋軸進行方向 +X:橋軸反対方向↓ 				
記入例	<Cbeam leftgirder="G1" rightgirder="G2" position="S1" type="TYPE1" cid="CB1" lid=" " rid=" " shift=""> <CbeamPosition lu="100.0" ld="100.0" ru="100.0" rd="100.0" lc="" rc="" lufedg="" rufedg=""> <CbeamSpliceSet lj="500.0" rj="500.0" lufg="CFS1" rufg="CFS1" rweb="CWS1" lweb="CWS1" llfg="CFS1" rflg="CFS1"> <CbeamVstiffenerSet ldistance="1250" cdistance="" rdistance="" face="NS" id="CVS1"> <CbeamHstiffenerSet uratio="0.2" lratio="0.2" start="1" end="7" face="NS" id="CHS1"> <CbeamManHoleSet ldistance="1129.0" height="800.0" id="CMH1"> </Cbeam>				

3. 6. 47 横桁引付位置

要素名	CbeamPosition		論理名	横桁引付位置	
パス	/CbeamInfo/CbeamSet/Cbeam/CbeamPosition				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	横桁引付位置を定義する				
属性	lu	左側主桁上端から横桁ウェブ上端までの距離	xs:double	必須	※TYPE2 のときはブランク
	ld	左側主桁下端から横桁ウェブ下端までの距離	xs:double	必須	※TYPE2 のときはブランク
	ru	右側主桁上端から横桁ウェブ上端までの距離	xs:double	必須	※TYPE2 のときはブランク
	rd	右側主桁下端から横桁ウェブ下端までの距離	xs:double	必須	※TYPE2 のときはブランク
	lc	右側主桁上端から横桁ウェブ芯までの距離	xs:double	必須	※横桁タイプが TYPE2 のみ指定、それ以外はブランク
	rc	右側主桁下端から横桁ウェブ芯までの距離	xs:double	必須	※横桁タイプが TYPE2 のみ指定、それ以外はブランク
	lufedg	左側主桁ウェブ芯から上フランジ左端までの距離	xs:double	必須	TYPE3 のみ指定 ブランクのとき、3.6.15 ウェブ切欠形状の [uspace]
	rufedg	右側主桁ウェブ芯から上フランジ左端までの距離	xs:double	必須	TYPE3 のみ指定 ブランクのとき、3.6.15 ウェブ切欠形状の [uspace]
記入例	<CbeamPosition lu="100.0" ld="100.0" ru="100.0" rd="100.0" lc="" rc="" lufedg="" rufedg="" />				

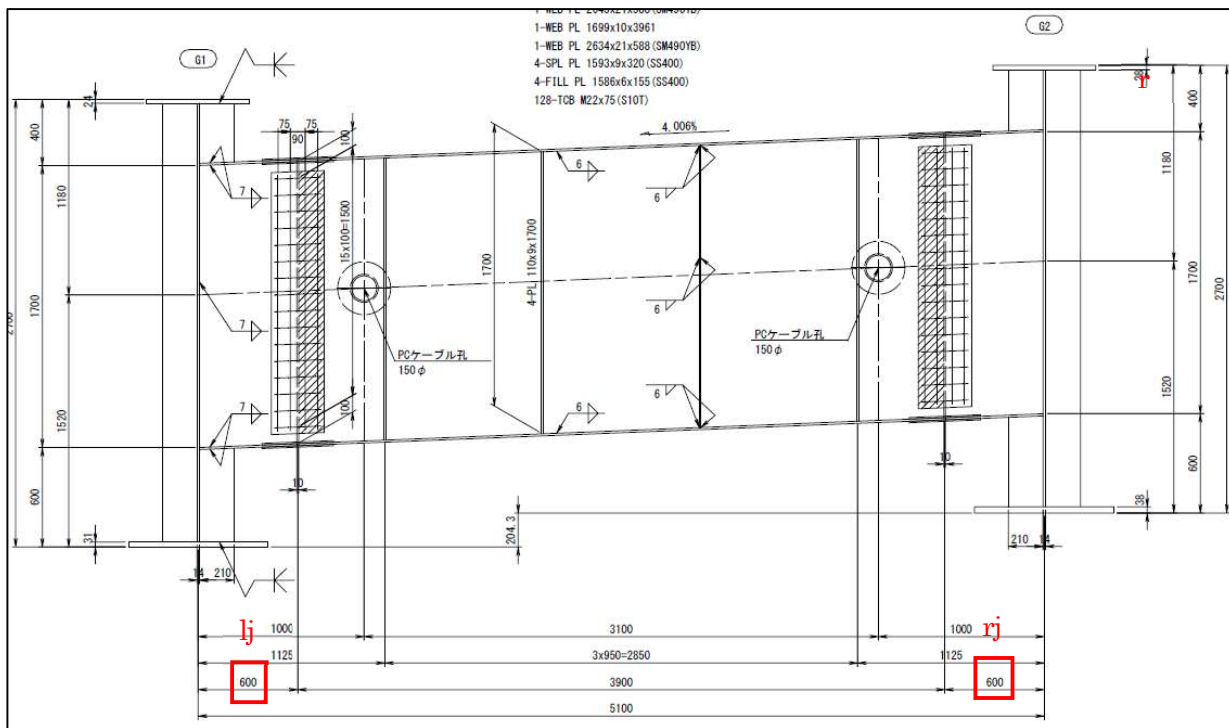


lufedg,rufedg

コネクションを配置するとき、フランジ控え量を指定

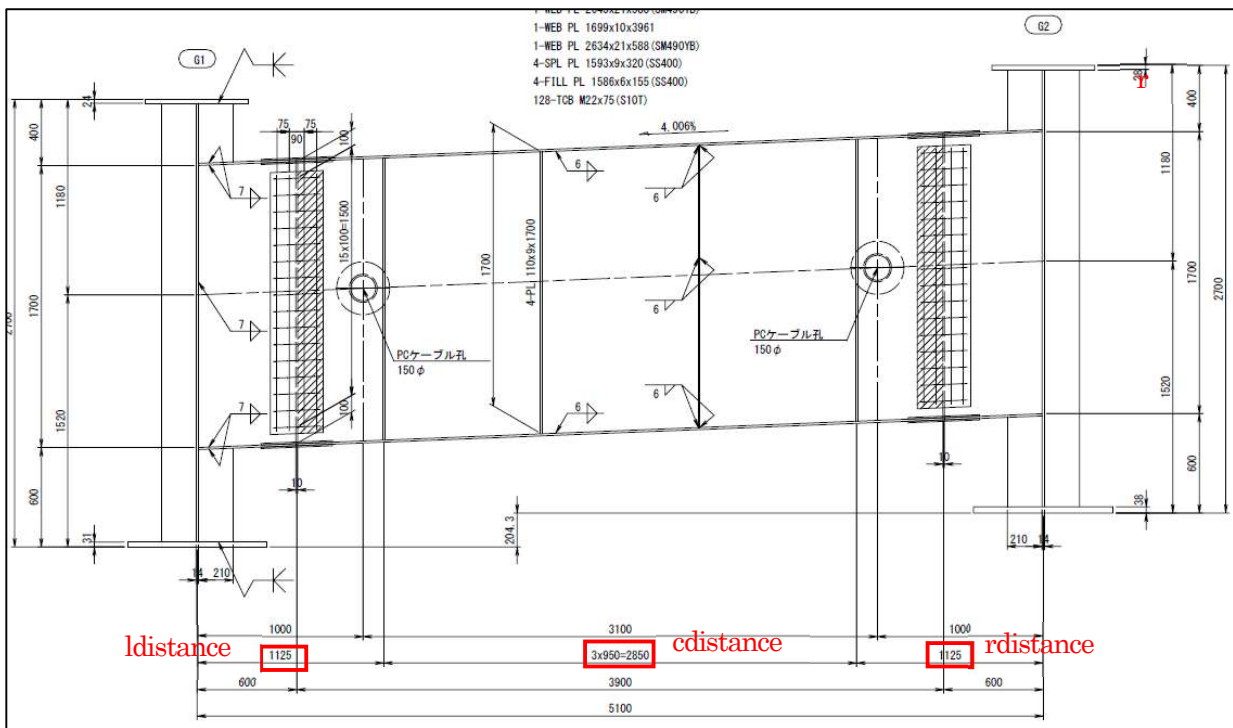
3. 6. 48 横桁添接情報配置

要素名	CbeamSpliceSet		論理名	横桁添接情報配置	
パス	/CbeamInfo/CbeamSet/Cbeam/CbeamSpliceSet				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	横桁添接情報配置、重ね継手ウェブ孔配置を定義する				
属性	lj	左側主桁ウェブ芯から横桁ジョイント位置までの距離	xs:double	必須	
	rj	右側主桁ウェブ芯から横桁ジョイント位置までの距離	xs:double	必須	
	luflg	左側上フランジ添接形状ID	xs:string	必須	
	ruflg	右側上フランジ添接形状ID	xs:string	必須	
	lweb	左側ウェブ添接形状ID	xs:string	必須	
	rweb	右側ウェブ添接形状ID	xs:string	必須	
	llflg	左側下フランジ添接形状ID	xs:string	必須	
	rlflg	右側下フランジ添接形状ID	xs:string	必須	
記入例	<CbeamSpliceSet lj="500.0" rj="500.0" luflg="CFS1" ruflg="CFS1" lweb="CWS1" rweb="CWS1" llflg="CFS1" rlflg="CFS1"/>				



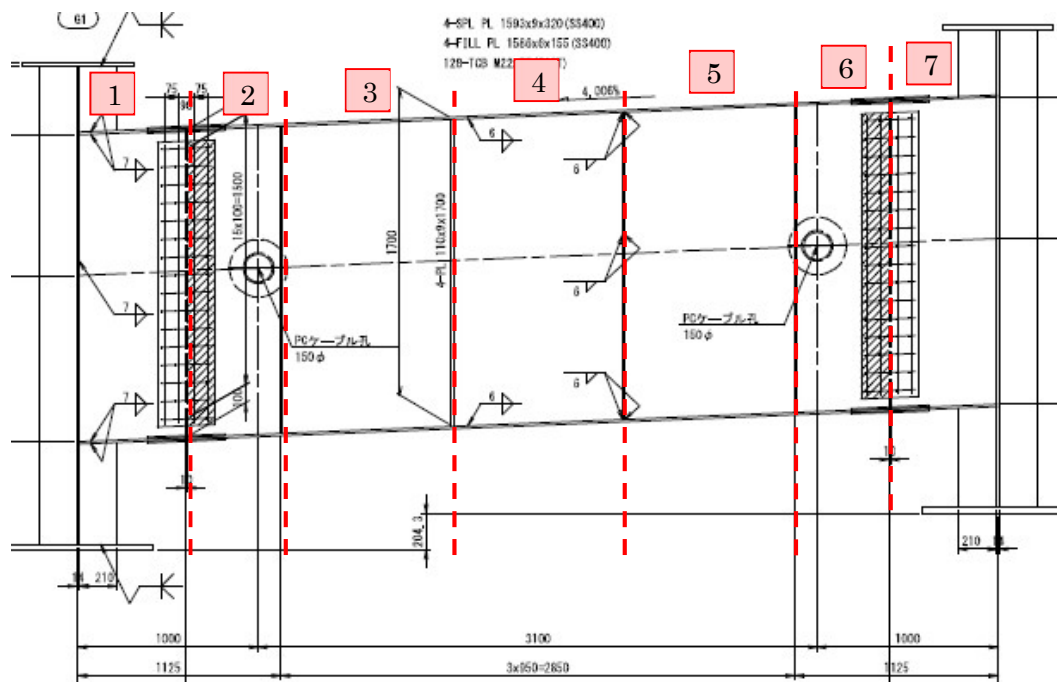
3. 6. 49 横桁垂直補剛材情報

要素名	CbeamVstiffenerSet		論理名	横桁垂直補剛材情報	
パス	/CbeamInfo/CbeamSet/Cbeam/CbeamVstiffenerSet				
子要素	—				
型	—				
出現回数	0 か 1				
内容	横桁垂直補剛材情報を定義する				
属性	ldistance	左側補剛材位置の寸法	xs:double	必須	
	cdistance	中央補剛材位置のピッチ	xs:string	必須	n@p で指定
	rdistance	右側補剛材位置の寸法	xs:double	必須	
	face	補剛材取付面	xs:string	必須	表面(起点から見える面) : NS 裏面 : FS
	id	垂直補剛材識別 ID	xs:string	必須	
記入例	<CbeamVstiffenerSet ldistance="1250.0" cdistance="" rdistance="" face="NS" id="CVS1"/>				



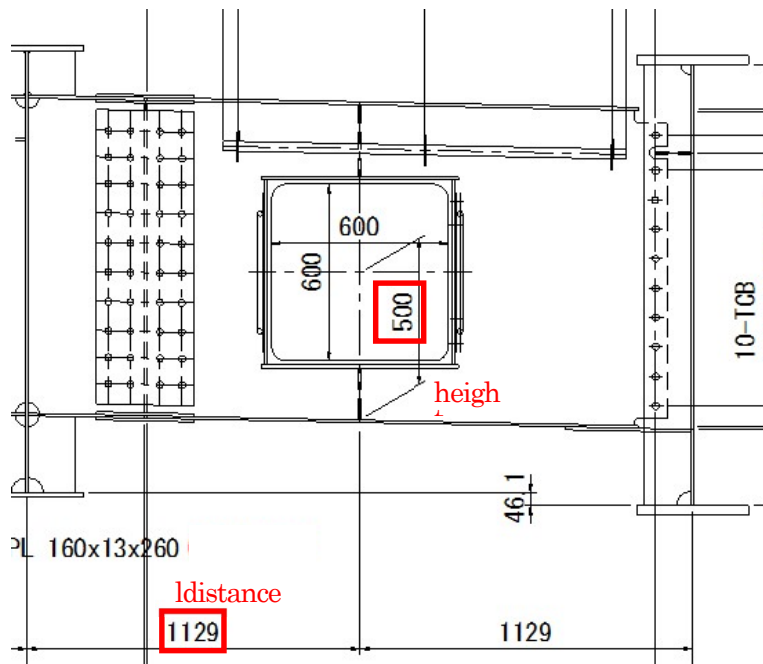
3. 6. 50 横桁水平補剛材情報

要素名	CbeamHstiffenerSet		論理名	横桁水平補剛材情報	
パス	/CbeamInfo/CbeamSet/Cbeam/CbeamHstiffenerSet				
子要素	—				
型	—				
出現回数	0 か 1				
内容	横桁水平補剛材情報を定義する				
属性	uratio	上段の水平補剛材のウェブ高に対する比率	xs:double	必須	ウェブ上端からの比率
	lratio	下段の水平補剛材のウェブ高に対する比率	xs:double	必須	ウェブ下端からの比率
	start	水平補剛材を配置する開始位置	xs:int	必須	
	end	水平補剛材を配置する終了位置	xs:int	必須	
	face	補剛材取付面	xs:string	必須	表面(起点から見える面) : NS 裏面 : FS
	id	水平補剛材識別 ID	xs:string	必須	
記入例	<CbeamHstiffenerSet uratio="0.2" lratio="0.2" start="1" end="7" face="NS" id="CHS1"/>				



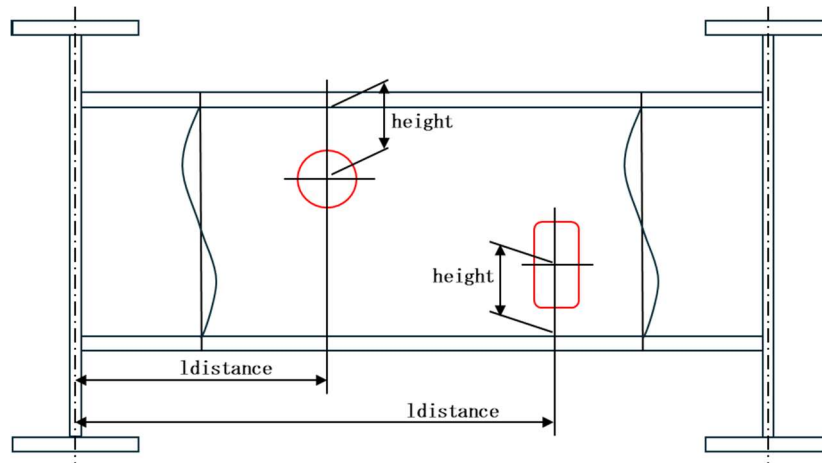
3. 6. 51 横桁マンホール情報

要素名	CbeamManHoleSet		論理名	横桁マンホール情報	
パス	/CbeamInfo/CbeamSet/Cbeam/CbeamManHoleSet				
子要素	－				
型	－				
出現回数	0 以上				
内容	横桁マンホール情報を定義する				
属性	ldistance	マンホール位置橋直方向寸法	xs:double	必須	左側主桁ウェブ芯からマンホールまでの寸法
	height	マンホール位置 Z 方向寸法	xs:double	必須	横桁ウェブ上下端線からマンホールまでの寸法 ＋値の場合：上端線から －値の場合：下端線から
	id	マンホール 識別 ID	xs:string	必須	
記入例	<CbeamManHoleSet ldistance="1129.0" height="-500.0" id="CMH1"/>				



3. 6. 52 横桁ウェブ開口部配置

要素名	CbeamDainHoleSet		論理名	横桁ウェブ開口部配置	
パス	/CbeamInfo/CbeamSet/Cbeam/CbeamDrainHoleSet				
子要素	－				
型	－				
出現回数	0 以上				
内容	横桁ウェブ開口部情報を定義する				
属性	ldistance	ウェブ開口部位置橋直方向寸法	xs:double	必須	左側主桁ウェブ芯からウェブ開口部までの寸法
	height	ウェブ開口部位置 Z 方向寸法	xs:double	必須	横桁ウェブ上下端線からウェブ開口部までの寸法 ＋値の場合：上端線から －値の場合：下端線から
	id	ウェブ開口部 識別 ID	xs:string	必須	
記入例	<CbeamDrainHoleSet ldistance="1200.0" height="400.0" id="CDH1" />				



3.7 対傾構情報

要素名	SwayInfo	論理名	対傾構情報
パス	/SwayInfo		
子要素	<u>SwayCommon</u> <u>SwayChordShape</u> <u>SwayDiagonalShape</u> <u>SwayGussetShape</u> <u>SwayGussetHole</u> <u>SwaySet</u>		
型	—		
出現回数	0 か 1		
内容	対傾構情報を定義する		
記入例	<pre> <SwayInfo> <SwayCommon> <SwayChordCommonShape> <SwayChordDistance type="TYPE1" space="20.0"/> <SwayChordWebCut type="TYPE1"/> <SwayChordFlgCut type="TYPE1"/> <SwayChordLflgEdge ep="40.0"/> </SwayChordCommonShape> <SwayDiagonalCommonShape> <SwayDiagonalDistance space1="20.0" space2="20.0" space3="20.0"/> </SwayDiagonalCommonShape> <SwayGussetCommonShape> <SwayGussetEdge hgu="40.0" hgl="40.0" gtr="40.0" vtr="40.0" length="10.0" rsize="20.0"/> <SwayGussetOutline upper="TYPE1" lower="TYPE1" center="TYPE1"/> <SwayGussetDistance esway="150.0" msway="20.0"/> </SwayGussetCommonShape> </SwayCommon> <SwayChordShape id="SWC1" kind="CH" material="SS400"> <ShapeSteelFlg width="75.0" thickness="10.0"/> <ShapeSteelWeb height="150.0" thickness="6.5"/> </SwayChordShape> <SwayDiagonalShape id="SWD1" kind="CT" material="SS400" direction="FLG"> <ShapeSteelFlg width="176.0" thickness="8.0"/> <ShapeSteelWeb height="118.0" thickness="8.0"/> </SwayDiagonalShape> <SwayGussetShape id="SSG1" type="TYPE1" material="SM400A"> <SwayGussetSize width="230.0" thickness="9.0"/> <SwayGussetWeldLength chord="200.0" diagonal=""/> </SwayGussetShape> <SwayGussetHole id="SSGH1" dia="24.5" p0="190.0" p1="2@75.0" p2="120.0" p3=""" p4=""/> <SwayGussetShape id="SSG5" type="TYPE3" material="SM400A"> <SwayGussetSize width="670.0" height="450.0" thickness="9.0"/> <SwayGussetWeldLength diagonal=""/> </SwayGussetShape> </SwaySet> </SwayInfo> </pre>		

3. 7. 1 対傾構共通詳細情報

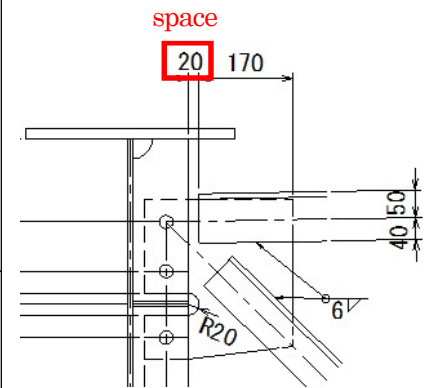
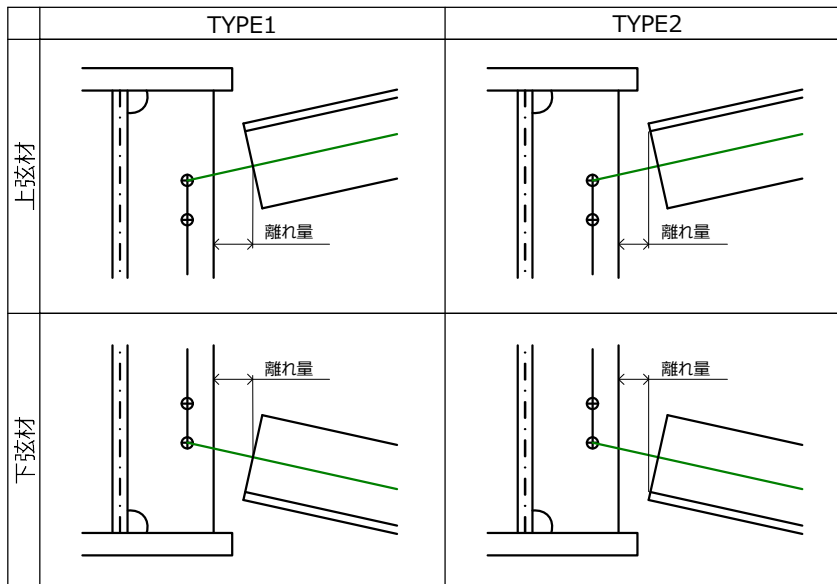
要素名	SwayCommon	論理名	対傾構共通詳細情報
パス	/SwayInfo/SwayCommon		
子要素	<u>SwayChordCommonShape</u> <u>SwayDiagonalCommonShape</u> <u>SwayGussetCommonShape</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	横桁共通詳細情報を定義する		
記入例	<pre> <SwayCommon> <SwayChordCommonShape> <SwayChordDistance type="TYPE1" space="20.0"/> <SwayChordWebCut type="TYPE1"/> <SwayChordFlgCut type="TYPE1"/> <SwayChordLflgEdge ep="40.0"/> </SwayChordCommonShape> <SwayDiagonalCommonShape> <SwayDiagonalDistance space1="20.0" space2="20.0" space3="20.0"/> </SwayDiagonalCommonShape> <SwayGussetCommonShape> <SwayGussetEdge hgu="40.0" hgl="40.0" gtr="40.0" vtr="40.0" length="10.0" rsize="20.0"/> <SwayGussetOutline upper="TYPE1" lower="TYPE1" center="TYPE1"/> <SwayGussetDistance esway="150.0" msway="20.0"/> </SwayGussetCommonShape> </SwayCommon> </pre>		

3. 7. 2 弦材詳細

要素名	SwayChordCommonShape	論理名	弦材詳細
パス	/SwayInfo/SwayCommon/SwayChordCommonShape		
子要素	<u>SwayChordDistance</u> <u>SwayChordWebCut</u> <u>SwayChordFlgCut</u> <u>SwayChordLflgEdge</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	弦材詳細を定義する		
記入例	<pre> <SwayChordCommonShape> <SwayChordDistance type="TYPE1" space="20.0"/> <SwayChordWebCut type="TYPE1"/> <SwayChordFlgCut type="TYPE1"/> <SwayChordLflgEdge ep="40.0"/> </SwayChordCommonShape> </pre>		

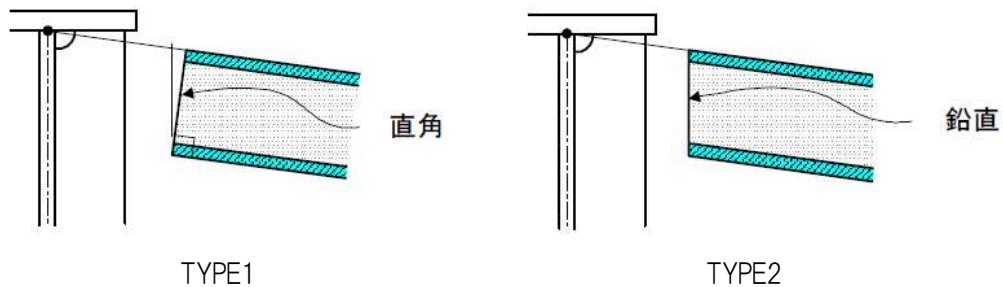
3.7.3 上下弦材切口離れ量基準位置

要素名	SwayChordDistance		論理名	上下弦材切口離れ量基準位置	
パス	/SwayInfo/SwayCommon/SwayChordCommonShape/SwayChordDistance				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	上下弦材切口離れ量基準位置を定義する				
属性	type	上下弦材の切口 離れ量の基準位 置タイプ	xs:string	必須	※設計システムの標準値は 「TYPE1」とする 以下より選択 TYPE1：骨組線上 TYPE2：弦材上端・下端
	space	空き量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は 「20.0」とする
記入例	<SwayChordDistance type="TYPE1" space="20.0"/>				



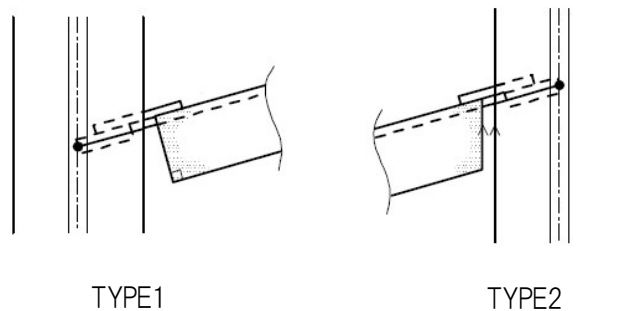
3.7.4 上下弦材ウェブ切口形状

要素名	SwayChordWebCut		論理名	上下弦材ウェブ切口形状	
パス	/SwayInfo/SwayCommon/SwayChordCommonShape/SwayChordWebCut				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	上下弦材ウェブ切口形状を定義する				
属性	type	上下弦材ウェブ 切口形状タイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1：直角 TYPE2：鉛直 ※「TYPE1」を初期値とする
記入例	<SwayChordWebCut type="TYPE1"/>				



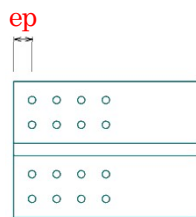
3.7.5 上下弦材フランジ切口形状

要素名	SwayChordFlgCut		論理名	上下弦材フランジ切口形状	
パス	/SwayInfo/SwayCommon/SwayChordCommonShape/SwayChordFlgCut				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	上下弦材フランジ切口形状を定義する				
属性	type	上下弦材フランジ切口形状タイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1：横断線直角 TYPE2：主桁フランジ平行 ※「TYPE1」を初期値とする
記入例	<SwayChordFlgCut type="TYPE1"/>				



3.7.6 下弦材フランジ孔材端

要素名	SwayChordLflgEdge		論理名	下弦材フランジ孔材端	
パス	/SwayInfo/SwayCommon/SwayChordCommonShape/SwayChordLflgEdge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	下弦材フランジ孔材端を定義する				
属性	ep	下弦材フランジ孔材端	xs:double	必須	※「40.0」を初期値とする
記入例	<SwayChordLflgEdge ep="40.0"/>				

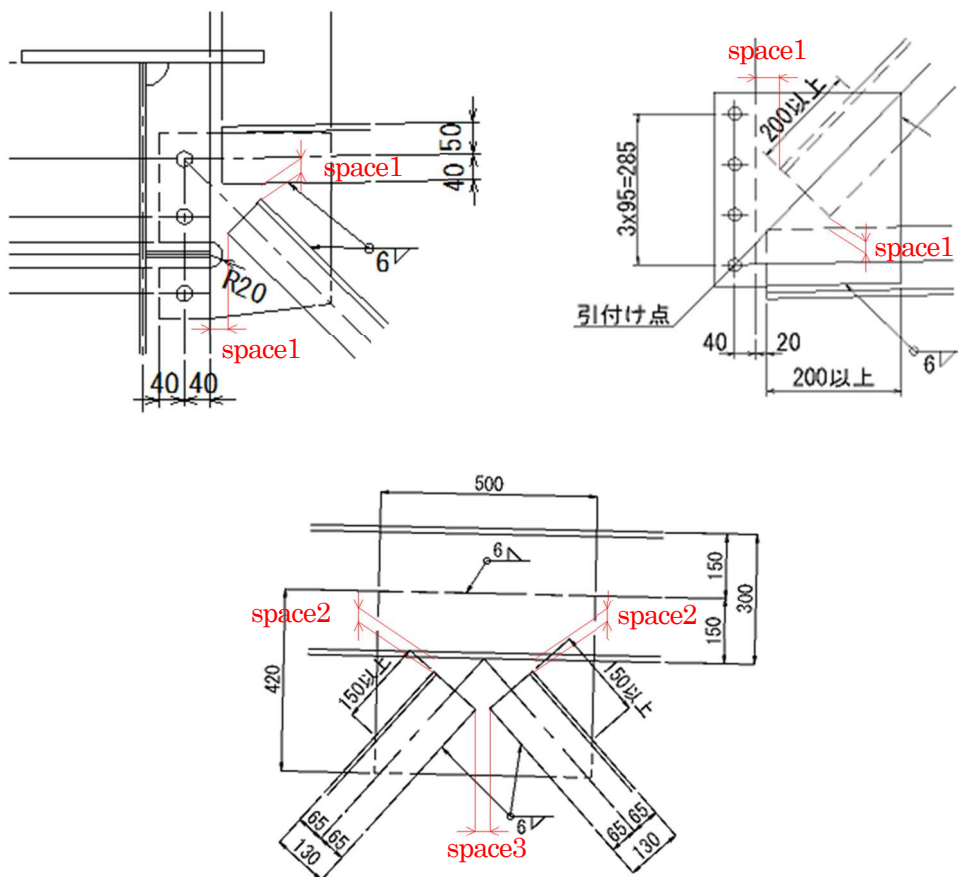


3.7.7 斜材詳細

要素名	SwayDiagonalCommonShape	論理名	斜材詳細
パス	/SwayInfo/SwayCommon/SwayDiagonalCommonShape		
子要素	<u>SwayDiagonalDistance</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	斜材詳細を定義する		
記入例	<SwayDiagonalCommonShape> <SwayDiagonalDistance space1="20.0" space2="20.0" space3="20.0"/> </SwayDiagonalCommonShape>		

3.7.8 斜材と上下弦材との離れ量

要素名	SwayDiagonalDistance		論理名		斜材と上下弦材との離れ量
パス	/SwayInfo/SwayCommon/SwayDiagonalCommonShape/SwayDiagonalDistance				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	斜材と上下弦材との離れ量を定義する				
属性	space1	斜材と上下弦材・主桁補剛材との離れ量	xs:double	必須	※「20.0」を初期値とする
	space2	斜材と上下弦材との離れ量	xs:double	必須	※「20.0」を初期値とする
	space3	斜材どおしの離れ量	xs:double	必須	※「20.0」を初期値とする
記入例	<SwayDiagonalDistance space1="20.0" space2="20.0" space3="20.0"/>				

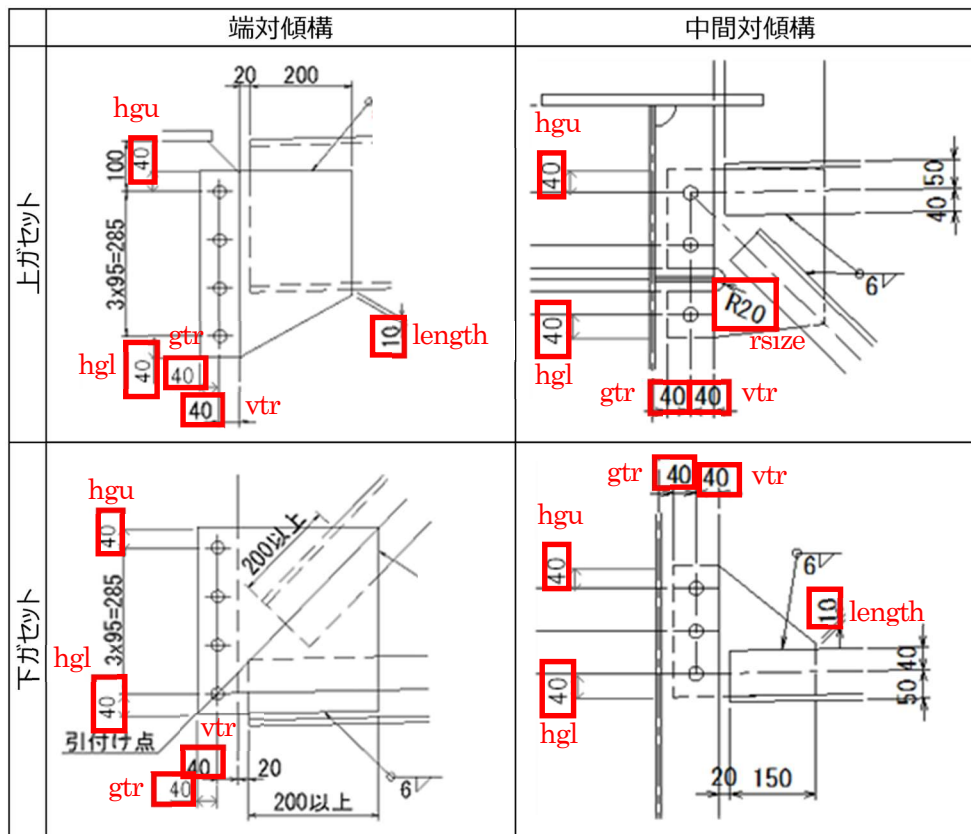


3.7.9 ガセツト詳細

要素名	SwayGussetCommonShape	論理名	ガセツト詳細
パス	/SwayInfo/SwayCommon/SwayGussetCommonShape		
子要素	<u>SwayGussetEdge</u> <u>SwayGussetOutline</u> <u>SwayGussetDistance</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	ガセツト詳細を定義する		
記入例	<pre> <SwayGussetCommonShape> <SwayGussetEdge hgu="40.0" hgl="40.0" gtr="40.0" vtr="40.0" length="10.0" rsize="20.0"/> <SwayGussetOutline upper="TYPE1" lower="TYPE1" center="TYPE1"/> <SwayGussetDistance esway="150.0" msway="20.0"/> </SwayGussetCommonShape> </pre>		

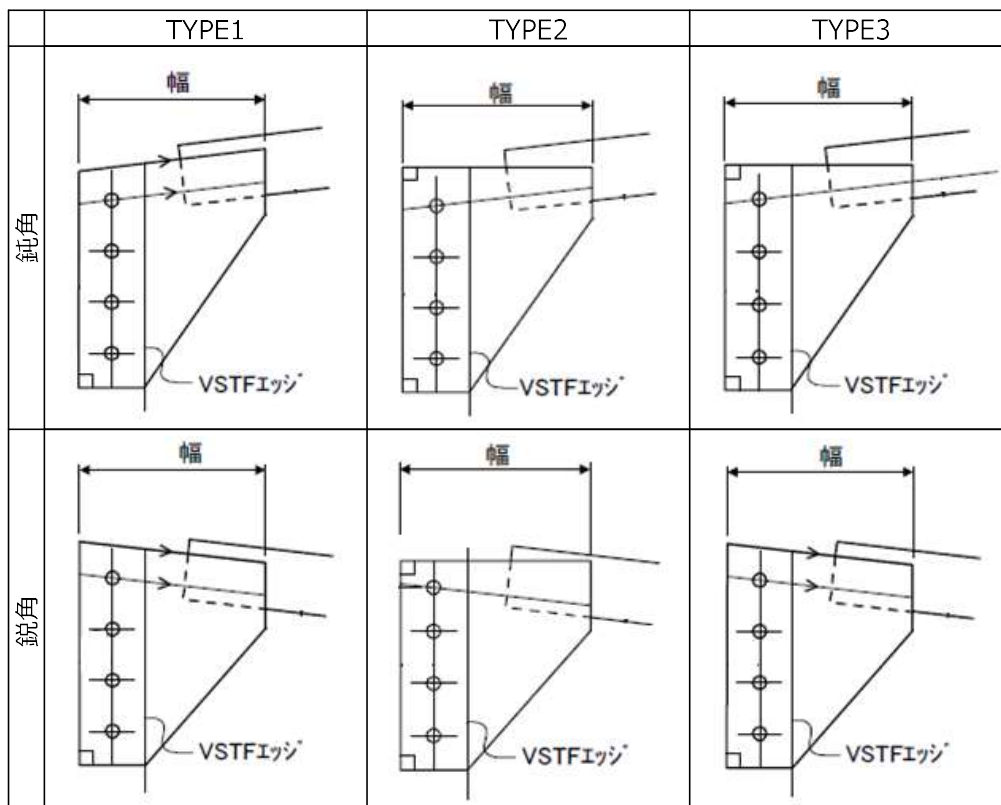
3. 7. 10 ガセツ材端形状

要素名	SwayGussetEdge		論理名	ガセット材端形状	
パス	/SwayInfo/SwayCommon/SwayGussetCommonShape/SwayGussetEdge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ガセット材端形状を定義する				
属性	hgu	ガセット上側材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	hgl	ガセット下側材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	gtr	ガセットの主桁 VSTF 側材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	vtr	主桁 VSTF 材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	length	ガセット立上げ量	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「10.0」とする
	rsiz	払込用切欠 R サイズ	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする
記入例	<SwayGussetEdge hgu="40.0" hgl="40.0" gtr="40.0" vtr="40.0" length="10.0" rsiz="20.0"/>				



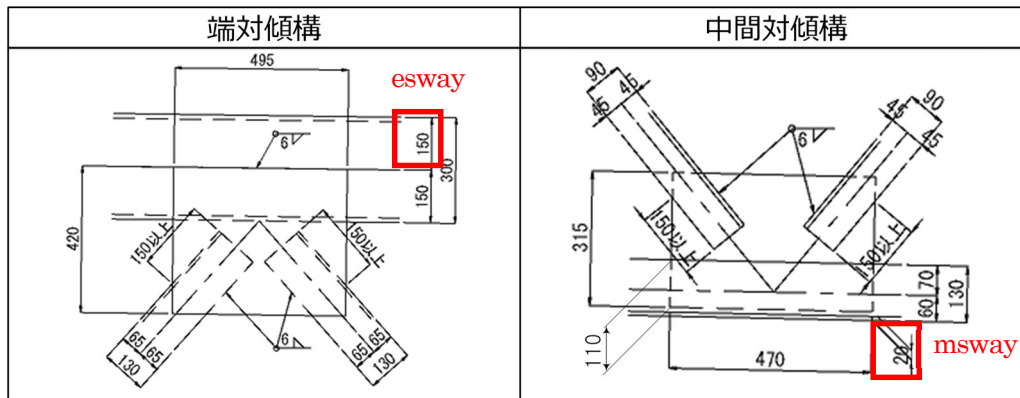
3.7.11 ガセット外形形状タイプ

要素名	SwayGussetOutline		論理名	ガセット外形形状タイプ	
パス	/SwayInfo/SwayCommon/SwayGussetCommonShape/SwayGussetOutline				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ガセット外形形状タイプを定義する				
属性	upper	上側ガセットの上辺形状タイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1：弦材に平行 TYPE2：水平 TYPE3：鈍角時水平・鋭角時平行 ※「TYPE1」を初期値とする
	lower	下側ガセットの下辺形状タイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1：弦材に平行 TYPE2：水平 TYPE3：鈍角時水平・鋭角時平行 ※「TYPE1」を初期値とする
	center	中央ガセットの外形形状タイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1：矩形 TYPE2：平行四辺形 ※「TYPE1」を初期値とする
記入例	<SwayGussetOutline upper="TYPE1" lower="TYPE1" center="TYPE1"/>				



3.7.12 中央ガセットの離れ量

要素名	SwayGussetDistance		論理名	中央ガセットの離れ量	
パス	/SwayInfo/SwayCommon/SwayGussetCommonShape/SwayGussetDistance				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	中央ガセットの離れ量を定義する				
属性	esway	端対傾構中央ガセットの上弦材上端からの離れ量	xs:double	必須	※上弦材 CH 鋼の幅/2 の値を初期値とする。
	msway	中間対傾構中央ガセットの下弦材下端からの離れ量	xs:double	必須	※「20.0」を初期値とする
記入例	<SwayGussetDistance esway="150.0" msway="20.0"/>				



3.7.13 上弦材・下弦材形状

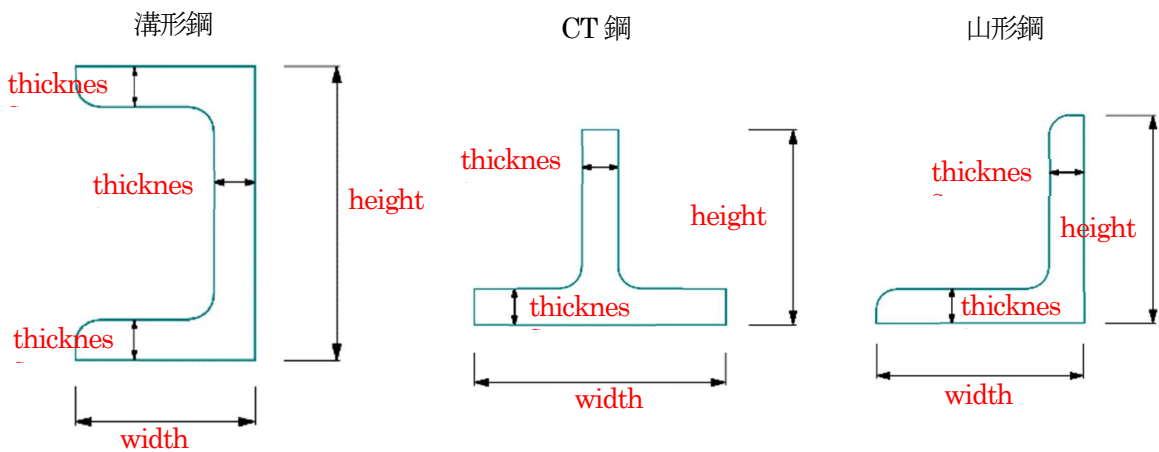
要素名	SwayChordShape		論理名	上弦材・下弦材形状	
パス	/SwayInfo/SwayChordShape				
子要素	ShapeSteelFlg ShapeSteelWeb ChordHole				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	上弦材・下弦材形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	kind	鋼種タイプ	xs:string	必須	鋼種を以下より選択 ・ CH : 溝形鋼 ・ CT : CT 鋼 ・ L : 山形鋼
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<SwayChordShape id="SWC1" kind="CH" material="SS400"> <ShapeSteelFlg width="75.0" thickness="10.0"/> <ShapeSteelWeb height="150.0" thickness="6.5"/> </SwayChordShape>				

3. 7. 14 フランジ形状

要素名	ShapeSteelFlg		論理名	フランジ形状	
パス	/SwayInfo/SwayChordShape/ShapeSteelFlg				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1				
内容	フランジ形状を定義する				
属性	width	フランジ幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
記入例	<ShapeSteelFlg width="75.0" thickness="10.0"/>				

3. 7. 15 ウェブ形状

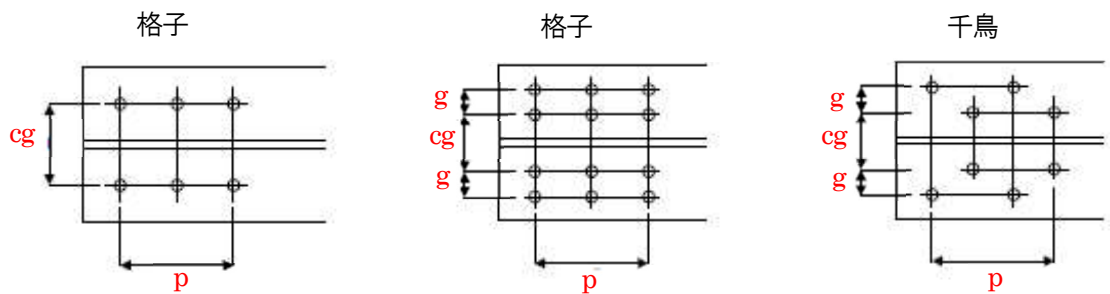
要素名	ShapeSteelWeb		論理名	ウェブ形状	
パス	/SwayInfo/SwayChordShape/ShapeSteelWeb				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ウェブ形状を定義する				
属性	height	ウェブ高	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
記入例	<ShapeSteelWeb height="150.0" thickness="6.5"/>				



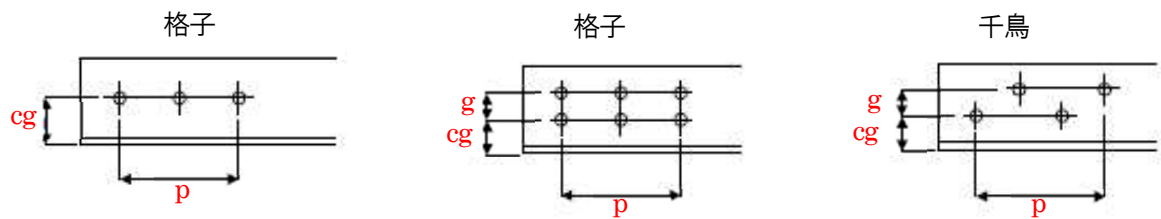
3. 7. 16 下弦材孔形状

要素名	ChordHole		論理名	下弦材孔形状	
パス	/SwayInfo/SwayChordShape/ChordHole				
子要素	—				
型	—				
出現回数	0 以上				
内容	下弦材孔形状を定義する。				
	dia	孔径	xs:double	必須	孔タイプを以下より指定する 格子 : K1 千鳥 : C1
	pattern	孔タイプ	xs:string	必須	
	cg	センターゲージ	xs:double	必須	
	g	ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定
	p	ピッチ	xs:string	必須	n@p で指定
記入例	<ChordHole dia="24.5" pattern="K1" cg="140.0" g="1@75.0" p="3@45.0"/>				

CT 鋼の場合



山形鋼の場合



3. 7. 17 斜材形状

要素名	SwayDiagonalShape		論理名	斜材形状	
パス	/SwayInfo/SwayDiagonalShape				
子要素	ShapeSteelFlg ShapeSteelWeb				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	斜材形状を定義する				
属性	id	識別ID	xs:string	必須	
	kind	鋼種タイプ	xs:string	必須	鋼種を以下より選択 ・ CT : CT 鋼 ・ L : 山形鋼
	material	材質	xs:string	必須	
	direction	背の向き（山形鋼） 合わせ面（CT 鋼）	xs:string	必須	山形鋼の場合、背の向きを指定 ・ UPPER : 上 ・ LOWER : 下 CT 鋼の場合、「FLG」を指定
記入例	<SwayDiagonalShape id="SWD1" kind="CT" material="SS400" direction="FLG"> <ShapeSteelFlg width="176.0" thickness="8.0"/> <ShapeSteelWeb height="118.0" thickness="8.0"/> </SwayDiagonalShape> <SwayDiagonalShape id="SWD2" kind="L" material="SS400" direction="UPPER"> <ShapeSteelFlg width="75.0" thickness="6.0"/> <ShapeSteelWeb height="75.0" thickness="6.0"/> </SwayDiagonalShape>				

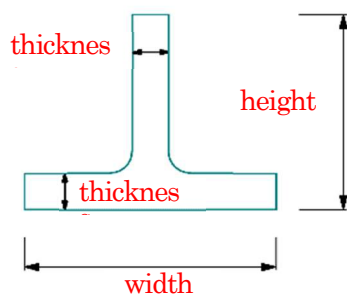
3. 7. 18 フランジ形状

要素名	ShapeSteelFlg		論理名	フランジ形状	
パス	/SwayInfo/SwayDiagonalShape/ShapeSteelFlg				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	フランジ形状を定義する				
属性	width	フランジ幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
記入例	<ShapeSteelFlg width="176.0" thickness="8.0"/>				

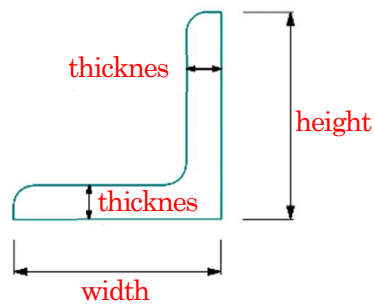
3.7.19 ウェブ形状

要素名	ShapeSteelWeb		論理名	ウェブ形状	
パス	/SwayInfo/SwayDiagonalShape/ShapeSteelWeb				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ウェブ形状を定義する				
属性	height	ウェブ高	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
記入例	<ShapeSteelWeb height="118.0" thickness="8.0"/>				

CT 鋼



山形鋼



3. 7. 20 対傾構ガセット形状

要素名	SwayGussetShape		論理名	対傾構ガセット形状	
パス	/SwayInfo/SwayGussetShape				
子要素	SwayGussetSize SwayGussetWeldLength				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	対傾構ガセット形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	type	ガセットタイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1：1 本の弦材と取り合う TYPE2：2 本の弦材と取り合う TYPE3：中央ガセット
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<SwayGussetShape id="SSG1" type="TYPE1" material="SM400A"> <SwayGussetSize width="230.0" height="" thickness="9.0"/> <SwayGussetWeldLength chord="200.0" diagonal=""/> </SwayGussetShape> <SwayGussetShape id="SSG5" type="TYPE3" material="SM400A"> <SwayGussetSize width="670.0" height="450.0" thickness="9.0"/> <SwayGussetWeldLength chord="" diagonal=""/> </SwayGussetShape>				

3. 7. 21 ガセットサイズ

要素名	SwayGussetSize		論理名	ガセットサイズ	
パス	/SwayInfo/SwayGussetShape/SwayGussetSize				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ガセットサイズを定義する				
属性	width	ガセット幅	xs:double	必須	※ブランクの場合、溶接長から原寸システムで決定
	height	ガセット高	xs:double	必須	※中間ガセットのみ必要
	thickness	ガセット板厚	xs:double	必須	
記入例	<SwayGussetSize width="230.0" height="" thickness="9.0"/>				

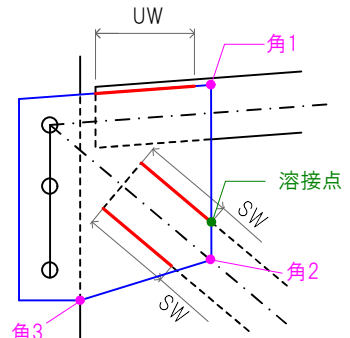
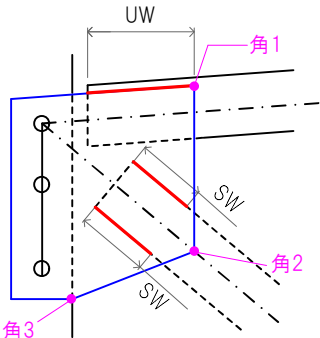
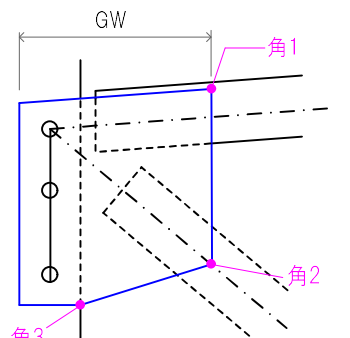
3.7.22 弦材・斜材との溶接長

要素名	SwayGussetWeldLength		論理名	弦材・斜材との溶接長	
パス	/SwayInfo/SwayGussetShape/SwayGussetWeldLength				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1				
内容	弦材・斜材との溶接長を定義する				
属性	chord	ガセットと上下弦材との溶接長	xs:double	必須	※ブランクの場合、ガセット幅から原寸システムで決定
	diagonal	ガセットと斜材の溶接長	xs:double	必須	※ブランクの場合、ガセット幅から原寸システムで決定
記入例	<SwayGussetWeldLength chord="200.0" diagonal=""/>				

	端対傾構	中間対傾構
上ガセット		
下ガセット		

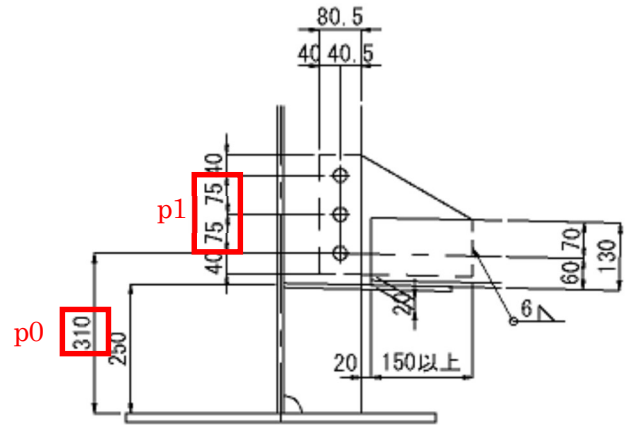
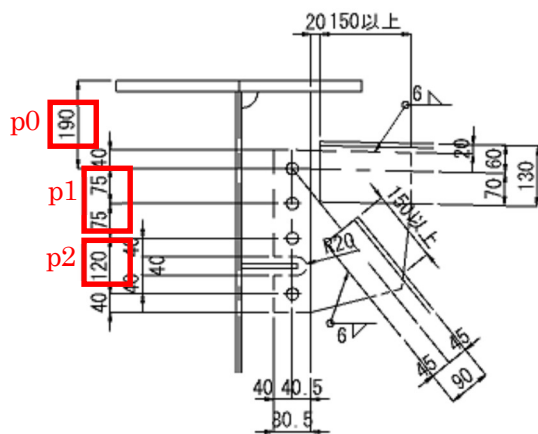
【特記事項】

原寸システムでのガセット形状の決定方法

溶接長よりガセット形状を決定する場合	
斜材溶接線が上下弦材溶接線より内側にある場合	斜材溶接線が上下弦材溶接線より外側にある場合
 UW: 上下弦材溶接長 SW: 斜材溶接長 溶接点 角1 角2 角3 <ガセット形状の決定方法> ①斜材溶接線の内側端点を溶接点とする。 ②溶接点から鉛直に伸ばした線と上側辺との交点を角1とする。 ③溶接点から鉛直に伸ばした線と斜材芯との交点を角2とする。 ④孔から材端分離れた水平線と主桁VSTF外形線との交点を角3とする。	 UW: 上下弦材溶接長 SW: 斜材溶接長 角1 角2 角3 <ガセット形状の決定方法> ①上下弦材溶接線の内側端点を角1とする。 ②角1から鉛直に伸ばした線と斜材芯との交点を角2とする。 ③孔から材端分離れた水平線と主桁VSTF外形線との交点を角3とする。
ガセット幅よりガセット形状を決定する場合	
 GW: ガセット幅 角1 角2 角3 <ガセット形状の決定方法> ①ガセット上側辺の内側端点を角1とする。 ②角1から鉛直に伸ばした線と斜材芯との交点を角2とする。 ③孔から材端分離れた水平線と主桁VSTF外形線との交点を角3とする。	

3.7.23 対傾構ガセット孔形状

要素名	SwayGussetHole		論理名	対傾構ガセット孔形状	
パス	/SwayInfo/SwayGussetHole				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	対傾構ガセット孔形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	dia	孔径	xs:double	必須	
	p0	主桁上端・下端から第 1 ガ セット孔までの距離	xs:string	必須	
	p1	孔間隔 1	xs:string	必須	n@p で指定
	p2	孔間隔 2	xs:string	必須	n@p で指定
	p3	孔間隔 3	xs:string	必須	n@p で指定
	p4	孔間隔 4	xs:string	必須	n@p で指定
記入例	<SwayGussetHole id="SSGH1" dia="24.5" p0="190.0" p1="2@75.0" p2="120.0" p3="" p4="" />				



3. 7. 24 対傾構配置

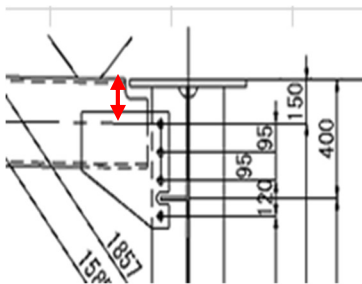
要素名	SwaySet	論理名	対傾構配置
パス	/SwayInfo/SwaySet		
子要素	<u>Sway</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	対傾構配置を定義する		
記入例	<pre> <SwaySet> <Sway leftgirder="G1" rightgirder="G2" position="S1" type="TYPE1" uchordid="SWC1" lhordid="SWC2" diagonalid="SWC3" shift="+X" ushift="150.0" lshift="60.0" diashift="65.0"> <SwayPosition lu="100.0" ld="100.0" ru="100.0" rd="100.0"/> <SwayGussetPlateSet lu="SSG1" ld="SSG2" ru="SSG1" rd="SSG2" c="SSG6"/> <SwayGussetHoleSet lu="SSGH1" ld="SSGH2" ru="SSGH1" rd="SSGH2"/> <SwayDistance ll="300.0" lr="300.0" rl="300.0" rr="300.0"/> </Sway> <Sway leftgirder="G1" rightgirder="G2" position="C1" type="TYPE2" uchordid="SWC2" lhordid="SWC2" diagonalid="SWC3" shift="+X" ushift="150.0" lshift="60.0" diashift="65.0"> <SwayPosition lu="100.0" ld="100.0" ru="100.0" rd="100.0"/> <SwayGussetPlateSet lu="SSG1" ld="SSG2" ru="SSG1" rd="SSG2" c="SSG6"/> <SwayGussetHoleSet lu="SSGH1" ld="SSGH2" ru="SSGH1" rd="SSGH2"/> <SwayDistance ll="300.0" lr="300.0" rl="300.0" rr="300.0"/> </Sway> </SwaySet> </pre>		

3. 7. 25 対傾構形状

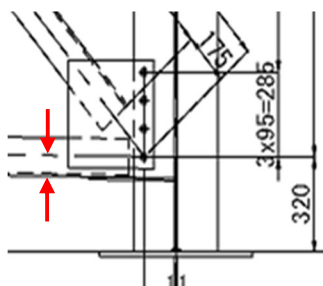
要素名	Sway		論理名		対傾構形状
パス	/SwayInfo/SwaySet/Sway				
子要素	SwayPosition SwayGussetPlateSet SwayGussetHoleSet SwayDistance				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	対傾構形状を定義する				
属性	leftgirder	左側主桁名	xs:string	必須	
	rightgirder	右側主桁名	xs:string	必須	
	position	横断名称	xs:string	必須	
	type	対傾構タイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1：端対傾構 TYPE2：中間対傾構
	uchordid	識別 ID	xs:string	必須	上弦材
	lchordid	識別 ID	xs:string	必須	下弦材
	diagonalid	識別 ID	xs:string	必須	斜材
	shift	払込方向	xs:string	必須	橋軸進行方向：「+X」 橋軸進行方向：「-X」
	ushift	背からの離れ	xs:double	必須	上弦材
	lshift	背からの離れ	xs:double	必須	下弦材
	diashift	背からの離れ	xs:double	必須	斜材
記入例	<Sway leftgirder="G1" rightgirder="G2" position="S1" type="TYPE1" uchordid="SWC1" lchordid="SWC2" diagonalid="SWC3" shift="+X" ushift="150.0" lshift="60.0" diashift="65.0"> <SwayPosition lu="100.0" ld="100.0" ru="100.0" rd="100.0"/> <SwayGussetPlateSet lu="SSG1" ld="SSG2" ru="SSG1" rd="SSG2" c="SSG6"/> <SwayGussetHoleSet lu="SSGH1" ld="SSGH2" ru="SSGH1" rd="SSGH2"/> <SwayDistance ll="300.0" lr="300.0" rl="300.0" rr="300.0"/> </Sway>				

端対傾構

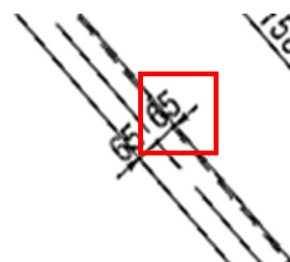
上弦材



下弦材

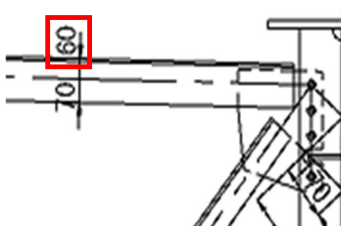


斜材

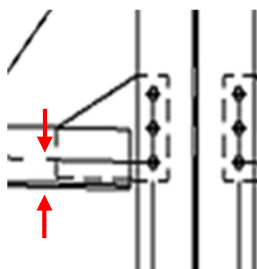


中間対傾構

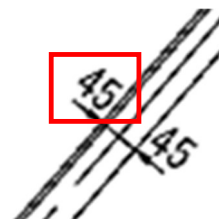
上弦材



下弦材

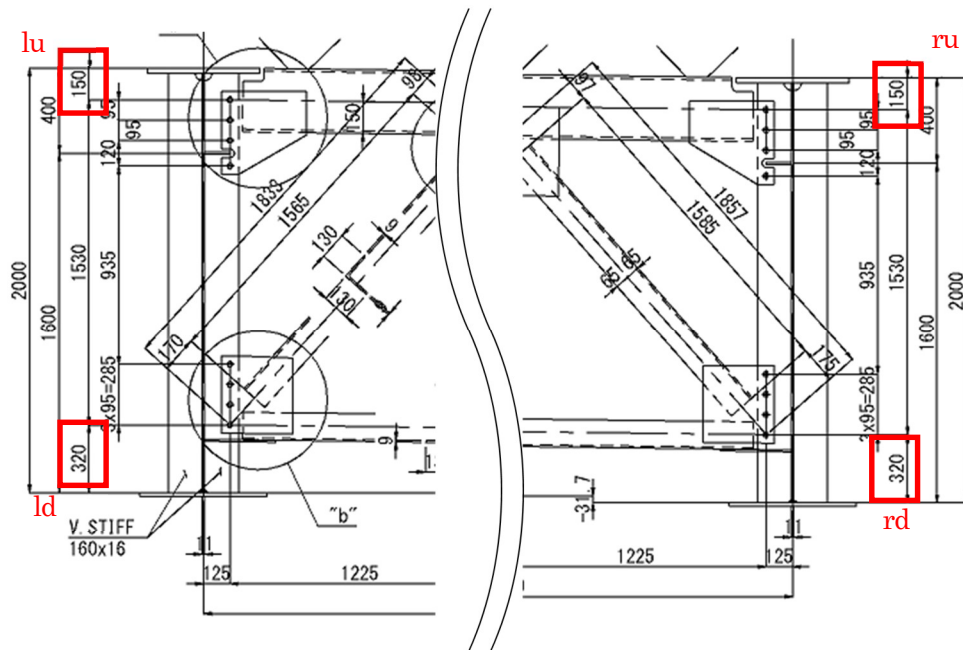


斜材



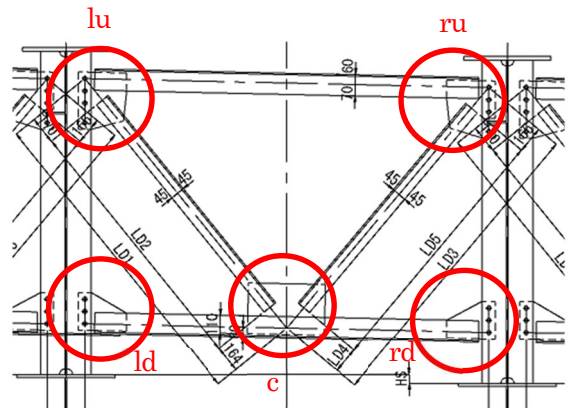
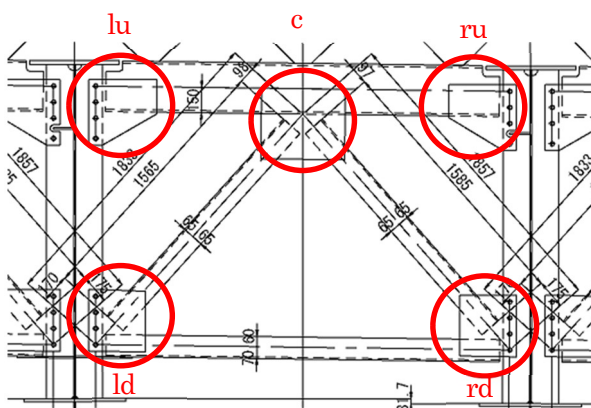
3. 7. 26 対傾構引付位置

要素名	SwayPosition		論理名	対傾構引付位置	
パス	/SwayInfo/SwaySet/Sway/SwayPosition				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	対傾構引付位置を定義する				
属性	lu	左側主桁上端から対傾構左上引付点までの距離	xs:double	必須	
	ld	左側主桁下端から対傾構左下引付点までの距離	xs:double	必須	
	ru	右側主桁上端から対傾構右上引付点までの距離	xs:double	必須	
	rd	右側主桁下端から対傾構右下引付点までの距離	xs:double	必須	
記入例	<SwayPosition lu="100.0" ld="100.0" ru="100.0" rd="100.0"/>				



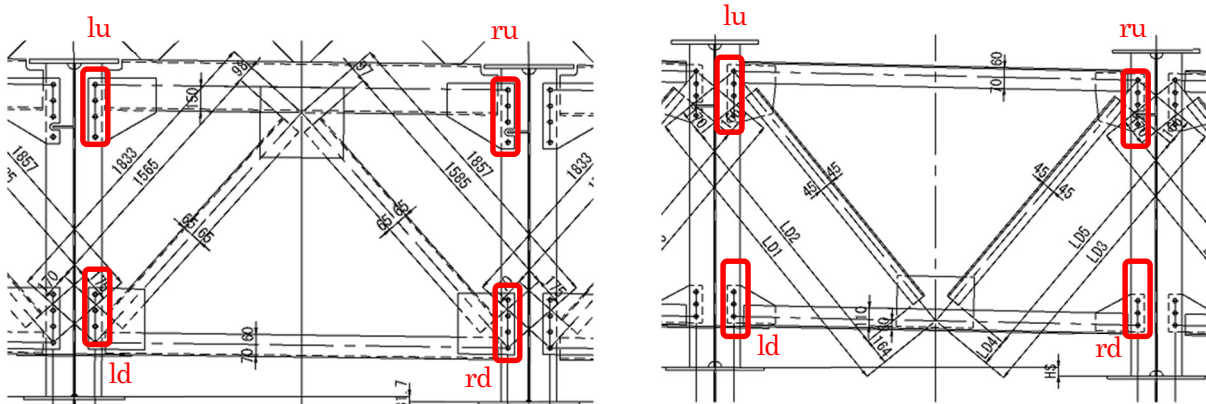
3.7.27 対傾構ガセットプレート配置

要素名	SwayGussetPlateSet		論理名	対傾構ガセットプレート配置	
パス	/SwayInfo/SwaySet/Sway/SwayGussetPlateSet				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	対傾構ガセットプレート配置を定義する				
属性	lu	識別 ID	xs:string	必須	左上側ガセット ID
	ld	識別 ID	xs:string	必須	左下側ガセット ID
	ru	識別 ID	xs:string	必須	右上側ガセット ID
	rd	識別 ID	xs:string	必須	右下側ガセット ID
	c	識別 ID	xs:string	必須	中央ガセット ID
記入例	<SwayGussetPlateSet lu="SSG1" ld="SSG2" ru="SSG1" rd="SSG2" c="SSG6"/>				



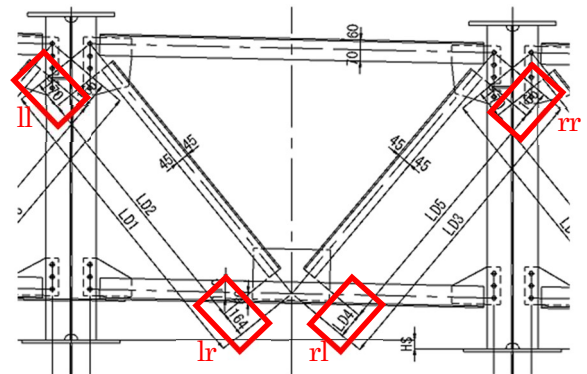
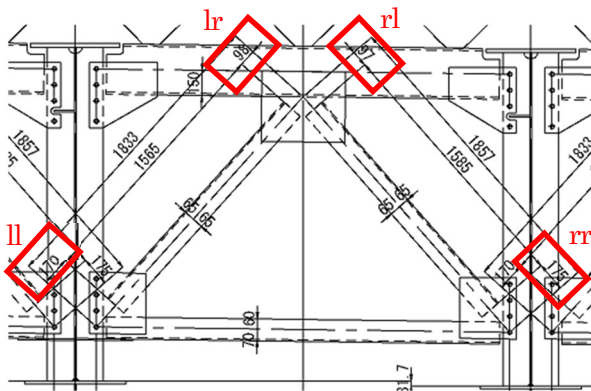
3.7.28 対傾構側ガセット孔配置

要素名	SwayGussetHoleSet			論理名	対傾構側ガセット孔配置
パス	/SwayInfo/SwaySet/Sway/SwayGussetHoleSet				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	対傾構側ガセット孔配置を定義する				
属性	lu	識別 ID	xs:string	必須	左上側ガセットの孔 ID
	ld	識別 ID	xs:string	必須	左下側ガセットの孔 ID
	ru	識別 ID	xs:string	必須	右上側ガセットの孔 ID
	rd	識別 ID	xs:string	必須	右下側ガセットの孔 ID
記入例	<SwayGussetHoleSet lu="SSGH1" ld="SSGH2" ru="SSGH1" rd="SSGH2"/>				



3. 7. 29 対傾構斜材空き寸法

要素名	SwayDistance		論理名		対傾構斜材空き寸法
パス	/SwayInfo/SwaySet/Sway/SwayDistance				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	対傾構斜材空き寸法を定義する				
属性	ll	左側斜材空き寸法 1	xs:double	必須	端対傾構：下側（外側） 中間対傾構：上側（内側）
	lr	左側斜材空き寸法 2	xs:double	必須	端対傾構：上側（内側） 中間対傾構：下側（外側）
	rl	右側斜材空き寸法 1	xs:double	必須	端対傾構：上側（内側） 中間対傾構：下側（外側）
	rr	右側斜材空き寸法 2	xs:double	必須	端対傾構：下側（外側） 中間対傾構：上側（内側）
記入例	<SwayDistance ll="300.0" lr="300.0" rl="300.0" rr="300.0"/>				



3.8 横構情報

要素名	LateralInfo	論理名	横構情報
パス	/LateralInfo		
子要素	<u>LateralCommon</u> <u>LateralGussetSet</u>	<u>LateralGussetShape</u>	<u>LateralChordShape</u> <u>LateralSet</u>
型	—		
出現回数	0 か 1		
内容	横構情報を定義する		
記入例	<pre> <LateralInfo> <LateralCommon> <LateralGussetCommonShape> <LateralGussetPosition height="260.0"/> <LateralGussetEdge sway="40.0" lateral="40.0"/> <LateralGussetVstifScallops width="70.0" rsize="20.0"/> </LateralGussetCommonShape> <LateralChordCommonShape> <LateralChordDistance space1="20.0" space2="20.0" space3="20.0"/> </LateralChordCommonShape> </LateralCommon> <LateralGussetShape id="LG1" type="TYPE1" material="SM400A" weldspace=""> <LateralGussetSize width="" thickness="9.0"/> </LateralGussetShape> <LateralChordShape id="LCT1" kind="CT" material="SS400"> <ShapeSteelFlg width="152.0" thickness="8.0"/> <ShapeSteelWeb height="95.0" thickness="8.0"/> <ChordHole dia="24.5" pattern="K1" cg="140.0" g="1@75.0" p="3@45.0"/> </LateralChordShape> <LateralSet> <Lateral leftgirder="G1" leftstart="S1" leftend="C1" rightgirder="G2" rightstart="S1" rightend="C1" panelno="1" type="V" gussid="" direction="UPPER" shift="45.0"> <LateralChord no="1" id="LCT1" dists="375.0" diste="216.0"/> <LateralChord no="2" id="LCT1" dists="165.0" diste="245.0"/> </Lateral> <Lateral leftgirder="G1" leftstart="C1" leftend="C2" rightgirder="G2" rightstart="C1" rightend="C2" panelno="2" type="XD" gussid="LG2" direction="UPPER" shift="45.0"> <LateralChord no="1" id="LCT1" dists="375.0" diste="216.0"/> <LateralChord no="2" id="LCT1" dists="165.0" diste="245.0"/> </Lateral> </LateralSet> <LateralGussetSet> <LateralGusset girder="G1" face="NS" kind="S" start="" end="" weldlength="200.0" id="LG1"/> </LateralGussetSet> </LateralInfo> </pre>		

3.8.1 横構共通詳細情報

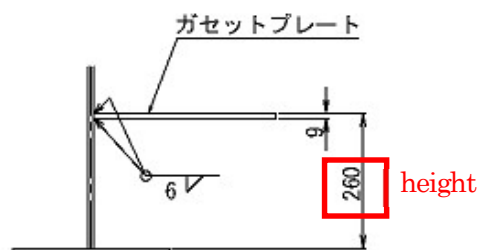
要素名	LateralCommon	論理名	横構共通詳細情報
パス	/LateralInfo/LateralCommon		
子要素	<u>LateralGussetCommonShape</u> <u>LateralChordCommonShape</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	横構共通詳細情報を定義する		
記入例	<pre> <LateralCommon> <LateralGussetCommonShape> <LateralGussetPosition height="260.0"/> <LateralGussetEdge sway="40.0" lateral="40.0"/> <LateralGussetVstifScallop width="70.0" rsize="20.0"/> </LateralGussetCommonShape> <LateralChordCommonShape> <LateralChordDistance space1="20.0" space2="20.0" space3="20.0"/> </LateralChordCommonShape> </LateralCommon> </pre>		

3.8.2 横構ガセット詳細

要素名	LateralGussetCommonShape	論理名	横構ガセット詳細
パス	/LateralInfo/LateralCommon/LateralGussetCommonShape		
子要素	<u>LateralGussetPosition</u> <u>LateralGussetEdge</u> <u>LateralGussetVstifScallop</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	横構ガセット詳細を定義する		
記入例	<pre> <LateralGussetCommonShape> <LateralGussetPosition height="260.0"/> <LateralGussetEdge sway="40.0" lateral="40.0"/> <LateralGussetVstifScallop width="70.0" rsize="20.0"/> </LateralGussetCommonShape> </pre>		

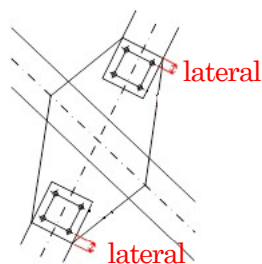
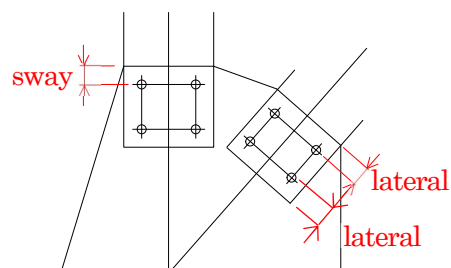
3.8.3 横構ガセット取付高さ

要素名	LateralGussetPosition		論理名		横構ガセット取付高さ	
パス	/LateralInfo/LateralCommon/LateralGussetCommonShape/LateralGussetPosition					
子要素	—					
型	—					
出現回数	1					
内容	横構ガセット取付高さを定義する					
属性	height	主桁ウェブ下端からの高さ	xs:double	必須		
記入例	<LateralGussetPosition height="260.0"/>					



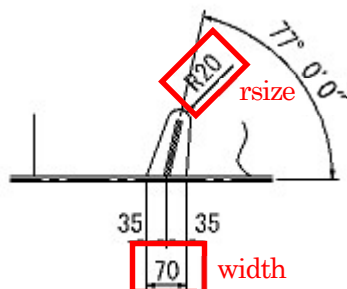
3.8.4 横構ガセット材端形状

要素名	LateralGussetEdge		論理名	ガセツ材端形状	
パス	/LateralInfo/LateralCommon/LateralGussetCommonShape/LateralGussetEdge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ガセツ材端形状を定義する				
属性	sway	横構ガセツの対傾構弦材または横桁フランジ側の材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	lateral	横構ガセツの横構弦材側の材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
記入例	<LateralGussetEdge sway="40.0"lateral="40.0"/>				



3.8.5 スカラップ形状

要素名	LateralGussetVstifScallopp		論理名	スカラップ形状	
パス	/LateralInfo/LateralCommon/LateralGussetCommonShape/ LateralGussetVstifScallopp				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	スカラップ形状を定義する				
属性	width	横構ガセットの垂直補剛材回避切欠幅	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「70.0」とする
	rsiz	横構ガセットの垂直補剛材回避切欠の R サイズ	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「20.0」とする
記入例	<LateralGussetVstifScallopp width="70.0" rsiz="20.0"/>				

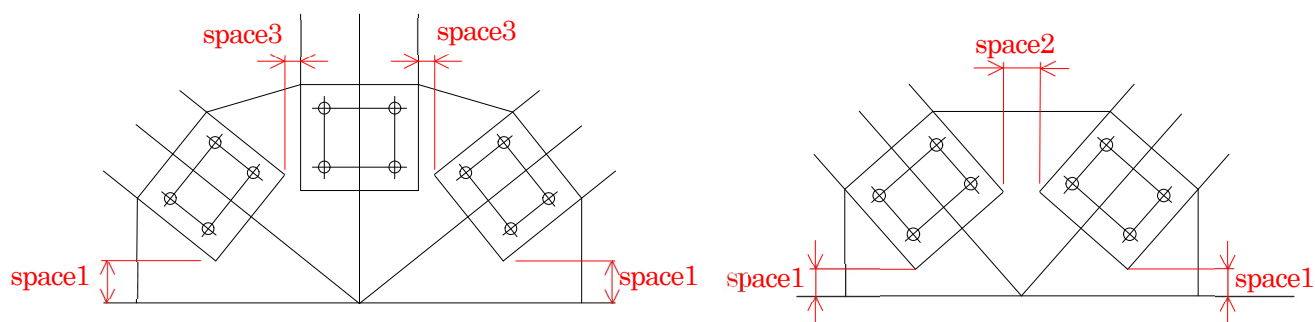


3.8.6 横構弦材詳細

要素名	LateralChordCommonShape	論理名	横構弦材詳細
パス	/LateralInfo/LateralCommon/LateralChordCommonShape		
子要素	LateralChordDistance		
型	—		
出現回数	1		
内容	横構弦材詳細を定義する		
記入例	<LateralChordCommonShape> <LateralChordDistance space1="20.0" space2="20.0" space3="20.0"/> </LateralChordCommonShape>		

3.8.7 横構弦材の離れ量

要素名	LateralChordDistance		論理名	横構弦材の離れ量	
パス	/LateralInfo/LateralCommon/LateralChordCommonShape/ LateralChordDistance				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	横構弦材の離れ量を定義する				
属性	space1	横構弦材の主桁ウェブとの離れ量下限値	xs:double	必須	※「20.0」を初期値とする
	space2	横構弦材どおしの離れ量下限値	xs:double	必須	※「20.0」を初期値とする
	space3	横構弦材と対傾構弦材または横桁フランジとの離れ量下限値	xs:double	必須	※「20.0」を初期値とする
記入例	<LateralChordDistance space1="20.0" space2="20.0" space3="20.0"/>				



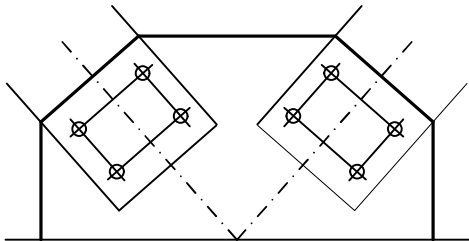
3.8.8 横構ガセット形状

要素名	LateralGussetShape		論理名	横構ガセット形状	
パス	/LateralInfo/LateralGussetShape				
子要素	LateralGussetSize				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	横構ガセット形状を定義する				
属性	id	識別ID	xs:string	必須	
	type	ガセットタイプ	xs:string	必須	以下より選択 TYPE1:主桁ウェブ取り合いガセット TYPE2:交差部ガセット
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<LateralGussetShape id="LG1" type="TYPE1" material="SM400A"> <LateralGussetSize width="" thickness="9.0"/> </LateralGussetShape>				

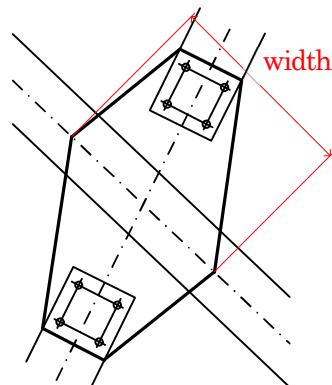
3.8.9 ガセットサイズ

要素名	LateralGussetSize		論理名	ガセットサイズ	
パス	/LateralInfo/LateralGussetShape/LateralGussetSize				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ガセットサイズを定義する				
属性	width	ガセット幅	xs:double	必須	※ガセットタイプが「TYPE1」の場合はblank
	thickness	ガセット板厚	xs:double	必須	
記入例	<LateralGussetSize width="" thickness="9.0"/>				

TYPE1: 主桁ウェブ取り合いガセット



TYPE2: 交差部ガセット



3. 8. 10 横構弦材形状

要素名	LateralChordShape		論理名	横構弦材形状	
パス	/LateralInfo/LateralChordShape				
子要素	ShapeSteelFlg ShapeSteelWeb ChordHole				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	横構弦材形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	kind	鋼種タイプ	xs:string	必須	鋼種を以下より選択 ・ CT : CT 鋼 ・ L : 山形鋼 ・ BCT : ビルトアップ T 型断面 ※山形鋼は、等辺山形鋼とする
	material	材質	xs:string	必須	
	weldspace	溶接しろ	xs:double	必須	BCT 鋼のとき指定
	記入例	<LateralChordShape id="LCT1" kind="CT" material="SS400" weldspace=""> <ShapeSteelFlg width="152.0" thickness="8.0"/> <ShapeSteelWeb height="95.0" thickness="8.0"/> <ChordHole dia="24.5" pattern="K1" cg="140.0" g="1@75.0" p="3@45.0"/> </LateralChordShape>			

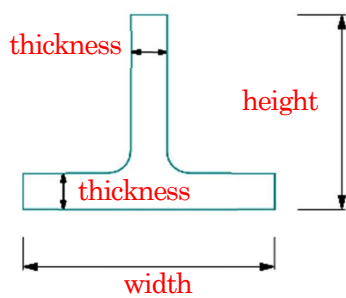
3.8.11 フランジ形状

要素名	ShapeSteelFlg		論理名	フランジ形状	
パス	/LateralInfo/LateralChordShape/ShapeSteelFlg				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1				
内容	フランジ形状を定義する				
属性	width	フランジ幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
記入例	<ShapeSteelFlg width="152.0" thickness="8.0"/>				

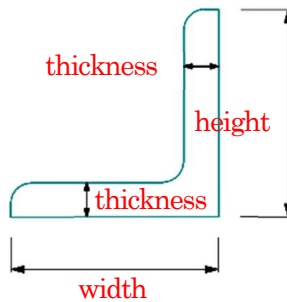
3.8.12 ウェブ形状

要素名	ShapeSteelWeb		論理名	ウェブ形状	
パス	/LateralInfo/LateralChordShape/ShapeSteelWeb				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ウェブ形状を定義する				
属性	height	ウェブ高	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
記入例	<ShapeSteelWeb height="95.0" thickness="8.0"/>				

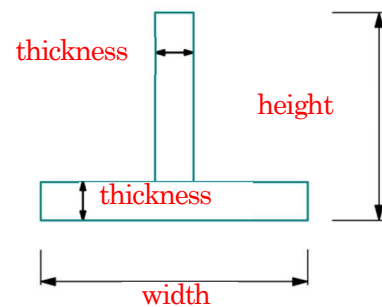
CT 鋼



山形鋼



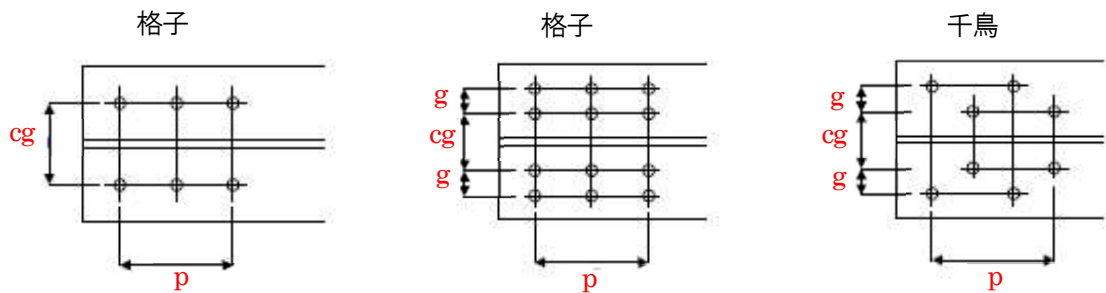
ビルトアップT型断面



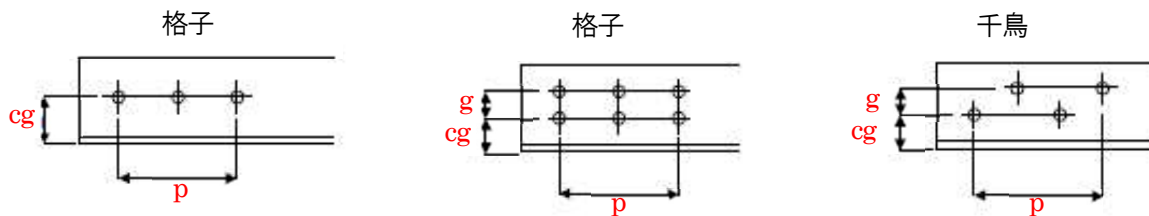
3. 8. 13 横構弦材孔形状

要素名	ChordHole		論理名	横構弦材孔形状	
パス	/LateralInfo/LateralChordShape/ChordHole				
子要素	—				
型	—				
出現回数	0 以上				
内容	下弦材孔形状を定義する。				
属性	dia	孔径	xs:double	必須	
	pattern	孔タイプ	xs:string	必須	孔タイプを以下より指定する 格子 : K1 千鳥 : C1
	cg	センターゲージ	xs:double	必須	
	g	ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定
	p	ピッチ	xs:string	必須	n@p で指定
記入例	<ChordHole dia="24.5" pattern="K1" cg="140.0" g="1@75.0" p="3@45.0"/>				

CT 鋼・ビルトアップ T 型断面の場合



山形鋼の場合



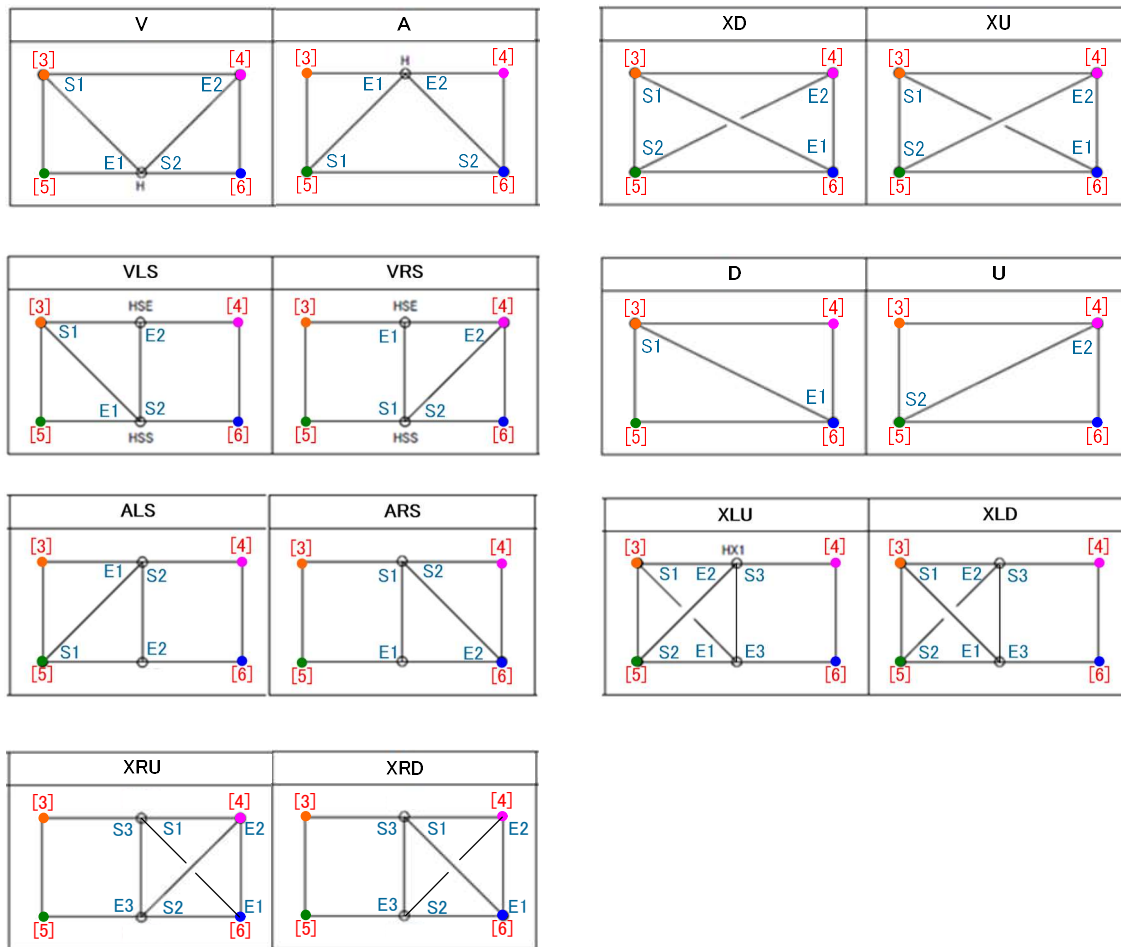
3. 8. 14 横構配置

要素名	LateralSet	論理名	横構配置
パス	/LateralInfo/LateralSet		
子要素	<u>Lateral</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	横構配置を定義する		
記入例	<pre> <LateralSet> <Lateral leftgirder="G1" leftstart="S1" leftend="C1" rightgirder="G2" rightstart="S1" rightend="C1" panelno="1" type="V" gussid="" direction="UPPER" shift="45.0"> <LateralChord no="1" id="LCT1" dists="375.0" diste="216.0"/> <LateralChord no="2" id="LCT1" dists="165.0" diste="245.0"/> </Lateral> <Lateral leftgirder="G1" leftstart="C1" leftend="C2" rightgirder="G2" rightstart="C1" rightend="C2" panelno="2" type="XD" gussid="LG2" direction="UPPER" shift="45.0"> <LateralChord no="1" id="LCT1" dists="375.0" diste="216.0"/> <LateralChord no="2" id="LCT1" dists="165.0" diste="245.0"/> </Lateral> </LateralSet> </pre>		

3. 8. 15 横構形状

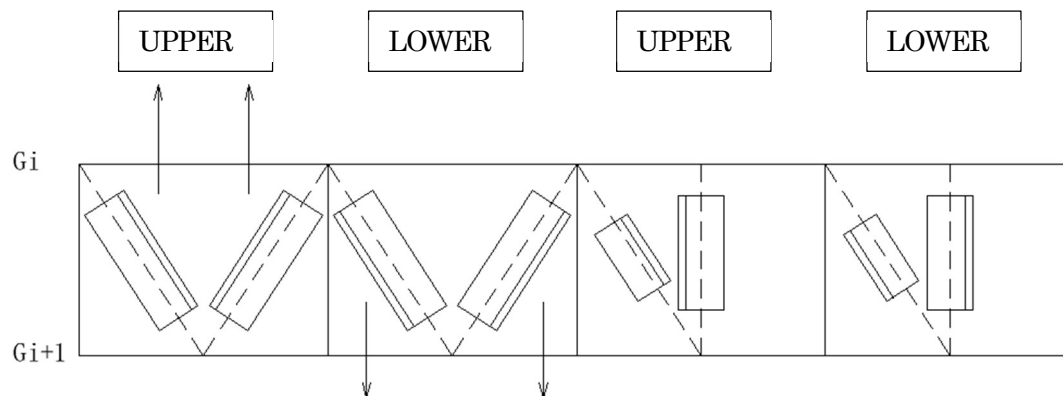
要素名	Lateral		論理名		横構形状
パス	/Lateral Info/Lateral Set/Lateral				
子要素	Lateral Chord				
型	—				
出現回数	0 以上				
内容	横構形状を定義する				
属性	leftgirder	左側主桁名	xs:string	必須	
	leftstart	左側桁始側格点名称	xs:string	必須	
	leftend	左側桁終側格点名称	xs:string	必須	
	rightgirder	右側主桁名	xs:string	必須	
	rightstart	右側桁始側格点名称	xs:string	必須	
	rightend	右側桁終側格点名称	xs:string	必須	
	panelno	パネル番号	xs:int	必須	
	type	骨組タイプ	xs:string	必須	以下より選択
	gussid	識別 ID	xs:string	必須	交差部に配置する横構ガセットの識別 ID 交差部がない場合、ブランク
	direction	背の向き (山形鋼)	xs:string	必須	背の向きを指定 ・ UPPER : 上 ・ LOWER : 下
	shift	背からの離れ (山形鋼)	xs:double	必須	背から軸線までの離れ ブランクのとき型鋼中心とする
記入例	<Lateral leftgirder="G1" leftstart="C1" leftend="C2" rightgirder="G2" rightstart="C1" rightend="C2" panelno="2" type="XD" gussid="LG2" direction="UPPER" shift="45.0"> <LateralChord no="1" id="LCT1" dists="375.0" diste="216.0"/> <LateralChord no="2" id="LCT1" dists="165.0" diste="245.0"/> </Lateral>				

骨組タイプ



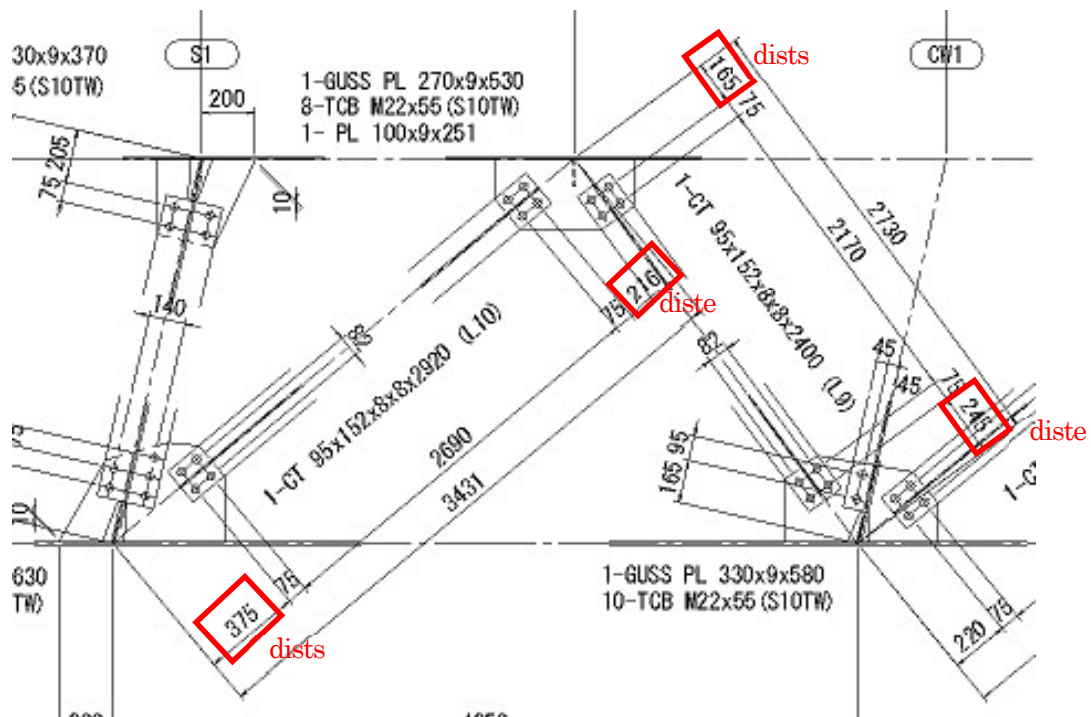
S1:弦材1の始側
 E1:弦材1の終側
 S2:弦材2の始側
 E2:弦材2の終側
 S3:弦材3の始側
 E3:弦材3の終側

背の向き



3. 8. 16 横構弦材

要素名	LateralChord		論理名	横構弦材	
パス	/LateralInfo/LateralSet/Lateral/LateralChord				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	横構弦材を定義する				
属性	no	弦材番号	xs:int	必須	
	id	識別 ID	xs:string	必須	横構弦材の ID
	dists	始側の骨組端点から第一孔までの距離	xs:double	必須	
	diste	終側の骨組端点から第一孔までの距離	xs:double	必須	
記入例	<LateralChord no="1" id="LCT1" dists="375.0" diste="216.0"/>				

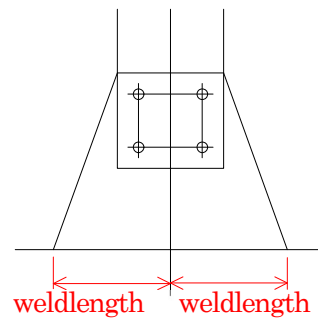
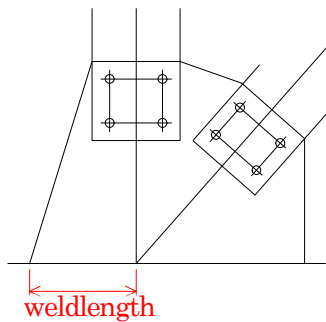


3. 8. 17 横構ガセット配置

要素名	LateralGussetSet	論理名	横構ガセット配置
パス	/LateralInfo/LateralGussetSet		
子要素	<u>LateralGusset</u>		
型	－		
出現回数	1 以上		
内容	横構ガセット配置を定義する		
記入例	<LateralGussetSet> <LateralGusset girder="G1" face="NS" kind="S" start="S1" end="" weldlength="200.0" id="LG1"/> </LateralGussetSet>		

3. 8. 18 横構ガセット形状

要素名	LateralGusset		論理名		横構ガセット形状
パス	/LateralInfo/LateralGussetSet/LateralGusset				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	横構ガセット形状を定義する				
属性	girder	配置する主桁名	xs:string	必須	
	face	配置側	xs:string	必須	表面(起点右側から見える面) : NS 裏面 : FS
	kind	配置横断線種類	xs:string	必須	以下より選択 ・ S : 支点・格点 ・ C : 中間格点
	start	配置する横断線 名称	xs:string	必須	配置横断線種類が中間格点の場合 は、手前の横断名称 それ以外は横構ガセットを配置す る横断名称
	end	配置する横断線 名称	xs:string	必須	配置横断線種類が中間格点の場合 は、次の横断名称 それ以外はブラック
	weldlength	ガセットの主桁 ウェブとの溶接 長	xs:double	必須	
	id	識別 ID	xs:string	必須	横構ガセットの識別 ID
記入例	<LateralGusset girder="G1" face="NS" kind="S" start="S1" end="" weldlength="200.0" id="LG1"/>				



3.9 ブラケット情報

要素名	BracketInfo	論理名	ブラケット定義
パス	/BracketInfo		
子要素	<u>BracketCommon</u> <u>BracketSection</u> <u>BracketStiffenerShape</u> <u>BracketSpliceShape</u> <u>BracketLapHoleShape</u> <u>BracketSet</u>		
型	—		
出現回数	0 か 1		
内容	仕口タイプの端ブラケットを定義する		
記入例	<BracketInfo> . . . </BracketInfo>		

3.9.1 ブラケット共通詳細定義

要素名	BracketCommon	論理名	ブラケット共通詳細定義
パス	/BracketInfo/BracketCommon		
子要素	<u>BracketJointClearance</u> <u>BracketEscapeDirection</u> <u>BracketSpliceCommonShape</u> <u>BracketGirderConnectionCommonShape</u> <u>BracketCommonShape</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	ブラケット共通詳細を定義する		
記入例	<BracketCommon> <BracketJointClearance uflg="10.0" web="10.0" lflg="10.0"/> <BracketEscapeDirection uflg="OUTSIDE" lflg="OUTSIDE"/> <BracketSpliceCommonShape> <UflgEdge lg="40.0" tr_ourside="40.0" tr_inside="40.0"/> <WebEdge tr="40.0" hg="40.0" slope="3.0"/> <LflgEdge lg="40.0" tr="40.0"/> </BracketSpliceCommonShape> <BracketGirderConnectionCommonShape> <SupportPoint weldu="15C" weldl="15C" kobaf="20R"/> </BracketGirderConnectionCommonShape> <BracketCommonShape> <BracketUflgShape gcut="TYPE1" fcut="TYPE1"/> <BracketLflgShape gcut="TYPE1" fcut="TYPE1"/> <BracketConnectionShape fillet="150.0" length="20.0"/> </BracketCommonShape> </BracketCommon>		

3.9.2 ブラケットジョイントクリアランス定義

要素名	BracketJointClearance		論理名	ブラケットジョイントクリアランス定義	
パス	/BracketInfo/BracketCommon/BracketJointClearance				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1				
内容	ブラケットの上フランジ、ウェブ、下フランジのクリアランスを定義する				
属性	uflg	上フランジ	xs:double	必須	※「10.0」を標準値とする
	web	ウェブ	xs:double	必須	※「10.0」を標準値とする
	lflg	下フランジ	xs:double	必須	※「10.0」を標準値とする

記入例	<BracketJointClearance uflg="10.0" web="10.0" lflg="10.0"/>
-----	---

3.9.3 ブラケット板逃げ方向定義

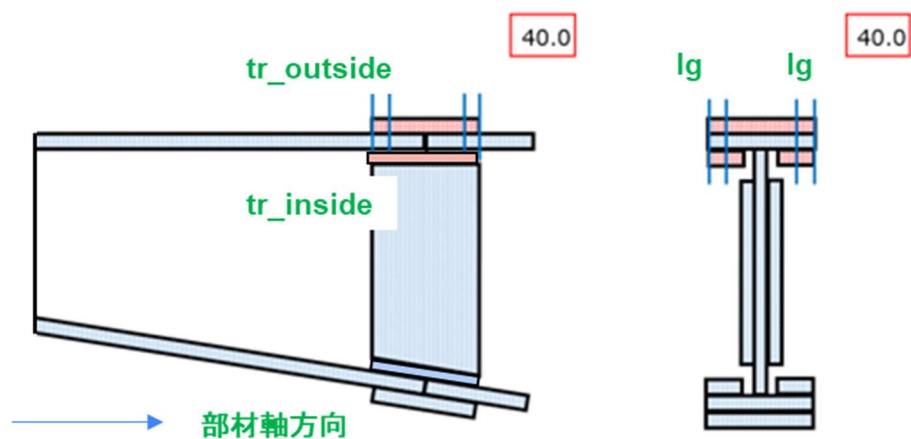
要素名	BracketJointClearance		論理名	ブラケット板逃げ方向定義	
パス	/BracketInfo/BracketCommon/BracketEscapeDirection				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	フランジ板逃げ方向を定義する				
属性	uflg	上フランジ板逃げ方向	xs:string	必須	以下より選択する 外逃げ：OUTSIDE 内逃げ：INSIDE
	lflg	下フランジ板逃げ方向	xs:string	必須	以下より選択する 外逃げ：OUTSIDE 内逃げ：INSIDE
記入例	<BracketEscapeDirection uflg="OUTSIDE" lflg="OUTSIDE"/>				

3.9.4 ブラケット添接板材端形状定義

要素名	BracketSpliceCommonShape	論理名	ブラケット添接板材端形状定義
パス	/BracketInfo/BracketCommon/BracketSpliceCommonShape		
子要素	UflgEdge WebEdge LflgEdge		
型	—		
出現回数	1		
内容	上フランジ、ウェブ、下フランジ添接板材端形状を定義する		
記入例	<BracketSpliceCommonShape> <UflgEdge lg="40.0" tr_outside="40.0" tr_inside="40.0"/> <WebEdge tr ="40.0" hg="40.0" slope="3.0"/> <LflgEdge lg="40.0" tr="40.0"/> </BracketSpliceCommonShape>		

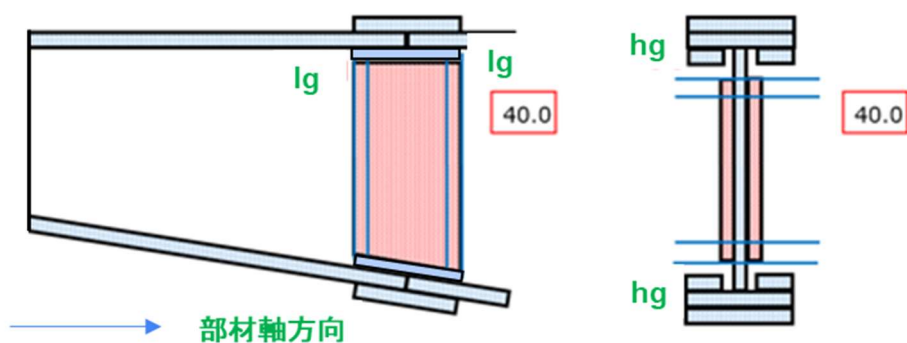
3.9.5 上フランジ添接板材端形状定義

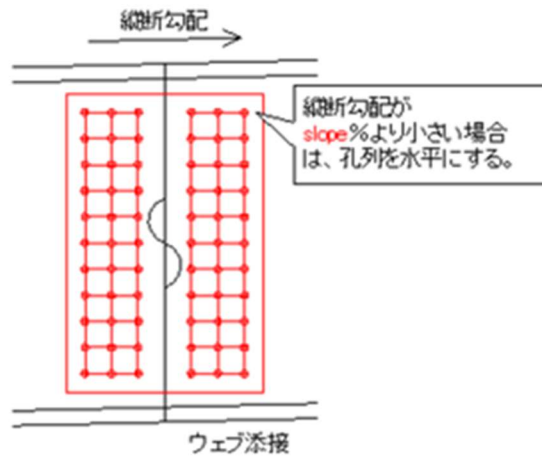
要素名	Uf lgEdge		論理名	上フランジ添接板材端形状定義	
パス	/BracketInfo/BracketCommon/BracketSpliceCommonShape/Uf lgEdge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	上フランジ添接板材端形状を定義する				
属性	lg	部材軸直角方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	tr_outside	外側添接部材軸方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	tr_inside	内側添接部材軸方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
記入例	<Uf lgEdge lg="40.0" tr_outside="40.0" tr_inside="40.0"/>				



3.9.6 ウェブ添接板材端形状定義

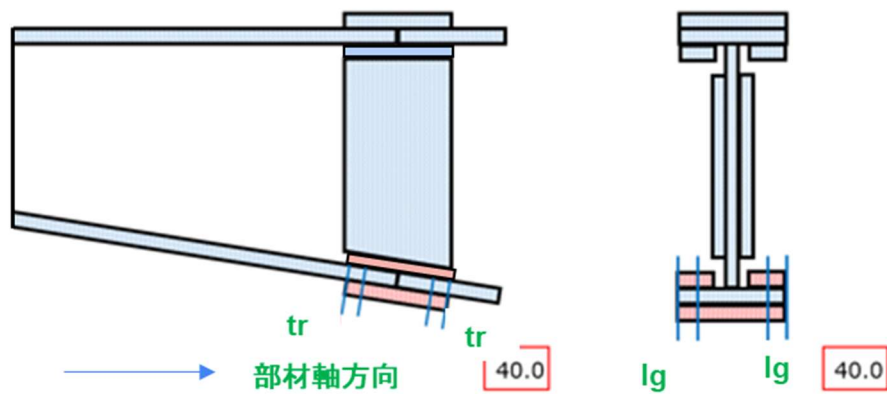
要素名	WebEdge		論理名		ウェブ添接板材端形状定義
パス	/BracketInfo/BracketCommon/BracketSpliceCommonShape/WebEdge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ウェブ添接板材端形状を定義する				
属性	lg	部材軸方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	hg	高さ方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	slope	孔勾配下限値	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「3.0」とする
記入例	<WebEdge lg="40.0" hg="40.0" slope="3"/>				





3.9.7 下フランジ添接板材端形状定義

要素名	LfIgEdge		論理名		下フランジ添接板材端形状定義
パス	/BracketInfo/BracketCommon/BracketSpliceCommonShape/LfIgEdge				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	下フランジ添接板材端形状を定義する				
属性	lg	部材軸直角方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	tr	部材軸方向材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
記入例	<WebEdge lg="40.0" hg="40.0" slope="3"/>				

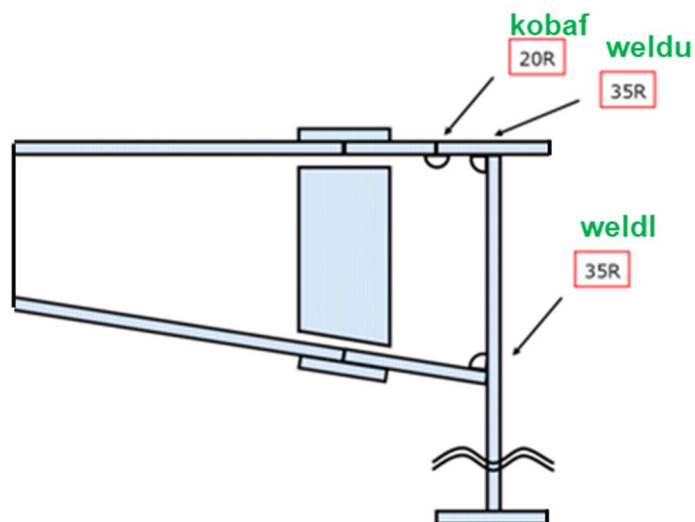


3.9.8 ブラケット仕口形状定義

要素名	BracketGirderConnectionCommonShape	論理名	ブラケット仕口形状定義
パス	/BracketInfo/BracketCommon/BracketGirderConnectionCommonShape		
子要素	SupportPoint		
型	—		
出現回数	1		
内容	ブラケット仕口形状を定義する		
記入例	<pre><BracketGirderConnectionCommonShape> <SupportPoint weldu="15C" weldl="15C" kobaf="20R"/> </BracketGirderConnectionCommonShape></pre>		

3.9.9 支点部切欠き形状定義

要素名	SupportPoint		論理名	支点部切欠き形状定義	
パス	/BracketInfo/BracketCommon/BracketGirderConnectionCommonShape/SupportPoint				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	支点部切欠き形状を定義する				
属性	weldu	溶接辺側上側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「15C」とする
	weldl	溶接辺側上側切欠き	xs:string	必須	ビードカットの場合：「15C」 スカラップの場合：「35R」 ※設計システムの標準値は「15C」とする
	kobaf	コバ付き FLG 側切欠き	xs:string	必須	R 欠きのみ ※設計システムの標準値は「20R」とする
記入例	<WebEdge lg="40.0" hg="40.0" slope="3"/>				



3.9.10 ブラケット形状定義

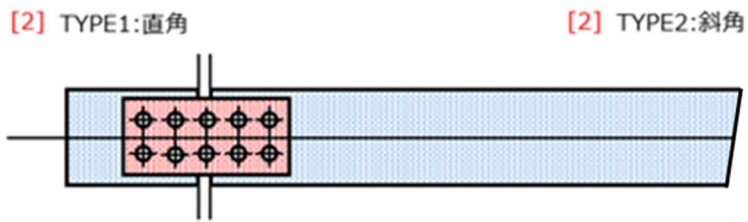
要素名	BracketCommonShape	論理名	ブラケット形状定義
パス	/BracketInfo/BracketCommon/BracketCommonShape		
子要素	BracketUflgShape BracketLflgShape BracketConnectionShape		
型	—		
出現回数	1		
内容	ブラケット形状を定義する		
記入例	<BracketCommonShape> <BracketUflgShape gcut="TYPE1" fcut="TYPE1"/> <BracketLflgShape gcut="TYPE1" fcut="TYPE1"/> <BracketConnectionShape fillet="150.0" length="20.0"/> </BracketCommonShape>		

3.9.11 ブラケット上フランジ形状定義

要素名	BracketUflgShape		論理名	ブラケット上フランジ形状定義	
パス	/BracketInfo/BracketCommon/BracketCommonShape/BracketUflgShape				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1				
内容	ブラケット上フランジの形状を定義する				
属性	gcut	主桁側切口形状	xs:string	必須	以下より選択する 直角：TYPE1 斜角：TYPE2
	fcut	ブラケット先端 側切口形状	xs:string	必須	以下より選択する 直角：TYPE1 斜角：TYPE2
記入例	<BracketUflgShape gcut="TYPE1" fcut="TYPE1"/>				

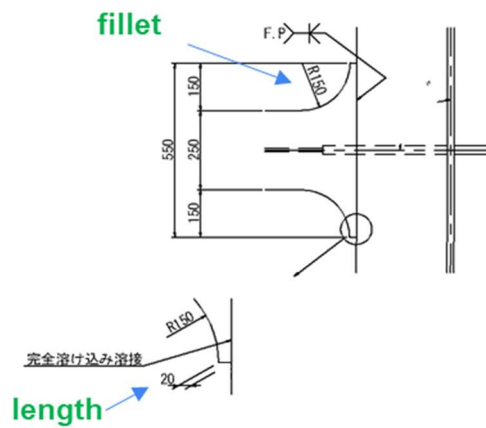
3.9.12 ブラケット下フランジ形状定義

要素名	BracketLflgShape		論理名	ブラケット下フランジ形状定義	
パス	/BracketInfo/BracketCommon/BracketCommonShape/BracketLflgShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ブラケット下フランジの形状を定義する				
属性	gcut	主桁側切口形状	xs:string	必須	以下より選択する 直角：TYPE1 斜角：TYPE2
	fcut	ブラケット先端 側切口形状	xs:string	必須	以下より選択する 直角：TYPE1 斜角：TYPE2
記入例	<BracketLflgShape gcut="TYPE1" fcut="TYPE1"/>				



3.9.13 ブラケットコネクションプレート材端形状

要素名	BracketConnectionShape			論理名	ブラケットコネクションプレート材端形状
パス	/BracketInfo/BracketCommon/BracketCommonShape/BracketConnectionShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	コネクションプレート形状を定義する				
属性	fillet	フィレットサイズ	xs:double	必須	※「100.0」を標準値とする フィレットがない場合は「0.0」とする
	length	立上げ量	xs:double	必須	※「20.0」を標準値とする フィレットがない場合は「0.0」とする
記入例	<BracketConnectionShape fillet="150.0" length="20.0"/>				



3.9.14 ブラケット断面形状定義

要素名	BracketSection		論理名	ブラケット断面形状定義	
パス	/BracketInfo/BracketSection				
子要素	ISectionUflg ISectionWeb ISectionLflg				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	ブラケット断面形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
記入例	<BracketSection id="BS1"> <ISectionUflg width1="250.0" width2="250.0" thickness="14.0" material="SM400A"/> <ISectionWeb thickness="9.0" material="SM400A"/> <ISectionLflg width1="250.0" width2="250.0" thickness="14.0" material="SM400A" rlength="200.0" rthickness="12.0" material="SM400A" nwidth="50.0" nlength="50.0"/> </BracketSection>				

3.9.15 I 断面上フランジ部材形状定義

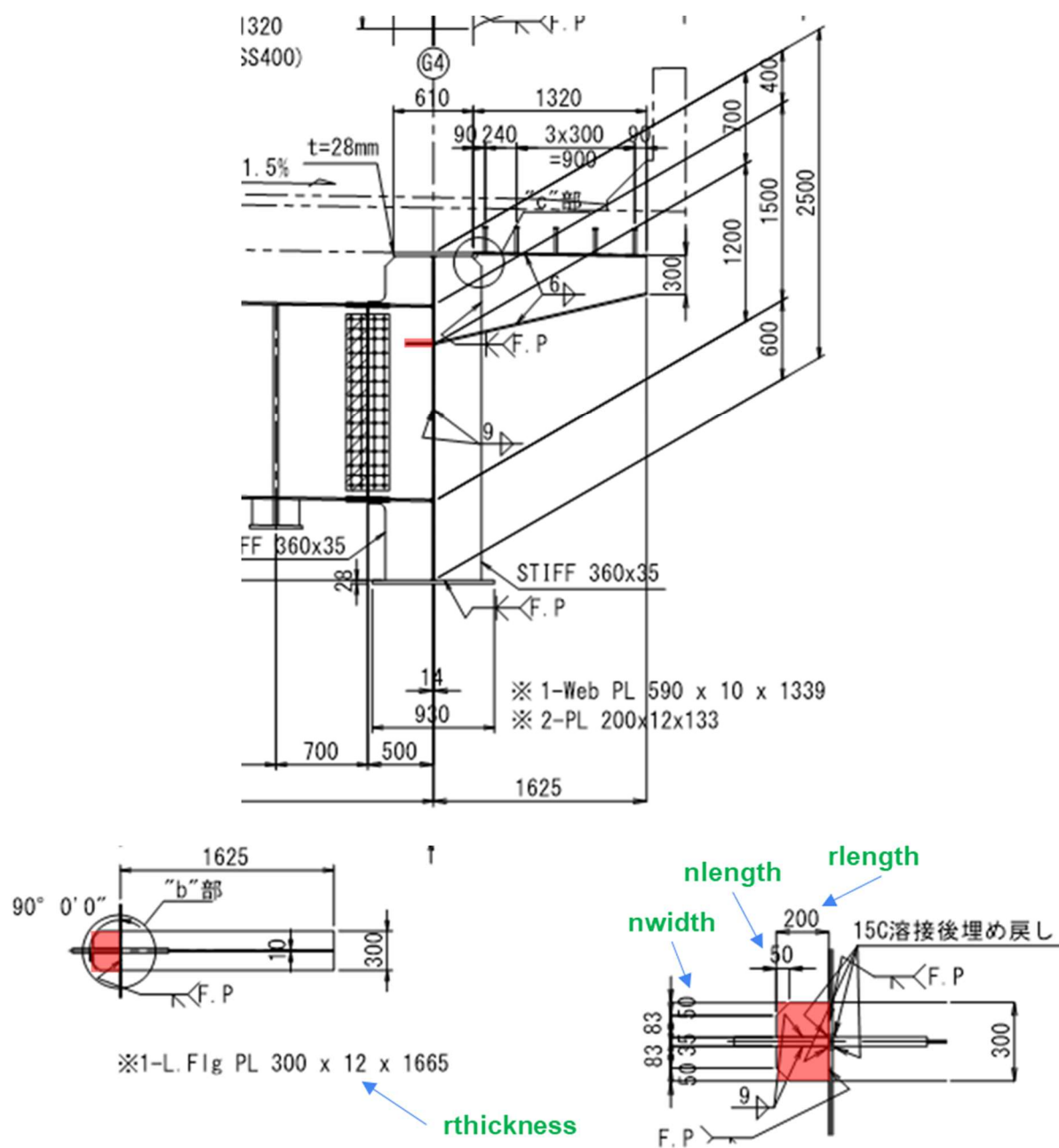
要素名	ISectionUflg		論理名	I 断面上フランジ部材形状定義	
パス	/BracketInfo/BracketSection/ISectionUflg				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	上フランジ部材断面を定義する				
属性	width1	フランジ幅 1	xs:double	必須	ブラケット本体側幅
	width2	フランジ幅 2	xs:double	必須	主桁コバ付き側幅
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
特記・制限事項	端ブラケット上フランジが偏心するタイプは対象外とする				
記入例	<ISectionUflg width1="250.0" width2="250.0" thickness="14.0" material="SM400A"/>				

3.9.16 I 断面ウェブ部材形状定義

要素名	ISectionWeb		論理名	I 断面ウェブ部材形状定義	
パス	/BracketInfo/BracketSection/ISectionWeb				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1				
内容	ウェブ部材断面を定義する				
属性	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<ISectionWeb thickness="9.0" material="SM400A"/>				

3.9.17 I 断面上フランジ部材形状定義

要素名	ISectionLflg		論理名		I 断面下フランジ部材形状定義
パス	/BracketInfo/BracketSection/ISectionLflg				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1				
内容	下フランジ部材断面を定義する				
属性	width1	フランジ幅 1	xs:double	必須	ブラケット本体側幅
	width2	フランジ幅 2	xs:double	必須	主桁コバ・ドン付き側幅
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
	rlength	裏あて長さ	xs:double	必須	端ブラケット下 FLG 側の裏あて補強材 ない場合は Non
	rthickness	裏あて板厚	xs:double	必須	端ブラケット下 FLG 側の裏あて補強材 ない場合は Non
	rmaterial	裏あて材質	xs:string	必須	端ブラケット下 FLG 側の裏あて補強材 ない場合は Non
	nwidth	切欠き部幅	xs:double	必須	切欠きがない場合はブランク
	nlength	切欠き部長さ	xs:double	必須	切欠きがない場合はブランク
記入例	<ISectionLflg width1="250.0" width2="250.0" thickness="14.0" material="SM400A" rlength="200.0" rthickness="12.0" rmaterial="SM400A" nwidth="50.0" nlength="50.0"/>				

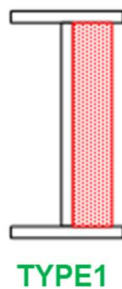


3.9.18 ブラケット補剛材形状定義

要素名	BracketStiffenerShape	論理名	ブラケット補剛材形状定義
パス	/BracketInfo/BracketStiffenerShape		
子要素	Vstif		
型	—		
出現回数	1		
内容	垂直補剛材形状を定義する		
記入例	<pre><BracketStiffenerShape> <Vstif id="VS1" type="TYPE1" width="150.0" thickness="10.0" material="SM490A"/> <Vstif id="VS2" type="TYPE1" width="150.0" thickness="9.0" material="SM490A"/> </BracketStiffenerShape></pre>		

3.9.19 垂直補剛材形状定義

要素名	Vstif		論理名	垂直補剛材形状定義	
パス	/BracketInfo/BracketSection/ISectionWeb				
子要素	/BracketInfo/BracketStiffenerShape/Vstif				
型	—				
出現回数	0 以上				
内容	垂直補剛材形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	type	垂直補剛材タイプ	xs:string	必須	TYPE1
	width	板幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	material	材質	xs:string	必須	
記入例	<Vstif id="VS1" type="TYPE1" width="150.0" thickness="10.0" material="SM490A"/> <Vstif id="VS2" type="TYPE1" width="150.0" thickness="9.0" material="SM490A"/>				



3.9.20 ブラケット補剛材形状定義

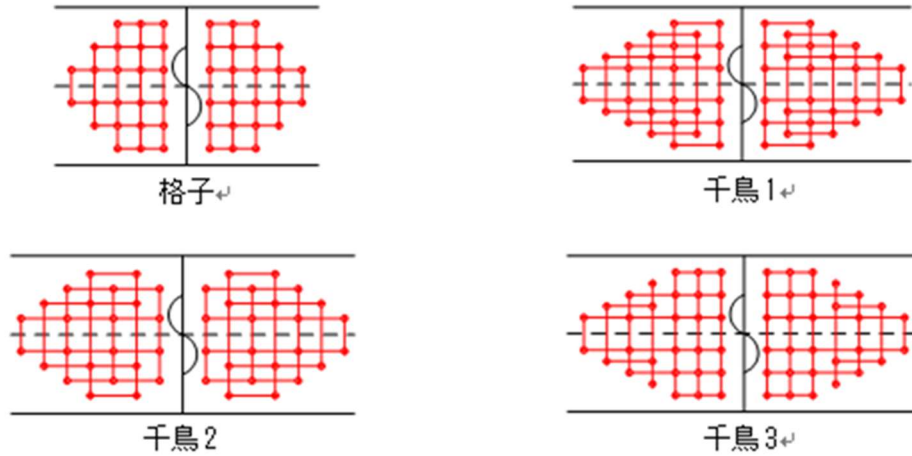
要素名	BracketSpliceShape	論理名	ブラケット添接形状定義
パス	/BracketInfo/BracketSpliceShape		
子要素	IFlgSplice WebSplice		
型	—		
出現回数	1		
内容	ブラケット添接形状を定義する		
記入例	<pre><BracketSpliceShape> <IFlgSplice id="IFS1" pattern="K1" dia="24.5" cp="85.0" p1="2@75.0" p2="" cg="130.0" g=2@75.0 spltype="TYPE1" nssplt="9.0" nssplm="SS400" fssplt="9.0" fssplm="SS400" fillt="2.3" fillm="SS400"/> <WebSplice id="WS1" dia="24.5" cp="85.0" p="1@75.0" gu="" gc="6@104" gl="" du="130.0" dl="130.0" splt="9.0" splm="SS400" fillt="2.3" fillm="SS400"/> </BracketSpliceShape></pre>		

3.9.21 フランジ添接形状定義

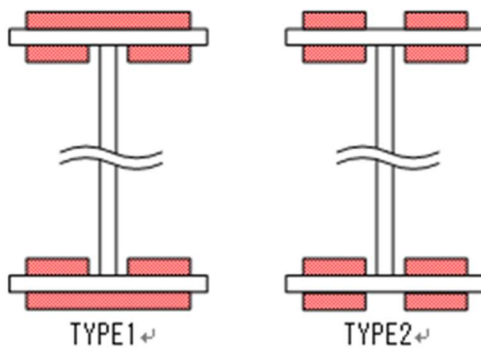
要素名	IFlgSplice		論理名	フランジ添接形状定義	
パス	/BracketInfo/BracketSpliceShape/IFlgSplice				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	フランジ添接形状を定義する。				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	pattern	孔タイプ	xs:string	必須	孔タイプを以下より指定する 格子 : K1 千鳥 1 : C1 千鳥 2 : C2 千鳥 3 : C3
	dia	孔径	xs:double	必須	
	cp	センターピッチ	xs:double	必須	
	p1	ピッチ 1	xs:string	必須	四角形部のピッチ n@p で指定
	p2	ピッチ 2	xs:string	必須	三角形部のピッチ n@p で指定 三角形部がないときはブランク
	cg	センターゲージ	xs:double	必須	
	g	ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定
	spltype	添接板タイプ	xs:string	必須	添接板タイプを以下より指定する 外側親・内側子 : TYPE1 両側子 : TYPE2
	nssplt	表側添接板厚	xs:double	必須	
	nssplm	表側添接板材質	xs:string	必須	
	fssplt	裏添接板厚	xs:double	必須	
	fssplm	裏添接板材質	xs:string	必須	

	fillt	フィラー板厚	xs:double	必須	ない場合はNon
	fillm	フィラー材質	xs:string	必須	ない場合はNon
記入例	<IFlgSplice id="IFS1" pattern="K1" dia="24.5" cp="85.0" p1="2@75.0" p2="" cg="130.0" g=2@75.0 spltype="TYPE1" nssplt="9.0" nssplm="SS400" fssplt="9.0" fssplm="SS400" fillt="2.3" fillm="SS400"/>				

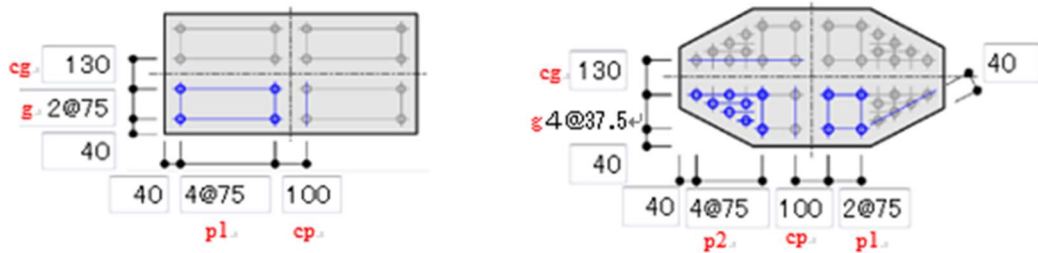
ボルト孔タイプは以下より指定する。✎



添接板タイプは以下より指定する。✎

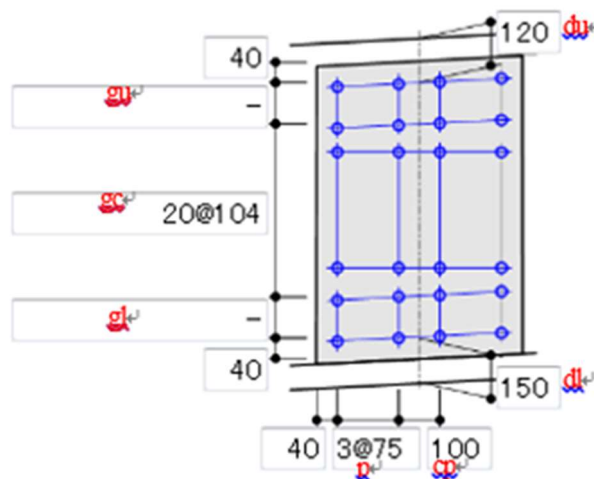


ボルトのピッチ、ゲージ✎



3.9.22 ウェブ添接形状定義

要素名	WebSplice		論理名	ウェブ添接形状定義	
パス	/BracketInfo/BracketSpliceShape/WebSplice				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	ウェブ添接形状を定義する。				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	
	dia	孔径	xs:double	必須	
	cp	センターピッチ	xs:double	必須	
	p	ピッチ	xs:string	必須	n@p で指定
	gu	上側ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定。ない場合はブランク。
	gc	中央ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定
	gl	下側ゲージ	xs:string	必須	n@g で指定。ない場合はブランク。
	du	上側第一孔までの距離	xs:double	必須	
	dl	下側第一孔までの距離	xs:double	必須	
	splt	添接板厚	xs:double	必須	
	splm	添接板材質	xs:string	必須	
	filrt	フィラー板厚	xs:double	必須	ない場合は Non
filrm	フィラー材質	xs:string	必須	ない場合は Non	
記入例	<WebSplice id="WS1" dia="24.5" cp="85.0" p="1@75.0" gu="" gc="6@104" gl="" du="130.0" dl="130.0" splt="9.0" splm="SS400" filrt="2.3" filrm="SS400"/>				



3.9.23 ブラケット配置定義

要素名	BracketSet	論理名	ブラケット配置定義
パス	/BracketInfo/BracketSet		
子要素	<u>Bracket</u>		
型	—		
出現回数	0 または 1		
内容	ブラケット配置を定義する		
記入例	<pre> <BracketSet> <Bracket> <BracketMemberSet girder="G1" slab="L1" side="LEFT" position="S1" bid="BS1" sid="BS2"/> <BracketPositionSet skltype="TYPE1" distance="500.0" height="800.0" height2="400.0" length="1925.0"/> <BracketJointSet> <BracketSpliceSet uflgid="IFS1" webid="WS1" lflgid="IFS2"/> </BracketJointSet> <BracketStiffenerSet> <BracketVstiffenerSet base="TYPE1" distance="1000.0" face="NS" id="VS1"/> </BracketStiffenerSet> </Bracket> </BracketSet> </pre>		

3.9.24 ブラケット形状定義

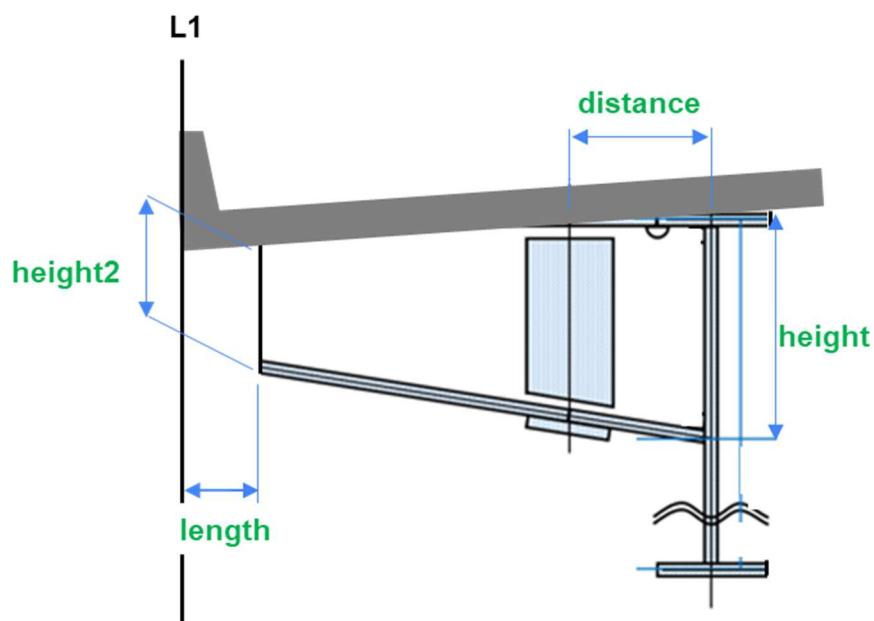
要素名	Bracket	論理名	ブラケット形状定義
パス	/BracketInfo/BracketSet/Bracket		
子要素	<u>BracketMemberSet</u> <u>BracketPositionSet</u> <u>BracketJointSet</u> <u>BracketStiffenerSet</u>		
型	—		
出現回数	1 以上		
内容	ブラケット形状を定義する		
記入例	<pre> <Bracket> <BracketMemberSet girder="G1" slab="L1" side="LEFT" position="S1" bid="BS1" sid="BS2"/> <BracketPositionSet skltype="TYPE1" distance="500.0" height="900.0" height2="400.0" length="400.0"/> <BracketJointSet> <BracketJointSet distance="500.0 uflgid="IFS1" webid="WS1" lflgid="IFS2"/> </BracketJointSet> <BracketStiffenerSet> <BracketVstiffenerSet BracketVstiffenerSet distance="1500.0" face="NS" id="VS1"/> <BracketStiffenerSet> </BracketStiffenerSet> </Bracket> </pre>		

3.9.25 ブラケット本体仕口配置定義

要素名	BracketMemberSet		論理名	ブラケット本体仕口配置定義	
パス	/BracketInfo/BracketSet/Braket/BracketMemberSet				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1				
内容	ブラケット本体仕口配置を定義する				
属性	girder	主桁名	xs:string	必須	
	slab	床版外側線名	xs:string	必須	"端ブラケット設置のための床版外側線定義" (/Skeleton/OutSlabLine) で定義した name を指定
	side	配置側	xs:string	必須	以下より選択する 橋軸方向左側：LEFT 橋軸方向右側：RIGHT
	position	端支点の横断線名	xs:string	必須	
	bid	識別 ID	xs:string	必須	ブラケット本体 "ブラケット断面形状定義"で定義した ID を指定
	sid	識別 ID	xs:string	必須	ブラケット仕口 "ブラケット断面形状定義"で定義した ID を指定
特記・制限事項	横断線名は左右の桁で共通とする				
記入例	<BracketMemberSet girder="G1" slab="L1" side="LEFT" position="S1" bid="BS1" sid="BS2"/>				

3.9.26 ブラケット引付位置配置定義

要素名	BracketPositionSet		論理名	ブラケット引付位置配置定義	
パス	/BracketInfo/BracketSet/Bracket/BracketPositionSet				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ブラケット引付位置を定義する				
属性	skltype	骨組形状タイプ	xs:string	必須	主桁上フランジコバ付き： TYPE1
	distance	ジョイント上下 位置距離	xs:double	必須	
	height	ウェブ高	xs:double	必須	
	height2	ブラケット先端 側ウェブ高	xs:double	必須	
	length	床版外側線から ブラケット先端 までの距離	xs:double	必須	※床版外側線は、"端ブラケット 設置のための床版外側線定 義"（Skeleton/OutSlabLine）で 定義している
特記・制限事 項	ウェブ高は鉛直方向で指定する ジョイント上下位置は共通の値とする				
記入例	<BracketPositionSet skltype="TYPE1" distance="500.0" height="900.0" height2="400.0" length="400.0"/>				



3.9.27 ブラケット添接配置定義

要素名	BracketJointSet	論理名	ブラケット添接配置定義
パス	/BracketInfo/BracketSet/Bracket/BracketJointSet		
子要素	BracketSpliceSet		
型	—		
出現回数	1		
内容	ブラケット添接配置を定義する		
記入例	<BracketJointSet> <BracketSpliceSet uflgid="IFS1" webid="WS1" lflg="IFS2"/> </BracketJointSet>		

3.9.28 ブラケット添接板配置定義

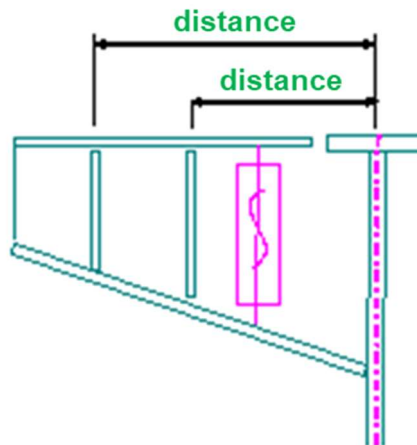
要素名	BracketSpliceSet		論理名	ブラケット添接板配置定義	
パス	/BracketInfo/BracketSet/Bracket/BracketJointSet/BracketSpliceSet				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	ブラケット添接配置を定義する				
属性	uflgid	上フランジ添接形状 ID	xs:string	必須	"フランジ添接形状定義"で定義した ID を指定
	webid	ウェブ添接形状 ID	xs:string	必須	"ウェブ添接形状定義"で定義した ID を指定
	lflgid	下フランジ添接形状 ID	xs:string	必須	"フランジ添接形状定義"で定義した ID を指定
記入例	<BracketSpliceSet uflgid="IFS1" webid="WS1" lflgid="IFS2"/>				

3.9.29 ブラケット補剛材配置定義

要素名	BracketStiffenerSet	論理名	ブラケット補剛材配置定義
パス	/BracketInfo/BracketSet/Bracket/BracketStiffenerSet		
子要素	BracketVstiffenerSet		
型	—		
出現回数	0 か 1		
内容	ブラケット補剛材情報を定義する		
記入例	<BracketStiffenerSet> <BracketVstiffenerSet base="TYPE1" distance="1500.0" face="NS" id="VS1"/> </BracketStiffenerSet>		

3.9.30 ブラケット添接板配置定義

要素名	BracketVstiffenerSet		論理名	ブラケット垂直補剛材配置定義	
パス	/BracketInfo/BracketSet/Bracket/BracketVstiffenerSet				
子要素	—				
型	—				
出現回数	2 以下 垂直補剛材は2 本まで指定				
内容	ブラケット垂直補剛材配置を定義する				
属性	base	距離基準タイプ	xs:string	必須	主桁側：TYPE1
	distance	主桁ウェブ芯から補剛材位置までの距離	xs:double	必須	
	face	補剛材取付面	xs:string	必須	表面(起点から見える面)：NS 裏面：FS
	id	垂直補剛材識別ID	xs:string	必須	”垂直補剛材形状定義”で定義したIDを指定
記入例	<BracketVstiffenerSet base="TYPE1" distance="1500.0" face="NS" id="VS1"/>				



3. 10 線形情報

要素名	Alignment	論理名	線形情報
パス	/Alignment		
子要素	<u>AlignmentLine</u>		
型	—		
出現回数	1		
内容	線形情報を定義する		
記入例	<pre> <Alignment> <AlignmentLine name="L1"> <Point no="1" name="S1" x="0.0000" y="7.0000" z="16.0000" Length1=0.0 length2=0.0 angle=80.4530 plane="S" side="S" station="0+0.0000"/> <Point no="2" name="C1" x="3.0000" y="7.0000" z="16.0000" Length1=3.0 length2=3.0 angle=90.0000 plane="S" side="S" station="0+3.0000"/> <Point no="3" name="C2" x="7.0000" y="7.0000" z="16.0000" Length1=4.0 length2=7.0 angle=90.0000 plane="S" side="S" station="0+7.0000"/> . . . </AlignmentLine> <AlignmentLine name="R1"> <Point no="1" name="S1" x="0.0000" y="-7.0000" z="16.0000" Length1=0.0 length2=0.0 angle=80.4530 plane="S" side="S" station="0+0.0000"/> <Point no="2" name="C1" x="3.0000" y="-7.0000" z="16.0000" Length1=3.0 length2=3.0 angle=90.0000 plane="S" side="S" station="0+3.0000"/> <Point no="3" name="C2" x="7.0000" y="-7.0000" z="16.0000" Length1=4.0 length2=7.0 angle=90.0000 plane="S" side="S" station="0+7.0000"/> . . . </AlignmentLine> </Alignment> </pre>		

3. 10. 1 線形ライン定義

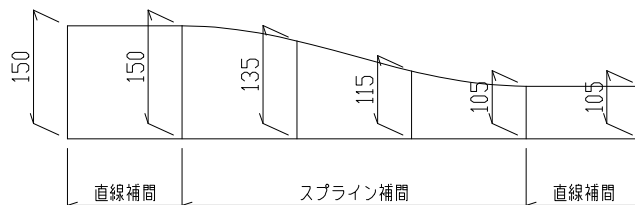
要素名	AlignmentLine	論理名	線形ライン定義
パス	/Alignment/AlignmentLine		
子要素	<u>AlignmentPoint</u>		
型	—		
出現回数	1 以上		
内容	線形ラインを定義する。		
属性	name	ライン名称	xs:string 必須
記入例	<pre> <AlignmentLine name="L1"> <AlignmentPoint no="1" name="S1" x="0.0000" y="7.0000" z="16.0000" Length1=0.0 length2=0.0 angle=80.4530 plane="S" side="S" station="0+0.0000"/> <AlignmentPoint no="2" name="C1" x="3.0000" y="7.0000" z="16.0000" Length1=3.0 length2=3.0 angle=90.0000 plane="S" side="S" station="0+3.0000"/> <AlignmentPoint no="3" name="C2" x="7.0000" y="7.0000" z="16.0000" Length1=4.0 length2=7.0 angle=90.0000 plane="S" side="S" station="0+7.0000"/> . . . </AlignmentLine> </pre>		

3. 10. 2 線形ライン座標定義

要素名	AlignmentPoint		論理名	線形ライン座標定義	
パス	/Alignment/AlignmentLine/AlignmentPoint				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	線形ラインの X,Y,Z 座標、平面、側面の補間方法を定義する				
属性	no	格点番号	xs:int	必須	
	name	横断名称	xs:string	必須	
	x	X 座標	xs:double	必須	単位は m(メートル)とし、小数点以下第 4 位まで指定
	y	Y 座標	xs:double	必須	単位は m(メートル)とし、小数点以下第 4 位まで指定
	z	Z 座標	xs:double	必須	単位は m(メートル)とし、小数点以下第 4 位まで指定
	length1	単距離	xs:double	必須	単位は m(メートル)とし、小数点以下第 4 位まで指定
	length2	累加距離	xs:double	必須	単位は m(メートル)とし、小数点以下第 4 位まで指定
	angle	交角	xs:double	必須	単位は度分秒。分と秒を小数点以下第 4 位で示す。 ※設計システムからの出力は第一象限の交角とする
	plane	平面補間方法	xs:string	必須	以下より選択 直線 : S 3 次曲線 : A
	side	側面補間方法	xs:string	必須	以下より選択 直線 : S 3 次曲線 : A
	station	測点	xs:string	必須	
記入例	<AlignmentPoint no="1" name="S1" x="0.0000" y="7.0000" z="16.0000" Length1=0.0 length2=0.0 angle=80.4530 plane="S" side="S" station="0+0.0000"/>				

平面・側面の補間は、次の点との間の補間方法を以下より選択するため、最後の点は空白とする。

S : 直線 A : 3 次曲線(スプライン)



3.11 付属物情報

要素名	AccessoryInfo	論理名	付属物情報
パス	/Accessory		
子要素	<u>AccessoryLine</u> <u>InspectRoadSupport</u> <u>DrainPipeConnection</u>		
型	—		
出現回数	0 または 1		
内容	付属物情報を定義する		
記入例	<pre> <AccessoryInfo> <AccessoryLine> <InspectRoad> <InspectLine inspectlineid="1000" leftgirder="G1" rightgirder="G2" /> <InspectPoint ilCross="S1" xil="1800.0" xir="" /> : </InspectLine> </InspectRoad> </AccessoryLine> <InspectRoadSupport> <InspectRoadSupportCommon> <InspectSupportWebCommon rw1="" rw2="" rw3="" rw4=""> <InspectSupportFlgEdgeCommon eribmin="10.0" /> </InspectRoadSupportCommon> <InspectRoadSupportType> <InspectSupportShape Supportid="100" stype="hangf" /> <SupportWeb> : </SupportWeb> <SupportFlange> : </SupportFlange> <SupportRib> : </SupportRib> </InspectSupportShape> </InspectRoadSupportType> <InspectSupportSet> : </InspectSupportSet> </InspectRoadSupport> <DrainPipeConnection> <DrainPipeConnectionShape id="DPCS1" width="140.0" thickness="6.0" length="120.0" material="SMA400AW" epu="30.0" p="60.0" epl="30.0" c="30.0" gc="60.0" diawidth="15.0" dialength="30.0"/> <DrainPipeConnectionShape id="DPCS2" width="80.0" thickness="9.0" length="100.0" material="SMA400AW" epu="25.0" p="50.0" epl="25.0" c="30.0" gc="" diawidth="15.0" dialength="30.0"/> <DrainPipeConnectionSet id="HDPL1" pitchtype="P" hdirection="L"> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="100.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="5@1000.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="200.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="2@X" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="150.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="200.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> </DrainPipeConnectionSet> </DrainPipeConnection> </pre>		

	<pre> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="1" connectionid="DPCS1" pitch="-300.0" xdist="" dghshift="0.0" dgyvshift="0.0" face="FS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="1" connectionid="DPCS1" pitch="-1000.0" xdist="" dghshift="0.0" dgyvshift="0.0" face="NS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="2" connectionid="DPCS1" pitch="-500.0" xdist="" dghshift="0.0" dgyvshift="0.0" face="FS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="2" connectionid="DPCS1" pitch="-500.0" xdist="" dghshift="0.0" dgyvshift="0.0" face="FS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="3" connectionid="DPCS1" pitch="300.0" xdist="300.0" dghshift="0.0" dgyvshift="0.0" face="NS"/> </DrainPipeConnectionSet> <VDrainPipeConnectionSet id="VDPL1"> <VDrainPipeConnectionShapeSet id="VDPL1" connectionid="DPCS2" pitch="-300.0" xdist="300.0" hshift="0.0" vshift="0.0" face="FS"/> <VDrainPipeConnectionShapeSet id="VDPL1" connectionid="DPCS2" pitch="-1000.0" xdist="" hshift="0.0" vshift="0.0" face="NS"/> </VDrainPipeConnectionSet> </DrainPipeConnection> </AccessoryInfo> </pre>
--	--

3. 11. 1 付属物ライン定義

要素名	AccessoryLine	論理名	付属物ライン定義
パス	/AccessoryInfo/AccessoryLine		
子要素	InspectRoad DrainPipe		
型	—		
出現回数	0 または 1		
内容	付属物ラインを定義する。		
属性			
記入例	<pre> <AccessoryInfo> <AccessoryLine> <InspectRoad> <InspectRoadLine inspectlineid="IS1" leftgirder="G1" rightgirder="G2" /> <InspectRoadPosition ilcross="S1" xil="1800.0" xir="" /> <InspectRoadPosition ilcross="C1" xil="1800.0" xir="" /> : <InspectRoadPosition ilcross="S2" xil="1800.0" xir="" /> </InspectRoadLine> <InspectRoadLine inspectlineid="IS2" leftgirder="G3" rightgirder="G4" /> <InspectRoadPosition ilcross="S1" xil="" xir="800.0" /> : </InspectRoadLine> </InspectRoad> <DrainPipe> <HDrainPipe> <HDrainPipeLine id="HDPL1" girder="G1"> <HDrainPipeLineSegment segno="1" setmethod="SLOPE" start="S1" sxdist="1980.0" szdist="-1200.0" end="C2" exdist="1500.0" ezdist="" slope="3.0"/> <HDrainPipeLineSegment segno="2" setmethod="SLOPE" start="" sxdist="" szdist="" end="C3" exdist="400.0" ezdist="" slope="5.0"/> <HDrainPipeLineSegment segno="3" setmethod="COORD" start="" sxdist="" szdist="" end="C5" exdist="2300.0" ezdist="-2500.0" slope="" /> <DrainGuidePipeSet> <DrainGuidePipe dgeno="1" dgtype="GUIDE" position="SEC" leftsegno="1" rightsegno="2" dgxdist="" /> <!-- 区間 1 と区間 2 の交点 --> <DrainGuidePipe dgeno="2" dgtype="GUIDE" position="ANY" leftsegno="2" rightsegno="" dgxdist="5000.0" /> <!-- 任意の位置 --> <DrainGuidePipe dgeno="3" dgtype="END" position="SEC" leftsegno="3" rightsegno="" dgxdist="" /> <!-- 区間 3 の右端の誘導管=流末管 --> </DrainGuidePipeSet> </HDrainPipeLine> </HDrainPipe> <VDrainPipe> <VDrainPipeLine id="VDPL1" girder="G1" point="S1" xdist="1100.0"/> <VDrainPipeLine id="VDPL2" girder="G1" point="S1" xdist="14700.0"/> </VDrainPipe> </AccessoryLine> </ AccessoryInfo> </pre>		

3. 11. 2 検査路ライン定義

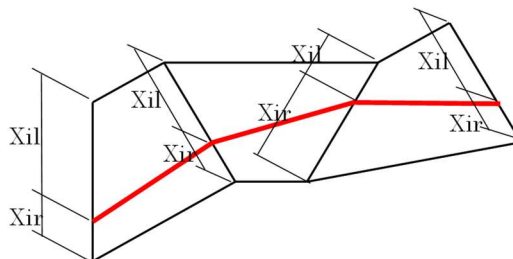
要素名	InspectRoad	論理名	検査路ライン定義
パス	/Accessory/AccessoryLine/InspectRoad		
子要素	InspectRoadLine		
型	—		
出現回数	0 または 1		
内容	検査路中心ラインを定義する。		
記入例	<pre> <InspectRoad> <InspectRoadLine inspectlineid="IS1" leftgirder="G1" rightgirder="G2" /> <InspectRoadPosition ilcross="S1" xil="1800.0" xir="" /> <InspectRoadPosition ilcross="C1" xil="1800.0" xir="" /> : <InspectRoadPosition ilcross="S2" xil="1800.0" xir="" /> </InspectRoadLine> </InspectRoad> </pre>		

3. 11. 3 検査路中心ライン定義

要素名	InspectRoadLine		論理名	検査路中心ライン定義	
パス	/Accessory/AccessoryLine/InspectRoad/InspectRoadLine				
子要素	InspectRoadPosition				
型	ー				
出現回数	1 以上				
内容	検査路経路ごとの検査路ライン中心線を定義する				
属性	inspectlinetid	検査路中心ラインid	xs:string	必須	検査路中心ラインID
	leftgirder	検査路ライン左側の主桁名	xs:string	必須	左張出部の検査路ラインのとき”Non”
	rightgirder	検査路ライン右側の主桁名	xs:string	必須	右張出部の検査路ラインのとき”Non”
記入例	<pre><InspectRoadLine inspectlineid="IS1" leftgirder="G1" rightgirder="G2" /> <InspectRoadPosition ilcross="S1" xil="1800.0" xir="" /> <InspectRoadPosition ilcross="C1" xil="1800.0" xir="" /> : <InspectRoadPosition ilcross="S2" xil="1800.0" xir="" /> </InspectRoadLine></pre>				

3. 11. 4 検査路中心ライン位置設定

要素名	InspectRoadPosition		論理名	検査路ライン位置設定	
パス	/Accessory/AccessoryLine/InspectRoad/InspectRoadLine/InspectRoadPosition				
子要素	－				
型	－				
出現回数	1 以上				
内容	検査路経路ごとの検査路ライン中心線の位置設定を行う				
属性	ilcross	検査路配置する横断線名	xs:string	必須	
	xil	検査路ライン左側からの距離	xs:double	必須	検査路ラインの左側主桁からの距離 ※ブランクのとき、xil=主桁間隔-xir ※xil, xir ともブランクのとき、xil=xir= 主桁間隔/2
	xir	検査路ライン右側からの距離	xs:double	必須	検査路ラインの右側主桁からの距離 ※ブランクのとき、xir=主桁間隔-xil ※xil, xir ともブランクのとき、xil=xir= 主桁間隔/2
記入例	<InspectRoadLine inspectlineid="IS1" leftgirder="G1" rightgirder="G2" /> <InspectRoadPosition ilcross="S1" xil="1800.0" xir="" /> <InspectRoadPosition ilcross="C1" xil="1800.0" xir="" /> : <InspectRoadPosition ilcross="S2" xil="1800.0" xir="" /> </InspectRoadLine>				



3.11.5 排水管ライン定義

要素名	DrainPipe	論理名	排水管ライン定義
パス	/AccessoryInfo/AccessoryLine/DrainPipe		
子要素	HDrainPipe VDrainPipe		
型	—		
出現回数	0 または 1		
内容	排水管ラインを定義する ※排水管ライン：排水管取付けピースの主桁ウェブ上での配置を押えるためのライン (排水管経路は設定しない)		
記入例	<pre> <DrainPipe> <HDrainPipe> <HDrainPipeLine id="HDPL1" girder="G1"> <HDrainPipeLineSegment segno="1" setmethod="SLOPE" start="S1" sxdist="1980.0" szdist="-1200.0" end="C2" exdist="1500.0" ezdist="" slope="3.0"/> <HDrainPipeLineSegment segno="2" setmethod="SLOPE" start="" sxdist="" szdist="" end="C3" exdist="400.0" ezdist="" slope="5.0"/> <HDrainPipeLineSegment segno="3" setmethod="COORD" start="" sxdist="" szdist="" end="C5" exdist="2300.0" ezdist="-2500.0" slope=""/> <DrainGuidePipeSet> <DrainGuidePipe dgeno="1" dgtype="GUIDE" position="SEC" leftsegno="1" rightsegno="2" dgxdist=""/> <!-- 区間 1 と区間 2 の交点 --> <DrainGuidePipe dgeno="2" dgtype="GUIDE" position="ANY" leftsegno="2" rightsegno="" dgxdist="5000.0"/> <!-- 任意の位置 --> <DrainGuidePipe dgeno="3" dgtype="END" position="SEC" leftsegno="3" rightsegno="" dgxdist=""/> <!-- 区間 3 の右端の誘導管=流末管 --> </DrainGuidePipeSet> </HDrainPipeLine> </HDrainPipe> . . . </DrainPipe> </pre>		

3.11.6 横引き管定義

要素名	HDrainPipe	論理名	横引き管定義
パス	/AccessoryInfo/AccessoryLine/DrainPipe/Girder/HDrainPipe		
子要素	HDrainPipeLine		
型	—		
出現回数	0 または 1		
内容	横引き排水管を定義する		
記入例	<pre> <HDrainPipe> <HDrainPipeLine id="HDPL1" girder="G1"> <HDrainPipeLineSegment segno="1" setmethod="SLOPE" start="S1" sxdist="1980.0" szdist="-1200.0" end="C2" exdist="1500.0" ezdist="" slope="3.0"/> <HDrainPipeLineSegment segno="2" setmethod="SLOPE" start="" sxdist="" szdist="" end="C3" exdist="400.0" ezdist="" slope="5.0"/> <HDrainPipeLineSegment segno="3" setmethod="COORD" start="" sxdist="" szdist="" end="C5" exdist="2300.0" ezdist="-2500.0" slope=""/> <DrainGuidePipeSet> <DrainGuidePipe dgeno="1" dgtype="GUIDE" position="SEC" leftsegno="1" rightsegno="2" dgxdist=""/> <!-- 区間 1 と区間 2 の交点 --> <DrainGuidePipe dgeno="2" dgtype="GUIDE" position="ANY" leftsegno="2" rightsegno="" dgxdist="5000.0"/> <!-- 任意の位置 --> </DrainGuidePipeSet> </HDrainPipeLine> </HDrainPipe> </pre>		

	<pre> <DrainGuidePipe dgno="3" dgtype="END" position="SEC" leftsegno="3" rightsegno="" dgxdist=""/> <!-- 区間 3 の右端の誘導管=流末管 --> </DrainGuidePipeSet> </HDrainPipeLine> </HDrainPipe> </pre>
--	--

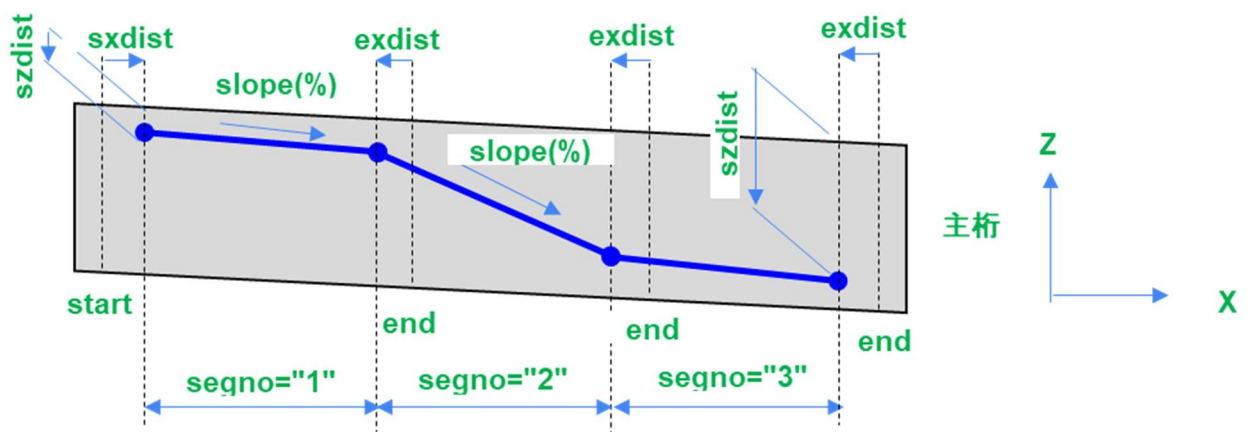
3. 11. 7 横引き排水管ライン定義

要素名	HDrainPipeLine		論理名	横引き排水管ライン定義	
パス	/AccessoryInfo/AccessoryLine/DrainPipe/HDrainPipe/HDrainPipeLine				
子要素	HDrainPipeLineSegment DrainGuidePipeSet				
型	—				
出現回数	0 以上				
内容	横引き管ラインを定義する				
属性	id	識別 ID	xs:int	必須	横引き管ライン
	girder	主桁名	xs:string	必須	
記入例	<pre><HDrainPipeLine id="HDPL1" girder="G1"> <HDrainPipeLineSegment segno="1" setmethod="SLOPE" start="S1" sxdist="1980.0" szdist="-1200.0" end="C2" exdist="1500.0" ezdist="" slope="3.0"/> <HDrainPipeLineSegment segno="2" setmethod="SLOPE" start="" sxdist="" szdist="" end="C3" exdist="400.0" ezdist="" slope="5.0"/> <HDrainPipeLineSegment segno="3" setmethod="COORD" start="" sxdist="" szdist="" end="C5" exdist="2300.0" ezdist="-2500.0" slope=""/> <DrainGuidePipeSet> <DrainGuidePipe dgno="1" dgtype="GUIDE" position="SEC" leftsegno="1" rightsegno="2" dgxdist=""/> <!-- 区間 1 と区間 2 の交点 --> <DrainGuidePipe dgno="2" dgtype="GUIDE" position="ANY" leftsegno="2" rightsegno="" dgxdist="5000.0"/> <!-- 任意の位置 --> <DrainGuidePipe dgno="3" dgtype="END" position="SEC" leftsegno="3" rightsegno="" dgxdist=""/> <!-- 区間 3 の右端の誘導管=流末管 --> </DrainGuidePipeSet> </HDrainPipeLine></pre>				

3. 11. 8 横引き管区間定義

要素名	HDrainPipeLineSegment		論理名	横引き管区間定義	
パス	/AccessoryInfo/AccessoryLine/DrainPipe/HDrainPipe/HDrainPipeLine/ HDrainPipeLineSegment				
子要素	DrainGuidePipeLine				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	横引き管区間を定義する				
属性	segno	横引き管区間番号	xs:int	必須	※若番側から順に 1 からの連番で指定する
	setmethod	横引き管区間セット方法	xs:string	必須	以下より選択する 始点 Z 値+勾配で終点 Z 値を指定 : SLOPE 始終点の Z 値を指定 : COORD
	start	始点側の基準の横断線名称	xs:string	必須	※区間番号が 2 以上の場合はブランク

	sxdist	始点側の基準の横断線からの橋軸方向の離れ	xs:double	必須	※区間番号が 2 以上の場合はブランク ※最寄りの横断線 (桁端、支点、格点) を基準として主桁線上の距離を指定する + 値: 橋軸進行方向 - 値: 橋軸進行逆方向
	szdist	始点側の橋軸方向離れ位置での WEB 天端からの離れ (モールド位置からの距離)	xs:double	必須	※区間番号が 2 以上の場合はブランク ※上フランジ内逃げの場合は上フランジ上面からの離れ + 値: 鉛直下方向 - 値: 鉛直上方向
	end	終点側の基準の横断線名称	xs:string	必須	
	exdist	終点側の基準の横断線からの橋軸方向の離れ	xs:double	必須	※最寄りの横断線 (桁端、支点、格点) を基準として主桁線上の距離を指定する + 値: 橋軸進行方向 - 値: 橋軸進行逆方向
	ezdist	終点側の橋軸方向離れ位置での WEB 天端からの離れ (モールド位置からの距離)	xs:double	必須	※setmethod が COORD の場合、指定する ※区間番号が 2 以上の場合はブランク ※上フランジ内逃げの場合は上フランジ上面からの離れ + 値: 鉛直上方向 - 値: 鉛直下方向
	slope	横引き管の縦断勾配	xs:double	必須	※setmethod が COORD の場合はブランク
記入例	<pre> <HDrainPipeLineSegment segno="1" setmethod="SLOPE" start="S1" sxdist="1980.0" szdist="-1200.0" end="C2" exdist="1500.0" ezdist="" slope="3.0"/> <HDrainPipeLineSegment segno="2" setmethod="SLOPE" start="" sxdist="" szdist="" end="C3" exdist="400.0" ezdist="" slope="5.0"/> <HDrainPipeLineSegment segno="3" setmethod="COORD" start="" sxdist="" szdist="" end="C5" exdist="2300.0" ezdist="-2500.0" slope=""/> </pre>				



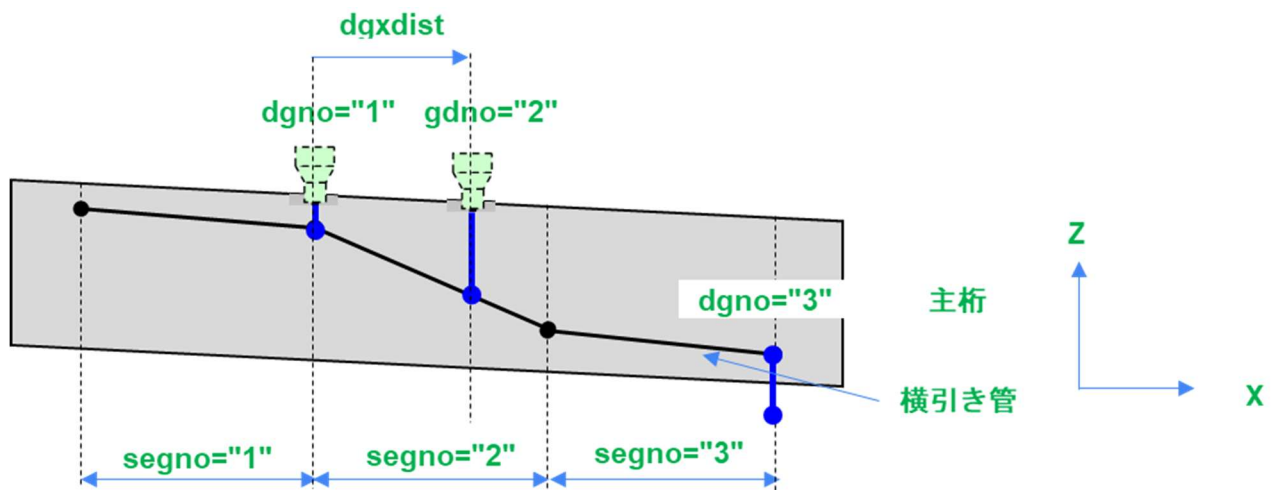
3. 11. 9 誘導管ライン配置定義

要素名	DrainGuidePipeSet	論理名	誘導管ライン配置定義
パス	/AccessoryInfo/AccessoryLine/DrainPipe/HDrainPipe/HDrainPipeLine/ DrainGuidePipeSet		
子要素	DrainGuidePipe		
型	—		
出現回数	0 以上		
内容	誘導管ライン配置を定義する		
記入例	<pre> <DrainGuidePipeSet> <DrainGuidePipe dgno="1" dgtype="GUIDE" position="SEC" leftsegno="1" rightsegno="2" dgxdist=""/> <!-- 区間 1 と区間 2 の交点 --> <DrainGuidePipe dgno="2" dgtype="GUIDE" position="ANY" leftsegno="2" rightsegno="3" dgxdist="5000.0"/> <!-- 任意の位置 --> <DrainGuidePipe dgno="3" dgtype="END" position="SEC" leftsegno="3" rightsegno="4" dgxdist=""/> <!-- 区間 3 の右端の誘導管=流末管 --> </DrainGuidePipeSet> </pre>		

3. 11. 10 誘導管ライン定義

要素名	DrainGuidePipe		論理名	誘導管ライン定義	
パス	/AccessoryInfo/AccessoryLine/DrainPipe/HDrainPipe/HDrainPipeLine/ DrainGuidePipeSet/DrainGuidePipe				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	誘導管ラインを定義する ※隣り合う横引き管区間の交点に誘導管を配置する場合：potitiontype：SEC として leftsegno と rightsegno を指定する ※横引き管区間の左端点に誘導管を配置する場合：potitiontype：SEC として rightsegno のみを指定する ※横引き管区間の右端点に誘導管を配置する場合：potitiontype：SEC として leftsegno のみを指定する				
属性	dgno	誘導管ライン番号	xs:int	必須	※誘導管ラインを若番側から順に 1 からの連番で指定する
	dgtype	誘導管タイプ	xs:int	必須	以下より選択する GUIDE：誘導管 END：流末管
	potitiontype	位置タイプ	xs:string	必須	以下より選択する 横引き管区間番号で指定：SEC 横引き管区間の任意位置を指定：ANY ※隣り合う横引き管区間の交点に誘導管を配置する場合：potitiontype：SEC として leftsegno と rightsegno を指定する ※横引き管区間の左端点に誘導管を配置する場合：potitiontype：SEC として rightsegno のみを指定する

					※横引き管区間の右端点に誘導管を配置する場合: positiontype: SEC として leftsegno のみを指定する
	leftsegno	左側の横引き管 区間番号	xs:int	必須	
	rightsegno	右側の横引き管 区間番号	xs:int	必須	
	dgxdist	横引き排水管ラ インの始点から の橋軸方向の離 れ	xs:double	必須	※positiontype が ANY の場合、指定す る + 値: 橋軸進行方向 - 値: 橋軸進行逆方向
記入例	<pre> <DrainGuidePipe dgno="1" dgtype="GUIDE" position="SEC" leftsegno="1" rightsegno="2" dgxdist=""/> <!-- 区間 1 と区間 2 の交点 --> <DrainGuidePipe dgno="2" dgtype="GUIDE" position="ANY" leftsegno="2" rightsegno="3" dgxdist="5000.0"/> <!-- 任意の位置 --> <DrainGuidePipe dgno="3" dgtype="END" position="SEC" leftsegno="3" rightsegno="3" dgxdist=""/> <!-- 区間 3 の右端の誘導管=流末管 --> </pre>				

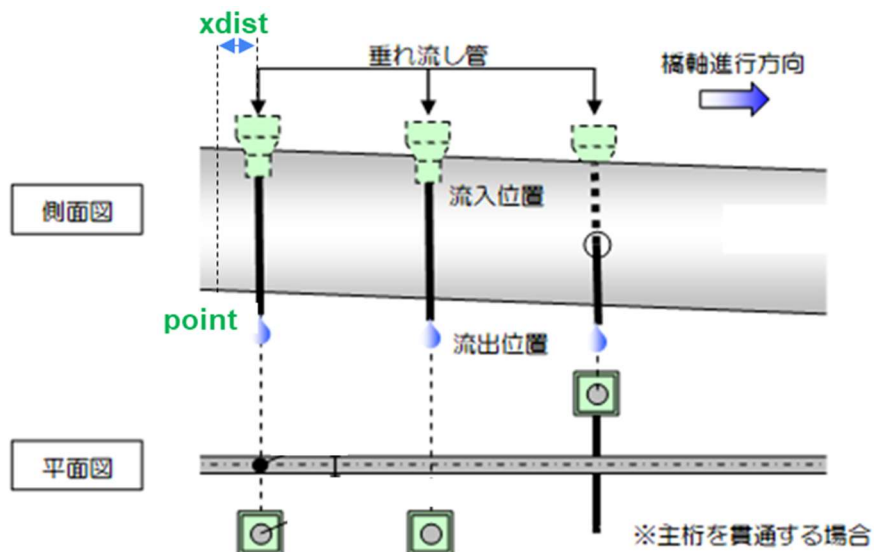


3. 11. 11 垂れ流し管定義

要素名	VDrainPipe	論理名	垂れ流し管定義
パス	/AccessoryInfo/AccessoryLine/DrainPipe/VDrainPipe		
子要素	VDrainPipeLine		
型	—		
出現回数	0 または 1		
内容	垂れ流し管を定義する		
記入例	<pre><VDrainPipe> <VDrainPipeLine id="VDPL1" girder="G1" point="S1" xdist="1100.0"/> <VDrainPipeLine id="VDPL2" girder="G1" point="S1" xdist="14700.0"/> </VDrainPipe></pre>		

3. 11. 12 垂れ流し管ライン定義

要素名	VDrainPipeLine		論理名	垂れ流し管ライン定義	
パス	/AccessoryInfo/AccessoryLine/DrainPipe/VDrainPipe/VDrainPipeLine				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	垂れ流し管ラインを定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	垂れ流し管ライン
	girder	主桁名	xs:string	必須	
	point	基準の横断線名称	xs:string	必須	※最寄りの横断線(桁端、支点、格点)を基準として主桁線上の距離を指定する ＋値：橋軸進行方向 －値：橋軸進行逆方向
	xdist	基準の横断線からの橋軸方向の離れ	xs:double	必須	＋値：橋軸進行方向 －値：橋軸進行逆方向
記入例	<VDrainPipeLine id="VDPL1" girder="G1" point="S1" xdist="1100.0"/> <VDrainPipeLine id="VDPL2" girder="G1" point="S1" xdist="14700.0"/>				



3. 11. 13 検査路受け台情報

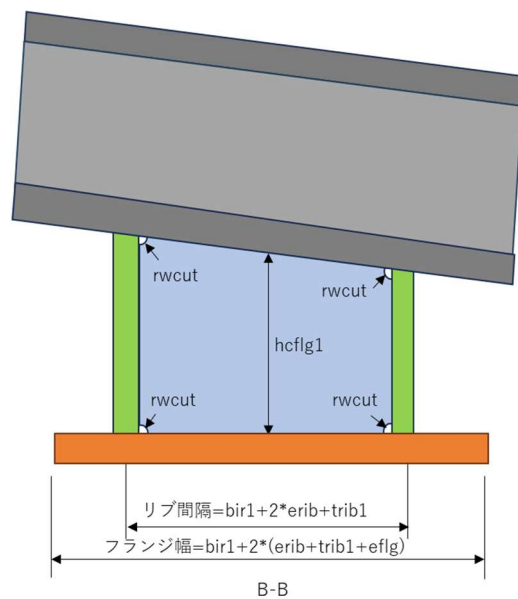
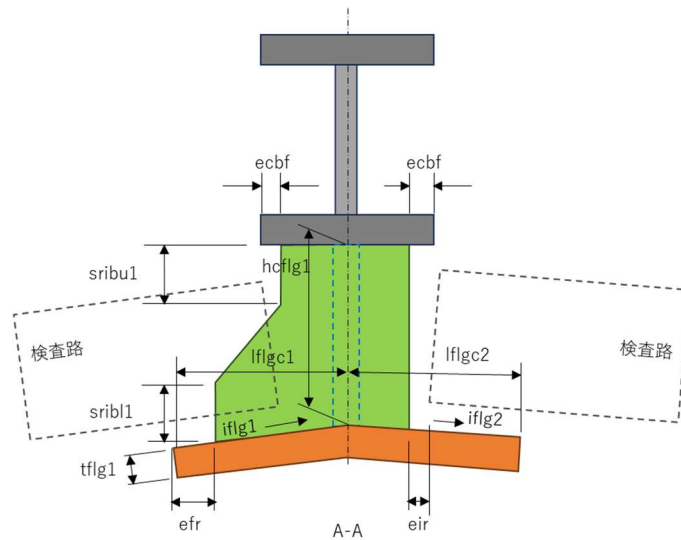
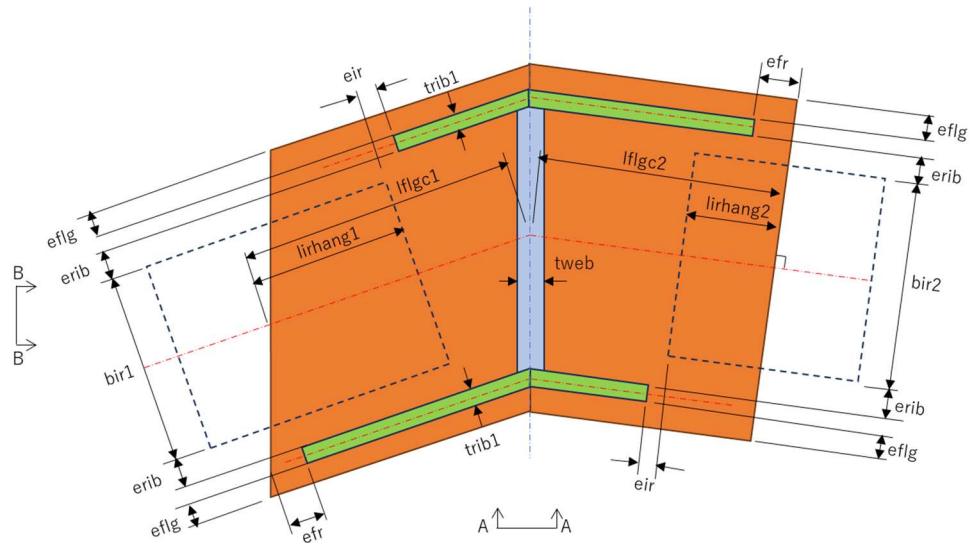
要素名	InspectRoadSupport	論理名	検査路受け台情報
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport		
子要素	InspectRoadSupportCommon InspectRoadSupportType		
型	—		
出現回数	0 または 1		
内容	検査路受け台情報を定義する		
属性			
記入例	<pre> <InspectRoadSupport> <InspectRoadSupportCommon> <InspectRoadSupportFlangeCommon eflg="10.0" erib="10.0" eir="10.0" efr="10.0" drib="15.0" drf="15.0" dif="15.0" /> <InspectRoadSupportWebCommon eweb="20.0" dweb="10.0" rwcut="35.0" /> <InspectRoadSupportRibCommon ecbf="10.0" sribu1="50.0" sribl1="50.0" sribu2="50.0" sribl2="50.0" rrcut="35.0" /> </InspectRoadSupportCommon> <InspectRoadSupportType> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS1" stype="HANGF" /> <InspectRoadWidth bir1="683.0" bir2="695.0" /> <InspectRoadSupportHang lirhang1="80.0" lirhang2="80.0" /> <InspectRoadSupportFlangeShape lflgc1="120.0" tflg1="12.0" flgmat1="SM400A" jflg1="PARALLEL" hcflg1="250.0" iflg1="-2.0%" lflgc2="120.0" tflg2="" flgmat2="" jflg2="ANGLE" hcflg2="" iflg2="-1.5%" /> <InspectRoadSupportWebShape tweb="10.0" webmat="SM400A" /> <InspectRoadSupportRibShape trib1="12.0" ribmat1="SM400A" setlr1="LEFT" hdrib1="" hdribr1="" trib2="" ribmat2="SM400A" setlr2="RIGHT" hdrib2="" hdribr2="" /> </InspectRoadSupportShape> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS2" stype="HANGW" /> <InspectRoadWidth bir1="683.0" bir2="695.0" /> <InspectRoadSupportHang lirhang1="80.0" lirhang2="80.0" /> <InspectRoadSupportFlangeShape lflgc1="120.0" tflg1="12.0" flgmat1="SM400A" jflg1="PARALLEL" hcflg1="250.0" iflg1="2.0%" flgmat1="SM400A" lflgc2="120.0" tflg2="15.0" flgmat2="SM400A" jflg2="ANGLE" hcflg2="300.0" iflg2="-2.0%" /> <InspectRoadSupportWebShape tweb="10.0" webmat="SM400A" /> <InspectRoadSupportRibShape trib1="12.0" ribmat1="SM400A" setlr1="LEFT" hdrib1="" hdribr1="" trib2="" ribmat2="SM400A" setlr2="RIGHT" hdrib2="" hdribr2="" /> </InspectRoadSupportShape> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS3" stype="STAND" /> <InspectRoadWidth bir1="683.0" bir2="783.0" /> <InspectRoadSupportHang lirhang1="80.0" lirhang2="80.0" /> <InspectRoadSupportFlangeShape lflgc1="180.0" tflg1="12.0" flgmat1="SM400A" jflg1="" </pre>		

	<pre> hcflg1="250.0" iflg1="1.0%" flgmat1="SM400A" lflgc2="180.0" tflg2="" flgmat2="SM400A" jflg2="" hcflg2="270.0" iflg2="" /> <InspectRoadSupportRibShape trib1="10.0" ribmat1="SM400A" setlr1="" hdribl1="20.0" hdribr1="20.0" trib2="10.0" ribmat2="SM400A" setlr2="" hdribl2="" hdribr2="" /> </InspectRoadSupportShape> </InspectRoadSupportType> <InspectRoadSupportSet inspectlineid="IS1" > <InspectRoadSupport position="S1" supportid="IRS1" /> <InspectRoadSupport position="C1" supportid="IRS2" /> <InspectRoadSupport position="C2" supportid="IRS3" /> </InspectRoadSupportSet> </InspectRoadSupport> </pre>
--	--

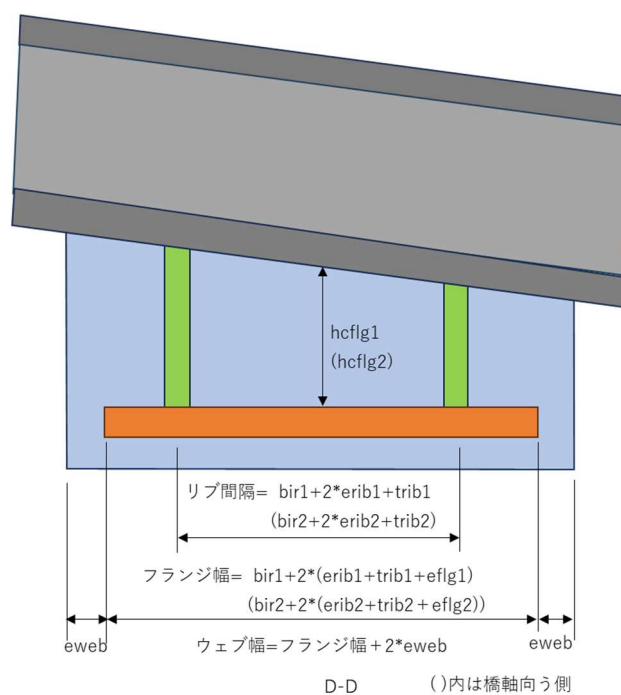
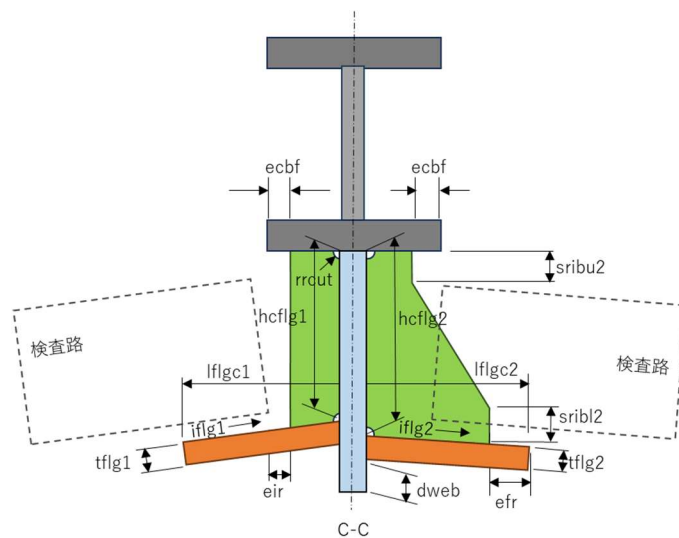
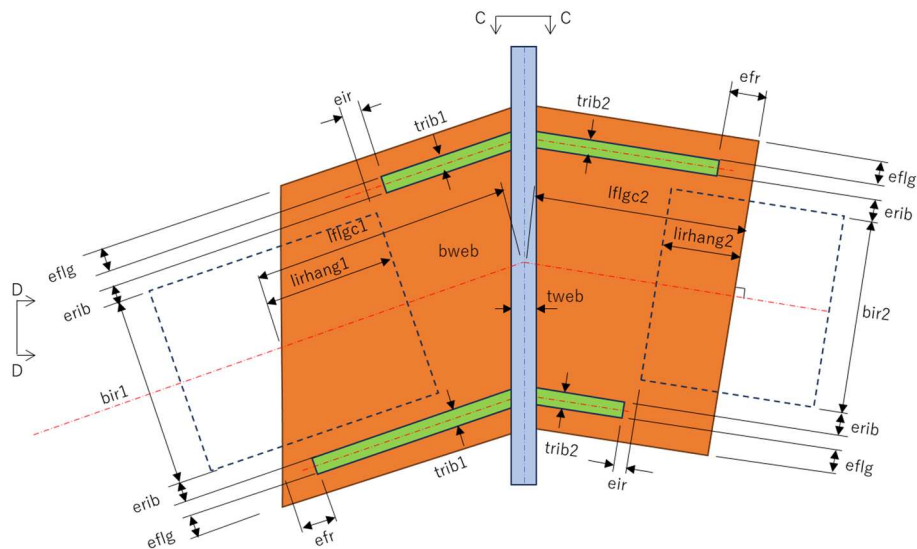
●検査路受け台凡例図

検査路受け台の属性定義は下記の凡例図に従う

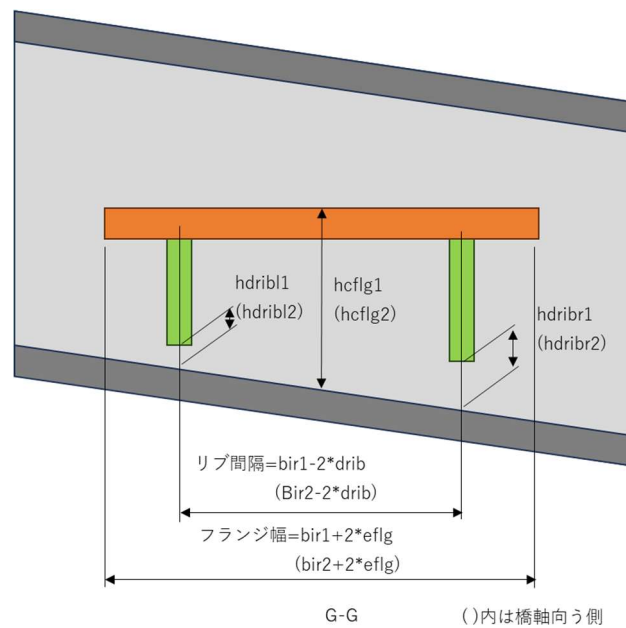
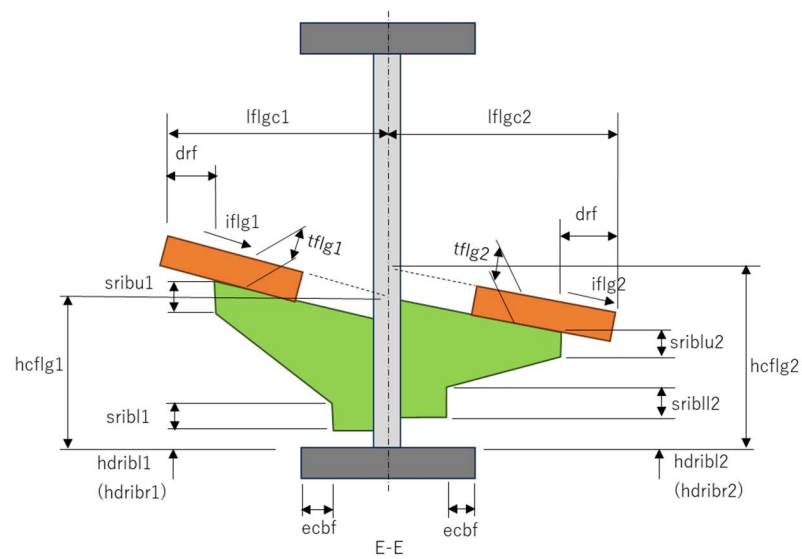
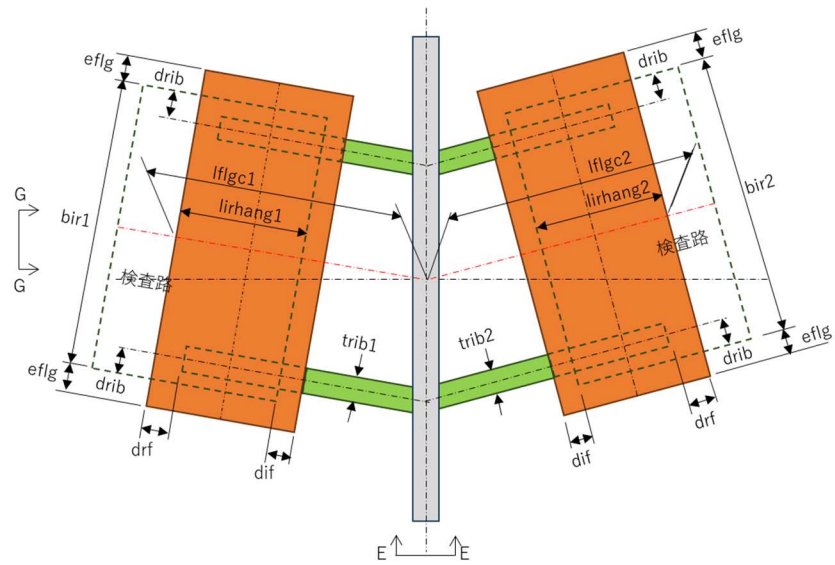
○吊り下げフランジ優先タイプ (HANGF)



○吊り下げウェブ優先タイプ (HANGW)



○受け台タイプ (STAND)



3. 11. 14 検査路受け台共通詳細

要素名	InspectRoadSupportCommon		論理名	検査路受け台共通詳細	
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportCommon				
子要素	InspectRoadSupportFlangeCommon InspectRoadSupportWebCommon InspectRoadSupportRibCommon				
型	—				
出現回数	1				
内容	検査路受け台の共通詳細を定義する				
属性					
記入例	<pre><InspectRoadSupportCommon> <InspectRoadSupportFlangeCommon eflg="10.0" erib="10.0" eir="10.0" efi="10.0" drib="15.0" drf="15.0" dif="15.0" /> <InspectRoadSupportWebCommon eweb="20.0" dweb="10.0" rwcut="35.0" /> <InspectRoadSupportRibCommon ecbf="10.0" sribu1="50.0" sribl1="50.0" sribu2="50.0" sribl2="50.0" rrcut="35.0" /> </InspectRoadSupportCommon></pre>				

3. 11. 15 検査路受け台フランジ共通詳細

要素名	InspectRoadSupportFlangeCommon		論理名	検査路受け台フランジ共通詳細	
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportCommon/ InspectRoadSupportFlangeCommon				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	検査路受け台フランジの縁端寸法などを定義する。				
属性	eflg	受け台フランジ左右縁端寸法	xs:double	必須	受け台フランジ左右端から検査路下幅左右までの縁端距離 ※システムの標準値は10.0mm
	erib	左右リブ・検査路との断面方向すきま量	xs:double	必須	検査路左右から左右リブまでのすき間量 ※吊下げタイプのみ有効 ※システムの標準値は10.0mm
	eir	検査路・リブとの橋軸方向すき間量	xs:double	必須	リブと検査路前面までの橋軸方向払い込みすき間量 ※吊下げタイプのみ有効 ※システムの標準値は10.0mm
	efr	フランジ・リブとの橋軸方向縁端寸法	xs:double	必須	フランジ張出部と払い込み逆側リブ端の縁端寸法 ※吊下げタイプのみ有効 ※システムの標準値は10.0mm
	drib	検査路と左右リブ中心の断面方向おさえ距離	xs:double	必須	検査路左右と左右リブ中心までの押え寸法 ※スタンドタイプで有効
	drf	フランジ縁端・左右リブの橋軸方向縁端寸法	xs:double	必須	受台ウランジ縁端と左右リブまでの縁端距離 ※スタンドタイプで有効
	dif	検査路端部からフランジ縁端までの橋軸方向縁端寸法	xs:double	必須	検査路端部から、受台ウランジ縁端までの縁端距離 ※スタンドタイプで有効
記入例	<InspectRoadSupportCommon> <InspectRoadSupportFlangeCommon eflg="10.0" 				

3. 11. 16 検査路受け台ウェブ共通詳細

要素名	InspectRoadSupportWebCommon		論理名	検査路受け台ウェブ共通詳細	
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportCommon/ InspectRoadSupportWebCommon				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	検査路受け台ウェブの縁端寸法などを定義する。				
属性	eweb	受け台ウェブ左右から 受け台フランジ左右ま での縁端寸法	xs:double	必須	受け台ウェブの左右縁端 から受け台フランジ左右 縁端までの縁端距離 ※吊下げウェブ優先タイ プのみ有効 ※システムの標準値は 10.0mm
	dweb	受け台ウェブ下縁から 受け台フランジ下縁ま での距離	xs:double	必須	受け台ウェブ下縁から受 け台フランジ最下縁まで の縁端距離 ※吊下げウェブ優先タイ プのみ有効 ※システムの標準値は 10.0mm
	rwcut	受け台ウェブのコーナ ーカット半径	xs:double	必須	受け台ウェブ四隅のコー ナーカット半径 ※吊下げフランジ優先の み有効 ※システムの標準値は 35.0mm
記入例	<InspectRoadSupportCommon> : <InspectRoadSupportWebCommon eweb="20.0" dweb="10.0" rwcut="35.0" /> : </InspectRoadSupportCommon>				

3. 11. 17 検査路受け台リブ共通詳細

要素名	InspectRoadSupportRibCommon		論理名	検査路受け台リブ共通詳細	
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportCommon/ InspectRoadSupportRibCommon				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	検査路受け台リブの細部寸法を定義する。				
属性	ecbf	受け台リブと横桁下フ ランジ端の縁端寸法	xs:double	必須	受け台リブと横桁下フラ ンジ張出部縁端までの距 離 ※システムの標準値は 10.0mm

	sribu1	手前側リブ上側立上げ量	xs.double	必須	※立上げなしはブランク
	sribl1	手前側リブ下側立上げ量	xs.double	必須	※立上げなしはブランク
	sribu2	向う側リブ上側立上げ量	xs.double	必須	※立上げなしはブランク
	sribl2	向う側リブ下側立上げ量	xs.double	必須	※立上げなしはブランク
	rrcut	リブのコーナークット半径	xs.double	必須	受け台リブのコーナークット半径 ※吊下げウェブ優先のみ有効 ※システムの標準値は35.0mm
記入例	<InspectRoadSupportCommon> : <InspectRoadSupportRibCommon ecbf="10.0" sribu1="50.0" sribl1="50.0" sribu2="50.0" sribl2="50.0" rrcut="35.0" /> </InspectRoadSupportCommon>				

3. 11. 18 検査路受け台形状定義

要素名	InspectRoadSupportType	論理名	検査路受け台形状定義
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportType/		
子要素	InspectRoadSupportShape		
型	—		
出現回数	1		
内容	検査路受け台形状を定義する		
記入例			

3. 11. 19 検査路受け台形状

要素名	InspectRoadSupportShape	論理名	検査路受け台形状		
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportType/InspectRoadSupportShape				
子要素	InspectRoadWidth InspectRoadSupportHang InspectRoadSupportFlangeShape InspectRoadSupportWebShape InspectRoadSupportRibShape				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	検査路受け台形状を定義する				
属性	supportid	受け台形状 ID	xs:string	必須	検査路受け台形状 ID
	stype	受け台タイプ	xs:string	必須	受け台タイプ HANGF：吊り下げフランジ優先タイプ HANGW：吊り下げウェブ

					優先タイプ STAND：スタンドタイプ
記入例	<pre> <InspectRoadSupportType> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS1" stype="HANGF" /> <InspectRoadWidth bir1="683.0" bir2="695.0" /> <InspectRoadSupportHang lirhang1="80.0" lirhang2="80.0" /> <InspectRoadSupportFlangeShape lflgc1="120.0" tflg1="12.0" flgmat1="SM400A" jflg1="PARALLEL" hcflg1="250.0" iflg1="1.5%" lflgc2="120.0" tflg2="" flgmat2="" jflg2="ANGLE" hcflg2="" iflg2="-1.5%" /> <InspectRoadSupportWebShape tweb="10.0" webmat="SM400A" /> <InspectRoadSupportRibShape trib1="12.0" ribmat1="SM400A" setlr1="LEFT" hdribl1="" hdribr1="" trib2="" ribmat2="SM400A" setlr2="RIGHT" hdribl2="" hdribr2="" /> </InspectRoadSupportShape> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS2" stype="HANGW" /> <InspectRoadWidth bir1="683.0" bir2="695.0" /> <InspectRoadSupportHang lirhang1="80.0" lirhang2="80.0" /> <InspectRoadSupportFlangeShape lflgc1="120.0" tflg1="12.0" flgmat1="SM400A" jflg1="PARALLEL" hcflg1="250.0" iflg1="0.0%" flgmat1="SM400A" lflgc2="120.0" tflg2="15.0" flgmat2="SM400A" jflg2="ANGLE" hcflg2="300.0" iflg2="0.0%" /> <InspectRoadSupportWebShape tweb="10.0" webmat="SM400A" /> <InspectRoadSupportRibShape trib1="12.0" ribmat1="SM400A" setlr1="LEFT" hdribl1="" hdribr1="" trib2="" ribmat2="SM400A" setlr2="RIGHT" hdribl2="" hdribr2="" /> </InspectRoadSupportShape> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS3" stype="STAND" /> <InspectRoadWidth bir1="683.0" bir2="783.0" /> <InspectRoadSupportHang lirhang1="80.0" lirhang2="80.0" /> <InspectRoadSupportFlangeShape lflgc1="180.0" tflg1="12.0" flgmat1="SM400A" jflg1="" hcflg1="250.0" iflg1="" flgmat1="SM400A" lflgc2="180.0" tflg2="" flgmat2="SM400A" jflg2="" hcflg2="270.0" iflg2="" /> <InspectRoadSupportRibShape trib1="10.0" ribmat1="SM400A" setlr1="" hdribl1="20.0" hdribr1="20.0" trib2="10.0" ribmat2="SM400A" setlr2="" hdribl2="" hdribr2="" /> </InspectRoadSupportShape> </InspectRoadSupportType> </pre>				

3. 11. 20 検査路受け台の検査路幅

要素名	InspectRoadWidth		論理名		検査路受け台検査路幅	
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportType/ InspectRoadSupportShape/InspectRoadWidth					
子要素	—					
型	—					
出現回数	1					
内容	検査路受け台の形状を定義する					
属性	bir1	検査路幅（手前側）	xs:double	必須	検査路歩ろう幅（受け台手前側）	
	bir2	検査路幅（向う側）	xs:double	必須	検査路歩ろう幅（受け台向う側） ※ブランクのとき bir2=bir1	
記入例	<InspectRoadSupportType> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS1" stype="HANGF" /> <InspectRoadWidth bir1="683.0" bir2="695.0" /> : </InspectRoadSupportShape> </InspectRoadSupportType>					

3. 11. 21 検査路受け台形状：検査路掛かり長

要素名	InspectRoadSupportHang		論理名	検査路かかり長	
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportType/ InspectRoadSupportShape/InspectRoadSupportHang				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	検査路受け台の形状、検査路掛かり長				
属性	lirhang1	検査路の受け台フランジ上のかかり長	xs:double	必須	手前側
	lirhang2	検査路の受け台フランジ上のかかり長	xs:double	必須	向う側
記入例	<pre><InspectRoadSupportType> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS1" stype="HANGF" /> <InspectRoadWidth bir1="683.0" bir2="695.0" /> <InspectRoadSupportHang lirhang1="80.0" lirhang2="80.0" /> : </InspectRoadSupportShape> </InspectRoadSupportType></pre>				

3. 11. 22 検査路受け台形状：受け台フランジ形状

要素名	InspectRoadSupportFlangeShape	論理名	受け台フランジ形状
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportType/ InspectRoadSupportShape/InspectRoadSupportFlangeShape		
子要素	—		
型	—		
出現回数	1		
内容	検査路受け台の受け台フランジ形状		

属性	lflgc1	フランジ長	xs.double	必須	手前側フランジの 検査路中心フランジ長
	tflg1	フランジ厚	xs.double	必須	手前側フランジ厚
	flgmat1	フランジ材質	xs.string	必須	手前側フランジ材質
	jflg1	フランジ縁端の向き	xs.string	必須	手前側フランジ縁端の向き ANGLE:検査路に直角方向 PARALLEL:断面方向
	hcflg1	フランジ取付高	xs.double	必須	手前側フランジ取付高 吊下げタイプでは横桁下 フランジ下縁から受け台 フランジ上縁間の距離 スタンドタイプでは横桁 下フランジ上縁から受け 台フランジ上縁間の距離
	iflg1	フランジ勾配	xs.string	必須	手前側フランジの勾配 ※%で指定する。例:-1.0% ※手前側から向う側に上 る勾配が+ ※レベルのとき“0.0%” ※ブランクのとき 検査路中心ラインの 勾配に沿う
	lflgc2	フランジ長	xs.double	必須	向う側フランジの 検査路中心フランジ長
	tflg2	フランジ厚	xs.double	必須	向う側フランジ厚
	flgmat2	フランジ材質	xs.string		向う側フランジ材質
	jflg2	フランジ縁端の向き	xs.string	必須	向う側フランジ縁端の向き ANGLE:検査路に直角方向 PARALLEL:断面方向
	hcflg2	フランジ取付高	xs.double	必須	向う側フランジ取付高 吊下げタイプでは横桁下 フランジ下縁から受け台 フランジ上縁間の距離 スタンドタイプでは横桁 下フランジ上縁から受け 台フランジ上縁間の距離
	iflg2	フランジ勾配	xs.string	必須	※%で指定する。例:-1.0% ※手前側から向う側に上 る勾配が+ ※レベルのとき“0.0%” ※ブランクのとき 検査路中心ラインの 勾配に沿う
記入例	<InspectRoadSupportShape supportid="IRS1" stype="HANGF" /> : <InspectRoadSupportFlangeShape lflgc1="120.0" tflg1="12.0" flgmat1="SM400A"				

	<pre> jflg1="PARALLEL" hcflg1="250.0" iflg1="1.5%" lflgc2="120.0" tflg2="" flgmat2="" jflg2="ANGLE" hcflg2="" iflg2="-1.5%" /> : </InspectRoadSupportShape> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS2" stype="HANGW" /> : <InspectRoadSupportFlangeShape lflgc1="120.0" tflg1="12.0" flgmat1="SM400A" jflg1="PARALLEL" hcflg1="250.0" iflg1="0.0%" flgmat1="SM400A" lflgc2="120.0" tflg2="15.0" flgmat2="SM400A" jflg2="ANGLE" hcflg2="300.0" iflg2="0.0%" /> : </InspectRoadSupportShape> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS3" stype="STAND" /> : <InspectRoadSupportFlangeShape lflgc1="180.0" tflg1="12.0" flgmat1="SM400A" jflg1="" hcflg1="250.0" iflg1="" flgmat1="SM400A" lflgc2="180.0" tflg2="" flgmat2="SM400A" jflg2="" hcflg2="270.0" iflg2="" /> : </InspectRoadSupportShape> </InspectRoadSupportType> </pre>
--	---

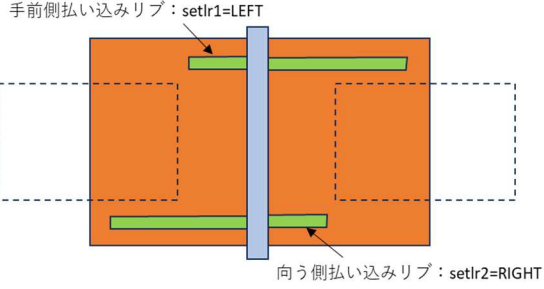
3. 11. 23 検査路受け台形状：受け台ウェブ形状

要素名	InspectRoadSupportWebShape		論理名	受け台ウェブ形状	
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportType/ InspectRoadSupportShape/InspectRoadSupportWebShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	検査路受け台の受け台ウェブ形状				
属性	tweb	ウェブ厚	xs.double	必須	受け台ウェブ厚 ※吊下げタイプのみ有効
	webmat	ウェブ材質	xs.string	必須	受け台ウェブ材質 ※吊下げタイプのみ有効
記入例	<pre></InspectRoadSupportType> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS1" stype="HANGF" /> : <InspectRoadSupportWebShape tweb="10.0" webmat="SM400A" /> : </InspectRoadSupportShape> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS2" stype="HANGW" /> : <InspectRoadSupportWebShape tweb="10.0" webmat="SM400A" /> : </InspectRoadSupportShape> </InspectRoadSupportType></pre>				

3. 11. 24 検査路受け台形状：受け台リブ形状

要素名	InspectRoadSupportRibShape		論理名	受け台リブ形状	
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportType/ InspectRoadSupportShape/InspectRoadSupportRibShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1				
内容	検査路受け台の受け台リブ形状				
属性	trib1	リブ厚	xs.double	必須	手前側リブ厚
	ribmat1	リブ材質	xs.string	必須	手前側リブ材質
	setlr1	払い込み側リブの左右フラグ	xs.string	必須	手前側の払い込みを左右リブどちらとするか ※左側のとき“LEFT” ※右側のとき” RIGHT “ ※吊下げタイプのみ有効
	hdrib1	左リブ下側空き量	xs.double	必須	手前側左リブ下側空き量 ※スタンドタイプで有効 ※空きなしはブランク
	hdribr1	右リブ下側空き量	xs.double	必須	手前側右リブ下側空き量 ※スタンドタイプで有効 ※空きなしはブランク
	trib2	リブ厚	xs.double	必須	向う側リブ厚
	ribmat2	リブ材質	xs.string	必須	向う側リブ材質
	setlr2	払い込み側リブの左右フラグ	xs.string	必須	向う側の払い込みを左右リブどちらとするか ※setlr1 と取扱い同じ
	hdrib2	左リブ下側空き量	xs.double	必須	向う側左リブ下側空き量 ※hdrib1 と取扱い同じ
	hdribr2	右リブ下側空き量	xs.double	必須	向う側右リブ下側空き量 ※hdribr1 と取扱い同じ
記入例	<pre><InspectRoadSupportType> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS1" stype="HANGF" /> : <InspectRoadSupportRibShape trib1="12.0" ribmat1="SM400A" setlr1="LEFT" hdrib1="" hdribr1="" trib2="" ribmat2="SM400A" setlr2="RIGHT" hdrib2="" hdribr2="" /> </InspectRoadSupportShape> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS2" stype="HANGW" /> : <InspectRoadSupportRibShape trib1="12.0" ribmat1="SM400A" setlr1="LEFT" hdrib1="" hdribr1="" trib2="" ribmat2="SM400A" setlr2="RIGHT" hdrib2="" hdribr2="" /> </InspectRoadSupportShape> <InspectRoadSupportShape supportid="IRS3" stype="STAND" /> : <InspectRoadSupportRibShape trib1="10.0" ribmat1="SM400A" setlr1="" hdrib1="20.0" hdribr1="20.0"</pre>				

	trib2="10.0"ribmat2="SM400A"setlr2=""hdribr2="" /></InspectRoadSupportShape></InspectRoadSupportType>
--	---



3. 11. 25 検査路受け台配置設定

要素名	InspectRoadSupportSet		論理名	検査路受け台配置設定	
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportSet				
子要素	InspectRoadSupport				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	検査路受け台の配置設定を行う				
属性	inspectlineid	検査路中心ライン id	xs:string	必須	検査路受け台を配置する 検査路中心ライン id
記入例	<InspectRoadSupportSet inspectlineid="IS1" > <InspectRoadSupport position="S1" supportid="IRS1" /> <InspectRoadSupport position="C1" supportid="IRS2" /> <InspectRoadSupport position="C2" supportid="IRS3" /> </InspectRoadSupportSet>				

3. 11. 26 検査路受け台配置

要素名	InspectRoadSupport		論理名	検査路受け台配置設定	
パス	/AccessoryInfo/InspectRoadSupport/InspectRoadSupportSet/InspectRoadSupport				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	検査路受け台の配置設定を行う				
	position	横断名称	xs:string	必須	検査路受け台を配置する横断名
	supportid	受け台形状 ID	xs:string	必須	配置する検査路受け台形状 ID
記入例	<InspectRoadSupportSet inspectlineid="IS1" > <InspectRoadSupport position="S1" supportid="IRS1" /> <InspectRoadSupport position="C1" supportid="IRS2" /> <InspectRoadSupport position="C2" supportid="IRS3" /> </InspectRoadSupportSet>				

3. 11. 27 架設用吊り金具情報

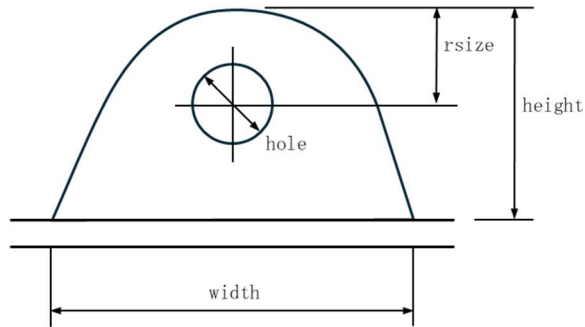
要素名	LiftLug	論理名	架設用吊り金具情報
パス	/AccessoryInfo/LiftLug		
子要素	LiftLugShape LiftLugLayout		
型	—		
出現回数	0 または 1		
内容	架設用吊り金具の情報を設定する		
属性			
記入例	<pre> <LiftLug> <LiftLugShape> <LiftLugType liftlugid="LFTR1" width="180.0" height="140.0" thickness="16.0" rsize="100.0" hole="40.0" material="SM400A" /> <LiftLugType liftlugid="LFTR2" width="200.0" height="190.0" thickness="22.0" rsize="120.0" hole="60.0" material="SM400B" /> </LiftLugShape> <LiftLugLayout> <LiftLugSet girder="G1" web="" block="1" liftLugid="LFTR1" startedge="350" endedge="350" angle="90°00'00" /> <LiftLugSet girder="G1" web="" block="2" liftLugid="LFTR2" startedge="500" endedge="500" angle="90°00'00" /> <LiftLugSet girder="G1" web="" block="3" liftLugid="LFTR2" startedge="300" endedge="450" angle="90°00'00" /> </LiftLugLayout> </LiftLug> </pre>		

3. 11. 28 架設用吊り金具の形状情報

要素名	LiftLugShape	論理名	架設用吊り金具の形状情報
パス	/AccessoryInfo/LiftLug/LiftLugShape		
子要素	LiftLugType		
型	—		
出現回数	0 または 1		
内容	架設用吊り金具の形状情報を定義する		
記入例	<pre> <LiftLugShape> <LiftLugType liftlugid="LFTR1" width="180.0" height="140.0" thickness="16.0" rsize="100.0" hole="40.0" material="SM400A" /> <LiftLugType liftlugid="LFTR2" width="200.0" height="190.0" thickness="22.0" rsize="120.0" hole="60.0" material="SM400B" /> </LiftLugShape> </pre>		

3. 11. 29 架設用吊り金具の形状定義

要素名	LiftLugType		論理名	架設用吊り金具の形状定義	
パス	/AccessoryInfo/LiftLug/LiftLugCommon/LiftLugShape/LiftLugType				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	架設用吊り金具の形状を定義する				
属性	luglugid	吊り金具の形状 id	xs.string	必須	架設用吊り金具形状の id
	width	吊り金具の幅	xs.double	必須	
	height	吊り金具の高さ	xs.double	必須	
	thickness	吊り金具の板厚	xs.double	必須	
	rsize	吊り金具上部 R	xs.double	必須	
	hole	吊り金具の開口部 R	xs.double	必須	
	material	架設用吊り金具の材質	xs.string	必須	
記入例	<pre><LiftLugShape> <LiftLugType liftlugid="LFTR1" width="180.0" height="140.0" thickness="16.0" rsize="100.0" hole="40.0" material="SM400A" /> <LiftLugType liftlugid="LFTR2" width="200.0" height="190.0" thickness="22.0" rsize="120.0" hole="60.0" material="SM400B" /> </LiftLugShape></pre>				



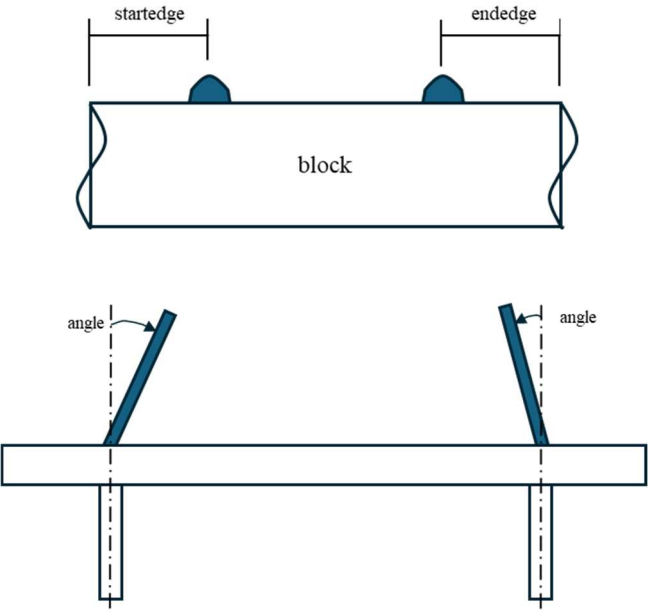
3. 11. 30 架設用吊り金具の配置設定

要素名	LiftLugLayout	論理名	架設用吊り金具の配置設定
パス	/AccessoryInfo/LiftLug/LiftLugCommon/LiftLugLayout		
子要素	LiftLugset		
型	—		
出現回数	1		
内容	架設用吊り金具の配置を設定する		
属性			
記入例	<pre> <LiftLugLayout> <LiftLugSet girder="G1" web="" block="1" liftLugid="LFTR1" startedge="350" endedge="350" angle="90°00'00" /> <LiftLugSet girder="G1" web="" block="2" liftLugid="LFTR2" startedge="500" endedge="500" angle="90°00'00" /> <LiftLugSet girder="G1" web="" block="3" liftLugid="LFTR2" startedge="300" endedge="450" angle="90°00'00" /> </LiftLugLayout> </pre>		

3. 11. 31 架設用吊り金具の配置

要素名	LiftLugset		論理名	架設用吊り金具の配置	
パス	/AccessoryInfo/LiftLug/LiftLugCommon/LiftLugLayout/LiftLugset				
子要素	—				
型	—				
出現回数	0 以上				
内容	架設用吊り金具の配置を設定する				
属性	girder	架設用吊り金具を配置する主桁名	xs.string	必須	
	web	架設用吊り金具を配置する主桁ウェブライン	xs.string	必須	I 桁のときブランク 箱桁のときウェブライン 名称
	block	架設用吊り金具を配置する主桁ブロック番号	xs.string	必須	
	liftlugid	配置する架設用吊り金具 id	xs,string	必須	3.10.28
	startedge	架設用吊り金具を配置するブロック左端からの縁端	xs.double	必須	
	endedge	架設用吊り金具を配置するブロック右端からの縁端	xs.double	必須	
	angle	吊り金具の角度	xs.string	必須	鉛直を基準とした角度。 単位は度分秒 右倒れのとき正。左倒れのとき負で指定。 ブランクのとき 90°
記入例	<LiftLugLayout> <LiftLugSet girder="G1" web="" block="1" liftLugid="LFTR1" startedge="350" endedge="350" angle="90°00'00" /> <LiftLugSet girder="G1" web="" block="2" liftLugid="LFTR2" startedge="500"				

	<pre> endedge="500" angle="90°00'00" /> <LiftLugSet girder="G1" web="" block="3" liftLugid="LFTR2" startedge="300" endedge="450" angle="90°00'00" /> </LiftLugLayout> </pre>
--	---



上図は箱桁イメージ

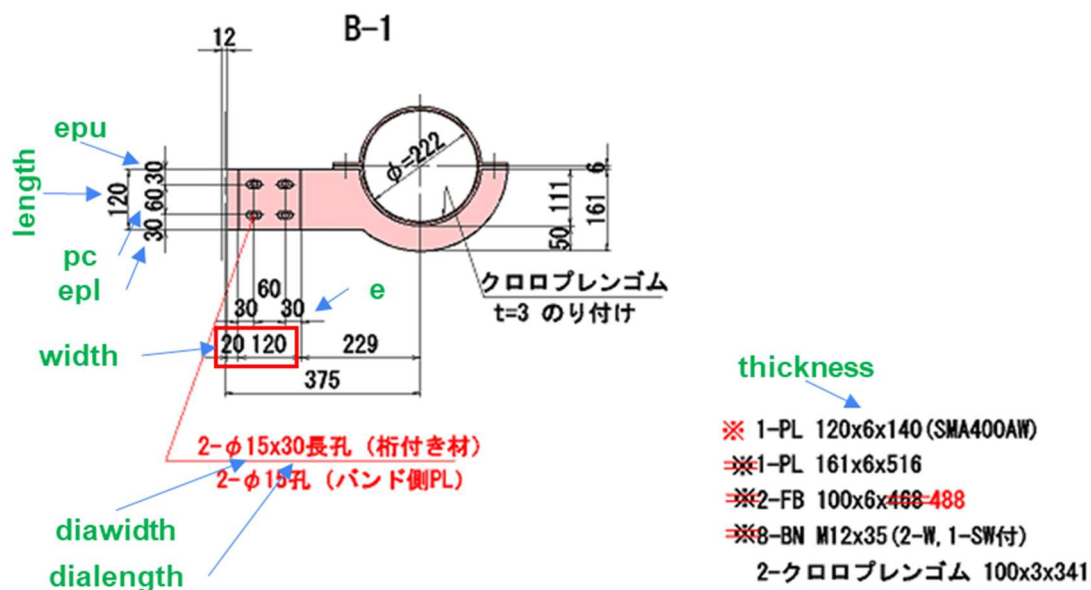
3. 11. 32 排水管コネクション定義

要素名	DrainPipeConnection	論理名	排水管コネクション定義
パス	/AccessoryInfo/DrainPipeConnection		
子要素	DrainPipeConnectionShape DrainPipeConnectionSet VDrainPipeConnectionSet		
型	—		
出現回数	0 または 1		
内容	排水管コネクションを定義する		
記入例	<pre> <DrainPipeConnection> <DrainPipeConnectionShape id="DPCS1" width="140.0" thickness="6.0" length="120.0" material="SMA400AW" epu="30.0" p="60.0" epl="30.0" e="30.0" gc="60.0" diawidth="15.0" diallength="30.0"/> <DrainPipeConnectionShape id="DPCS2" width="80.0" thickness="9.0" length="100.0" material="SMA400AW" epu="25.0" p="50.0" epl="25.0" e="30.0" gc="" diawidth="15.0" diallength="30.0"/> <DrainPipeConnectionSet id="HDPL1" pitchtype="P" hdirection="L"> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="100.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="5@1000.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="200.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="2@X" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="150.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="200.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgeno="1" connectionid="DPCS1" pitch="-300.0" xdist="" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="FS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgeno="1" connectionid="DPCS1" pitch="-1000.0" xdist="" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="NS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgeno="2" connectionid="DPCS1" pitch="-500.0" xdist="" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="FS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgeno="2" connectionid="DPCS1" pitch="-500.0" xdist="" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="FS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgeno="3" connectionid="DPCS1" pitch="300.0" xdist="300.0" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="NS"/> </DrainPipeConnectionSet> <VDrainPipeConnectionSet id="VDPL1"> <VDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS2" pitch="-300.0" xdist="300.0" hshift="0.0" vshift="0.0" face="FS"/> <VDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS2" pitch="-1000.0" xdist="" hshift="0.0" vshift="0.0" face="NS"/> </VDrainPipeConnectionSet> </DrainPipeConnection> </pre>		

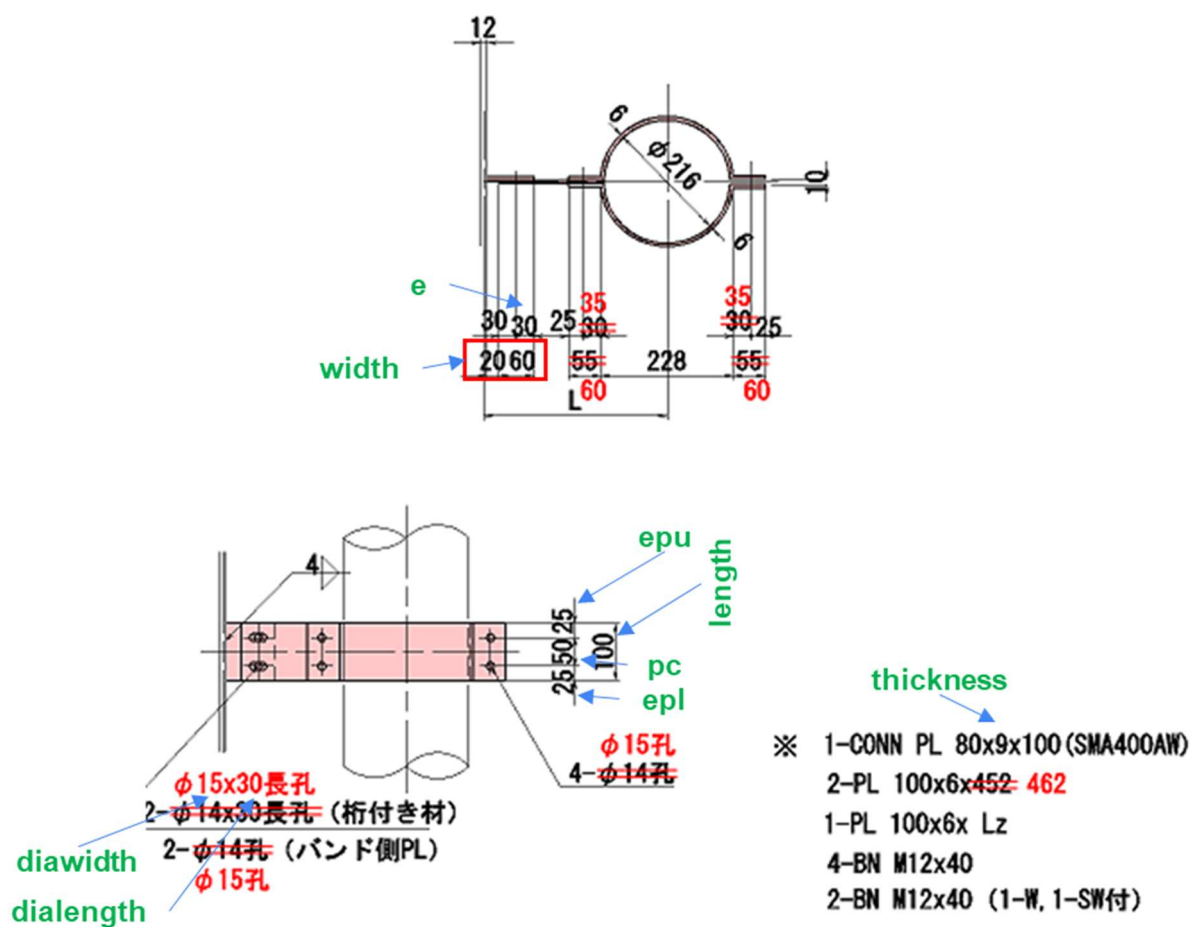
3. 11. 33 排水管コネクション形状定義

要素名	DrainPipeConnectionShape		論理名	排水管コネクション形状定義	
パス	/AccessoryInfo/DrainPipeConnection/DrainPipeConnectionShape				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	排水管コネクション形状を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	排水管コネクション
	width	部材幅	xs:double	必須	
	thickness	板厚	xs:double	必須	
	length	部材長	xs:double	必須	
	material	材質	xs:double	必須	
	epu	上フランジ側材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	p	孔間隔	xs:double	必須	※孔が 1 列の場合はブランク
	epl	下フランジ側材端	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	e	縁端距離	xs:double	必須	※設計システムの標準値は「40.0」とする
	gc	中央ゲージ	xs:double	必須	※ゲージ数が 1 の場合はブランク
	diawidth	孔径（幅）	xs:double	必須	
	dialength	孔径（長さ）	xs:double	必須	ボルト孔が長孔の場合、指定 ボルト孔が長孔ではない場合はブランク
記入例	<DrainPipeConnectionShape id="DPCS1" width="140.0" thickness="6.0" length="120.0" material="SMA400AW" epu="30.0" p="60.0" epl="30.0" e="30.0" gc="60.0" diawidth="15.0" dialength="30.0"/> <DrainPipeConnectionShape id="DPCS2" width="80.0" thickness="9.0" length="100.0" material="SMA400AW" epu="25.0" p="50.0" epl="25.0" e="30.0" gc="" diawidth="15.0" dialength="30.0"/>				

■横引き管の場合



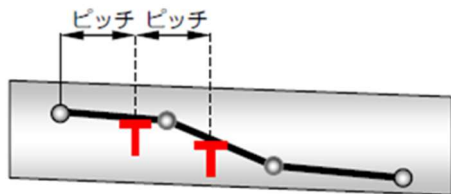
■縦引き管 (誘導管、流末管、垂れ流し管) の場合



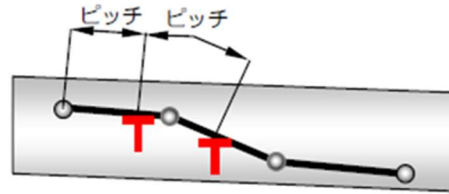
3. 11. 34 排水管コネクション配置定義

要素名	DrainPipeConnectionSet		論理名	排水管コネクション配置定義	
パス	/AccessoryInfo/DrainPipeConnection/DrainPipeConnectionSet				
子要素	HDrainPipeConnectionShapeSet DrainGuidePipeConnectionShapeSet				
型	－				
出現回数	0 以上				
内容	排水管コネクション配置を定義する				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	横引き管ライン 3.11.7 で定義した ID を指定
	pitchtype	横引き管コネクションのピッチタイプ	xs:string	必須	以下より選択 H：水平方向 P：管路方向 ※設計システムの標準値は H：水平方向とする
	hdirection	横引き管コネクションの取付方向	xs:string	必須	以下より選択 横引き管に対して直角：L 横引き管に対して鉛直：V
記入例	<pre><DrainPipeConnectionSet id="HDPL1" pitchtype="P" hdirection="L"> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="100.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="5@1000.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="200.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="2@X" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="150.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="200.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="1" connectionid="DPCS1" pitch="-300.0" xdist="" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="FS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="1" connectionid="DPCS1" pitch="-1000.0" xdist="" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="NS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="2" connectionid="DPCS1" pitch="-500.0" xdist="" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="FS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="2" connectionid="DPCS1" pitch="-500.0" xdist="" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="FS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="3" connectionid="DPCS1" pitch="300.0" xdist="300.0" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="NS"/> </DrainPipeConnectionSet></pre>				

■pitchtype が H：水平方向の場合



■pitchtype が P：管路方向の場合



3. 11. 35 横引き管コネクシオン形状配置定義

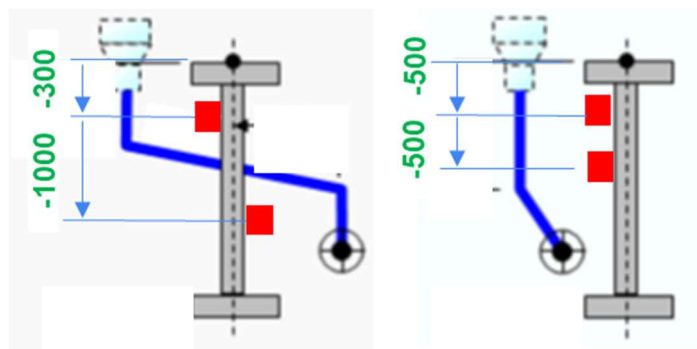
要素名	HDrainPipeConnectionShapeSet		論理名	横引き管コネクシオン形状配置定義	
パス	/AccessoryInfo/DrainPipeConnection/DrainPipeConnectionSet/ HDrainPipeConnectionShapeSet				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	横引き管コネクシオン形状配置を定義する				
属性	connectionid	識別 ID	xs:string	必須	横引き管コネクシオン 3.11.33 で定義した ID を指定
	pitch	横引き管コネク シオン間隔	xs:string	必須	n@p で指定 横引き管ラインの始点から順に指定 する ※p に"X"を指定するとピッチを自動 計算するが、1 か所の間隔のみ指定可 能 ※ 孔列が 2 列の場合は 1@p または 数値のみを指定。
	hhshift	横引き管コネク シオンの横ずれ 量	xs:double	必須	取付金具位置に対する横引き管コネ クションの橋軸方向のずれ量 ＋値：橋軸進行方向 －値：橋軸進行逆方向
	hvshift	横引き管コネク シオンの縦ずれ 量	xs:double	必須	横引き管中心位置から横引き管コネ クション中心までの高さ方向のずれ 量 ＋値：上側 －値：下側
	face	横引き管コネク シオン取付面	xs:string	必須	表面(起点右側から見える面)：NS 裏面：FS
記入例	<HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="100.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="5@1000.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="200.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="2@X" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="150.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/> <HDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS1" pitch="200.0" hhshift="0.0" hvshift="0.0" face="NS"/>				



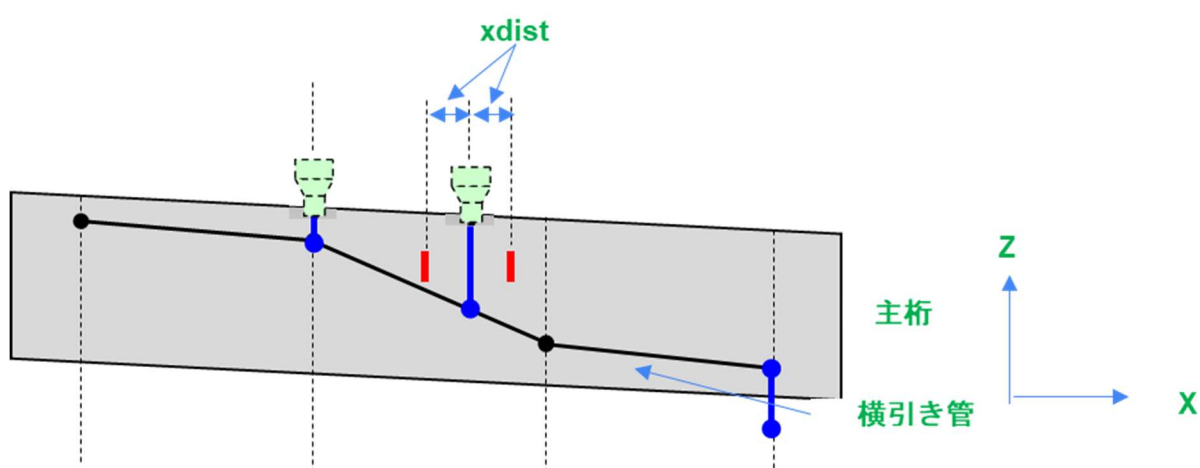
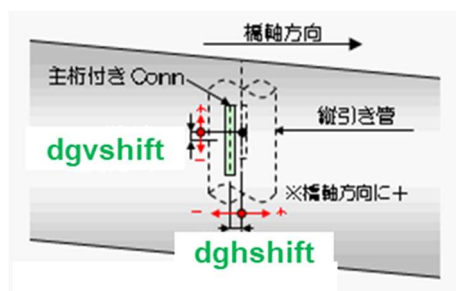
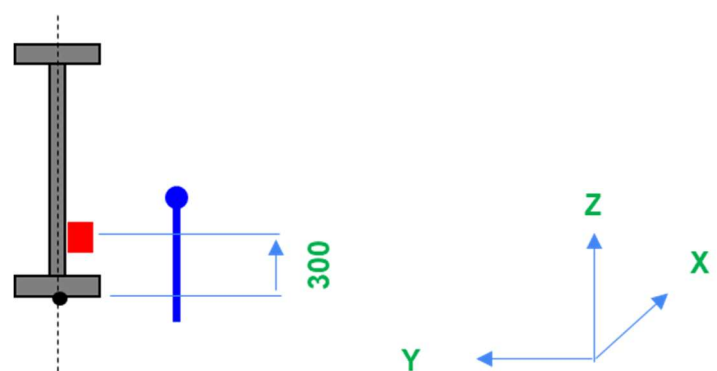
3. 11. 36 誘導管コネクション形状配置定義

要素名	DrainGuidePipeConnectionShapeSet		論理名	誘導管コネクション形状配置定義	
パス	/AccessoryInfo/DrainPipeConnection/DrainPipeConnectionSet/ DrainGuidePipeConnectionShapeSet				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	誘導管配置を定義する ※誘導管コネクションの取付方向は管に対して鉛直の方向とする				
属性	dgno	誘導管ライン番号	xs:double	必須	誘導管ライン番号 3.11.10 で定義した ID を指定
	connectionid	識別 ID	xs:string	必須	誘導管コネクション 3.11.33 で定義した ID を指定
	pitch	誘導管コネクション 間隔 (モールド位置から の距離)	xs:double	必須	誘導管の場合：モールド上縁から、 流末管の場合：モールド下端からの 寸法 ＋値：鉛直上方向 －値：鉛直下方向
	xdist	誘導管中心位置から の誘導管コネクショ ンの橋軸方向の離れ	xs:double	必須	離れ量がない場合はブランク 誘導管中心位置を基準として、橋軸 進行方向側と橋軸進行逆方向側の 2 カ所で誘導管コネクションを配置 する
	dghshift	誘導管コネクション の横ずれ量	xs:double	必須	取付金具位置に対する誘導管コネ クションの橋軸方向のずれ量 ＋値：橋軸進行方向 －値：橋軸進行逆方向
	dgvshift	誘導管コネクション の縦ずれ量	xs:double	必須	誘導管中心位置から誘導管コネク ション中心までの鉛直方向のずれ 量 ＋値：鉛直上方向 －値：鉛直下方向
	face	誘導管コネクション 取付面	xs:string	必須	表面(起点右側から見える面)：NS 裏面：FS
記入例	<DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="1" connectionid="DPCS1" pitch="-300.0" xdist="" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="FS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="1" connectionid="DPCS1" pitch="-1000.0" xdist="" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="NS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="2" connectionid="DPCS1" pitch="-500.0" xdist="" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="FS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="2" connectionid="DPCS1" pitch="-500.0" xdist="" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="FS"/> <DrainGuidePipeConnectionShapeSet dgno="3" connectionid="DPCS1" pitch="300.0" xdist="300.0" dghshift="0.0" dgvshift="0.0" face="NS"/>				

■誘導管の場合



■流末管の場合



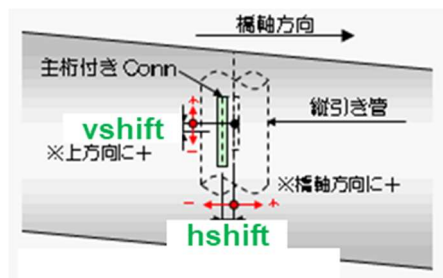
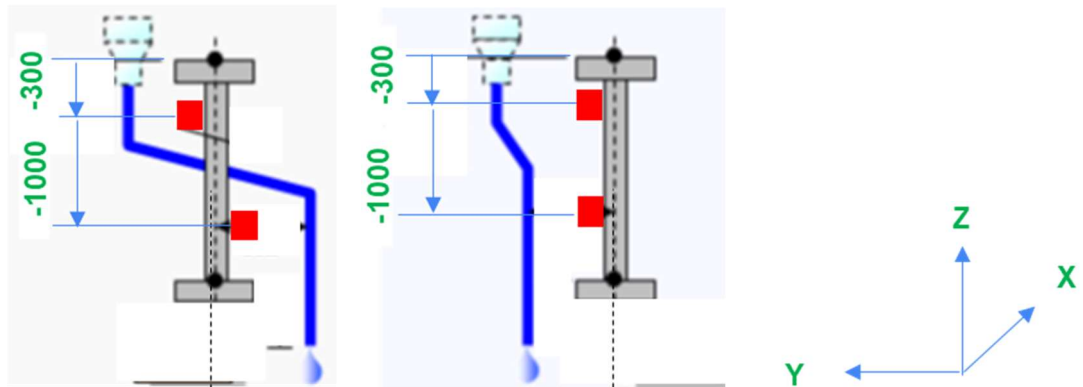
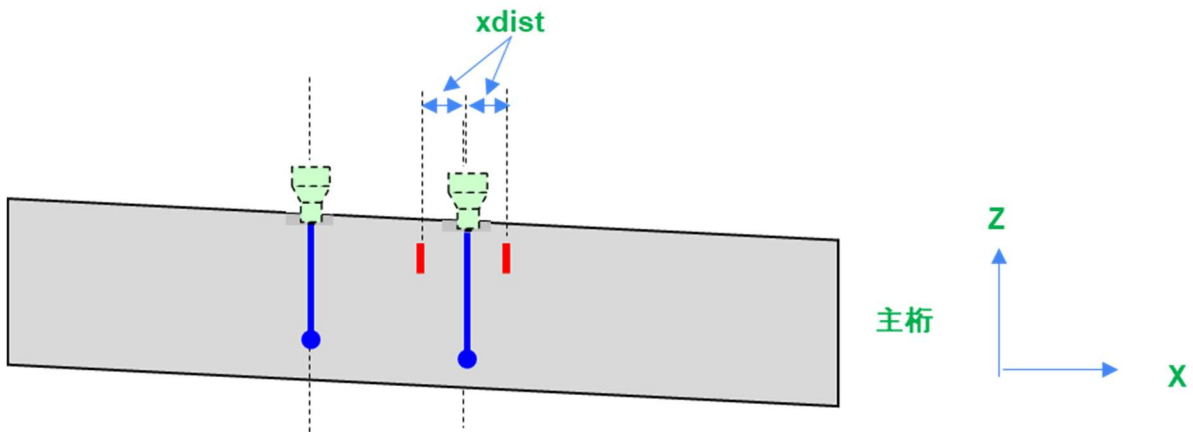
3. 11. 37 垂れ流し管コネクション配置定義

要素名	VDrainPipeConnectionSet		論理名	垂れ流し管コネクション配置定義	
パス	/AccessoryInfo/DrainPipeConnection/VDrainPipeConnectionSet				
子要素	VDrainPipeConnectionShapeSet				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	垂れ流し管コネクション配置を定義する ※垂れ流し管コネクションの取付方向は管に対して鉛直の方向とする				
属性	id	識別 ID	xs:string	必須	垂れ流し管ライン 3.11.12 で定義した ID を指定
記入例	<VDrainPipeConnectionSet id="VDPL1"> <VDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS2" pitch="-300.0" xdist="300.0" hshift="0.0" vshift="0.0" face="FS"/> <VDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS2" pitch="-1000.0" xdist="" hshift="0.0" vshift="0.0" face="NS"/> </VDrainPipeConnectionSet>				

3. 11. 38 垂れ流し管コネクション形状配置定義

要素名	VDrainPipeConnectionSet		論理名	垂れ流し管コネクション形状配置定義	
パス	/AccessoryInfo/DrainPipeConnection/DrainPipeConnectionSet/ VDrainPipeConnectionShapeSet				
子要素	—				
型	—				
出現回数	1 以上				
内容	垂れ流し管コネクション配置を定義する				
属性	connectionid	識別 ID	xs:string	必須	垂れ流し管コネクション 3.11.33 で定義した ID を指定
	pitch	垂れ流し管コネ クション間隔 (モールド位置 からの距離)	xs:double	必須	WEB 天端位置から順に指定する ※上フランジ内逃げの場合は上フラ ンジ上面からの離れ ＋値：鉛直上方向 －値：鉛直下方向
	xdist	垂れ流し管中心 位置からの垂れ 流し管コネクシ ョンの橋軸方向 の離れ	xs:double	必須	離れ量がない場合はブランク 垂れ流し管中心位置を基準として、 橋軸進行方向側と橋軸進行逆方向側 の 2 カ所で垂れ流し管コネクション を配置する
	hshift	垂れ流し管コネ クションの横ず れ量	xs:double	必須	取付金具位置に対する垂れ流し管コ ネクションの橋軸方向のずれ量 ＋値：橋軸進行方向 －値：橋軸進行逆方向
	vshift	垂れ流し管コネ クションの縦ず れ量	xs:double	必須	垂れ流し管中心位置から垂れ流し管 コネクション中心までの鉛直方向の ずれ量 ＋値：鉛直上方向 －値：鉛直下方向

	face	垂れ流し管コネクション取付面	xs:string	必須	表面(起点右側から見える面) : NS 裏面 : FS
記入例	<pre><VDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS2" pitch="-300.0" xdist="300.0" hshift="0.0" vshift="0.0" face="FS"/> <VDrainPipeConnectionShapeSet connectionid="DPCS2" pitch="-1000.0" xdist="" hshift="0.0" vshift="0.0" face="NS"/></pre>				



3.12 拡張情報

要素名	Extensions*	論理名	拡張情報
パス	利用アプリケーションが任意に定義する。		
子要素	利用アプリケーションが任意に定義する。		
型	利用アプリケーションが任意に定義する。		
出現回数	0 以上		
属性	利用アプリケーションが任意に定義する。		
内容	3.9 までに示した要素以外に拡張する情報がある場合は <pre><Extensions*> 任意の XML データ構造 </Extensions*></pre> で定義する。 この要素で表す拡張情報のデータ連携ほか取り扱いは、利用するアプリケーションの仕様によって異なるため、データ連携には使用できません。 要素名の"*"の部分は利用アプリケーションが用いる任意のユニークな文字列とする。 下記の記入例では"XXX"としている。		
記入例	<pre><ExtensionsXXX> <Data1="AASHTO" /> <Data2="EC4" /> </ExtensionsXXX></pre>		

4. サンプルデータ

本書の理解を得やすくすることを目的に作成したサンプルデータ（抜粋）を以下に示す。（Ver1.3 のサンプルデータ）

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<SteelBridgeXML date="2023-04-03" time="16:47:45">
  <Project name="〇〇橋梁"/>
  <DesignXML type="I" version="1.3">
    <EditHistories>
      <EditHistory id="1" state="CREATED" editor="山田太郎" company="〇〇設計株式会社" application="〇〇システム" applicationVersion="ver1.0"
                                                                    date="2023-04-03" time="12:34:56"/>
    </EditHistories>
    <Skeleton>
      <GirderLine name="G1">
        <Nodes>
          <Node no="1" x="0.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
          <Node no="2" x="1.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
          <Node no="3" x="2.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
          <Node no="4" x="3.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
          <Node no="5" x="4.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
          <Node no="6" x="5.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
          <Node no="7" x="6.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
          <Node no="8" x="7.0000" y="1.0000" z="10.0000" plane="" side=""/>
        </Nodes>
      </GirderLine>
      <GirderLine name="G2">
        <Nodes>
          <Node no="1" x="0.0000" y="-1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
          <Node no="2" x="1.0000" y="-1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
          <Node no="3" x="2.0000" y="-1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
          <Node no="4" x="3.0000" y="-1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
        </Nodes>
      </GirderLine>
    </Skeleton>
  </DesignXML>
</SteelBridgeXML>
```

```

        <Node no="5" x="4.0000" y="-1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
        <Node no="6" x="5.0000" y="-1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
        <Node no="7" x="6.0000" y="-1.0000" z="10.0000" plane="S" side="S"/>
        <Node no="8" x="7.0000" y="-1.0000" z="10.0000" plane="" side=""/>
    </Nodes>
</GirderLine>
<CrossLine name="GE1" attribute="EGIRDER">
    <GirderPoints name="G1" point="1"/>
    <GirderPoints name="G2" point="1"/>
</CrossLine>
<CrossLine name="S1" attribute="ESUPPORT">
    <GirderPoints name="G1" point="2"/>
    <GirderPoints name="G2" point="2"/>
</CrossLine>
<CrossLine name="C1" attribute="POINT">
    <GirderPoints name="G1" point="3"/>
    <GirderPoints name="G2" point="3"/>
</CrossLine>
<CrossLine name="C2" attribute="POINT">
    <GirderPoints name="G1" point="4"/>
    <GirderPoints name="G2" point="4"/>
</CrossLine>
<CrossLine name="P1" attribute="MSUPPORT">
    <GirderPoints name="G1" point="6"/>
    <GirderPoints name="G2" point="6"/>
</CrossLine>
<Camber name="G1">
    <Camber name="S1" zcamber="0.0"/>
    <Camber name="C1" zcamber="42.0"/>
    <Camber name="C2" zcamber="76.4"/>
    <Camber name="C3" zcamber="120.6"/>

```

```

        <Camber name="C4" zcamber="78.8"/>
        <Camber name="C5" zcamber="10.0"/>
        <Camber name="S2" zcamber="0.0"/>
    </Cambers>
    <Cambers name="G2">
        <Camber name="S1" zcamber="0.0"/>
        <Camber name="C1" zcamber="42.0"/>
        <Camber name="C2" zcamber="76.4"/>
        <Camber name="C3" zcamber="120.6"/>
        <Camber name="C4" zcamber="78.8"/>
        <Camber name="C5" zcamber="10.0"/>
        <Camber name="S2" zcamber="0.0"/>
    </Cambers>
    <Vstiffener name="G1">
        <VSDivide start="S1" end="C1" num="4"/>
        <VSDivide start="C1" end="C2" num="-1">
            <VSPosition distance="1200.0"/>
            <VSPosition distance="1250.0"/>
            <VSPosition distance="1100.0"/>
        </VSDivide>
    </Vstiffener>
    <Vstiffener name="G2">
        <VSDivide start="S1" end="C1" num="4"/>
        <VSDivide start="C1" end="C2" num="-1">
            <VSPosition distance="1200.0"/>
            <VSPosition distance="1250.0"/>
            <VSPosition distance="1100.0"/>
        </VSDivide>
    </Vstiffener>
    <Joints name="G1">
        <Joint name="J1" length="9856.4"/>
    </Joints>

```

```

    <Joint name="J2" length="9856.4"/>
    <Joint name="J3" length="9856.4"/>
    <Joint name="J4" length="9856.4"/>
    <Joint name="J5" length="9856.4"/>
    <Joint name="J6" length="9856.4"/>
    <Joint name="J7" length="9856.4"/>
    <Joint name="J8" length="9856.4"/>
  </Joints>
  <Joints name="G2">
    <Joint name="J1" length="9856.4"/>
    <Joint name="J2" length="9856.4"/>
    <Joint name="J3" length="9856.4"/>
    <Joint name="J4" length="9856.4"/>
    <Joint name="J5" length="9856.4"/>
    <Joint name="J6" length="9856.4"/>
    <Joint name="J7" length="9856.4"/>
    <Joint name="J8" length="9856.4"/>
  </Joints>
  <WebHeights name="G1">
    <WebHeight name="GE1" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="S1" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="C1" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="C2" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="C3" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="C4" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="C5" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="S2" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="GE2" length="0.0" webh="2500.0" side=""/>
  </WebHeights>
  <WebHeights name="G2">
    <WebHeight name="GE1" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>

```

```

    <WebHeight name="S1" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="C1" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="C2" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="C3" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="C4" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="C5" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="S2" length="0.0" webh="2500.0" side="S"/>
    <WebHeight name="GE2" length="0.0" webh="2500.0" side=""/>
  </WebHeights>
  <HstiffenerLine name="G1">
    <HSDivide>
      <HSPosition ratio="0.2" base="U"/>
      <HSPosition ratio="0.2" base="L"/>
    </HSDivide>
  </HstiffenerLine>
  <HstiffenerLine name="G2">
    <HSDivide>
      <HSPosition ratio="0.2" base="U"/>
      <HSPosition ratio="0.2" base="L"/>
    </HSDivide>
  </HstiffenerLine>
</Skeleton>
<GirderInfo>
  <GirderCommon>
    <EscapeDirection uflg="OUTSIDE" lflg="INSIDE"/>
    <JointClearance uflg="0.0" web="0.0" lflg="0.0"/>
    <WeldOffset web="100.0"/>
    <EdgeShape uflg="TYPE1" lflg="TYPE1" length="0.0"/>
    <HstiffCommonShape>
      <HVplateSideShape space="35.0" length="10.0" angle="45"/>
      <HSpliceSideShape space="20.0" length="0.0" angle="0"/>
    </HstiffCommonShape>
  </GirderCommon>
</GirderInfo>

```

```

        <HHplateSideShape space="20.0" limit="100.0" length="10.0" angle="45"/>
    </HstiffCommonShape>
    <VstiffCommonShape>
        <SupportPoint weldu="15C" weldl="15C" length="10.0" angle="45"/>
        <PanelPoint weldu="35R" weldl="35R" length="10.0" angle="45"/>
        <MidPoint weldu="35R" weldl="35R" clearance="35.0"/>
    </VstiffCommonShape>
    <SpliceCommonShape>
        <UflgEdge lg="40.0" tr_outside="40.0" tr_inside="40.0"/>
        <WebEdge lg="40.0" hg="40.0" slope="3.0"/>
        <LflgEdge lg="40.0" tr="40.0"/>
    </SpliceCommonShape>
</GirderCommon>
<StiffenerShape>
    <Vstif id="VS1" type="TYPE1" width="200.0" thickness="24.0" material="SM490YA"/>
    <Vstif id="VS2" type="TYPE2" width="100.0" thickness="9.0" material="SM400A"/>
    <Vstif id="VS3" type="TYPE3" width="100.0" thickness="9.0" material="SM400A"/>
    <Hstif id="HS1" width="100.0" thickness="9.0" material="SM400A"/>
    <Hstif id="HS2" width="100.0" thickness="9.0" material="SM400A"/>
</StiffenerShape>
<SpliceShape>
    <IFlgSplice id="GFS1" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0"
        nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/>
    <IFlgSplice id="GFS2" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0"
        nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/>
    <IFlgSplice id="GFS3" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0"
        nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/>
    <IFlgSplice id="GFS4" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0"
        nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/>
    <WebSplice id="GWS1" dia="24.5" cp="100.0" p="3@75.0" gu="" gc="20@105.0" gl="" du="120.0" dl="150.0" splt="9.0"
        splm="SS400" fillt="2.3" fillm="SS400"/>

```

```

</SpliceShape>
<Girder name="G1">
  <GirderSection no="1" length="11970.5">
    <ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/>
    <ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/>
    <ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/>
  </GirderSection>
  <GirderSection no="2" length="11970.5">
    <ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/>
    <ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/>
    <ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/>
  </GirderSection>
  <GirderSection no="3" length="11970.5">
    <ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/>
    <ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/>
    <ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/>
  </GirderSection>
  <StiffenerSet type="SC">
    <VstifSet position="S1" face="NS" id="VS1"/>
    <VstifSet position="S1" face="FS" id="VS1"/>
    <VstifSet position="S1" face="FS" id="VS1"/>
  </StiffenerSet>
  <StiffenerSet type="V">
    <VstifSet start="S1" end="C1" no="" face="NS" id="VS1"/>
    <VstifSet start="C1" end="C2" no="1" face="NS" id="VS1"/>
    <VstifSet start="C1" end="C2" no="2" face="NS" id="VS1"/>
    <VstifSet start="C1" end="C2" no="3" face="NS" id="VS1"/>
  </StiffenerSet>
  <StiffenerSet type="H">
    <HstifSet start="S1" end="C1" no="" step="1" face="NS" id="HS1"/>
    <HstifSet start="C1" end="C2" no="1" step="1" face="NS" id="HS1"/>
  </StiffenerSet>

```

```

        <HstifSet start="C1" end="C2" no="2" step="1" face="NS" id="HS1"/>
        <HstifSet start="C1" end="C2" no="3" step="1" face="NS" id="HS1"/>
    </StiffenerSet>
    <SpliceSet>
        <SpliceShapeSet position="J1" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/>
        <SpliceShapeSet position="J2" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/>
        <SpliceShapeSet position="J3" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/>
        <SpliceShapeSet position="J4" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/>
        <SpliceShapeSet position="J5" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/>
    </SpliceSet>
    <LflgWideningShape position="S1" width="500.0" length="500.0" slope="5" tr="15.0" lg="20.0"/>
    <GirderEndManHole position="SSIDE" length="400.0" height="800.0" width="100.0" rsize="100.0"/>
</Girder>
<Girder name="G2">
    <GirderSection no="1" length="11970.5">
        <ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/>
        <ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/>
        <ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/>
    </GirderSection>
    <GirderSection no="2" length="11970.5">
        <ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/>
        <ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/>
        <ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/>
    </GirderSection>
    <GirderSection no="3" length="11970.5">
        <ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/>
        <ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/>
        <ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/>
    </GirderSection>
    <StiffenerSet type="SC">
        <VstifSet position="S1" face="NS" id="VS1"/>

```

```

        <VstifSet position="S1" face="FS" id="VS1"/>
        <VstifSet position="S1" face="FS" id="VS1"/>
    </StiffenerSet>
    <StiffenerSet type="V">
        <VstifSet start="S1" end="C1" no="" face="NS" id="VS1"/>
        <VstifSet start="C1" end="C2" no="1" face="NS" id="VS1"/>
        <VstifSet start="C1" end="C2" no="2" face="NS" id="VS1"/>
        <VstifSet start="C1" end="C2" no="3" face="NS" id="VS1"/>
    </StiffenerSet>
    <StiffenerSet type="H">
        <HstifSet start="S1" end="C1" no="" step="1" face="NS" id="HS1"/>
        <HstifSet start="C1" end="C2" no="1" step="1" face="NS" id="HS1"/>
        <HstifSet start="C1" end="C2" no="2" step="1" face="NS" id="HS1"/>
        <HstifSet start="C1" end="C2" no="3" step="1" face="NS" id="HS1"/>
    </StiffenerSet>
    <SpliceSet>
        <SpliceShapeSet position="J1" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/>
        <SpliceShapeSet position="J2" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/>
        <SpliceShapeSet position="J3" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/>
        <SpliceShapeSet position="J4" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/>
        <SpliceShapeSet position="J5" uflg="GFS1" web="GWS1" lflg="GFS2"/>
    </SpliceSet>
    <LflgWideningShape position="S1" width="500.0" length="500.0" slope="5" tr="15.0" lg="20.0"/>
    <GirderEndManHole position="ESIDE" length="400.0" height="800.0" width="100.0" rsize="100.0"/>
</Girder>
</GirderInfo>
<CbeamInfo>
    <CbeamCommon>
        <CbeamJointClearance type="CBM" uflg="10.0" web="10.0" lflg="10.0"/>
        <CbeamJointClearance type="HCBM" uflg="10.0" web="10.0" lflg="10.0"/>
        <CbeamConnectionShape type="CBM" weld="15C" fillet="100.0" length="20.0" lg="40.0" tr="40.0"/>
    </CbeamCommon>
</CbeamInfo>

```

```

<CbeamConnectionShape type="HCBM" weld="15C" fillet="100.0" length="20.0" lg="40.0" tr="40.0"/>
<CbeamVstiffCommonShape weldu="35R" weldl="35R"/>
<CbeamHstiffCommonShape>
    <HVplateSideShape space="35.0" length="10.0" angle="45"/>
    <HSspliceSideShape space="20.0" length="0.0" angle="0"/>
    <HHplateSideShape space="20.0" length="10.0" angle="45"/>
</CbeamHstiffCommonShape>
<CbeamSpliceCommonShape type="CBM" flgcut="TYPE1">
    <UflgEdge lg="40.0" tr_outside="40.0" tr_inside="40.0"/>
    <WebEdge tr="40.0" hg="40.0" slope="3.0"/>
    <LflgEdge lg="40.0" tr="40.0"/>
</CbeamSpliceCommonShape>
<CbeamSpliceCommonShape type="HCBM" flgcut="TYPE1">
    <UflgEdge lg="40.0" tr_outside="40.0" tr_inside="40.0"/>
    <WebEdge tr="40.0" hg="40.0" slope="3.0"/>
    <LflgEdge lg="40.0" tr="40.0"/>
</CbeamSpliceCommonShape>
<CbeamLapHoleCommonShape>
    <Edge hgu="40.0" hgl="40.0" wtr="40.0" vtr="40.0"/>
    <Notch type="LEVEL" rsize="20.0" backlg="20.0" uspace="20.0" lspace="20.0" hrspace="20.0"/>
    <SupportPoint type="TYPE1"/>
    <PanelPoint type="TYPE2"/>
    <Attract method="TYPE1"/>
</CbeamLapHoleCommonShape>
<CbeamGirderConnectionCommonShape>
    <SupportPoint weldu="15C" weldl="15C"/>
    <PanelPoint weldu="35R" weldl="35R"/>
</CbeamGirderConnectionCommonShape>
<CbeamManHoleCommonShape margin="20.0" length="20.0">
    <Hplate cut=""/>
    <Vplate cut=""/>

```

```

</CbeamManHoleCommonShape>
</CbeamCommon>
<CbeamSection>
  <Btcbem id="CB1">
    <ISectionUflg width="620.0" thickness="24.0" material="SM490YB"/>
    <ISectionWeb thickness="14.0" material="SM490YA"/>
    <ISectionLflg width="840.0" thickness="31.0" material="SM490YB"/>
  </Btcbem>
  <Btcbem id="CBM3">
    <ISectionUflg width="220.0" thickness="10.0" material="SMA400AW"/>
    <ISectionWeb thickness="9.0" material="SMA400AW"/>
    <ISectionLflg width="220.0" thickness="10.0" material="SMA400AW"/>
  </Btcbem>
  <Hcbem id="HCB1" height="700.0" width="300.0" webthickness="13.0" flgthickness="24.0" material="SM490YB"/>
</CbeamSection>
<CbeamSpliceShape>
  <IFlgSplice id="CFS1" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0"
    nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/>
  <IFlgSplice id="CFS2" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0"
    nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/>
  <IFlgSplice id="CFS3" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0"
    nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/>
  <IFlgSplice id="CFS4" pattern="K1" dia="24.5" cp="100.0" p1="4@75.0" p2="" cg="130.0" g="2@75.0" spltype="TYPE1" nssplt="12.0"
    nssplm="SS400" fssplt="12.0" fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/>
  <CbeamConnectionSplice id="CCS1" width="120.0" thickness="9.0" material="SMA400A" pattern="K1" dia="24.5"
    p1="2@65.0" p2="75.0" cg="140.0" g1="40.0" g2="75.0"
    spltype="TYPE1" nssplt="12.0" nssplm="SS400" fssplt="12.0"
    fssplm="SS400" fillt="2.0" fillm="SS400"/>
  <CbeamConnectionSplice id="CCSU1" width="380.0" thickness="10.0" material="SMA400AW" pattern="K1" dia="24.5"
    p1="1@75.0" p2="1@75.0" cg="130.0" g1="" g2="1@75.0"
    spltype="TYPE1" nssplt="10.0" nssplm="SMA400AW" fssplt="0.0" fssplm=""

```

```

fillt="Non" fillm="Non"/>
<CbeamGussetHoleShape id="CGHS1" pattern="K1" dia="24.5" e="40.0" p="1@75.0" cg="140.0" g=""/>
<CbeamGussetHoleShape id="CFG1" pattern="K1" dia="24.5" e="45.0" p="3@45.0" cg="140.0" g="1@75.0"/>
<WebSplice id="CWS1" dia="24.5" cp="100.0" p="3@75.0" gu="" gc="20@105.0" gl="" du="120.0" dl="150.0" spl="9.0"
    splm="SS400" fillt="2.3" fillm="SS400"/>
<CbeamLapHoleShape id="CLS1" dia="24.5" du="240.0" dl="340.0" g1="1@120.0" g2="8@100.0" g3="" g4="" g5=""/>
<CbeamLapHoleShape id="CLHS2" dia="24.5" du="270.0" dl="270.0" g1="8@95.0" g2="" g3="" g4="" g5=""/>
</CbeamSpliceShape>
<CbeamStiffenerShape>
    <Vstif id="CVS1" type="TYPE1" width="200.0" thickness="24.0" material="SM490YA"/>
    <Hstif id="CHS1" width="100.0" thickness="9.0" material="SM400A"/>
</CbeamStiffenerShape>
<CbeamManHoleShape>
    <CbeamManHole id="CMH1" type="TYPE1" width="600.0" height="800.0" rsize="100.0" face="NS" hplw="110.0" hplt="9.0"
        hplm="SM400A" vplw="100.0" vplt="9.0" vplm="SM400A"/>
</CbeamManHoleShape>
<CbeamSet>
    <Cbeam leftgirder="G1" rightgirder="G2" position="S1" type="TYPE1" cid="CB1" lid="CB1" rid="CB1" shift="+X">
        <CbeamPosition lu="100.0" ld="100.0" ru="100.0" rd="100.0" lc="" rc=""/>
        <CbeamSpliceSet lj="500.0" rj="500.0" lufg="CFS1" rufg="CFS1" lweb="CWS1" rweb="CWS1" llfg="CFS1" rlfg="CFS1"/>
        <CbeamVstiffenerSet ldistance="1250.0" cdistance="" rdistance="" face="NS" id="CVS1"/>
        <CbeamHstiffenerSet uratio="0.2" lratio="0.2" start="1" end="7" face="NS" id="CHS1"/>
        <CbeamManHoleSet ldistance="1129.0" height="800.0" id="CMH1"/>
    </Cbeam>
    <Cbeam leftgirder="G1" rightgirder="G2" position="C17" type="TYPE3" cid="CBM3" lid="" rid="" shift="+X">
        <CbeamPosition lu="200.0" ld="210.0" ru="200.0" rd="210.0" lc="" rc="" lufedg="" rufedg="225.0"/>
        <CbeamSpliceSet lj="0.0" rj="0.0" lufg="" rufg="CCSU1" lweb="CLHS2" lweb="CLHS1" llfg="CGHS1" rlfg="CGHS1"/>
        <CbeamVstiffenerSet ldistance="1050.0" cdistance="" rdistance="" face="NS" id="CVS1"/>
    </Cbeam>
</CbeamSet>
</CbeamInfo>

```

```

<SwayInfo>
  <SwayCommon>
    <SwayChordCommonShape>
      <SwayChordDistance type="TYPE1" space="20.0"/>
      <SwayChordWebCut type="TYPE1"/>
      <SwayChordFlgCut type="TYPE1"/>
      <SwayChordLflgEdge ep="40.0"/>
    </SwayChordCommonShape>
    <SwayDiagonalCommonShape>
      <SwayDiagonalDistance space1="20.0" space2="20.0" space3="20.0"/>
    </SwayDiagonalCommonShape>
    <SwayGussetCommonShape>
      <SwayGussetEdge hgu="40.0" hgl="40.0" gtr="40.0" vtr="40.0" length="10.0" rsize="20.0"/>
      <SwayGussetOutline upper="TYPE1" lower="TYPE1" center="TYPE1"/>
      <SwayGussetDistance esway="150.0" msway="20.0"/>
    </SwayGussetCommonShape>
  </SwayCommon>
  <SwayChordShape id="SWC1" kind="CH" material="SS400">
    <ShapeSteelFlg width="75.0" thickness="10.0"/>
    <ShapeSteelWeb height="150.0" thickness="6.5"/>
  </SwayChordShape>
  <SwayChordShape id="SWC2" kind="CT" material="SS400">
    <ShapeSteelFlg width="176.0" thickness="8.0"/>
    <ShapeSteelWeb height="118.0" thickness="8.0"/>
    <ChordHole dia="24.5" pattern="K1" cg="140.0" g="1@75.0" p="3@45.0"/>
  </SwayChordShape>
  <SwayDiagonalShape id="SWD1" kind="CT" material="SS400" direction="FLG">
    <ShapeSteelFlg width="176.0" thickness="8.0"/>
    <ShapeSteelWeb height="118.0" thickness="8.0"/>
  </SwayDiagonalShape>
  <SwayDiagonalShape id="SWD2" kind="L" material="SS400" direction="UPPER">

```

```

        <ShapeSteelFlg width="75.0" thickness="6.0"/>
        <ShapeSteelWeb height="75.0" thickness="6.0"/>
    </SwayDiagonalShape>
    <SwayGussetShape id="SSG1" type="TYPE1" material="SM400A">
        <SwayGussetSize width="230.0" height="" thickness="9.0"/>
        <SwayGussetWeldLength chord="200.0" diagonal=""/>
    </SwayGussetShape>
    <SwayGussetHole id="SSGH1" dia="24.5" p0="190.0" p1="2@75.0" p2="120.0" p3="" p4=""/>
    <SwayGussetShape id="SSG5" type="TYPE3" material="SM400A">
        <SwayGussetSize width="670.0" height="450.0" thickness="9.0"/>
        <SwayGussetWeldLength chord="" diagonal=""/>
    </SwayGussetShape>
    <SwaySet>
        <Sway leftgirder="G1" rightgirder="G2" position="S1" type="TYPE1" uchordid="SWC1" lchordid="SWC2" diagonalid="SWC3" shift="+X"
            ushift="60.0" lshift="60.0" diashift="50.0">
            <SwayPosition lu="100.0" ld="100.0" ru="100.0" rd="100.0"/>
            <SwayGussetPlateSet lu="SSG1" ld="SSG2" ru="SSG1" rd="SSG2" c="SSG6"/>
            <SwayGussetHoleSet lu="SSGH1" ld="SSGH2" ru="SSGH1" rd="SSGH2"/>
            <SwayDistance ll="300.0" lr="300.0" rl="300.0" rr="300.0"/>
        </Sway>
        <Sway leftgirder="G1" rightgirder="G2" position="C1" type="TYPE2" uchordid="SWC2" lchordid="SWC2" diagonalid="SWC3" shift="+X"
            ushift="60.0" lshift="60.0" diashift="50.0">
            <SwayPosition lu="100.0" ld="100.0" ru="100.0" rd="100.0"/>
            <SwayGussetPlateSet lu="SSG1" ld="SSG2" ru="SSG1" rd="SSG2" c="SSG6"/>
            <SwayGussetHoleSet lu="SSGH1" ld="SSGH2" ru="SSGH1" rd="SSGH2"/>
            <SwayDistance ll="300.0" lr="300.0" rl="300.0" rr="300.0"/>
        </Sway>
    </SwaySet>
</SwayInfo>
<LateralInfo>
    <LateralCommon>

```

```

    <LateralGussetCommonShape>
      <LateralGussetPosition height="260.0"/>
      <LateralGussetEdge sway="40.0" lateral="40.0"/>
      <LateralGussetVstifScallop width="70.0" rsize="20.0"/>
    </LateralGussetCommonShape>
    <LateralChordCommonShape>
      <LateralChordDistance space1="20.0" space2="20.0" space3="20.0"/>
    </LateralChordCommonShape>
  </LateralCommon>
  <LateralGussetShape id="LG1" type="TYPE1" material="SM400A">
    <LateralGusset width="" thickness="9.0"/>
  </LateralGussetShape>
  <LateralChordShape id="LCT1" kind="CT" material="SS400" weldspace="">
    <ShapeSteelFlg width="152.0" thickness="8.0"/>
    <ShapeSteelWeb height="95.0" thickness="8.0"/>
    <ChordHole dia="24.5" pattern="K1" cg="140.0" g="1@75.0" p="3@45.0"/>
  </LateralChordShape>
  <LateralSet>
    <Lateral leftgirder="G1" leftstart="S1" leftend="C1" rightgirder="G2" rightstart="S1" rightend="C1" panelno="1" type="V" gussid="" direction="" shift="">
      <LateralChord no="1" id="LCT1" dists="375.0" diste="216.0"/>
      <LateralChord no="2" id="LCT1" dists="165.0" diste="245.0"/>
    </Lateral>
    <Lateral leftgirder="G1" leftstart="C1" leftend="C2" rightgirder="G2" rightstart="C1" rightend="C2" panelno="2" type="XD" gussid="LG2"
      direction="" shift="">
      <LateralChord no="1" id="LCT1" dists="375.0" diste="216.0"/>
      <LateralChord no="2" id="LCT1" dists="165.0" diste="245.0"/>
    </Lateral>
  </LateralSet>
  <LateralGussetSet>
    <LateralGusset girder="G1" face="NS" kind="S" start="" end="" weldlength="200.0" id="LG1"/>
  </LateralGussetSet>

```

```
</LaterallInfo>  
</DesignXML>  
</SteelBridgeXML>
```